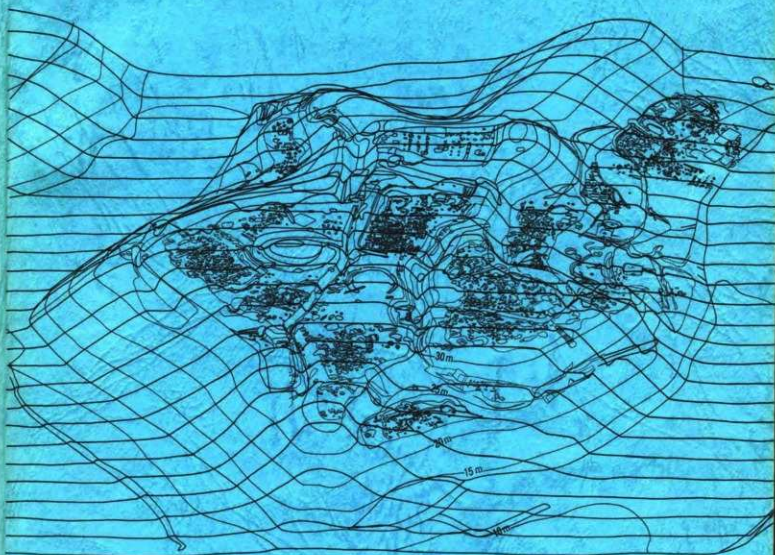


ちばけん さいごん せき せき
千葉県 西 郡 光 町

ささもと じょうあと じょうやま いせき
篠本城跡・城山遺跡

資料編

ひかり工業団地内埋蔵文化財調査報告2



平成12年

千葉県企業庁

財団法人 東総文化財センター

目 次

1. 縄文・弥生時代	1
縄文時代の遺構	2
縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物	4
縄文時代の遺物（土器）	28
縄文時代の遺物（石器）	39
弥生時代の遺物	44
2. 古墳時代	47
古墳時代の遺構	48
古墳時代の遺物	57
3. 奈良・平安時代	65
奈良・平安時代の遺構	66
奈良・平安時代遺物（遺構出土）	90
奈良・平安時代遺物（遺構外出土）	113
4. 中 世	135
中世遺構（1号中世区画）	136
中世遺構（2号中世区画）	148
中世遺構（3号中世区画）	158
中世遺構（4号中世区画）	171
中世遺構（5号中世区画）	182
中世遺構（6号中世区画）	179
中世遺構（7号中世区画）	194
中世遺構（8号中世区画）	209
中世遺構（9号中世区画）	223
中世遺構（10号中世区画）	252
中世遺構（11号中世区画）	262
中世遺構（12号中世区画）	266
中世遺構（13号中世区画）	276
中世遺構（14号中世区画）	282
中世の陶磁器	287
中世の銭貨	371
中世の金属製品	395
中世の石製品	401
中世の石塔	429
5. 近 世	455
近世の遺構	456
近世の遺物	457
6. 自然科学分析	467

1. 縄文・弥生時代

城山遺跡では、縄文時代の遺構はわずかであったが、遺物は早期包含層をはじめとして、多数の土器が出土した。土器のほとんどは破片で、復元できたものは数点であったが、貴重な資料を提供した。

弥生時代は、遺構は全く検出できなかったが、土器が少し出土した。

下記に、縄文・弥生時代の資料編図の凡例を示す。

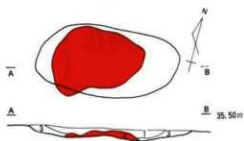
1. 縄文時代の遺構実測図の縮尺は50分の1である。
2. 遺構の断面図に示した数値は、アルファベット線上の標高である。
3. 遺構及び覆土の説明は、それぞれの図のわきに示した。
4. 遺物の実測図の中で土器の縮尺は、復元図と破片

ともすべて2分の1である。

5. 土鏝や円板などの土製品の縮尺は、2分の1である。
6. 石器の縮尺は、石鏃等の小形石器は原寸で、石斧や蔽石などの大形石器は2分の1である。
7. 遺物の図示は、原則的に実測図の左側に、その遺物の表裏写真をほぼ等縮尺で載せた。しかし大きさや紙面の都合で、上下にずらしたものもある。
8. 遺物の説明は、実測図のわきに示した。
9. 土器は、さきに早期包含層の遺物を載せ、そのあとに遺構及び遺跡全体から出土したその他の土器を、時代順に並べた。その他の土器の説明に土器型式名を付記した。その土器型式名の一覧を下に示しておく。

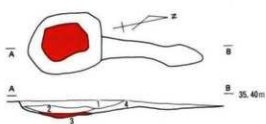
表1 関東地方の主な縄文土器型式一覧

時期	型式名	年代(今より)
草創期	隆起線文 表裏縄文	14,000年前
早期	井草 夏島 稻荷台 花輪台 I・II 東山 平坂 三戸 田戸下層・上層 子母口 野島	9,000年前
	鶏ヶ島台 茅山下層・上層	7,000年前
前期	花積下層 関山 黒浜 諸磯 浮島 興津	5,000年前
中期	五領ヶ台 下小野 阿玉台 I・II・III・IV 勝坂 加曾利 E I・II・III・IV	3,500年前
後期	称名寺 堀之内 加曾利 B 曾谷 安行 I・II	2,500年前
晚期	安行 III 山武姥山 前浦 荒海 杉田	2,000年前



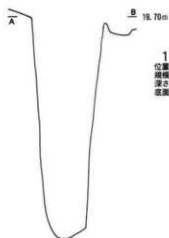
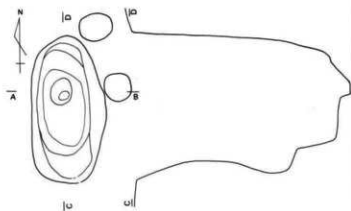
1号炉穴

位置	SF-31-5	層序	1 黒褐色土 (ローム、焼土が混じる)
規模	0.95×0.47m	2 赤色焼土	3 暗褐色土 (ローム粒が混じる)
深さ	0.07m		
火床	よく残っている		



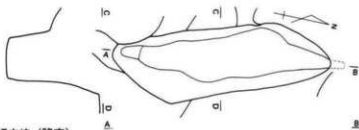
2号炉穴

位置	SF-31-10	層序	1 黒褐色土 (焼土、土割片が混じる)
規模	1.15×0.40m	2 暗褐色土 (焼土が多く混じる)	3 赤色焼土
深さ	0.11m	4 暗褐色土 (ロームが混じる)	
火床	よく残っている		



1号縄文坑 (陥穴)

位置	SF-23-8
規模	1.95×1.00m
深さ	2.90m
底面	小穴有り



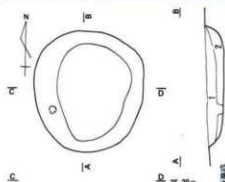
2号縄文坑 (陥穴)

位置	SF-22-1
規模	2.90×0.85m
深さ	1.16m
底面	凹溝がえぐれる

34.60m



図1 縄文時代の遺構①



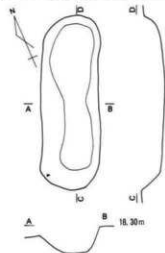
3号縄文坑 (土壇基か)

位置 SF-31-25
規模 1.60×1.46m
深さ 0.22m
底面 平坦
出土遺物 土器片、鮫石
層序
1 黒色土 (焼土、ロームが少し混じる)
2 黒褐色土 (



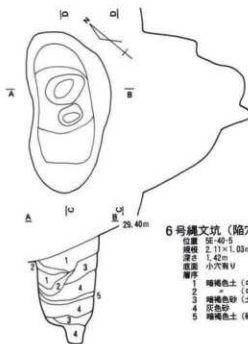
4号縄文坑 (陥穴)

位置 SF-21-2
規模 1.35×0.70m
深さ 1.30m
底面 小穴有り



5号縄文坑

位置 SF-21-2
規模 2.35×0.76m
深さ 0.35m
底面 平坦



6号縄文坑 (陥穴)

位置 SF-40-5
規模 2.11×1.03m
深さ 1.42m
底面 小穴有り
層序
1 暗褐色土 (ロームが混じる)
2 暗褐色土 (ローム、砂が混じる)
3 暗褐色砂 (土が混じる)
4 灰色砂
5 暗褐色土 (砂が混じる)



図2 縄文時代の遺構②

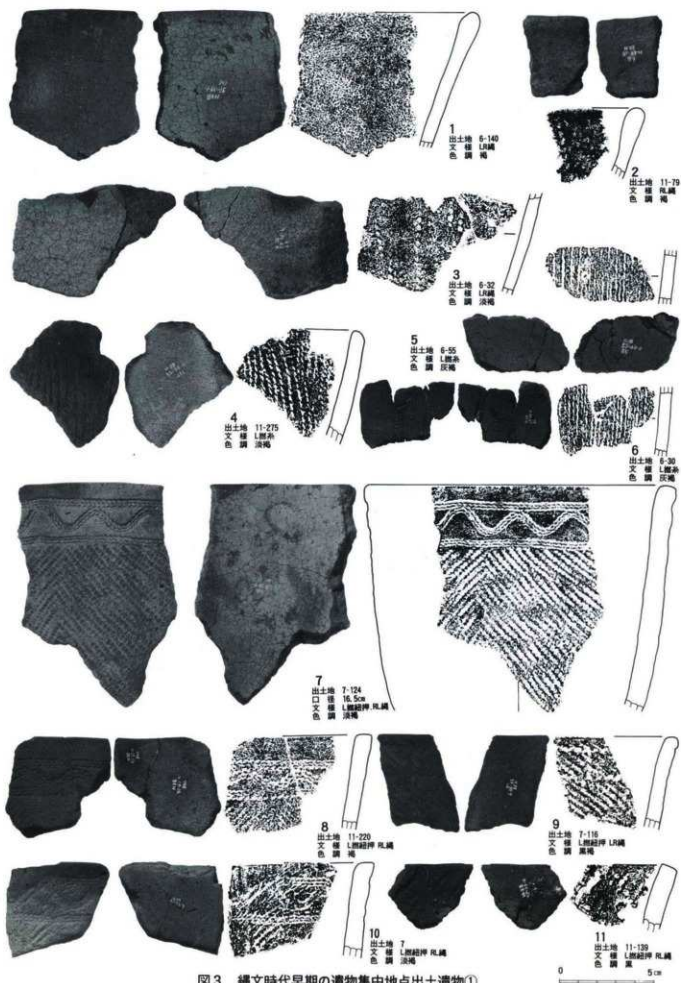


図3 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物①

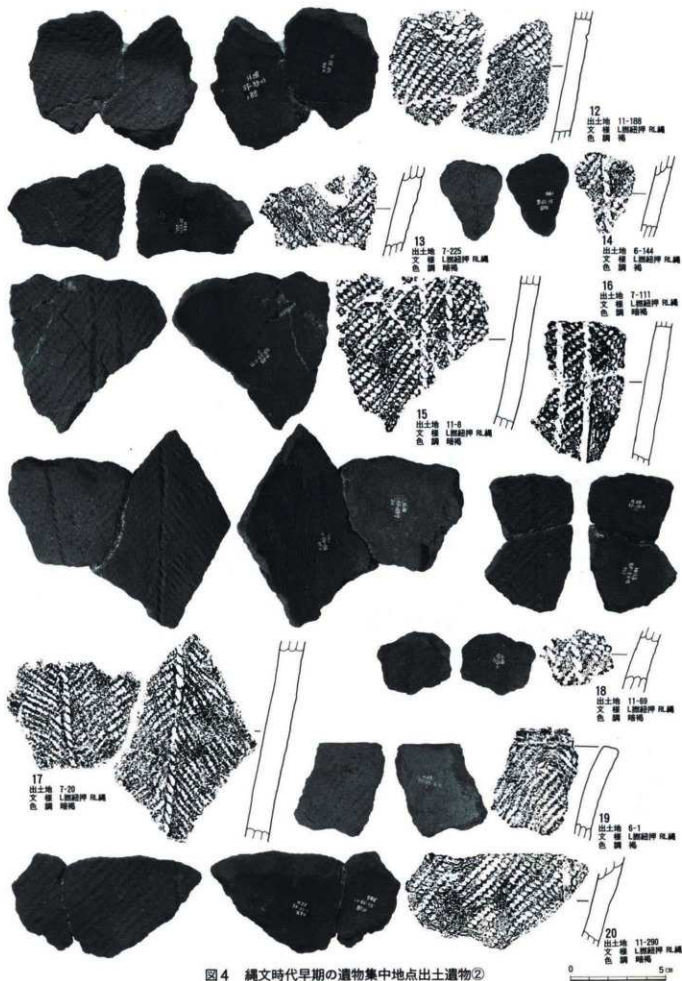


図4 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②

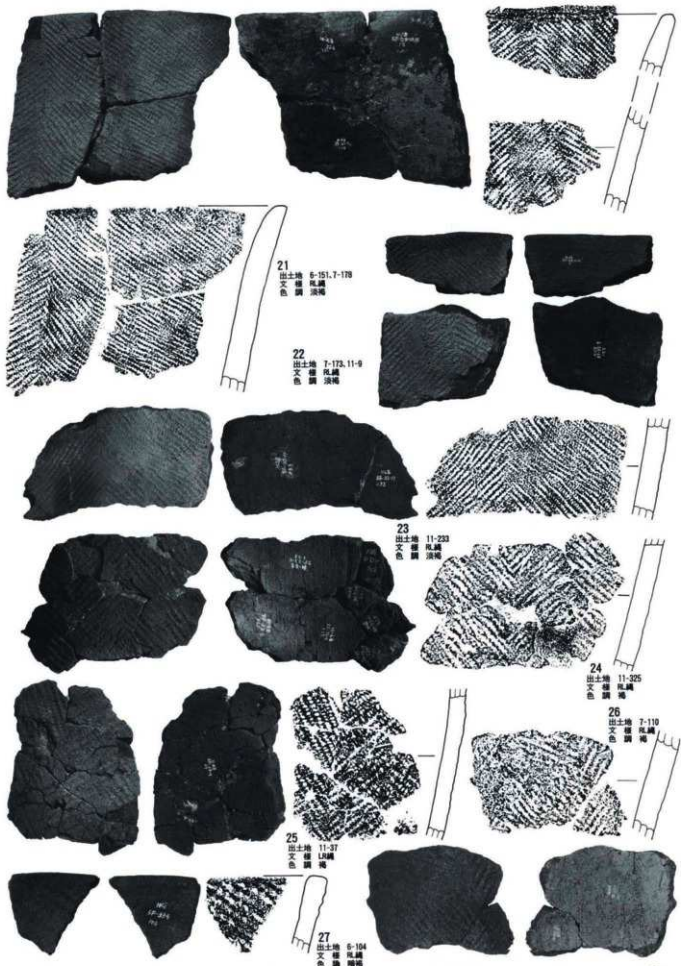


図5 縄文時代早期の遺物集申中地点出土遺物③

0 5cm

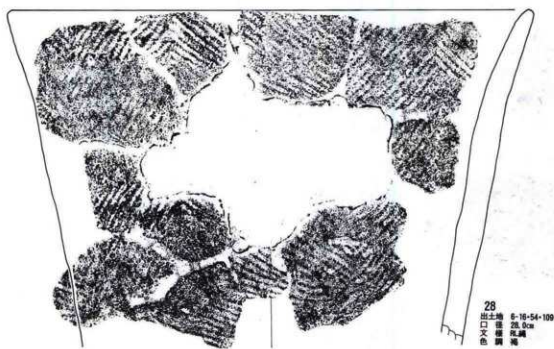
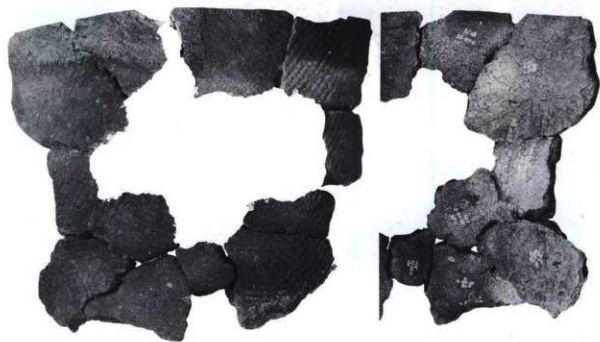


図6 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物④

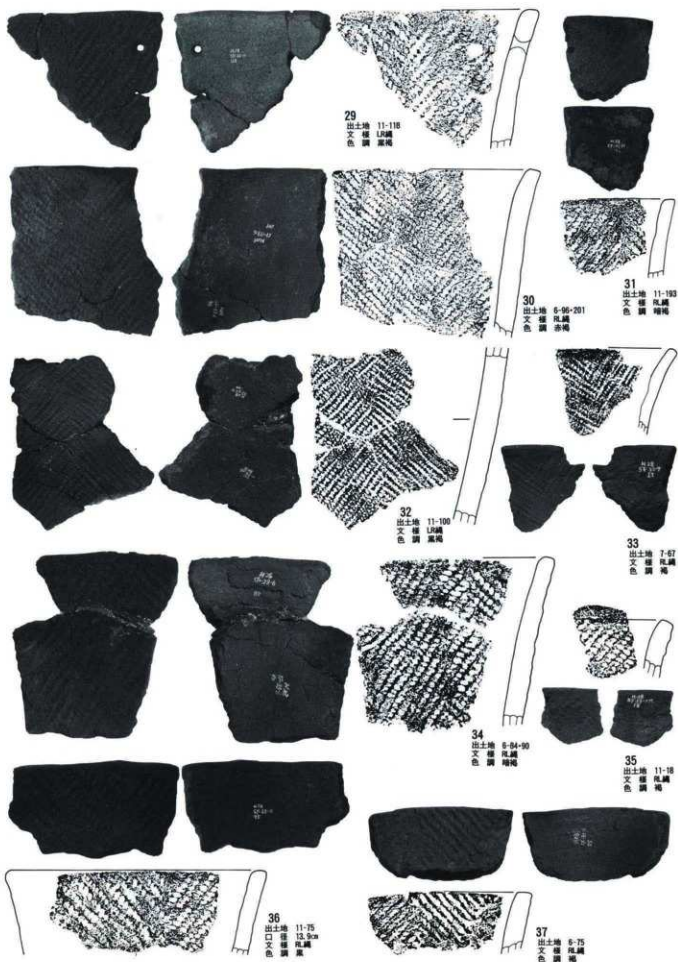


図7 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑤

0 5cm

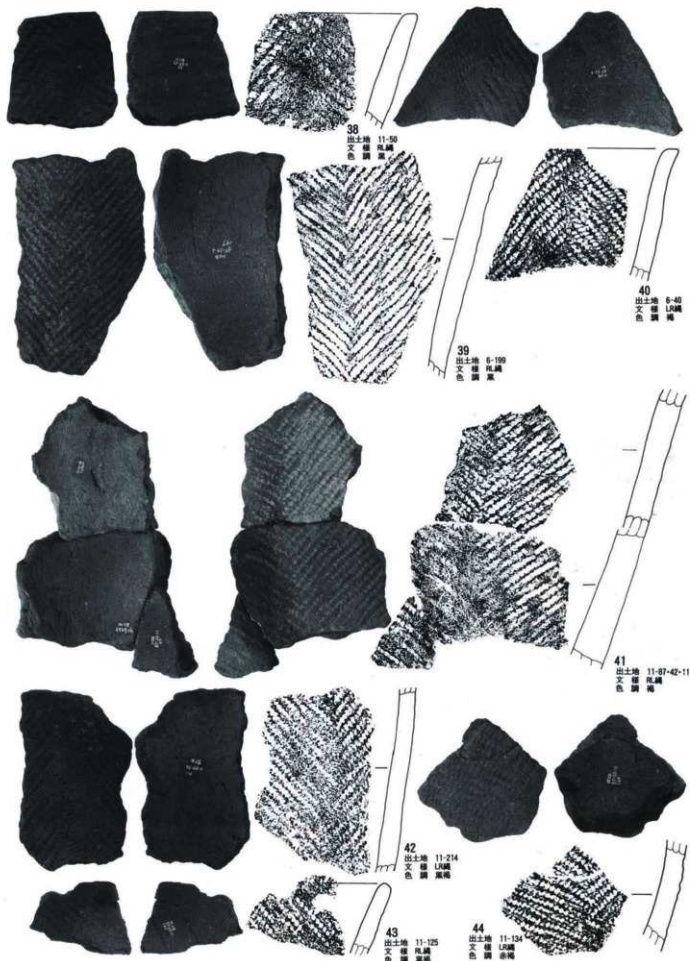


図8 縄文時代早期の遺物集中心地点出土遺物⑥

0 5cm

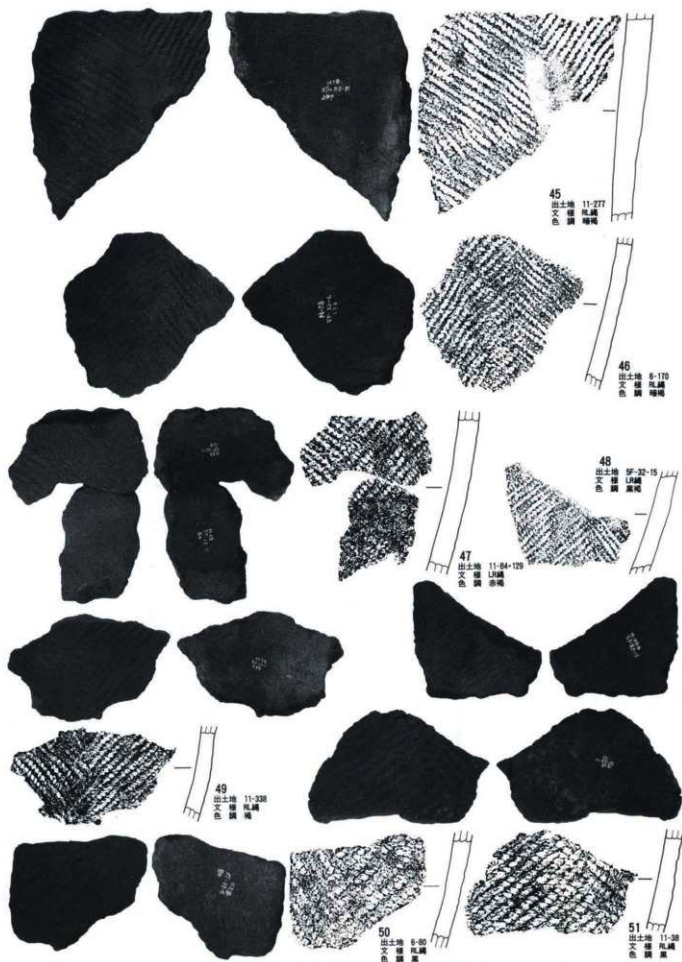


図9 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑦

0 5cm

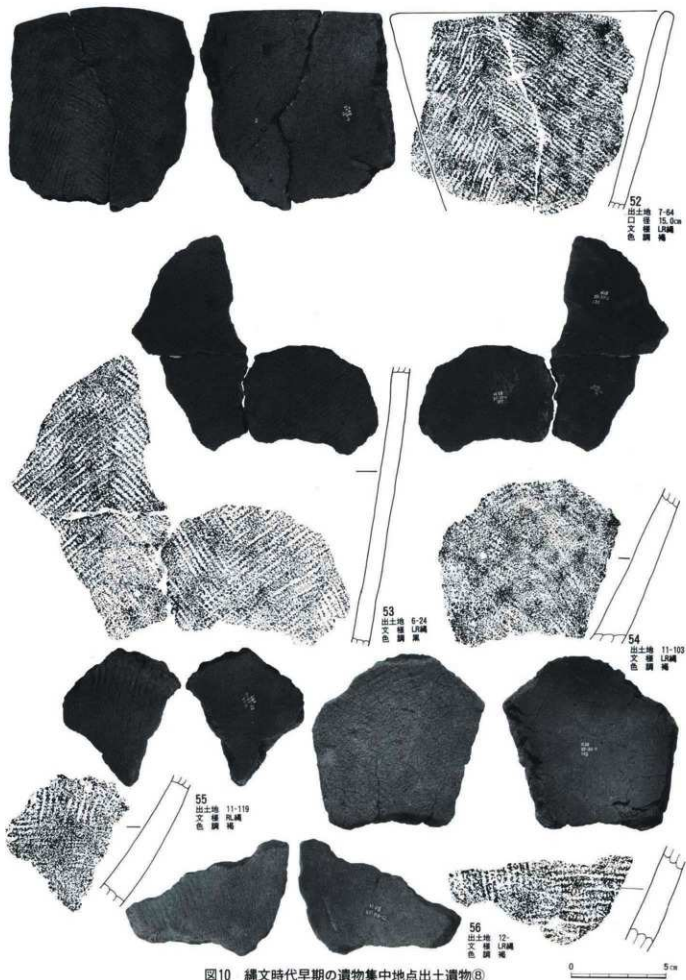


図10 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑧

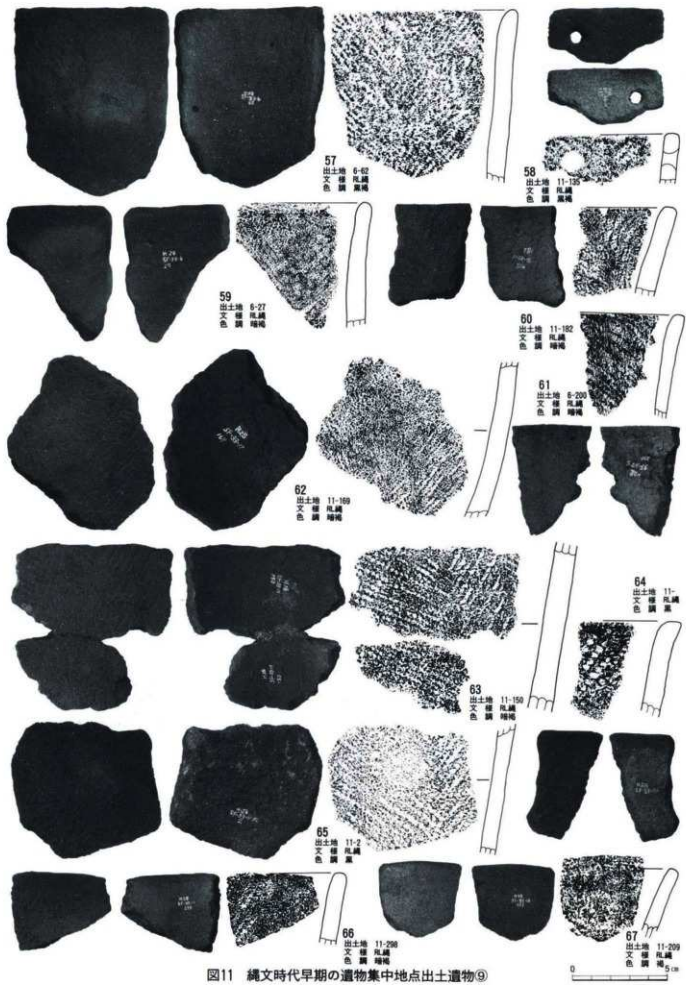


図11 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑨

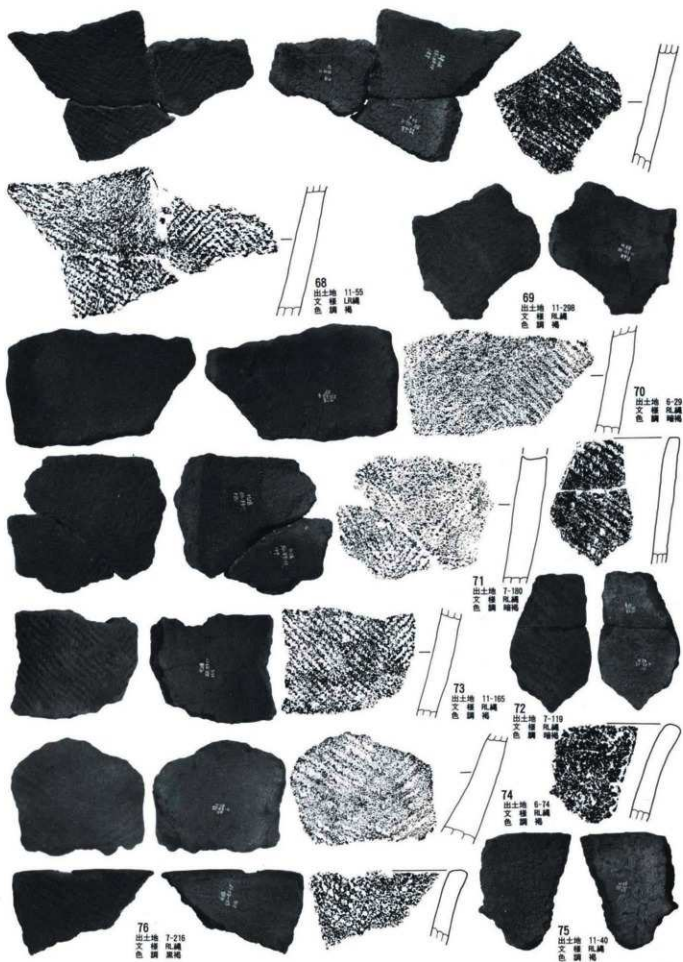


図12 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑩

0 5cm

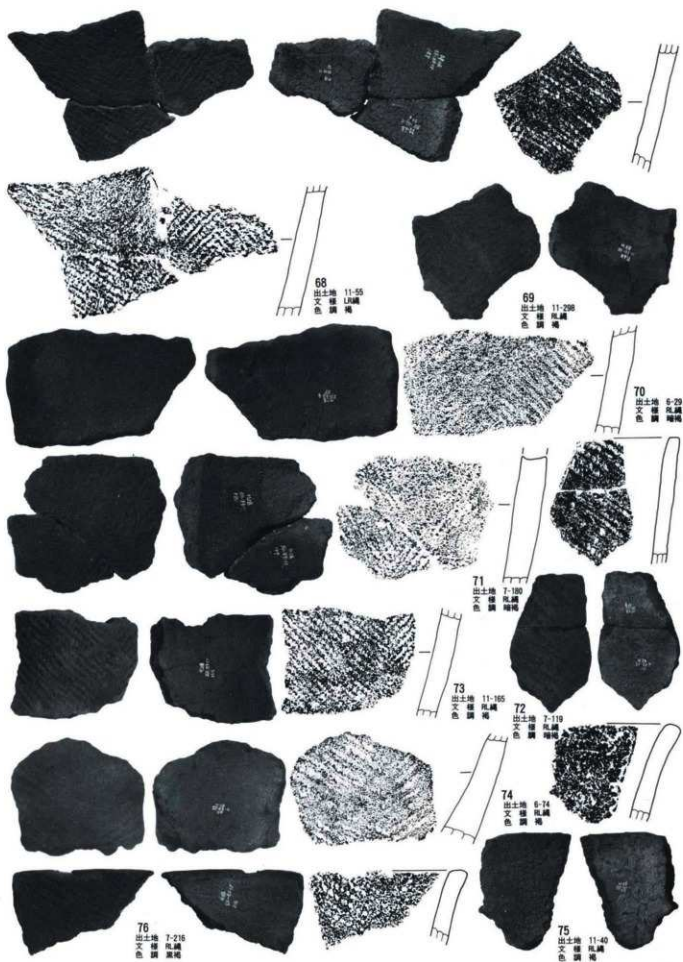


図12 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑩

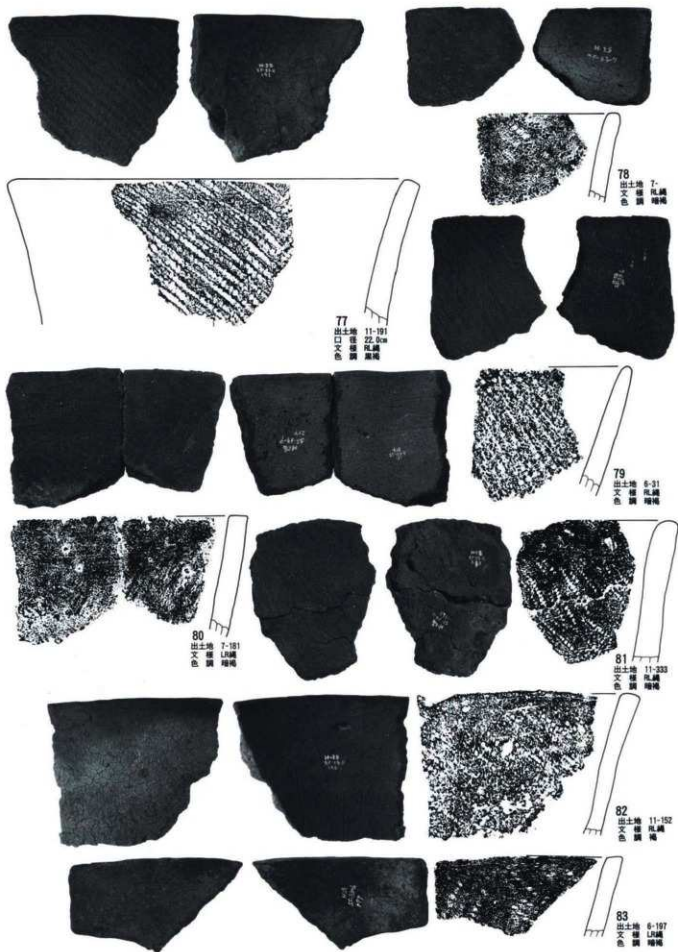


図13 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物①

0 5cm

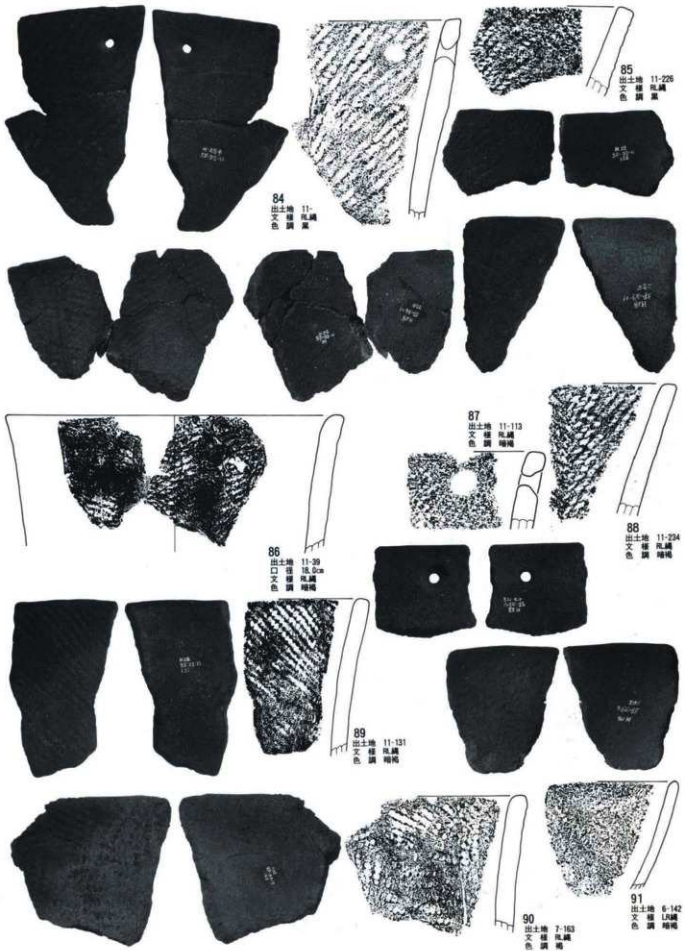


図14 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑫

0 5cm

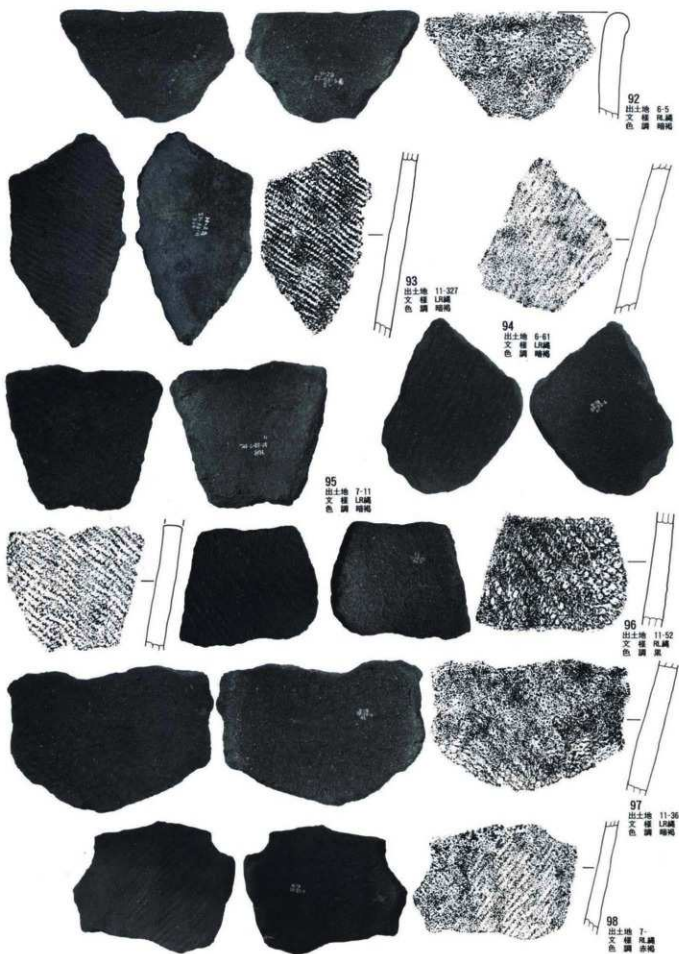


図15 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑬

0 5cm

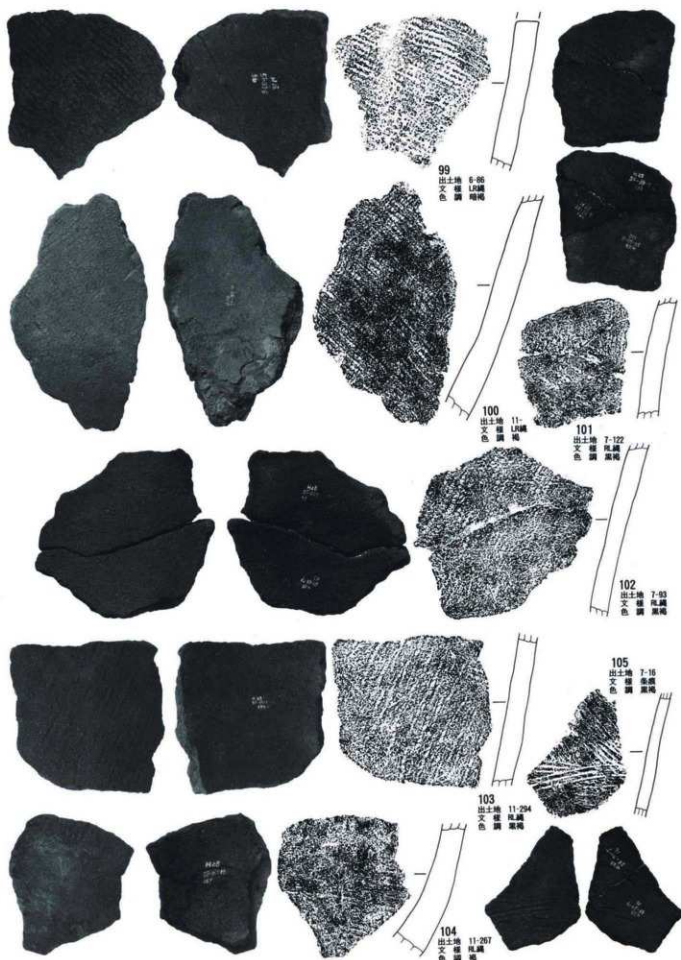


図16 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑭

0 5cm

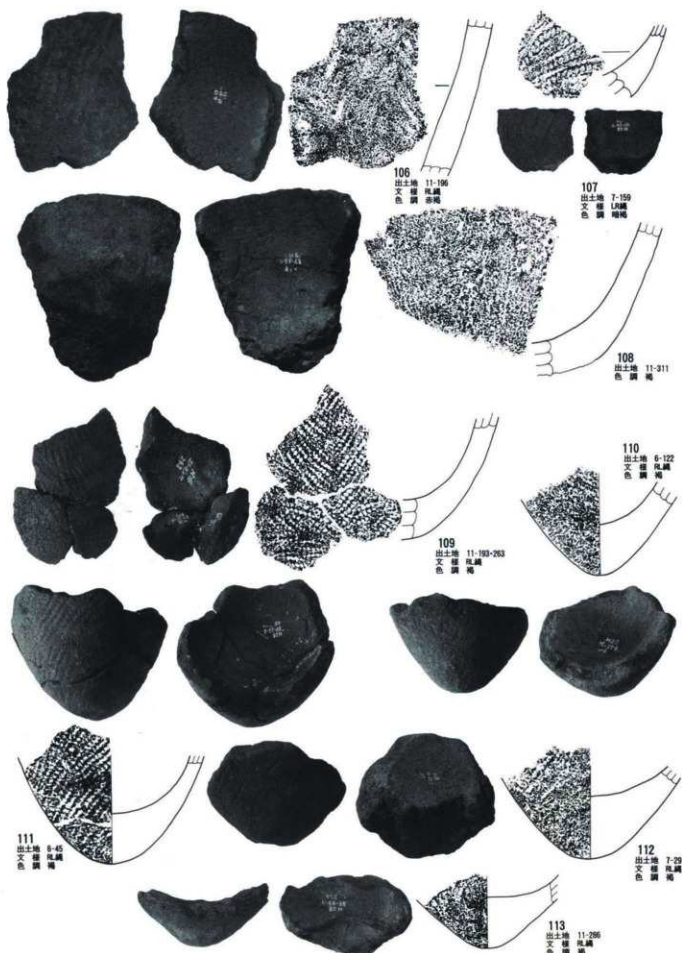


図17 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑮

0 5cm

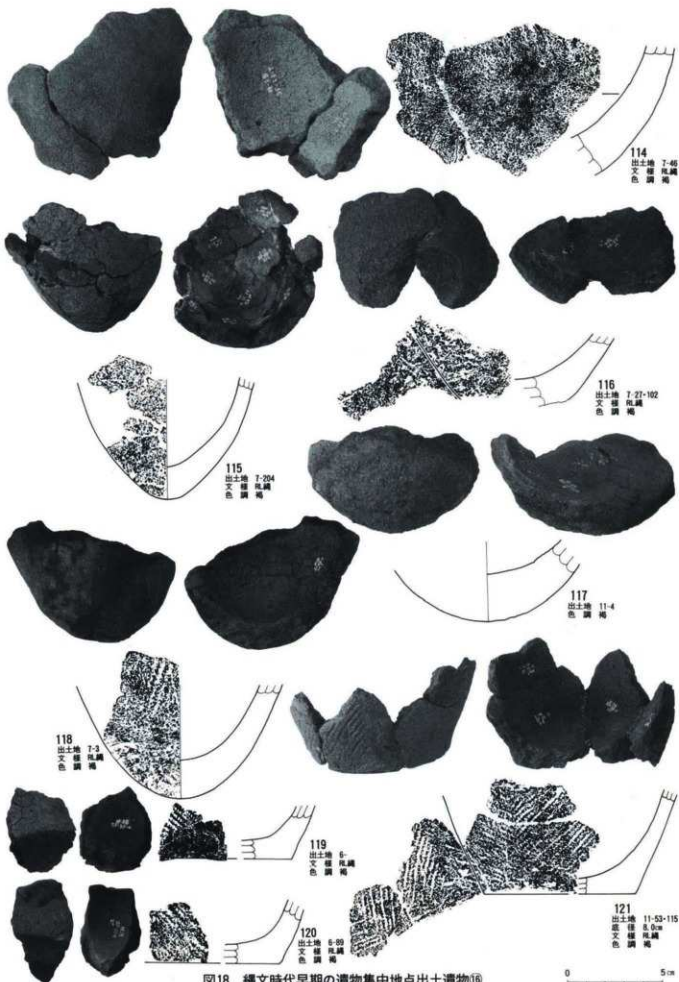
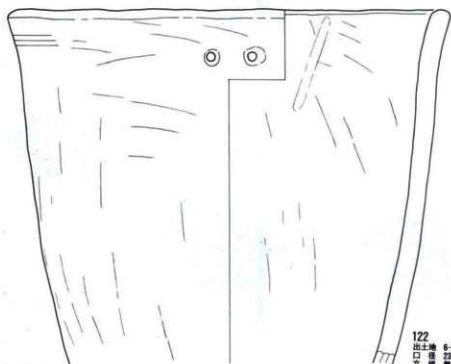
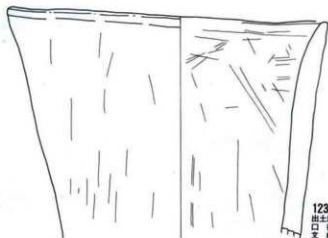


図18 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑩

0 5cm



122
 出土地 6-134-152
 口径 23.5cm
 文様 縹文
 文色 黒



123
 出土地 6-26-11-197
 口径 17.1cm
 文様 縹文
 文色 黒

0 5cm

図19 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物①7

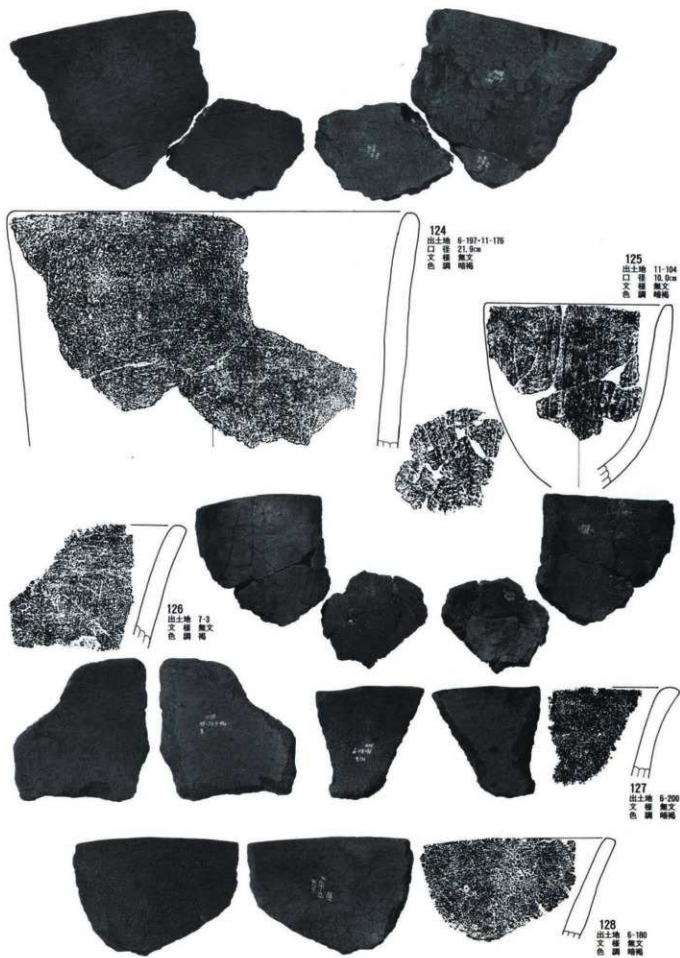


図20 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑯

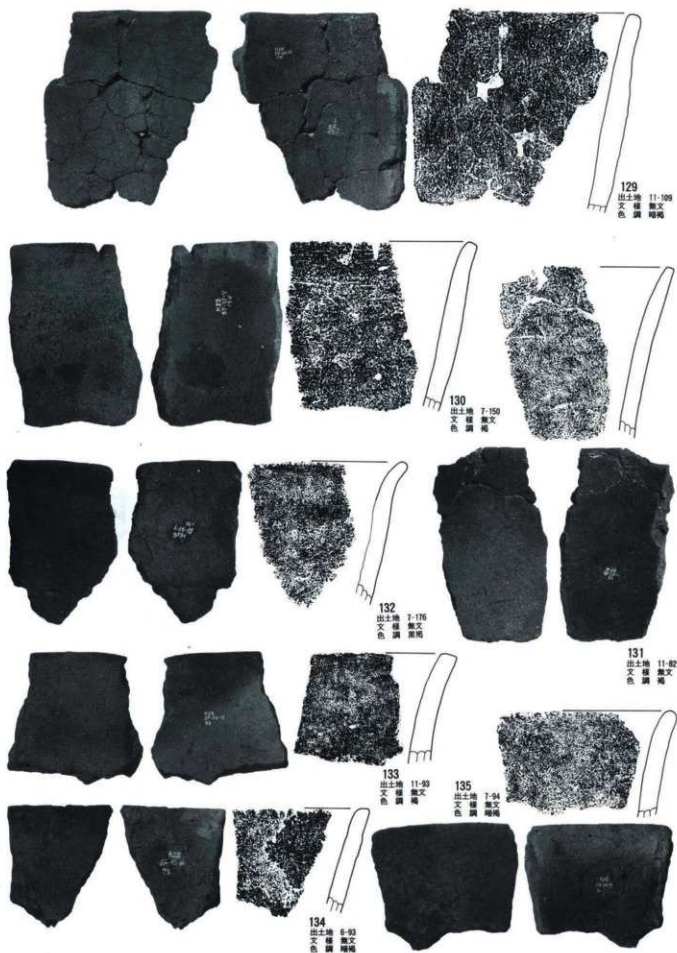


図21 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑩

0 5cm

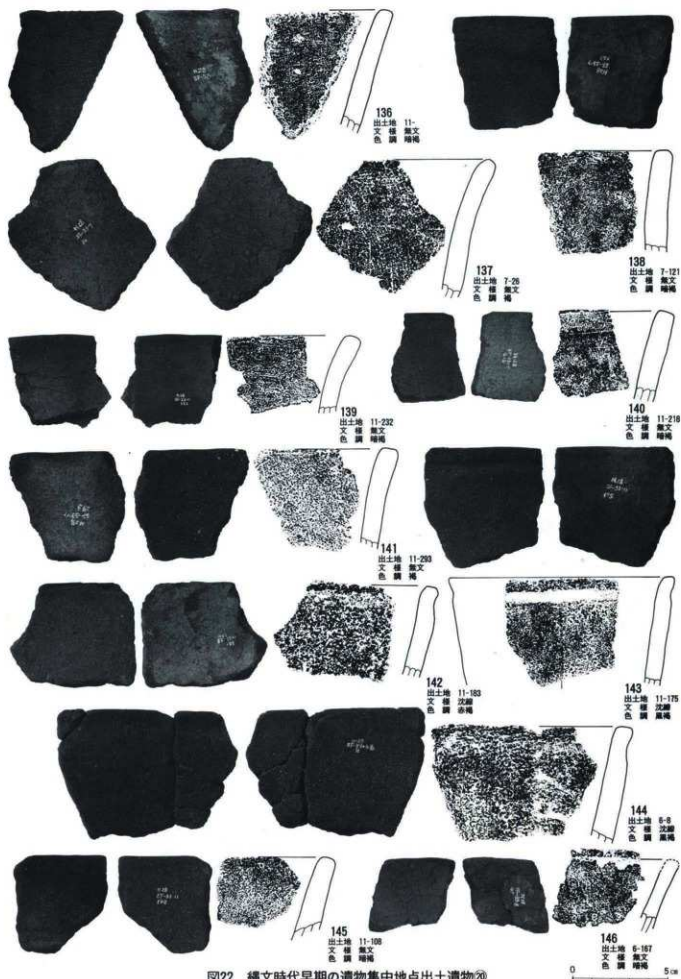


図22 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②

0 5cm

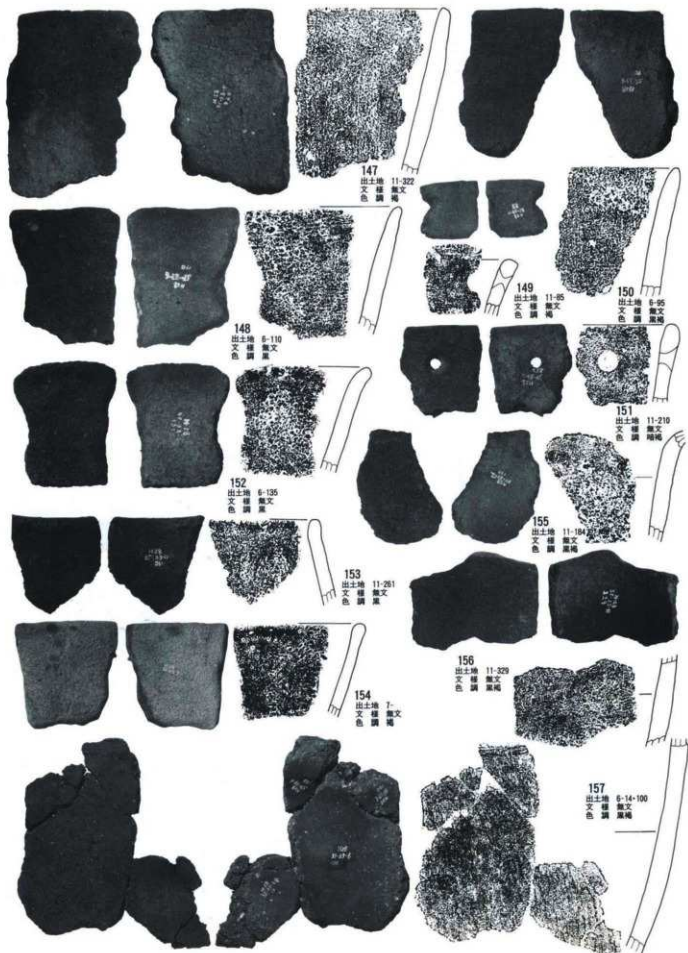


図23 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②

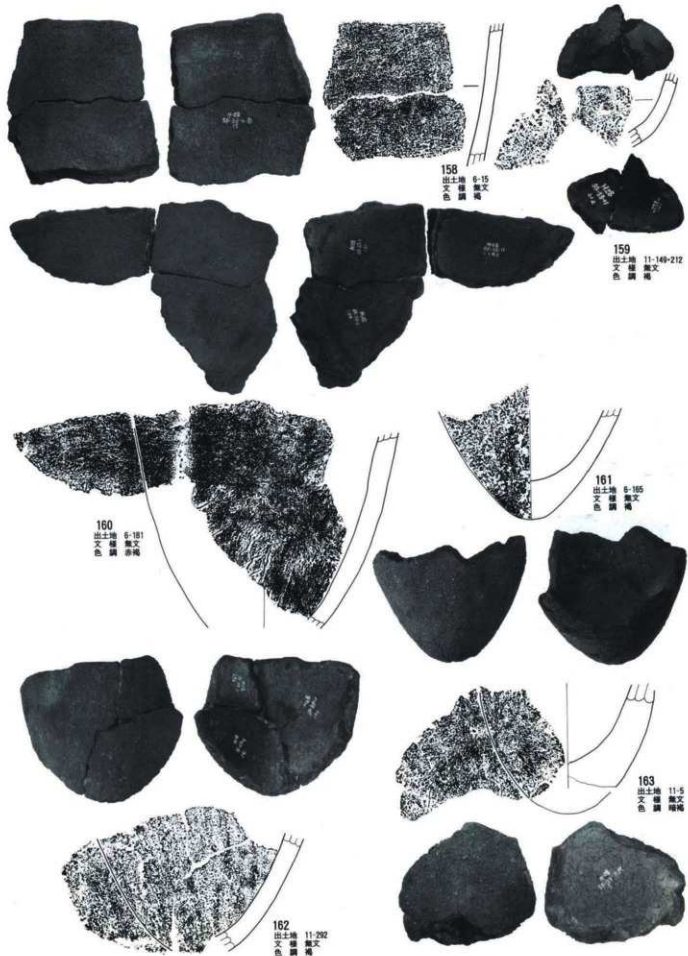


図24 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②

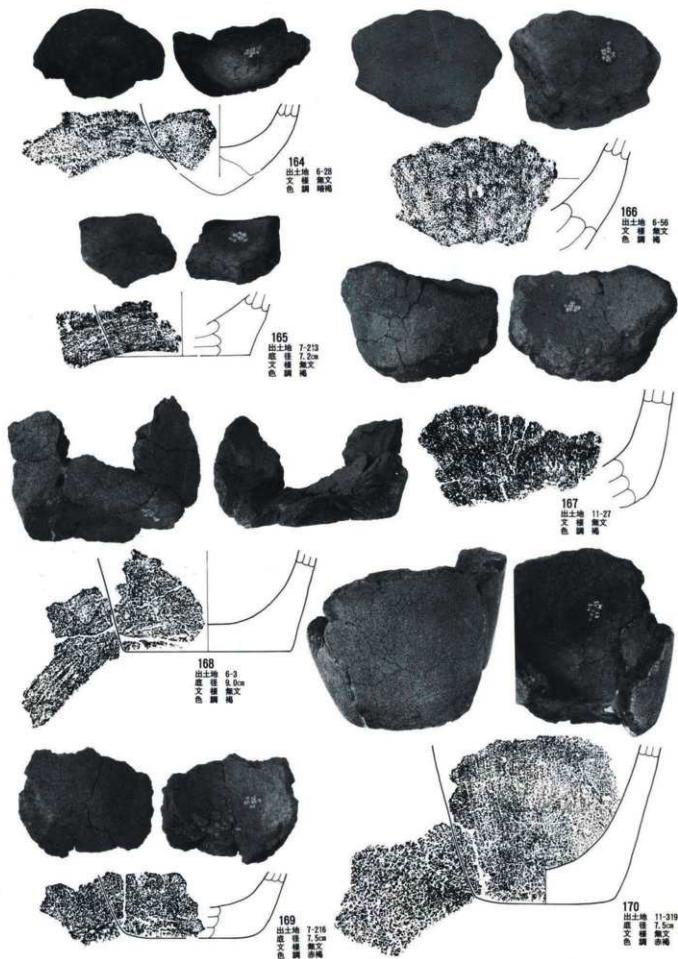


図25 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②

0 5cm

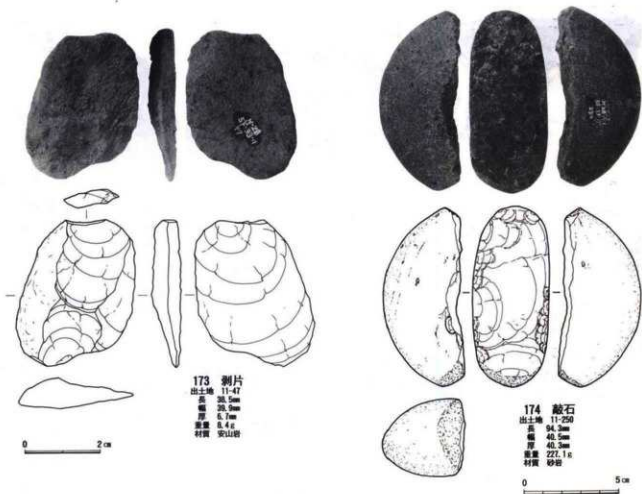
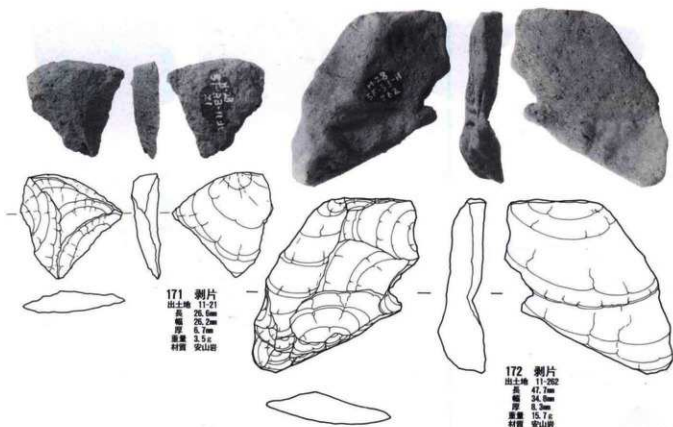


図26 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②

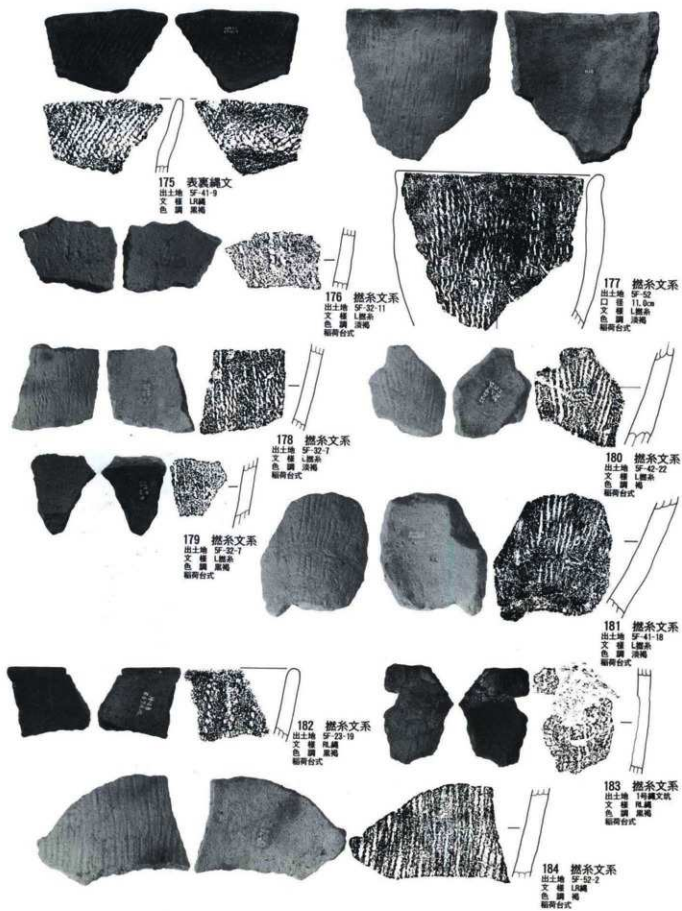


図27 縄文時代の遺物①早期の土器

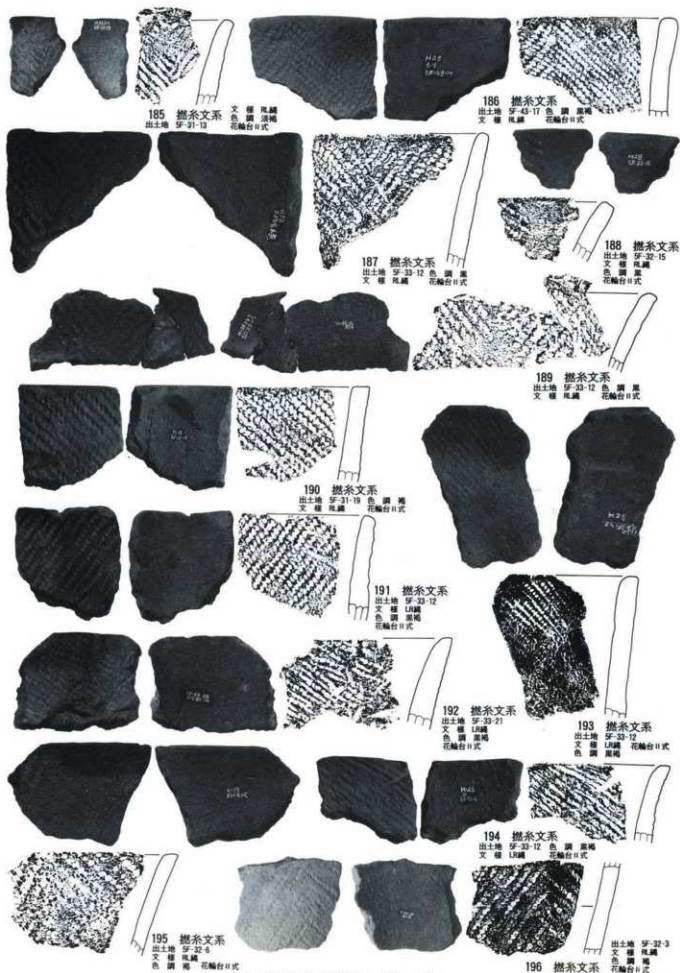


図28 縄文時代の遺物②早期の土器

0 5cm

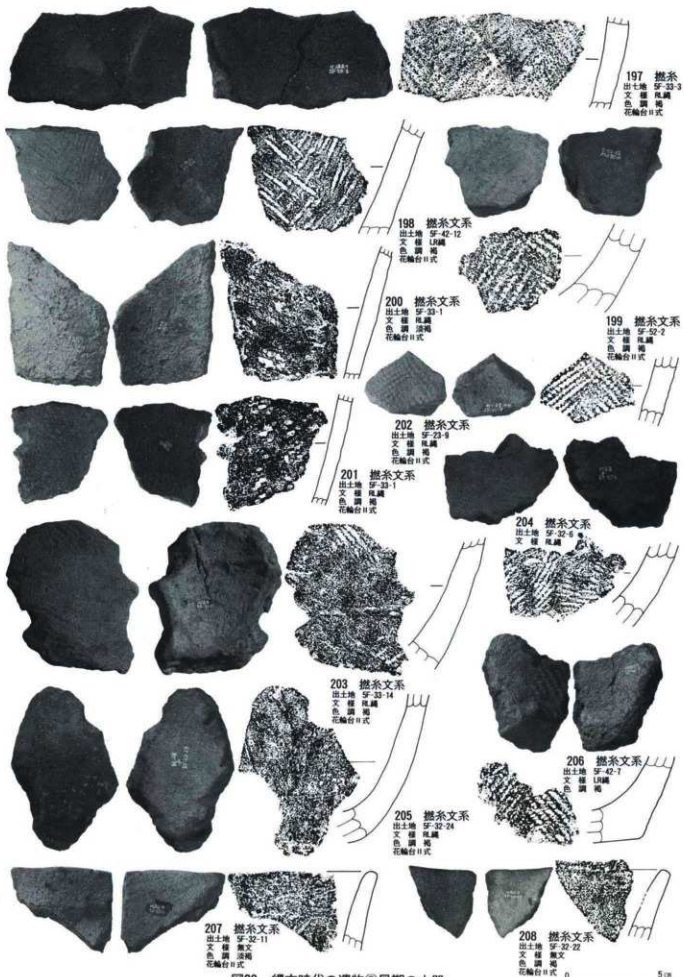
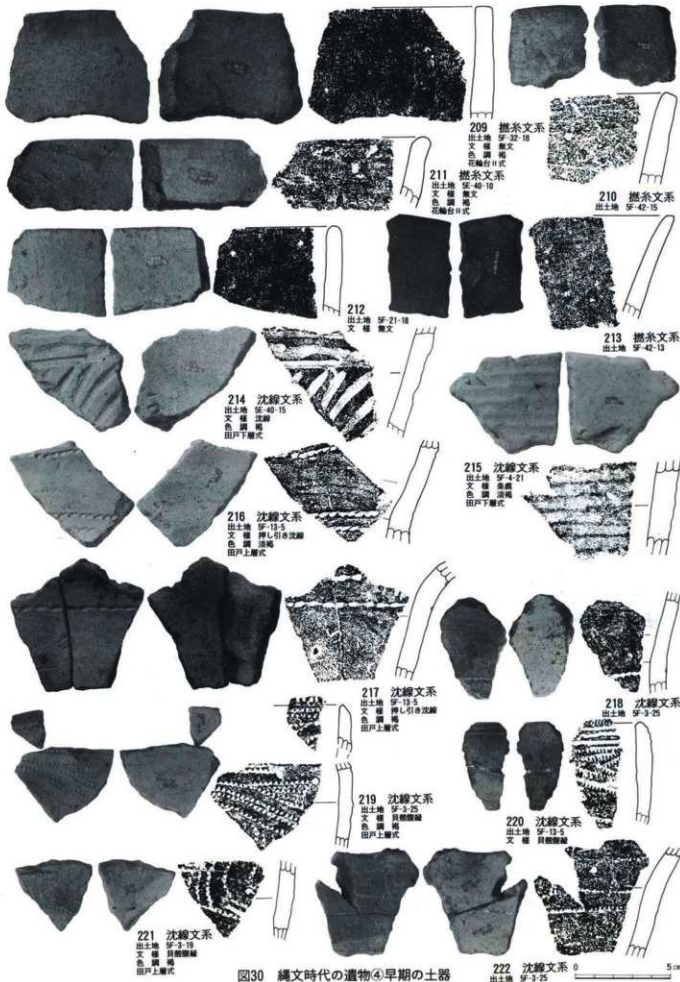


図29 縄文時代の遺物③早期の土器

5cm



209 摺糸文系
出土地 篠原
文 摺糸
色 黒
形輪台口式

211 摺糸文系
出土地 篠原
文 摺糸
色 黒
形輪台口式

210 摺糸文系
出土地 篠原

212 摺糸文系
出土地 篠原
文 摺糸
色 黒

213 摺糸文系
出土地 篠原

214 沈線文系
出土地 田戸
文 沈線
色 黒
形田戸下層式

216 沈線文系
出土地 田戸
文 沈線
色 黒
形田戸上層式

215 沈線文系
出土地 田戸
文 沈線
色 黒
形田戸下層式

217 沈線文系
出土地 田戸
文 沈線
色 黒
形田戸上層式

218 沈線文系
出土地 田戸
文 沈線
色 黒
形田戸上層式

219 沈線文系
出土地 田戸
文 沈線
色 黒
形田戸上層式

220 沈線文系
出土地 田戸
文 沈線
色 黒
形田戸上層式

221 沈線文系
出土地 田戸
文 沈線
色 黒
形田戸上層式

222 沈線文系
出土地 田戸

5cm

図30 縄文時代の遺物④早期の土器

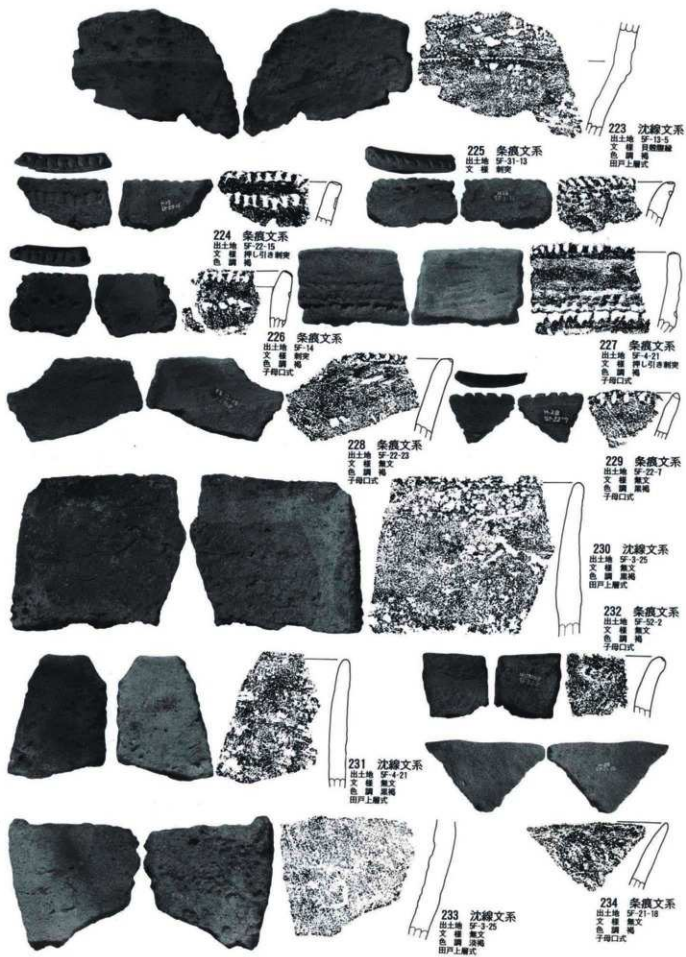


図31 縄文時代の遺物⑤早期の土器

0 5cm

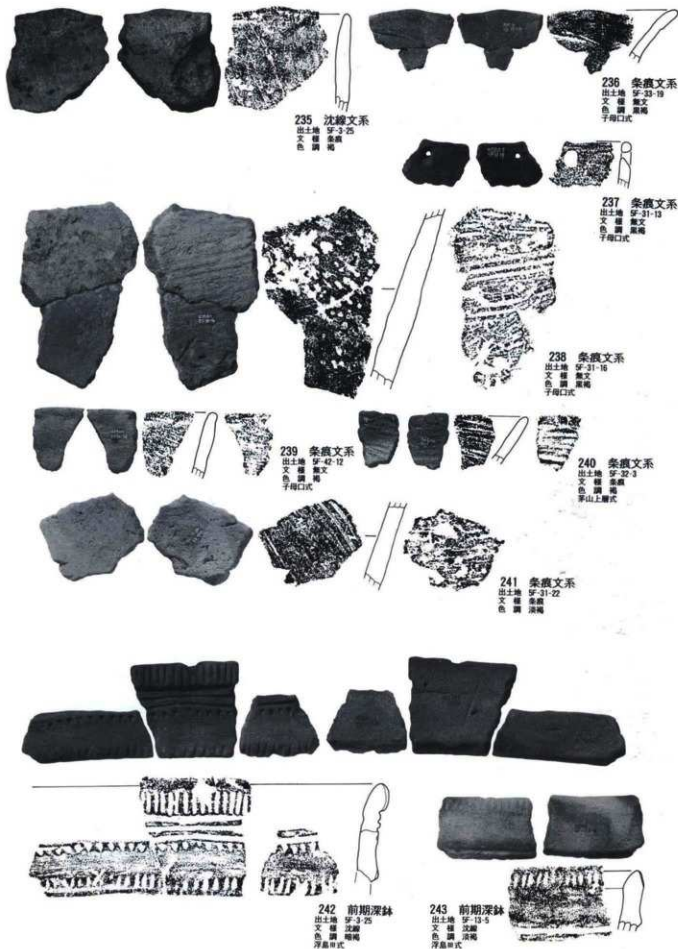


図32 縄文時代の遺物⑥早・前期の土器

0 5cm

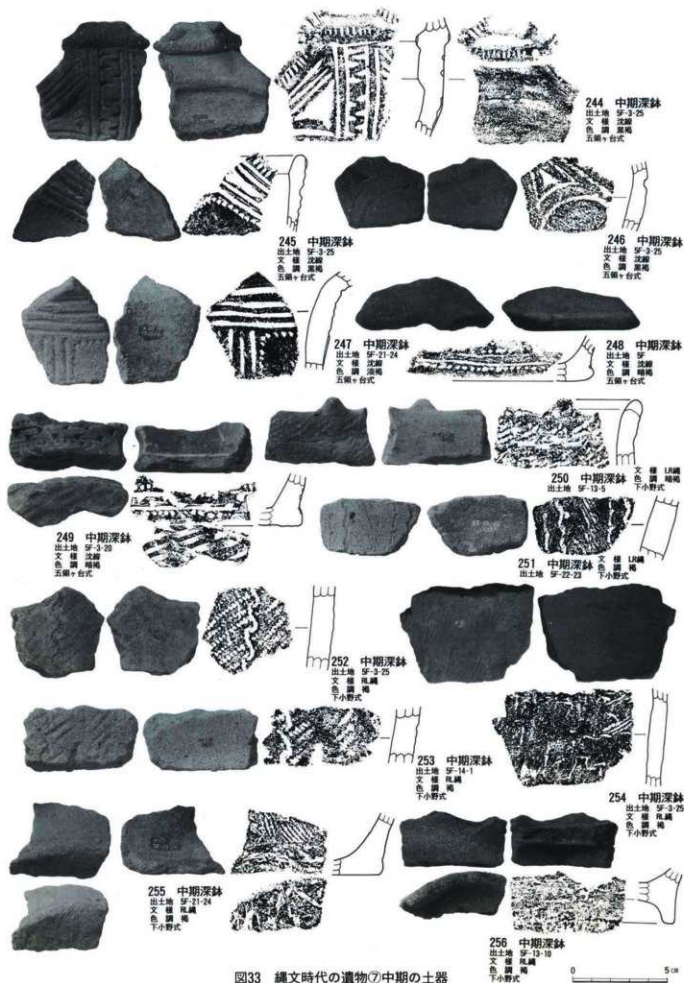


図33 縄文時代の遺物⑦中期の土器

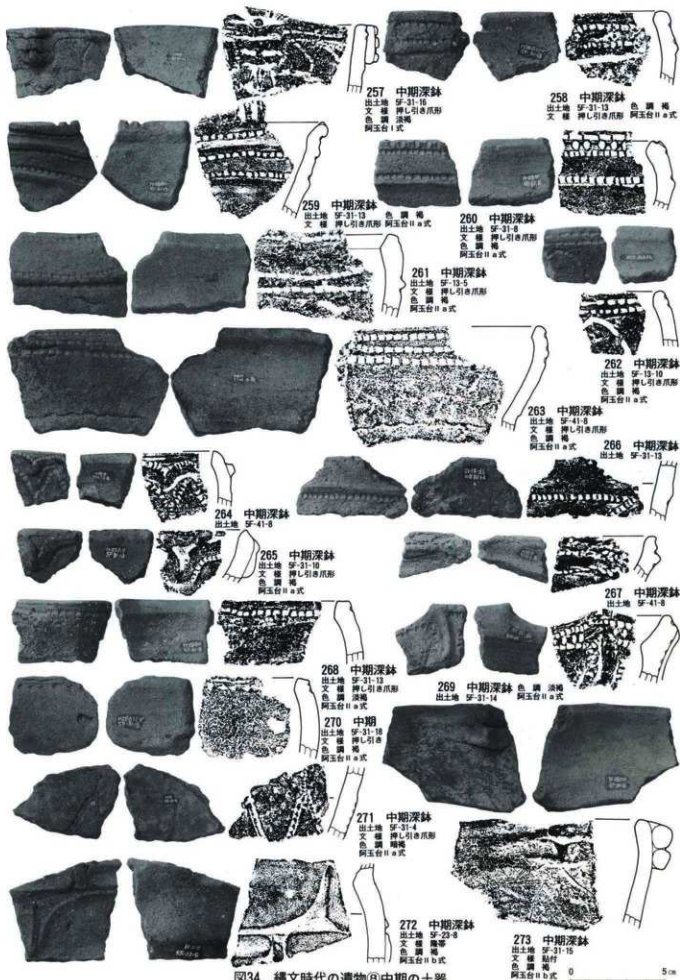


図34 縄文時代の遺物⑧中期の土器

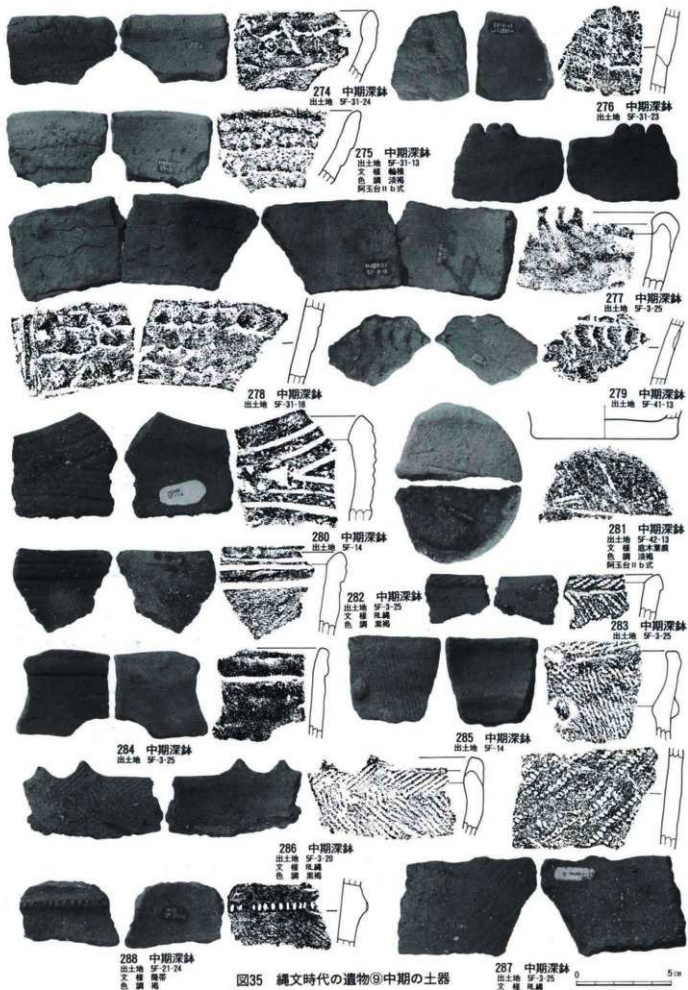


図35 縄文時代の遺物⑨中期の土器

287 中期深鉢
出土地 SF-3-25
文様 縦縞

0 5cm

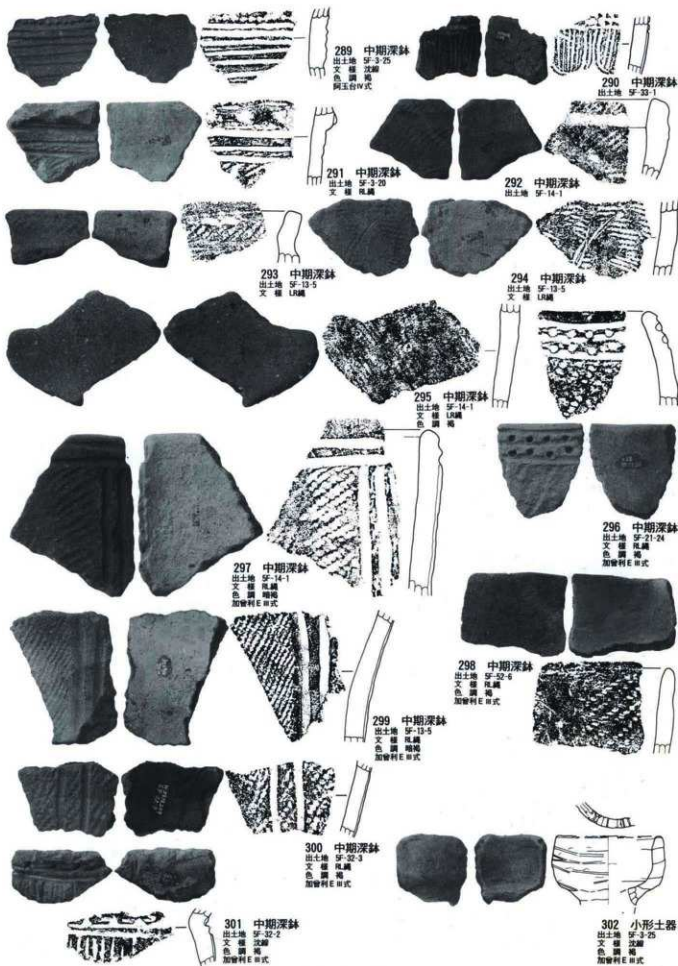


図36 縄文時代の遺物⑩中期の土器

0 5cm

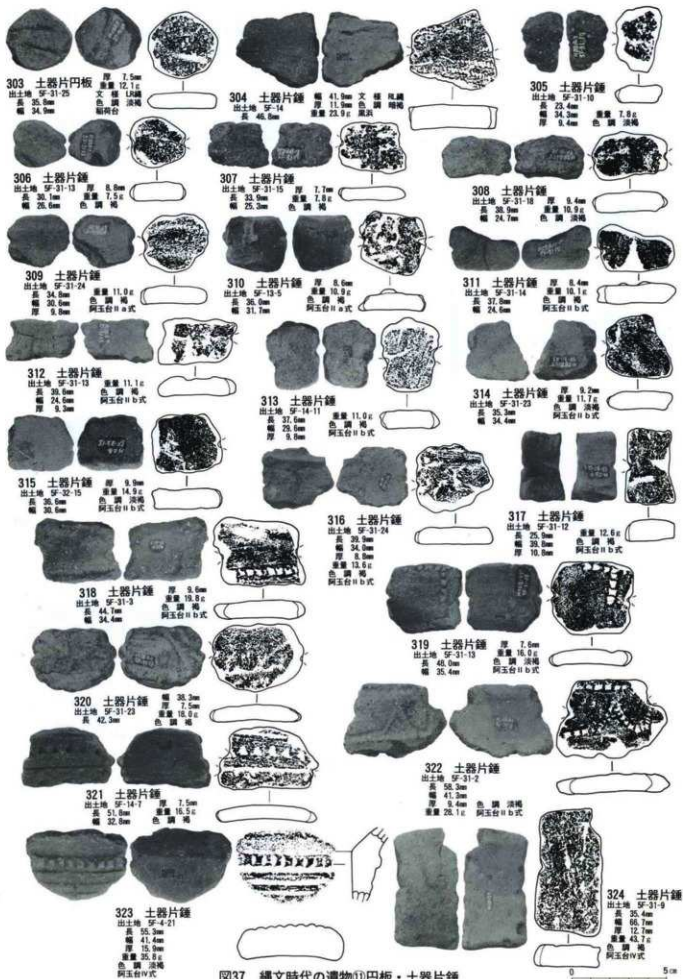


図37 縄文時代の遺物①円板・土器片鉢

0 5cm

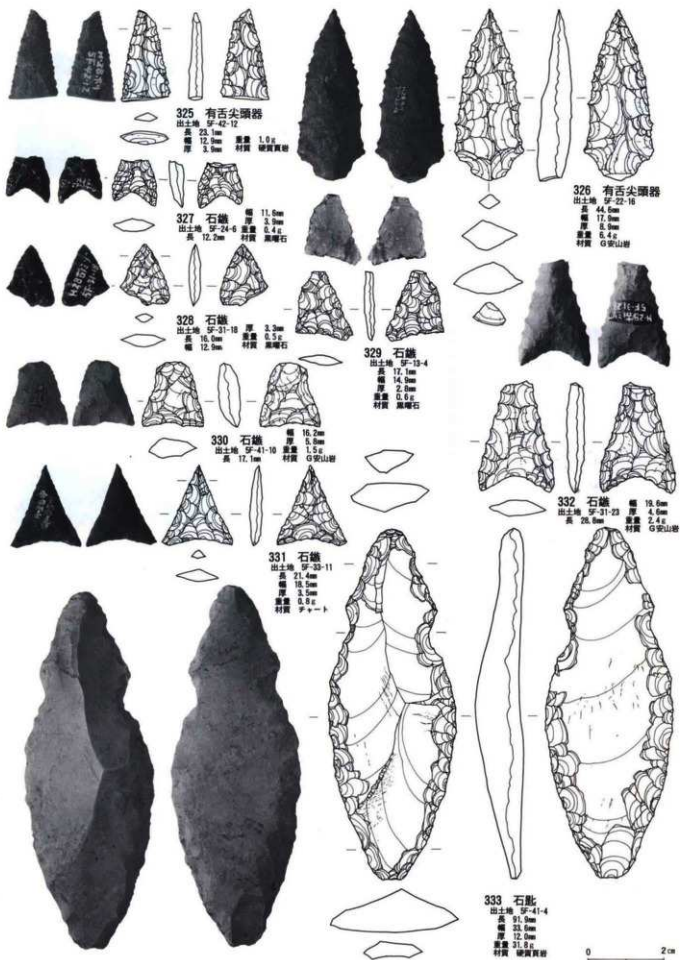
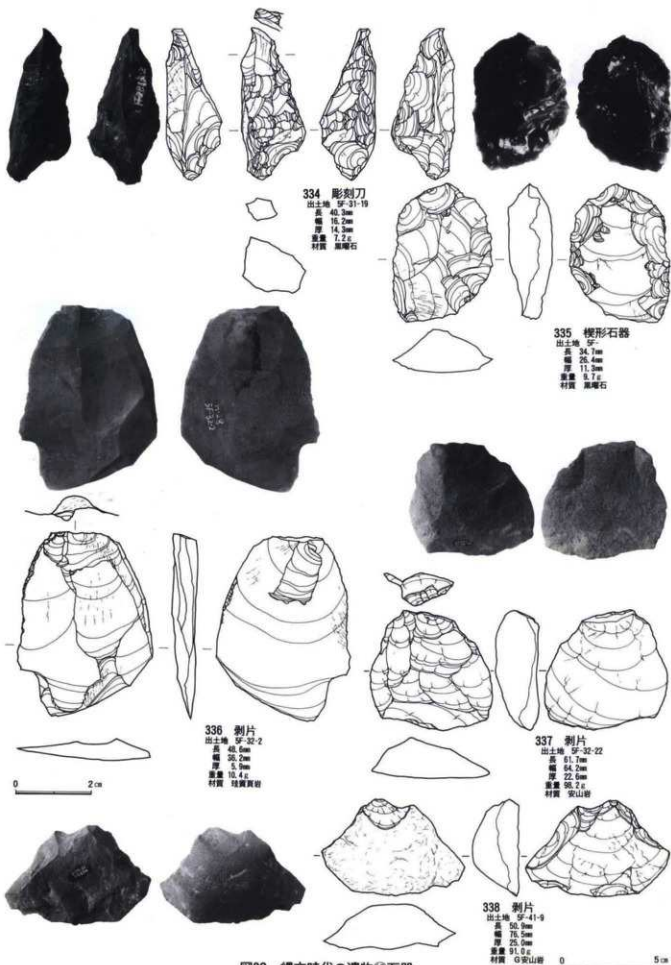


図38 縄文時代の遺物⑫石器



334 彫刻刀
 出土地 芽-31-19
 高 40.3mm
 幅 16.2mm
 厚 14.3mm
 重量 7.2g
 材質 黒曜石

335 楔形石器
 出土地 芽-
 高 34.7mm
 幅 25.4mm
 厚 11.3mm
 重量 9.7g
 材質 黒曜石

336 剥片
 出土地 芽-32-2
 高 48.6mm
 幅 36.2mm
 厚 5.9mm
 重量 10.4g
 材質 珪質頁岩

337 剥片
 出土地 芽-32-22
 高 61.7mm
 幅 64.2mm
 厚 22.6mm
 重量 98.2g
 材質 安山岩

338 剥片
 出土地 芽-41-9
 高 52.9mm
 幅 75.5mm
 厚 25.5mm
 重量 81.0g
 材質 G安山岩

図39 縄文時代の遺物⑬石器

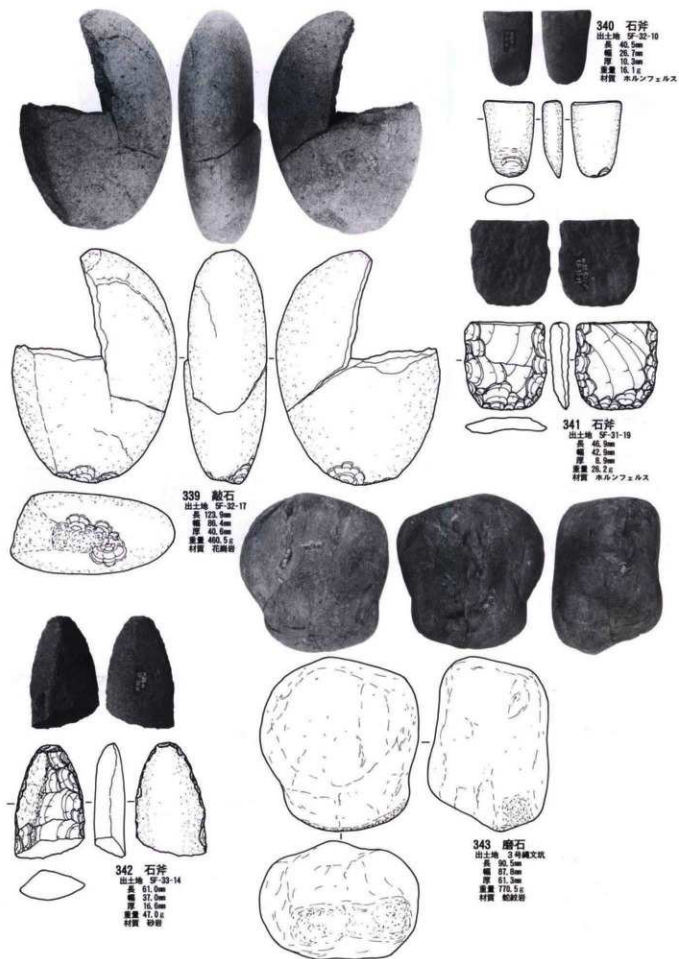
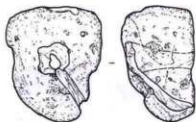
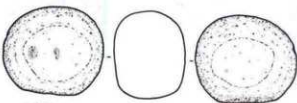


図40 縄文時代の遺物⑭石器

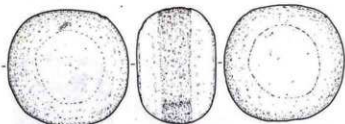




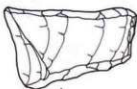
344 浮子
 出土地 5F-41-18
 高 63.9mm
 幅 52.5mm
 厚 38.2mm
 重量 19.5g
 材質 輝石



345 磨石
 出土地 5F-42-19
 高 53.7mm
 幅 48.5mm
 厚 37.3mm
 重量 155.1g
 材質 安山岩



346 磨石
 出土地 5F-41-3
 高 63.9mm
 幅 61.4mm
 厚 43.2mm
 重量 285.3g
 材質 安山岩

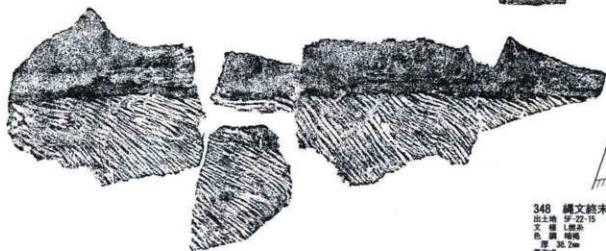


347 石核
 出土地 5F-32-15
 高 51.6mm
 幅 74.4mm
 厚 39.1mm
 重量 106.5g
 材質 安山岩

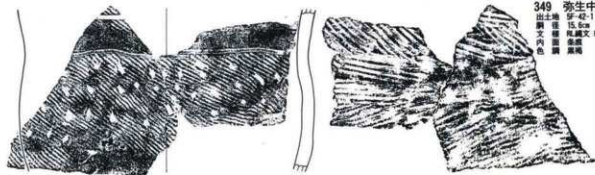


図41 縄文時代の遺物の石器





348 縄文終末期の土器
 出土地 茅-22-15
 文様 1線糸
 色 黒
 厚 38.2mm
 煎海式



349 弥生中期初頭の土器
 出土地 茅-42-1
 器型 15.5cm
 文様 乱縄文 割突 2線
 内色 赤褐色
 煎海式

図42 縄文時代と弥生時代をつなぐ土器

0 5cm

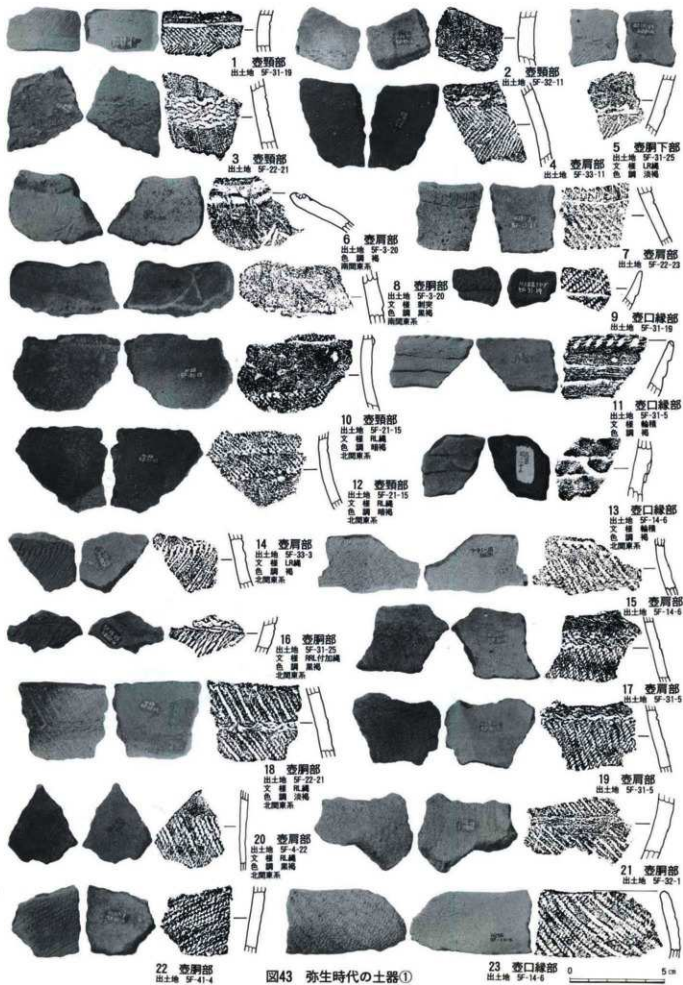


図43 弥生時代の土器①

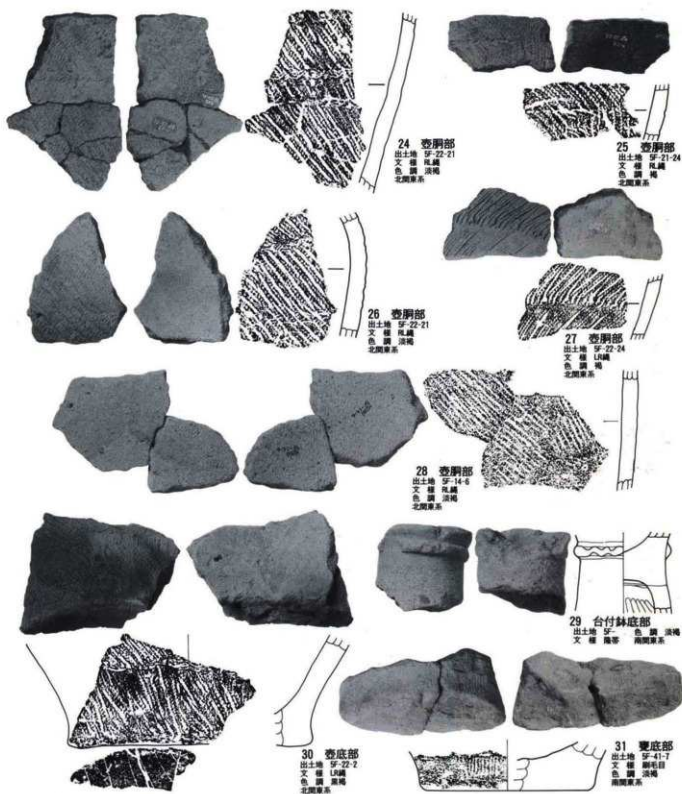


図44 弥生時代の土器②

0 5cm

2. 古墳時代

城山遺跡の古墳時代の遺構は、住居跡・古墳・墓坑など、それぞれわずかながらある。古墳は墳丘がなく、発掘によって周溝を検出し、その存在が明らかになった。

以下、古墳時代の資料編図の凡例を記す。

1. 住居跡と墓坑の実測図縮尺は50分の1で、古墳の実測図縮尺は100分の1である。
2. 住居跡実測図の赤色部分は、炉跡と覆土中の焼土を示す。
3. 遺構実測図の断面図に記した数値は、その線上の標高である。
4. 遺構の説明は、それぞれの実測図のわきに記した。
5. 遺構の写真はそれぞれの実測図のわきに添付したが、古墳は本編に掲載したので、資料編では省いた。
6. 1号墓は、本編に掲載した。
7. 古墳平面図の黒色線は遺構の形状線を示し、茶色線は等高線をあらわす。

8. 古墳平面図の下図は、断面を連続的に並べて、それに遺構形状線を重ねたもので、古墳を東斜め上から見たような鳥瞰図である。黒色線は遺構形状線、茶色線は断面を示す。
9. 2号墓の茶色線は、石棺材を示す。
10. 遺構の深さは、ローム層直上の遺構確認面からの数値である。
11. 遺構実測図に添付した遺物実測図は、その遺構から出土したものである。
12. 遺物実測図で土器は4分の1、鉄鏃・石製品・土玉等は2分の1、ガラス小玉・土小玉・聚玉・ガラス原棒などは原寸である。
13. 遺物の説明は、実測図のわきに記した。
14. 遺物実測図のわきに、それぞれの写真を添付し、特に杯は側面・内面・底部を載せた。
15. 土器の赤色部分は、器面を赤彩したものである。
16. 土器の器面調整は、特に記さなかったが、下に実測図に表した調整を示しておく。

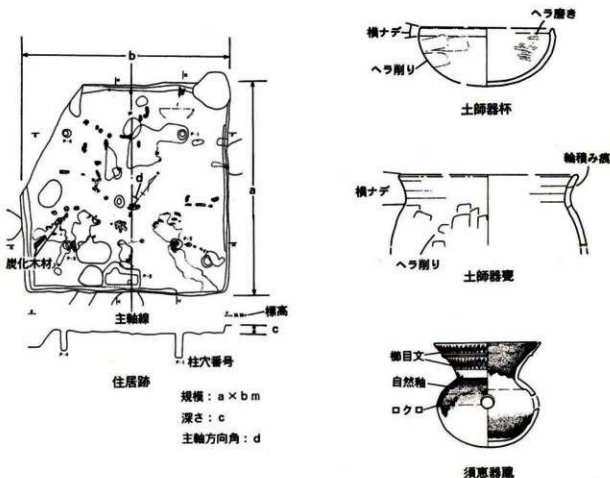
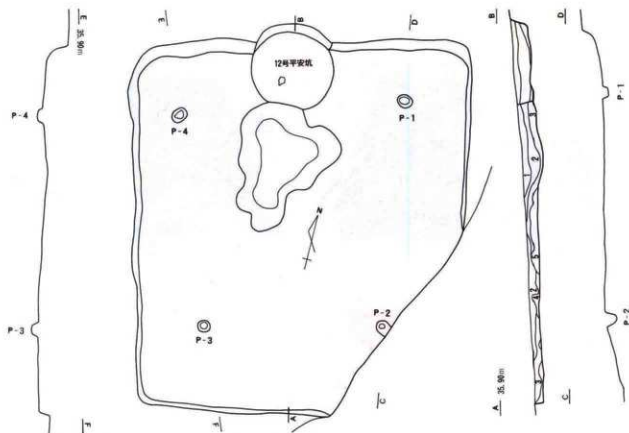


図45 古墳時代凡例



図46 古墳時代の遺構①5号住居跡



2号住居跡

時期 中層
 位置 SF-31-19
 規模 4.90×4.53m
 主軸方向 N-17°-W
 深さ 0.15m
 注 意 全体に亘らなく、凹凸有り
 柱 穴 小さく浅い
 特 徴 遺物など生活の跡が見られない

- 層序
- 1 黒褐色土 (ロームが少し混じる)
 - 2 黒色土 (=)
 - 3 黒褐色土 (ローム、焼土が混じる)
 - 4 暗褐色土 (ロームが混じって、しめる)
 - 5 黒褐色土 (ロームが多く混じる)



9号住居跡

時期 中層
 位置 SF-41-5北
 主軸方向 N-31°-E
 深さ 最大0.15m
 注 意 全体に亘らぬ
 溝 少しく掘けている
 遺 物 土師製瓦片

一部が残っているのみで規模は不明。
 柱穴は検出できません。北壁付近に焼土が
 分布。

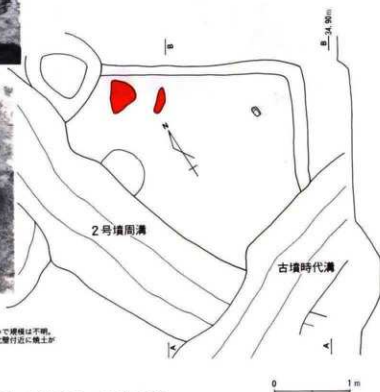
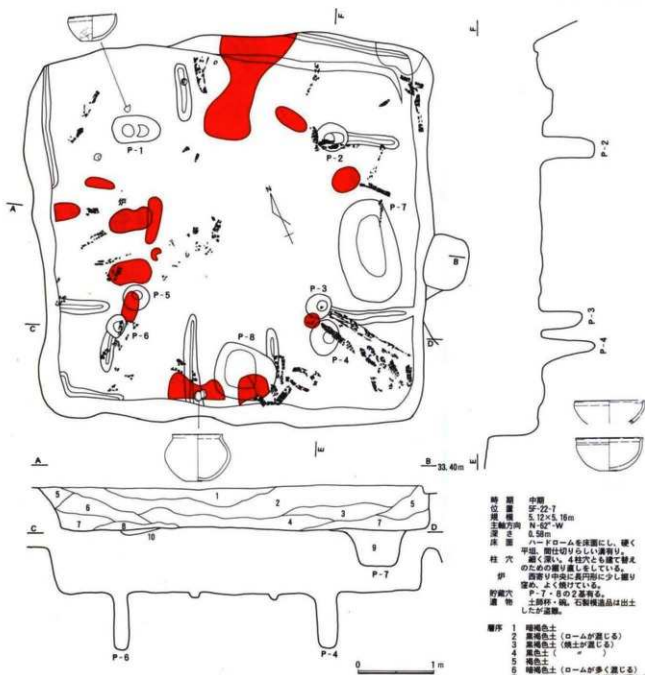


図47 古墳時代の遺構②・9号住居跡



跡 居 中居
 位 置 5F-22-7
 規 模 5.12×5.16m
 主 軸 方 向 N-62°-W
 遺 土 6.50m
 床 面 ハードロームを床面にし、硬く
 平直、凹凸切りらしい痕有り。
 柱 穴 楕円、4柱穴を建て跡え
 のための張り直しをしている。
 炉 西寄り中央に長円形に少し張り
 寄せ、よく焼けている。
 貯蔵穴 P-7・8の2基有る。
 遺 物 土器杯・碗、石製標遺品は出土
 したが乏乏。

層 序
 1 埋堀色土 (ロームが混じる)
 2 黒褐色土 (焼土が混じる)
 3 黒褐色土 (焼土が混じる)
 4 黒色土 ("
 5 褐色土 ("
 6 埋堀色土 (ロームが多く混じる)
 7 " (ローム、木炭粒が混じる)
 8 " (焼土が混じる)
 9 "
 10 赤色焼土

図48 古墳時代の遺構③17号住居跡

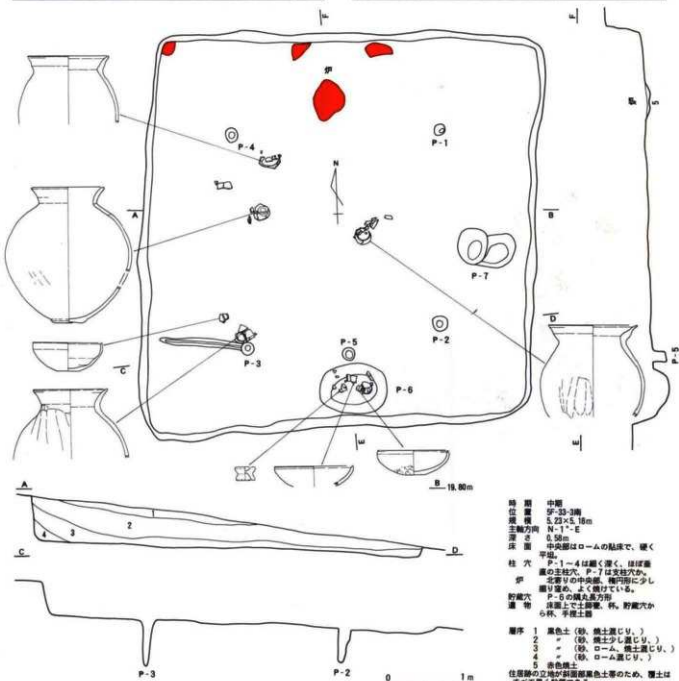
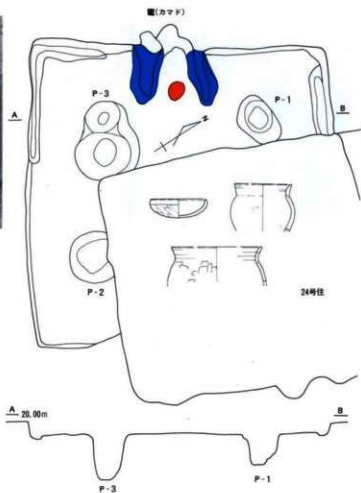


図49 古墳時代の遺構④18号住居跡



23号住居跡

時期 弥生
 位置 5F-19-20南東
 規模 4.10×4.05m
 主軸方向 N-51°-W
 深さ 0.23m
 床面 緩く平直。
 柱穴 環状に並んでいる。
 竪穴(カマド) 北西壁中央部、穴深部はよく焼けている。
 遺物 土師杯、壺
 中央部から東側に24号住居跡と重複しているため、柱穴1基と中央部の状態が不明であった。



40号住居跡

時期 弥生
 位置 5F-14-11北東
 規模 3.87m
 主軸方向 N-47°-W
 深さ 0.42m
 床面 緩らかく平直。
 柱穴 P-1～3を検出した。
 遺物 土師杯、壺
 北西壁付近に焼土を検出した。

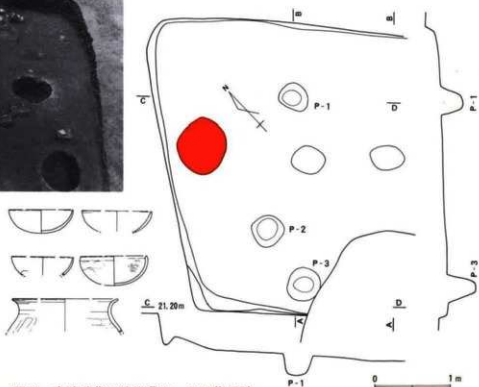


図50 古墳時代の遺構⑤23・40号住居跡



時期 後期
 位置 伊-14-19
 規模 3.50m
 主軸方向 N-13°-W
 深さ 0.35m
 床面 中央部ローム貼成で、硬く平坦。
 柱穴 P-1～4の4基を柱出。接跡状に磨っている。
 竈(カマド) 北壁中央部にあり、石地盤のみを柱出。火床はあ
 り残っていない。
 遺物 カマド輪や釜より土師器出土
 吾惑に近い割面部に立地し、壁の半分は遺失。また住居
 跡の磨りに、同時期と思われる小穴を、多数検出した。

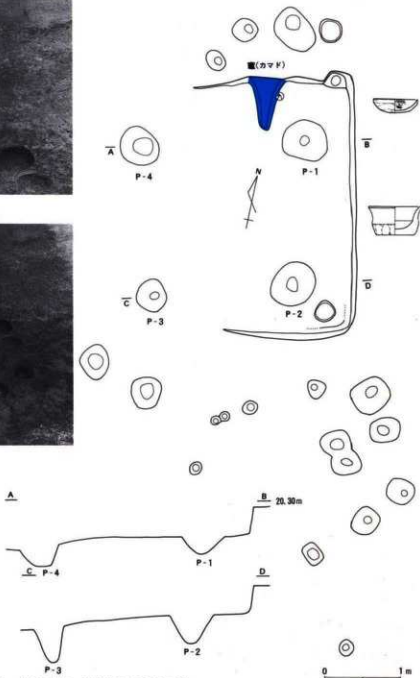
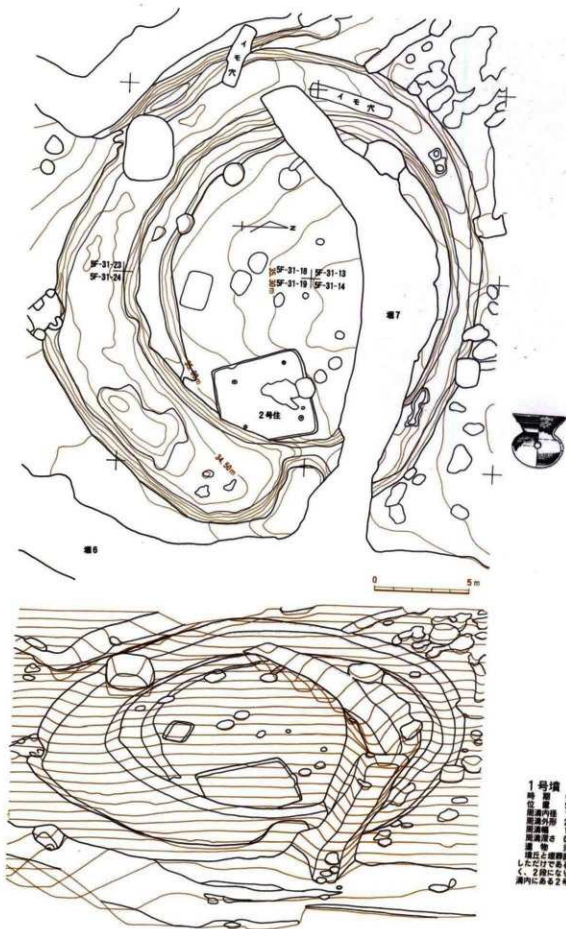


図51 古墳時代の遺構⑥47号住居跡

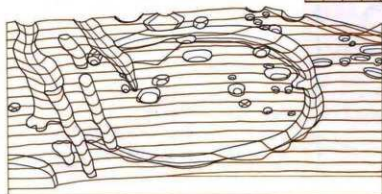
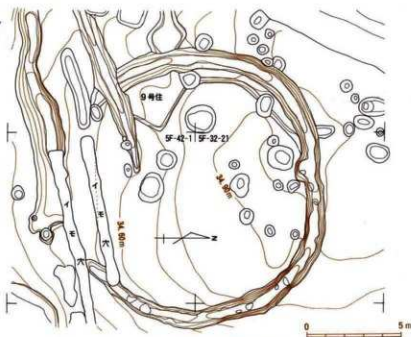
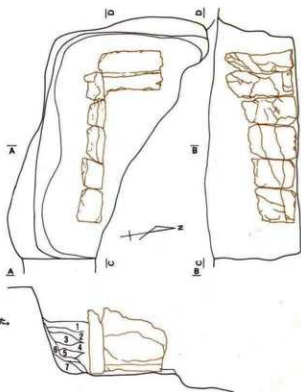


1号墳
 時期 中継
 位置 SF-31-18-19
 周長内径 18.84m
 周長外径 22.3-25.2m
 周厚幅 1.5-5.4m
 周厚高さ 0.20-0.70m
 遺物 須賀焼土(26.5)
 墳丘と埋藏施設がなく、周溝を掘出した
 だけである。周溝は埋藏で広く深
 く、2段になり、断面でくびれる。周
 溝内にある2号住は、古墳より古い。

図52 古墳時代の遺構の1号墳



2号墓
 時期か 後期か
 位置 SF-22-17
 規模 縦 3.95×横 1.10m
 (埋内径 1.95×0.73m)
 主軸方向 N-82°-W
 深さ 1.12m
 構造 切石積石棺 (断面積シルトブロック)
 (基石 麻岡石積平丸石)
 遺物 土師器片
 平分中室蓋にあたって消失。人骨、副葬品は全くなかった。
 層序 1 暗褐色土
 2 # (ローム、粘土が少し混じる)
 3 # (ローム、粘土が混じる)
 4 白色粘土
 5 褐色土
 6 # (ローム大粒)
 7 # (ハーフローム)

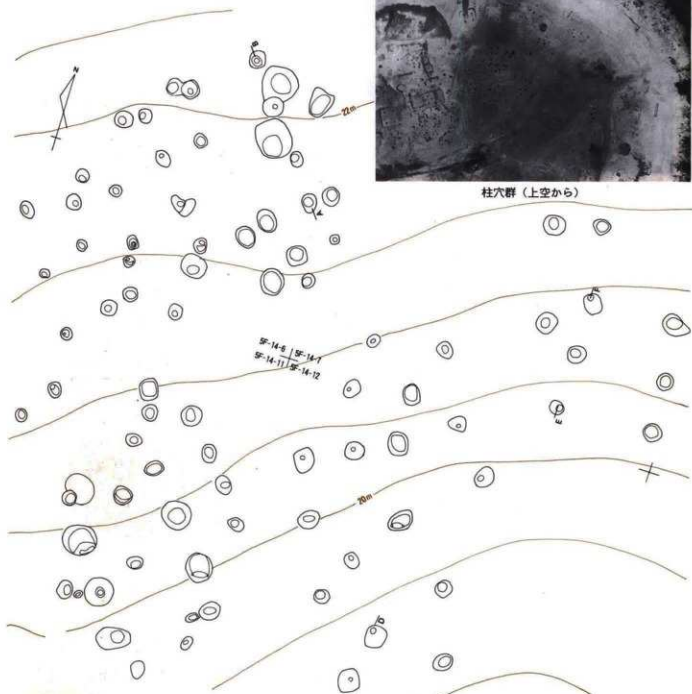


2号墳
 時期 中期
 位置 SF-42-1
 埋内径 縦 12.8m
 横 14.8m
 深さ 0.8-1.3m
 深さ 0.25-0.45m
 遺物 土師器片
 墳丘と埋葬施設がなく、南溝を抽出
 しただけである。南溝は幅、深さとも
 ほぼ一定であるが、西側で2段になる。
 埋内径の9号位は直径より広い。南溝
 の溝は、西側傾である。

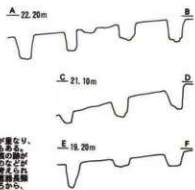
図53 古墳時代の遺構⑧2号墳・2号墓



柱穴群 (上空から)



柱穴からの遺物出土状態



柱穴群
位置 SF-14-6-7-11-12
柱穴総数 800
柱穴深さ 1.5-2.6m
30時(平安)・40時(古墳)住居跡が重なり、
柱穴のいくつかは住居跡のものもある。
多くは3ないし4基が並び、柱跡の跡が
あるものや、遺物が出土したものなどが
あり、柱跡が柱穴の可能性が考えられる。
また、柱穴から出土した須置跡及竈
跡が、3基並のものであることから、
これらの柱穴群が奈良時代まで下ること
も有り得る。

図54 古墳時代の遺構⑨柱穴群

0 2m

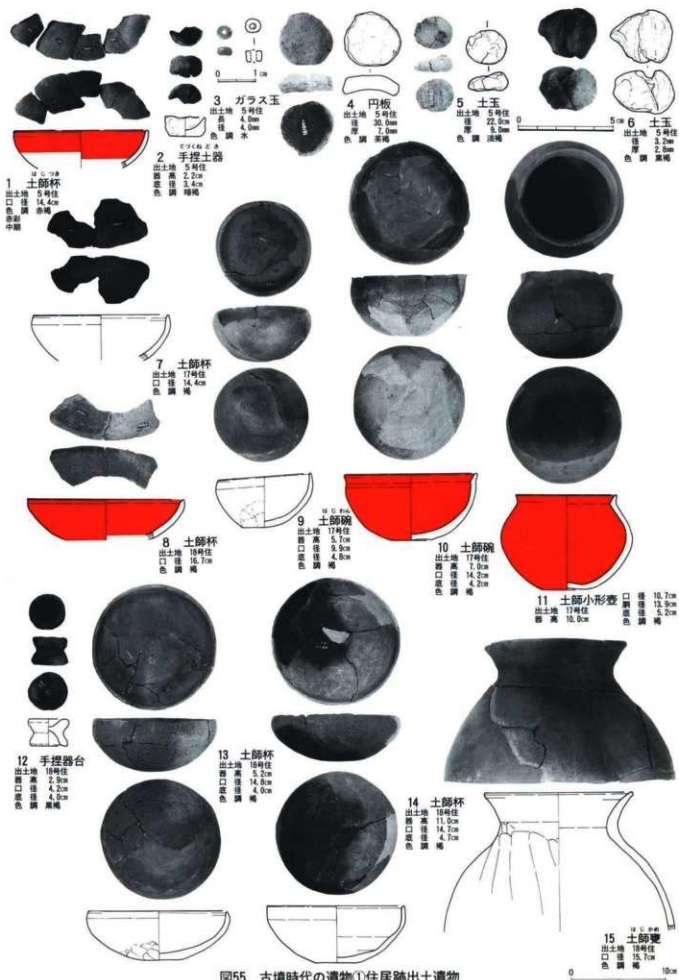


図55 古墳時代の遺物①住居跡出土遺物



図56 古墳時代の遺物②住居跡出土遺物

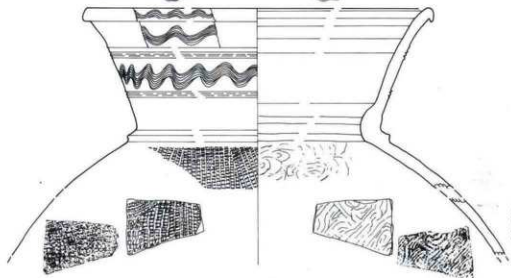


図57 古墳時代の遺物③住居跡・古墳出土とその他の遺物

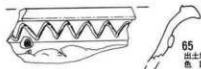
0 10cm



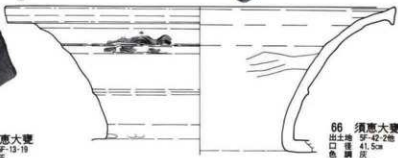
図58 古墳時代の遺物④その他の土師器・須恵器



64 須恵大甕
 出土地 SF-11-19地
 口径 37.9cm
 色 黒
 時期 B c



65 須恵大甕
 出土地 SF-13-19
 色 黒
 時期 B c



66 須恵大甕
 出土地 SF-42-2地
 口径 41.5cm
 色 黒
 時期 B c

図59 古墳時代の遺物⑤その他の須恵器



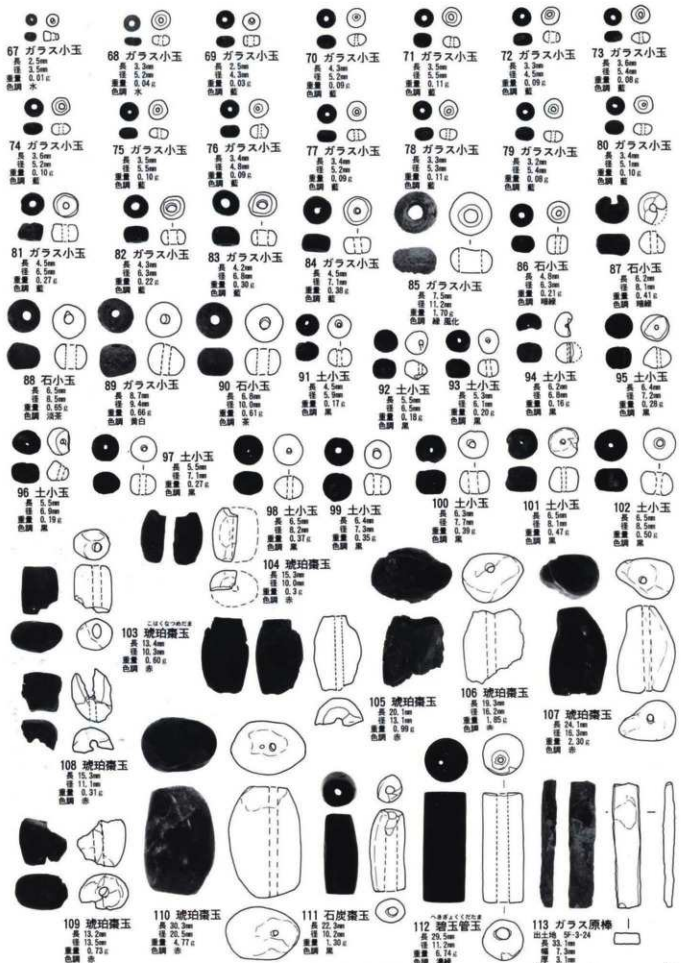


図60 古墳時代の遺物⑥玉類

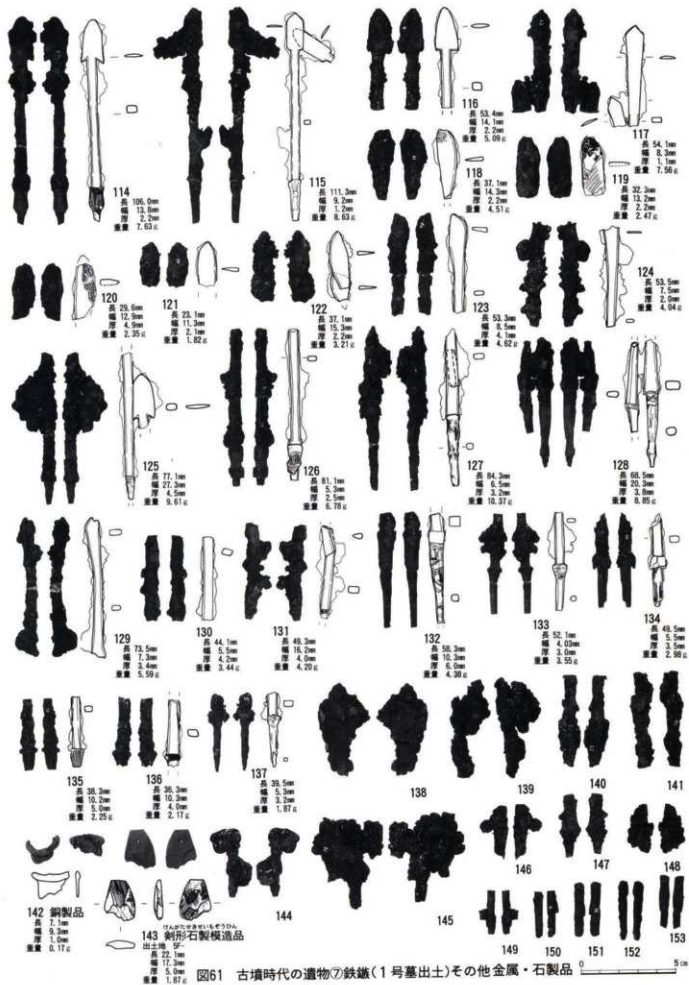


図61 古墳時代の遺物の鉄鍔(1号墓出土)その他金属・石製品

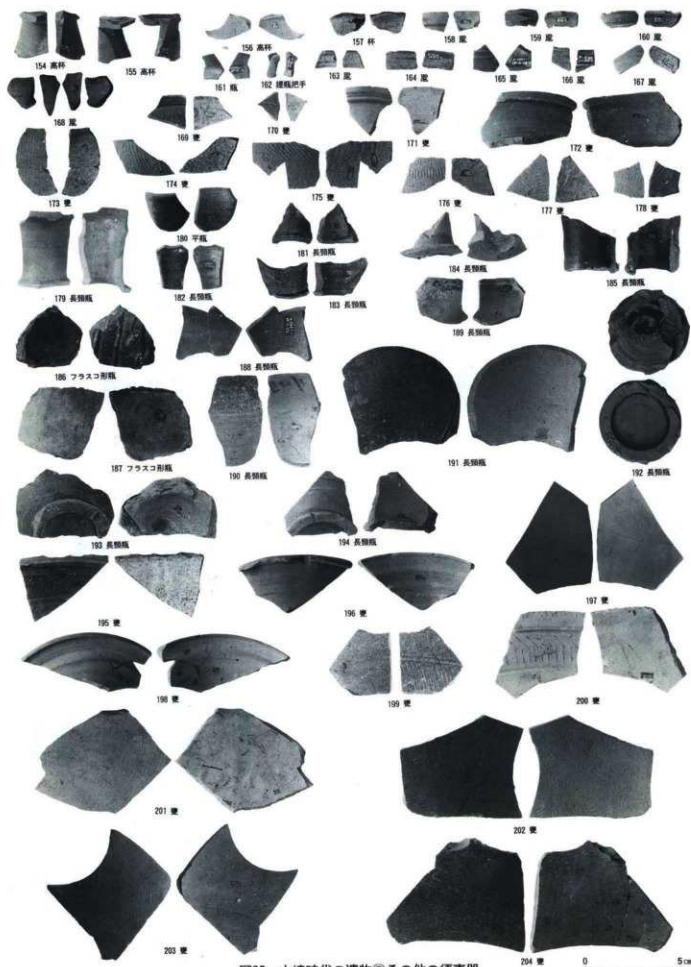


図26 古墳時代の遺物⑩その他の須恵器

0 5cm

3. 奈良・平安時代

城山遺跡の奈良・平安時代の遺構は、住居跡・土坑などが、遺跡全体に散在して分布する。遺物は住居跡の敷に比較して多く出土し、中世の築城時に消えた遺構もあったと思われる。

以下、奈良・平安時代の資料編図の凡例を記す。

1. 住居跡と井戸跡の実測図縮尺は50分の1で、土坑の実測図縮尺は25分の1である。
2. 住居跡実測図の赤色部分は電火床部を、青色部分は電構築材部を示す。
3. 遺構実測図の断面図に記した数値は、その線上の標高である。
4. 遺構の説明は、それぞれの実測図のわきに記した。
5. 遺構の写真はそれぞれの実測図のわきに添付した。
6. 1号住居跡は、本編に掲載した。
7. 住居跡の主軸方向は、電とそれに対面する壁面中

央とを結んだ線である。

8. 遺構の深さは、ローム層直上の遺構確認面からの数値である。
9. 遺構実測図に添付した遺物実測図は、その遺構から出土したものである。
10. 遺物実測図で土器・転用硯・火鑽白・電支脚は4分の1、鉄製品・石製品・土玉等は2分の1である。
11. 遺物の説明は、実測図のわきに記した。
12. 遺物実測図のわきに、それぞれの写真を添付し、特に杯は側面・内面・底部を載せた。
13. 墨書土器の一部は、赤外線写真を添付した。赤外線写真は国立歴史民俗博物館 平川 南氏、及び財団法人香取郡市文化財センター 戸村勝司朗氏の協力で撮影したものである。
14. 土器の器面調整は、特に記さなかったが、下に実測図に表した調整を示しておく。

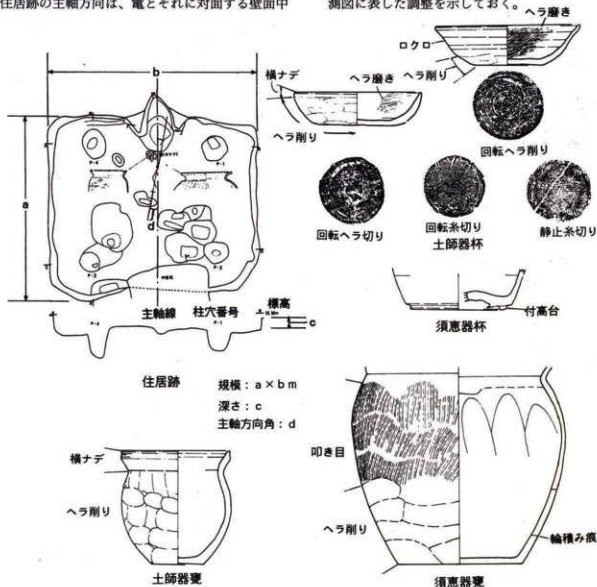
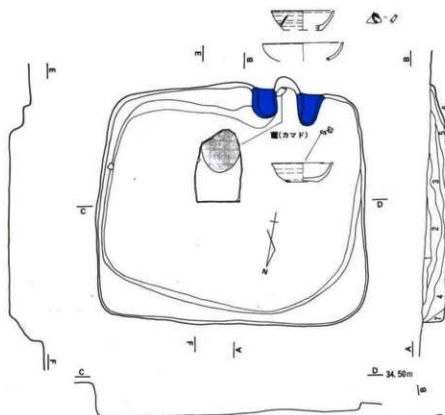


図63 奈良・平安時代凡例



3号住居跡

時期 平安時代前期半
 位置 跡-31-19
 規模 3.20×1.60m
 主軸方向 3°-E
 深さ 0.30m
 床面 土坑を埋めて床面にし、敷らかい。
 竈(カマド) 竈除材は砂と粘土で、焼酎下部が残る。
 遺物 床面から杯、カマドから須磨堂片粘用
 磁土土。
 土坑を埋めて住居を造り、カマドは焼酎にある。

- 層序 1 明褐色土 (ロームが混じる)
 2 (ローム、木炭粒が混じる)
 3 暗褐色土 (ロームが混じる)
 4 (ロームが混じる)
 5 (ローム、焼土が混じる)
 6 (ローム、木炭粒が混じり、しまる)
 7 黒褐色土 (ロームが少し混じる)

1号平安坑

時期 平安時代前期半
 位置 跡-31-19
 規模 3.50×2.80m
 主軸方向 N-90°-W
 深さ 1.15m
 底面 平坦で、硬い。
 遺物 埋土中から杯、高台付磁土。

- 層序 1 黄褐色土 (ローム)
 2 明褐色土 (ローム)
 3 暗褐色土 (ローム、焼土が混じる)
 4 (ローム、木炭粒が混じる)
 5 黒褐色土 (ローム、焼土が混じる)
 6 (焼土が混じる)
 7 明褐色土 (ロームが多く混じる)
 8 暗褐色土 (ロームが少し混じる)
 9 暗褐色土 (ロームが少し混じり、敷らかい)

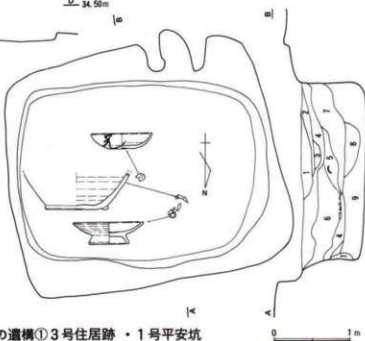
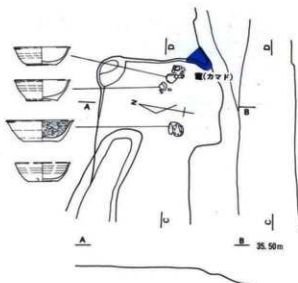
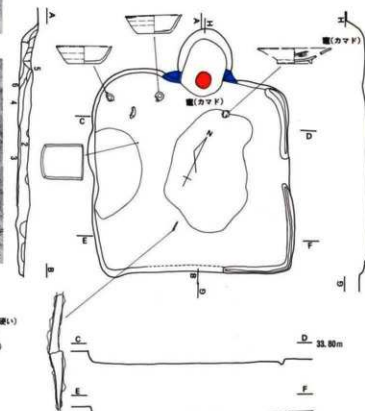


図64 奈良・平安時代の遺構① 3号住居跡・1号平安坑



4号住居跡

時期 平安9世紀後半-10世紀始め
 位置 SF-31-8南
 規模 南北3.0m
 主軸方向 N-53°-E
 深さ 0.05m
 床 面 平地で敷かれ、
 竈(カマド)東壁でわずかに地部が露る。
 遺物 床面に碎3点出土。



6号住居跡

時期 平安9世紀後半 位置 SF-41-15 規模 2.65×2.30m 主軸方向 N-25°-W 深さ 0.05m 床 面 中央部が砂粘土で、壁は、 竈(カマド)北面中央で露行がある。 穴がよく掘けている。 遺物 床面に杖、皿、等金具、刀子出土。 中央の遺構による覆瓦が著しい。	層序 1 覆瓦 2 暗褐色土 (ロームが混じる) 3 * (ロームが少し混じり、壁は) 4 黒色土 (水浸れ、黒土が混じる) 5 赤色砂砂 6 反褐色土 (灰、砂、粘土が混じる) 7 赤色黄土
---	--

図65 奈良・平安時代の遺構② 4・6号住居跡

0 1m

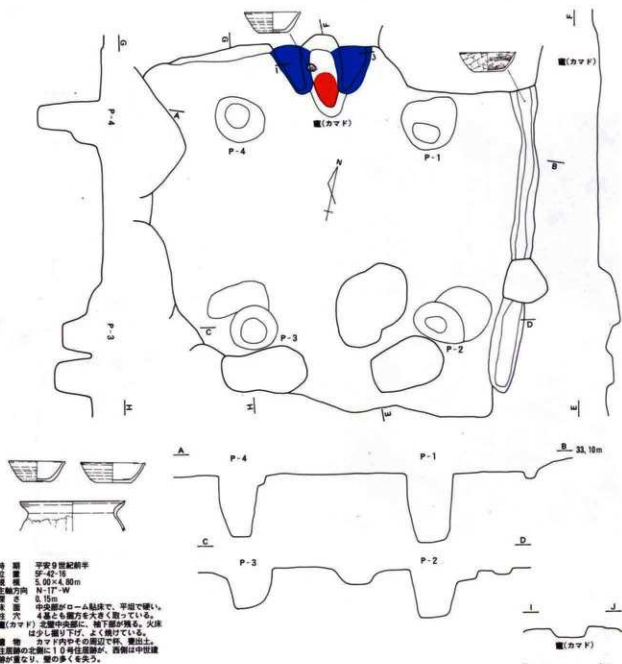


図66 奈良・平安時代の遺構③7号住居跡

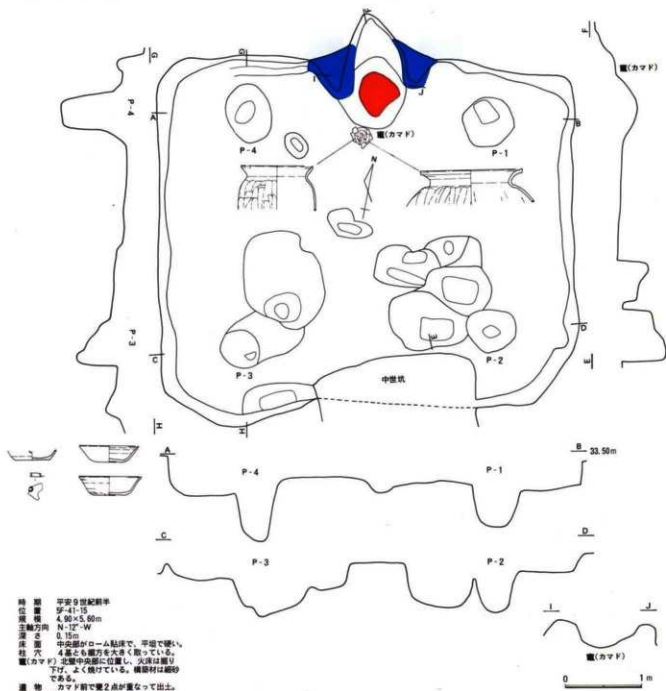


図67 奈良・平安時代の遺構④8号住居跡

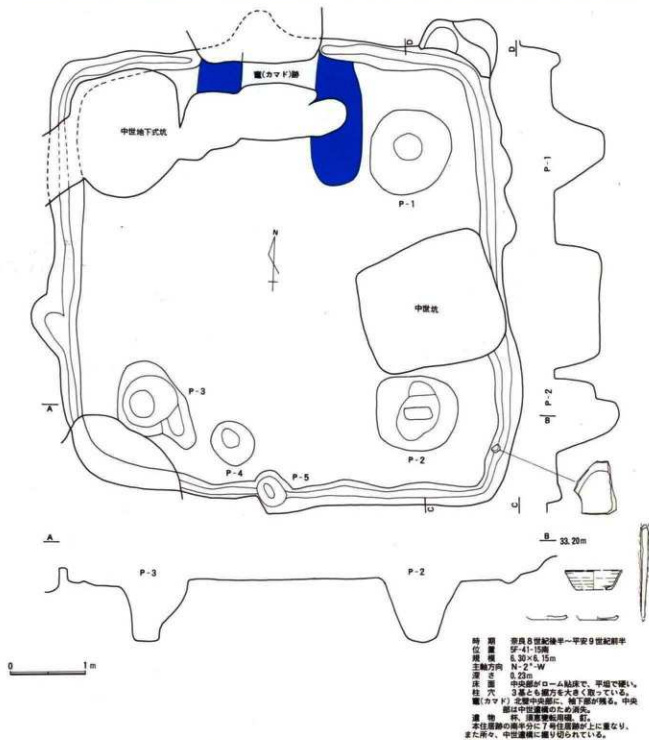
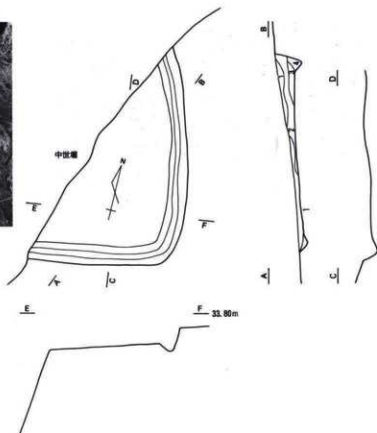


図68 奈良・平安時代の遺構⑤10号住居跡



11号住居跡

- 時期 平安9世紀中頃
 位置 がら-6北
 規模 2.80m以上
 主軸方向 N-8°-W
 長さ 0.10m
 床面 平坦で、少し散らかり、
 西側のほとんども、中世の礎に切り取られ、
 全容がわからなくなる。壁下の遺構は明確で
 ある。
 層序 1 黒色土（ロームが少し混じる）
 2 暗褐色土（ロームが混じり、硬い）
 3 =（ロームが混じり、硬い）
 4 =（ロームが混じり、散らかり）



12号住居跡

- 時期 奈良8世紀後半
 位置 がら-12
 規模 3.50m
 主軸方向 N-57°-E
 長さ 0.75m
 床面 地山が軟土層で、凹凸があっ
 て硬い。
 竈(カマド) 北壁中央で、軸線が少し異なっ
 ている。火床はよく焼けている。
 遺物 カマドから竈が2点出土。
 各地帯側の新築部があり、半分が遺失。壁
 崩れに、小穴がある。

- 層序 1 暗褐色土（砂が混じる）
 2 =（砂、焼土、木炭粒が混じる）
 3 =（砂、焼土が混じり、粘質）
 4 =（灰、木炭粒、焼土が混じる）

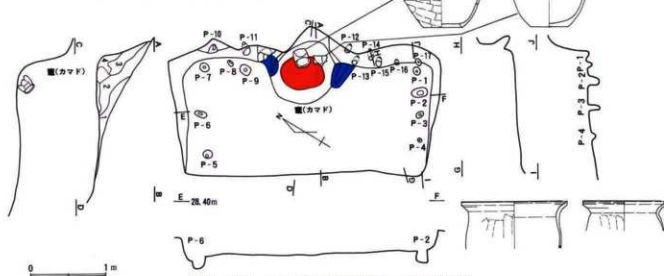
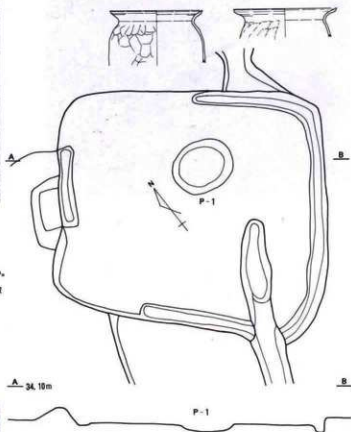


図69 奈良・平安時代の遺構⑪・12号住居跡



13号住居跡

時期 平安9世紀前半
 位置 5F-32-4
 規模 3.70×3.20m
 主軸方向 N-30°-E
 深さ 0.20m
 床面 中央部がローム貼床で、平田で硬い。
 柱穴 無
 遺物 カマドや壁の一部が、中・近世の遺構に切り取られ、失う。



14号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 5F-33-11北
 規模 深さ2.80m
 主軸方向 N-54°-W
 深さ 0.10m
 床面 平田で、少し敷らかい。
 柱穴 3基検出したが、よく分らない。
 遺物 埴、磁石
 住居周囲の斜面部に位置したため、中世に掘削
 され、遺物が立てられたため、ほとんど形を失
 う。

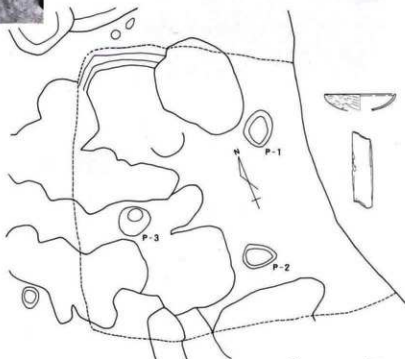
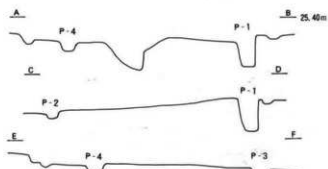
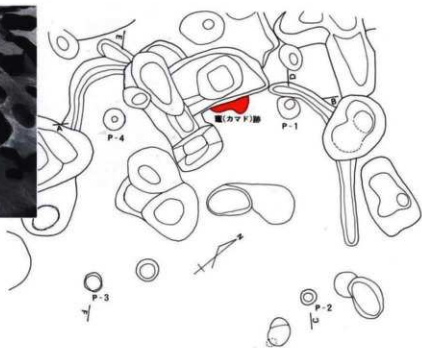


図70 奈良・平安時代の遺構の13・14号住居跡



15号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 SF-33-1
 規模 3.90m
 主軸方向 N-54°-E
 高さ 0.10m
 床 地山が砂層で、部分的にローンを貼
 つて、床にしている。
 柱穴 4基検出したが、いずれも浅い。
 14号住居跡同様、中世遺構に切り取られ、ほと
 んど形を失う。わずかに南溝を検出した。カマド
 の痕跡が北西壁中央に認められた。



16号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 SF-23-2南
 規模 4.00m
 主軸方向 N-34°-W
 高さ 0.30m
 床 地山が砂層で、全体にローンを貼
 つて、床面にしている。
 柱穴 2基検出し、竈跡に繋がっている。
 遺物群 15号住居跡同様、台地東側の斜面部に位置した
 ため、中世に一部破壊し、遺物が立てられたため、
 ほとんど形を失う。

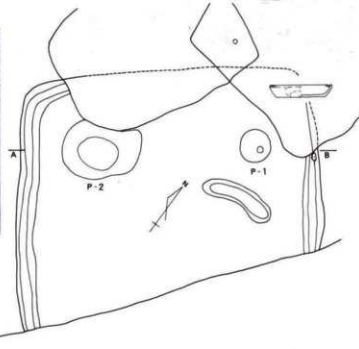
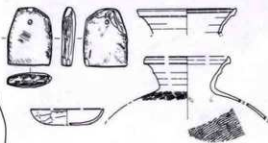
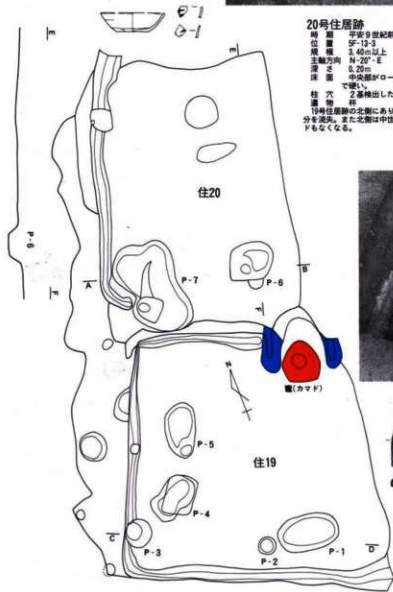


図71 奈良・平安時代の遺構⑩15・16号住居跡



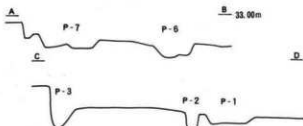
20号住居跡

時期 平安9世紀前半
 位置 SF-13-3
 規模 3.40m以上
 主軸方向 N-20°-E
 深さ 0.20m
 床面 中穴部がローム貼床になり、平壇で埋い。
 柱穴 2基検出した。
 遺物 鉄
 19号住居跡の北側にあり、同じように東側半分を流洗。また北側は中穴遺構があって、カマドもなくなる。



19号住居跡

時期 平安9世紀前半
 位置 SF-13-3
 規模 3.30m
 主軸方向 N-22°-E
 深さ 0.20m
 床面 平壇で埋い。
 柱穴 2基検出した。
 竈(カマド) 2基にあり、袖部が残り、火床はよく残っている。
 遺物 鉄、浪原管、磁石。
 台地尾端部の東側に位置し、東側を流洗した。



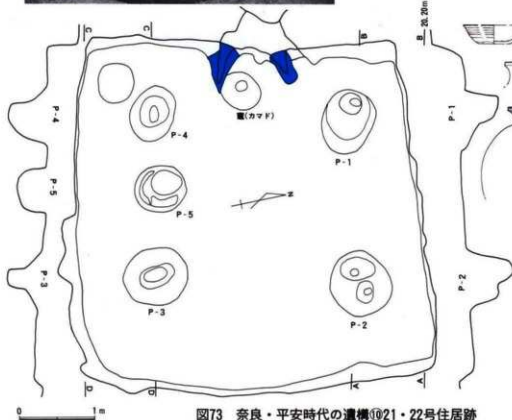
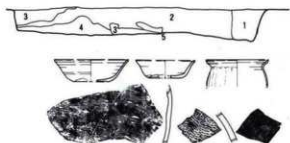
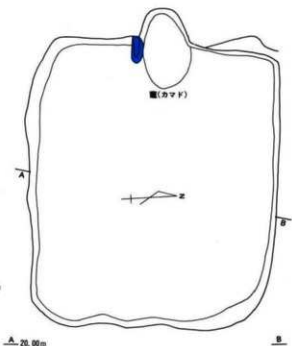
0 1m

図72 奈良・平安時代の遺構⑨19・20号住居跡



21号住居跡

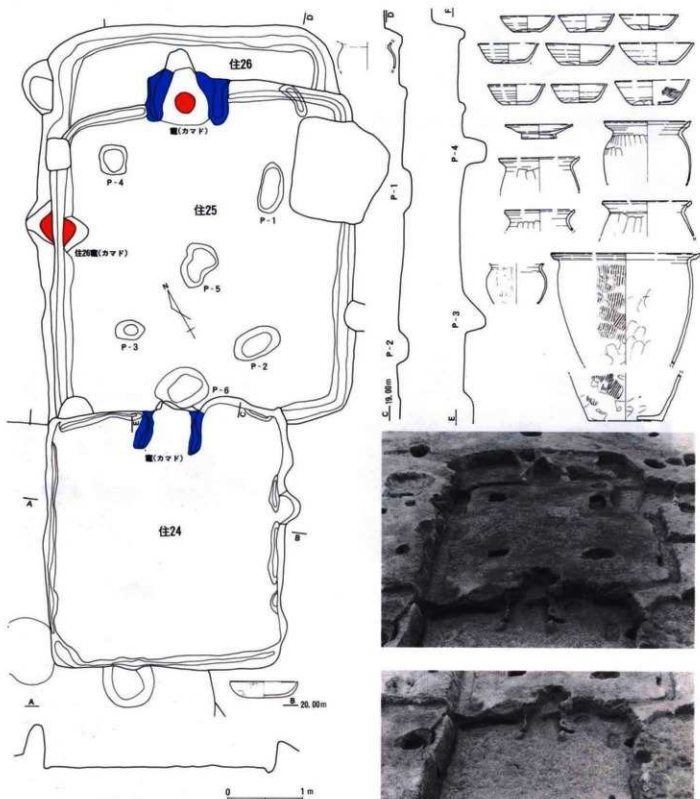
時期 平安9世紀前半
位置 SF-23-10
規模 3.25×3.25m
主軸方向 N-33°-W
深さ 0.25m
床面 地山が黒色土層で、不明瞭。
竈(カマド) 西壁中央で、地盤が少し隆っていた。火床は残っていない。
台地東側の斜面部、黒色土層上であり、不明瞭であった。



22号住居跡

時期 平安9世紀前半
位置 SF-23-4
規模 4.72×4.75m
主軸方向 N-3°-W
深さ 0.40m
床面 地山が黒色土層であるが、硬く平直で、明瞭。
柱穴 4基あり、いずれも竈方を大きくとっている。
竈(カマド) 西壁中央で、地盤が隆っていた。火床は残っていない。
遺物 鉢、壺
台地東側の斜面部、黒色土層上にあるが、明瞭に分かる。

図73 奈良・平安時代の遺構⑩21・22号住居跡



24号住居跡

時期 奈良・平安前期半
位置 5F-14-16
規模 3.35×3.20m
主軸方向 N-30°-E
深さ 0.50m
床面 土山が散在で、平坦で硬い。
竈(カマド) 北壁にあり、楕円が残り、火床は平
で、焼けていない。
遺物 灰。
西側に23号住居跡が重なる。

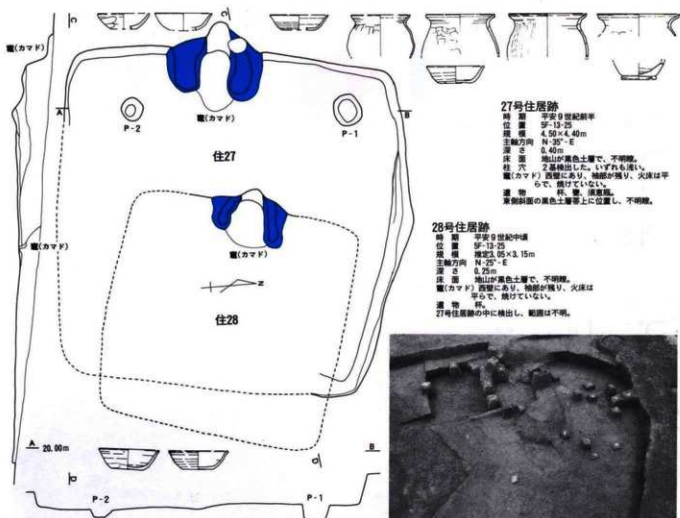
25号住居跡

時期 平安前期後半
位置 5F-14-16
規模 4.50×4.15m
主軸方向 N-30°-E
深さ 0.30m
床面 中央部がローム貼床になり、平坦
で硬い。
柱穴 4基検出した。いずれも浅い。
遺物 灰、土、瓦。
25号住居跡を横して掘られ、南側に24号住
居跡が隣接する。

26号住居跡

時期 平安前期前半
位置 5F-14-16
規模 3.95m
主軸方向 N-50°-W
深さ 0.20m
床面 平坦で硬い。
竈(カマド) 西壁中央に、よく焼けた火床が残っ
ていた。
遺物 瓦。

図74 奈良・平安時代の遺構①24・25・26号住居跡



28号住居跡

時期 平安9世紀中頃
 位置 SF-13-25
 規模 3.95×3.15m
 主軸方向 N-25°-E
 深さ 0.20m
 床面 地山が黄色土層で、不明瞭。
 竈(カマド) 西壁にあり、焼跡が残り、火床は平らで、焼けていない。
 遺物 片。
 27号住居跡の中に検出し、範囲は不明。

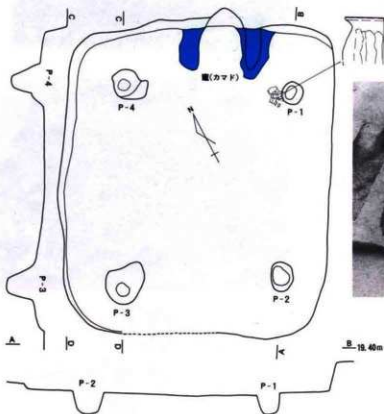
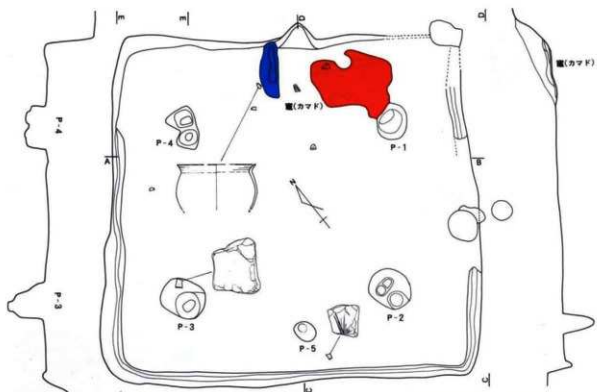


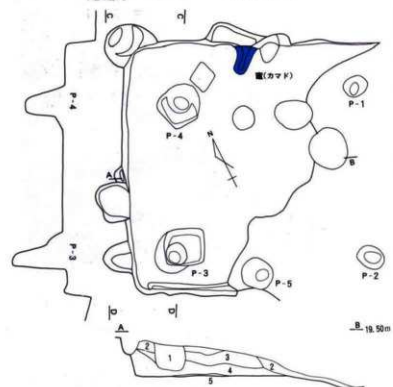
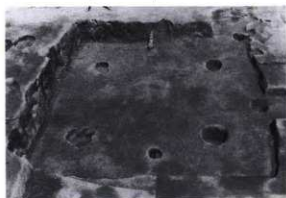
図75 奈良・平安時代の遺構⑫27・28・29号住居跡



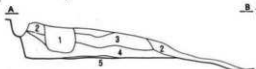
30号住居跡

時期 奈良中世紀前半か
 位置 5F-14-21
 規模 4.55×4.85m
 主軸方向 N-25°-E
 深さ 0.60m
 床面 地山が砂層で、粘土を貼り、
 平壇で硬い。

柱穴 4基あり、竈斗状に据っている。
 竈(カマド) 北東壁にあり、片方の袖部が残り、
 火床は平らで、焼けていない。
 遺物 瓦、石、磁石。
 層序 1 黒褐色砂
 2 暗褐色土(粘質)
 3 黒褐色土(粘質)
 4 褐色土(硬い)



—B— 19.50m



31号住居跡

時期 奈良中世紀か
 位置 5F-14-16
 規模 3.35m
 深さ 0.50m
 床面 平壇で硬い。

柱穴 4基あり、竈斗状に据っている。
 竈(カマド) 北壁にあり、片方の袖部が残り、
 火床は焼けていない。
 層序 1 褐色砂(中世柱穴)
 2 暗褐色土
 3 黄褐色砂
 4 褐色土
 5 黄褐色土(硬い)



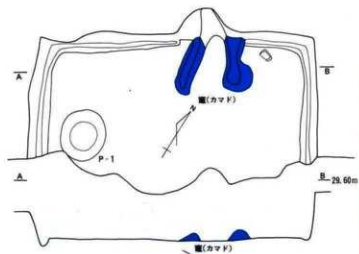
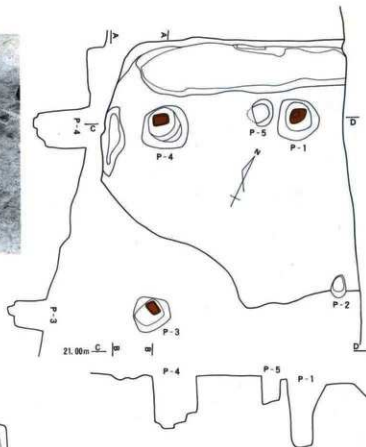
0 1m

図76 奈良・平安時代の遺構③30・31号住居跡



32号住居跡

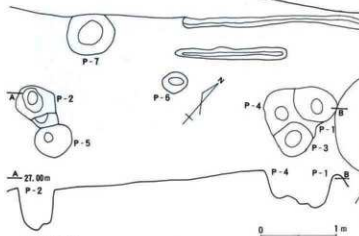
時期 奈良8世紀前半
 位置 SF-14-11
 規模 棟長3.60m
 主軸方向 N-52°-E
 深さ 0.20m
 床面 平壇で硬い。
 柱穴 4基突出した。内3基の底に柱の残
 遺物 杯、甕の破片。
 割面図にあり、東側を溝に切り取られる。



33号住居跡

時期 奈良8世紀中頃
 位置 SF-3-25
 規模 棟長3.60m
 主軸方向 N-58°-W
 深さ 0.55m
 床面 平壇で硬い。
 柱穴 2箇所に6基あり、上層の礎で替
 りに、2回の掘り直しが見られる。

遺物 杯、甕の破片。
 割面図にあり、西平壇を流失する。



34号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 SF-3-25
 規模 5.50m
 主軸方向 N-46°-E
 深さ 0.80m
 床面 平壇で硬い。
 柱穴 2箇所に6基あり、上層の礎で替
 りに、2回の掘り直しが見られる。

遺物 杯、甕の破片。
 割面図にあり、7割近くを流失する。

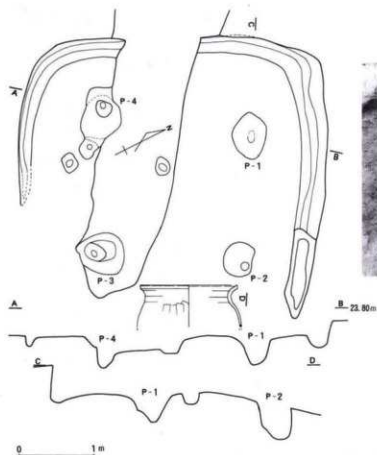
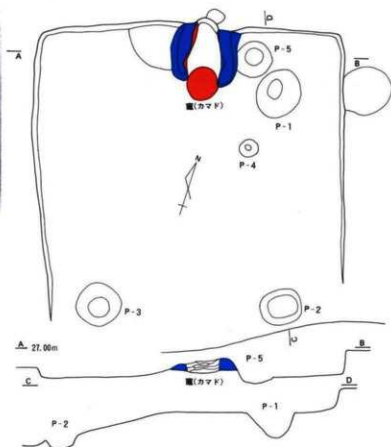


図77 奈良・平安時代の遺構⑬32・33・34号住居跡



35号住居跡

時期 奈良5世紀前半
 位置 SF-14-21番
 規模 4.40×4.10m
 主軸方向 N-15°-W
 深さ 0.25m
 床面 平段で敷りかい、
 柱穴 3基あり、いづれも浅い。
 竈(カマド) 北壁にあり、穴床は平らで、よく焼けている。
 遺物 甕の破片。
 斜壁部にあり、南側を遺失する。



36号住居跡

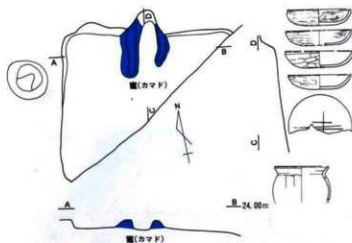
時期 奈良5世紀か
 位置 SF-13-10
 規模 4.10m
 主軸方向 N-50°-W
 深さ 0.40m
 床面 平段で壁い。
 柱穴 4基あり、漏斗状か楕円状に掘っている。
 遺物 甕の破片。
 斜壁部にあり、また住居跡の中央を溝に切り取られる。

図78 奈良・平安時代の遺構⑬35・36号住居跡



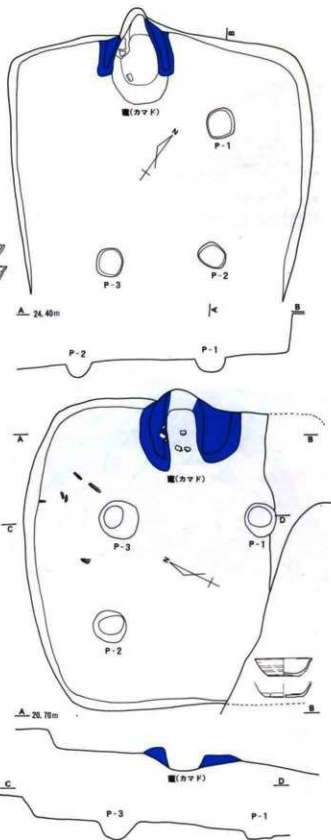
37号住居跡

時期 平安9世紀前半
 位置 5F-14-1
 規模 3.95m
 主軸方向 N-30°-W
 深さ 0.57m
 床面 平場で敷らかい。
 柱穴 3基抽出した。いずれも浅い。
 竈(カマド) 袖部が残り、火床は少し盛りこぼれ、焼けていない。
 遺物 鉄、土、瓦
 斜断面にあり、南半分を流失する。



38号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 5F-12-1
 規模 推定2.00m
 主軸方向 N-6°-E
 深さ 0.20m
 床面 平場で敷らかい。
 竈(カマド) 北壁にあり、袖部が残る。火床は平らで、焼けていない。
 遺物 鉄、土、瓦
 斜断面にあり、南半分を流失する。



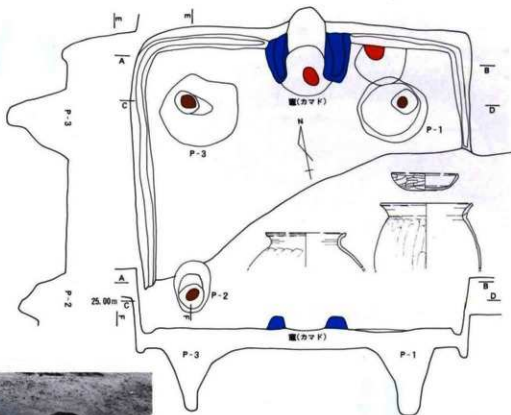
39号住居跡

時期 平安9世紀中葉
 位置 5F-14-11
 規模 4.10m
 主軸方向 N-64°-E
 深さ 0.20m
 床面 中央部でローム貼床となっており、平場で焼い。
 柱穴 3基抽出。いずれも浅い。
 竈(カマド) 北東壁にあり、袖部を大きくとり、火床は少し盛りこぼれ、焼けていない。
 遺物 鉄、土、瓦
 斜断面にあり、南半分を流失する。

図79 奈良・平安時代の遺構⑩37・38・39号住居跡

41号住居跡

時代 奈良・平安時代中頃
 位置 SF-14-3
 規模 4.40m
 主軸方向 N-10°-E
 高さ 0.85m
 床面 地は黄褐色土で、ロームを貼り、
 平坦で硬い。
 柱穴 4基あり、圓斗状に掘っている。
 庭に柱の断面を露出。
 竈(カマド) 北壁にあり、袖部が残り、火床
 は平らで、残っている。煙道は裏
 壁に立ち上がる。
 遺物 杵、箸、埋土中に多量の遺物出
 土。
 台階部奥員の断面にあり、陶製が流失。カ
 マドの石壁に灰と黄土を露出。



42号住居跡

時代 平安9世紀前半
 位置 SF-14-4
 規模 3.80m
 主軸方向 N-35°-E
 高さ 0.45m
 床面 平坦で軟らかい。
 柱穴 4基あり、いずれも浅い。
 竈(カマド) 北壁にあり、袖部が残り、火床は
 残っていない。
 遺物 杵、箸。
 新屋敷にあり、南壁が流失。

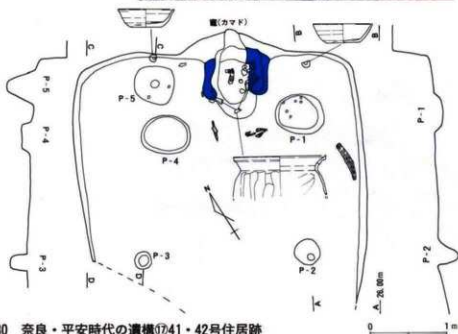
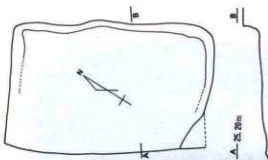


図80 奈良・平安時代の遺構①41・42号住居跡



43号住居跡

時期 奈良8世紀後半
位置 SF-14-4
規模 2.70m
主軸方向 N-25°-W
深さ 0.20m
床面 平壇で敷らかい。
遺物 杵、甕
斜面部にあり、西側が流失。



44号住居跡

時期 奈良8世紀か
位置 SF-14-5
規模 推定5.50m
主軸方向 N-57°-E
深さ 0.05m
床面 平壇で敷らかい。
柱穴 4基あり。竈跡に覆っている。
斜面部の中央にあり、南側がほとんど
流失していたが、柱穴と山側の壁を露
出した。

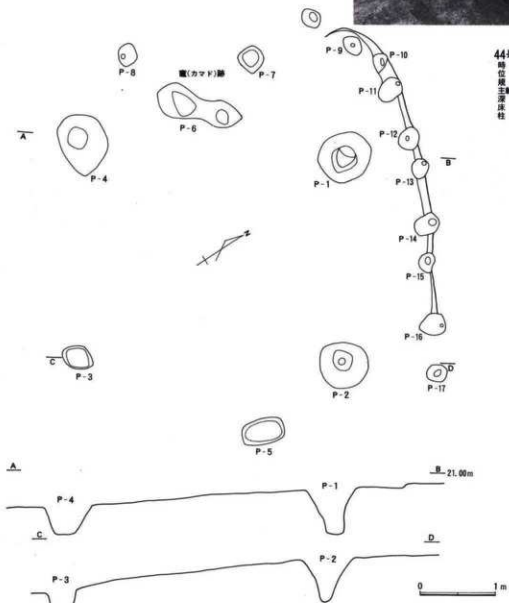
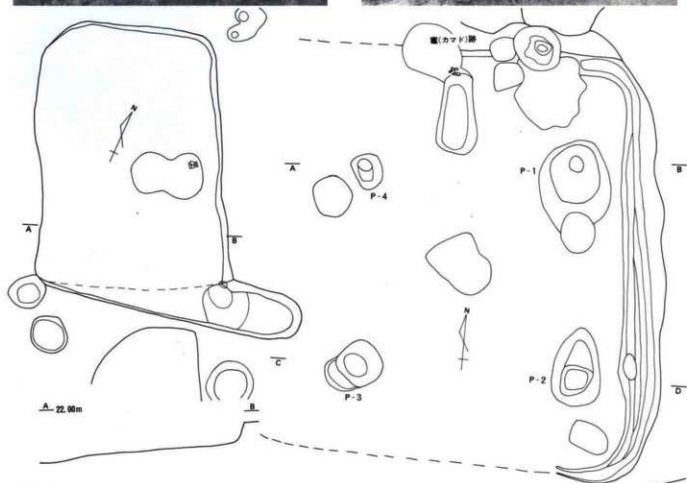


図81 奈良・平安時代の遺構⑬43・44号住居跡



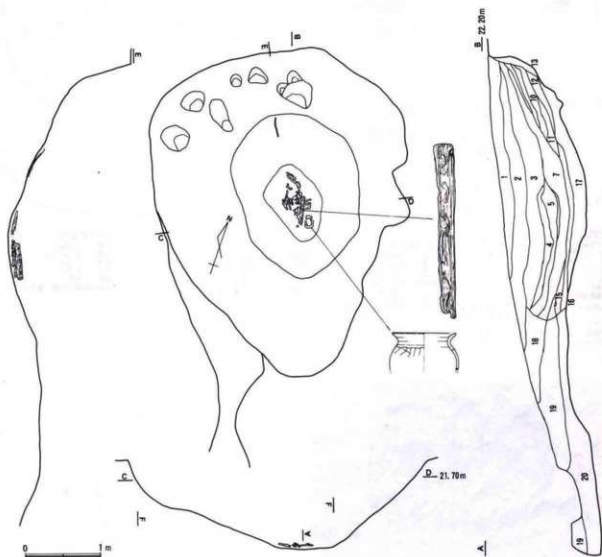
45号住居跡

時期 平安8世紀前半
 位置 字-14-14
 規模 確定3.50m
 主軸方向 N-25°-W
 深さ 0.22m
 床面 平床で硬い。
 遺物 杉、栗の櫛片。
 斜屋敷にあり、西側が流失。

46号住居跡

時期 奈良8世紀か
 位置 字-14-15
 規模 5.60m
 主軸方向 N-2°-W
 深さ 0.25m
 床面 中央部でローム貼床となり、平床で硬い。
 柱穴 4基あり、圓はびに覆っている。
 カマド 北部中央に瓦葺がある。
 家裏下の高溝を2条検出。礎で替えの礎の掘り直し。中央遺構の一部切り取られる。

図82 奈良・平安時代の遺構①45・46号住居跡



時期 平安寺堂紀前年

位置 SP-14-T

規模 4.30x3.45m

主軸方向 N-15°-W

深さ 1.15m

遺物 庭園中央部に響、火鑪臼のほか、

木片多数、層土中にも遺物多数出

土

斜壁部の湧水等に位置し、平瀬削が溝内制、

難状に陥っている。北側の壁に小穴がある。

層序 1 青灰黄褐色土 (鉄分、砂が多く混じる)

2 = (砂が多く混じる)

3 青灰黄褐色土

4 = (木葉が多く混じる)

5 = (粘質)

6 青灰砂 (黒土が少し混じる)

7 青灰黄褐色土 (木葉が少し混じり、粘質)

8 = (砂が混じる)

9 = (砂が多く混じる)

10 = (砂が多く、木葉も混じる)

11 = (砂が混じり、粘質)

12 = (砂が混じり、粘性が強い)

13 = (鉄分、砂が多く混じる)

14 青灰色土 (粘性が強い)

15 青灰黄褐色土 (砂が多く混じる)

16 青灰黄褐色砂 (黒土が混じる)

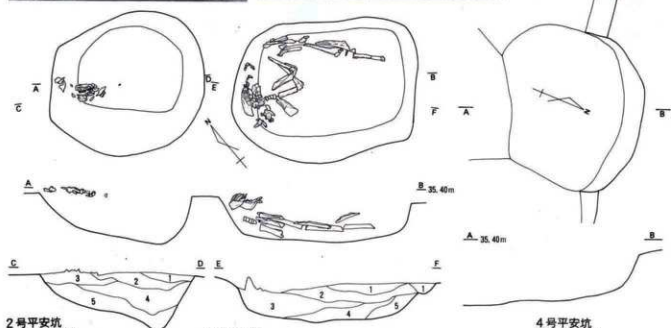
17 青灰黄褐色土 (砂、木片が多く混じる)

18 青灰黄褐色土 (木屑粒、焼土が混じる)

19 = (砂、鉄分が多く混じる)

20 黄褐色土 (砂が少し混じり、粘質)

図83 奈良・平安時代の遺構②1号平安井戸



2号平安坑

時期 9世紀か
位置 5F-31-19北
規模 2.10×1.05m
主軸方向 N-51°-W
深さ 0.30m
底面 砂土
遺物 高骨頸部

- 層序 1 暗褐色土 (ロームが少し混じり、しまる)
2 = (ロームが多く混じり、しまる)
3 褐色土 (=)
4 暗褐色土 (ロームが混じり、しまる)
5 褐色土 (=)

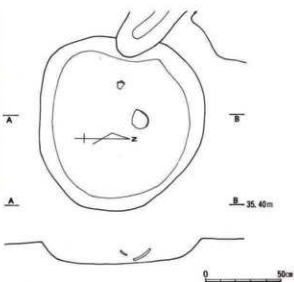
3号平安坑

時期 9世紀か
位置 5F-31-19北
規模 2.45×1.90m
主軸方向 N-50°-W
深さ 0.28m
底面 平場
遺物 高骨頸部及び四肢

- 層序 1 暗褐色土 (ローム粒が混じる)
2 褐色土 (ロームが混じる)
3 = (ロームが多く混じり、しまる)
4 = (ロームが多く混じり、しまる)
5 暗褐色土 (ロームが少し混じり、しまる)

4号平安坑

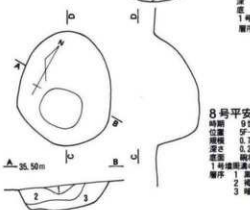
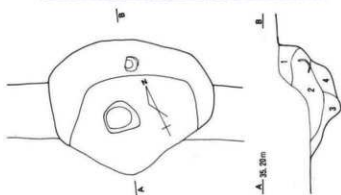
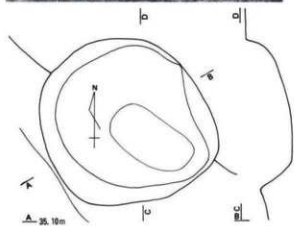
時期 9世紀か
位置 5F-31-19北
規模 1.05m
深さ 0.27m
底面 平場
2号住居跡の北側に重なる。



5号平安坑

時期 9世紀か
位置 5F-31-19北
規模 1.10m
深さ 0.12m
底面 平場
遺物 骨片
1号埴間溝の内側に在る。

図84 奈良・平安時代の遺構② 2～5号平安坑



6号平安坑

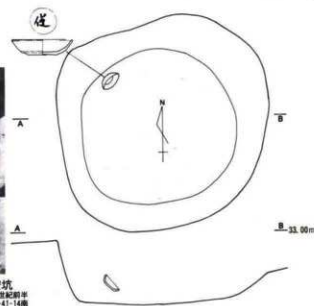
時期 9世紀後半
位置 SF-31-18北
規模 1.15m
深さ 0.26m
底面 少し丸い
1号墳の周溝にかかる
層序 1 埴輪色土 (ローム粒、土土が少し混じる)
2 " (ローム粒が混じる)
3 " (ロームが混じり、しまる)
4 褐色土 (ロームが混じり、しまる)

7号平安坑

時期 9世紀後半
位置 SF-31-18南
規模 1.05m
深さ 0.36m
底面 平坦で小穴がある。
遺物 杯
1号墳の周溝にかかる
層序 1 埴輪色土 (ローム粒が少し混じる)
2 赤褐色土 (ローム粒が混じる)
3 埴輪色土 (ローム粒が混じり、しまる)
4 " (ローム粒が混じり、しまる)

8号平安坑

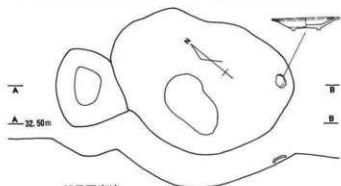
時期 9世紀
位置 SF-31-14南
規模 0.75×0.83m
深さ 0.27m
底面 碗状
1号墳周溝の内側に在る。
層序 1 赤褐色土
2 褐色土
3 埴輪色土



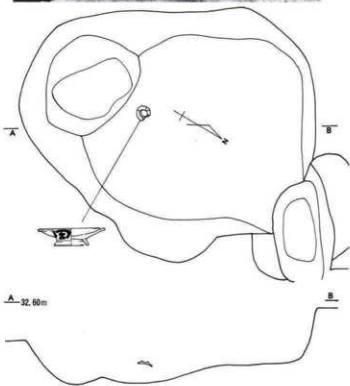
9号平安坑
時期 10世紀前半
位置 SF-41-14南
規模 1.40m
深さ 0.40m
底面 少し凹凸がある
遺物

図85 奈良・平安時代の遺構② 6～9号平安坑

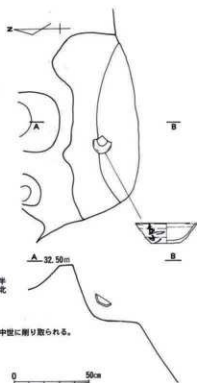
0 50m



10号平安坑
 時期 9世紀後半
 位置 SF-41-25南
 規模 1.50×0.92m
 深さ 0.21m
 底面 礫状
 遺物 萬葉付瓦



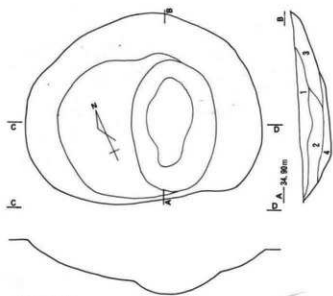
11号平安坑
 時期 9世紀後半
 位置 SF-41-25
 規模 2.44×2.07m
 深さ 0.20m
 底面 少し凹凸がある
 遺物 萬葉付瓦



12号平安坑
 時期 9世紀後半
 位置 SF-42-13北
 規模 1.22m
 深さ 0.36m
 底面 平坦
 遺物 4件
 萬葉のほとんどを中に埋り置られる。



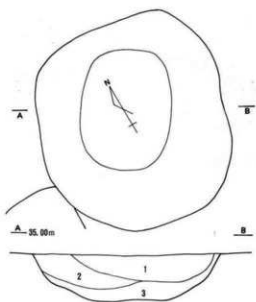
図86 奈良・平安時代の遺構 ⑬ 10～12号平安坑



13号平安坑

時期 9世紀
位置 SF-42-1北
規模 1.57×1.25m
深さ 0.22m
底面 楕円

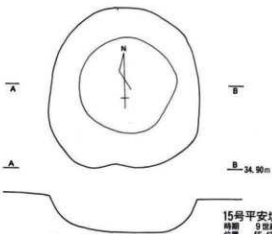
- 層序 1 暗褐色土 (ロームが混じり、締まる)
2 " (ロームが少し混じる)
3 " (ローム、粘土が混じる)
4 " (ロームが混じり、軟らかい)



14号平安坑

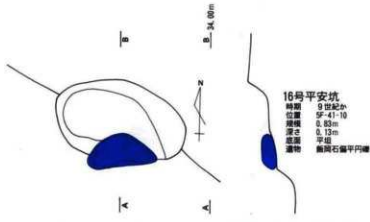
時期 9世紀
位置 SF-35-21
規模 1.38×1.23m
深さ 0.30m
底面 楕円

- 層序 1 暗褐色土 (ローム、黒土が多く混じる)
2 " (ローム、黒土が混じる)
3 " (ローム、黒土が少し混じる)



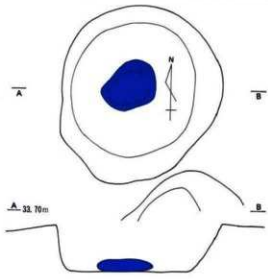
15号平安坑

時期 9世紀
位置 SF-42-1北
規模 1.63×1.01m
深さ 0.23m
底面 丸い



16号平安坑

時期 9世紀か
位置 SF-41-10
規模 0.83m
深さ 0.13m
底面 平坦
遺物 鹿角石製平円罐



17号平安坑

時期 9世紀か
位置 SF-41-10南
規模 1.17×1.07m
深さ 0.32m
底面 平坦
遺物 鹿角石製平円罐

0 50m

図87 奈良・平安時代の遺構④ 13～17号平安坑

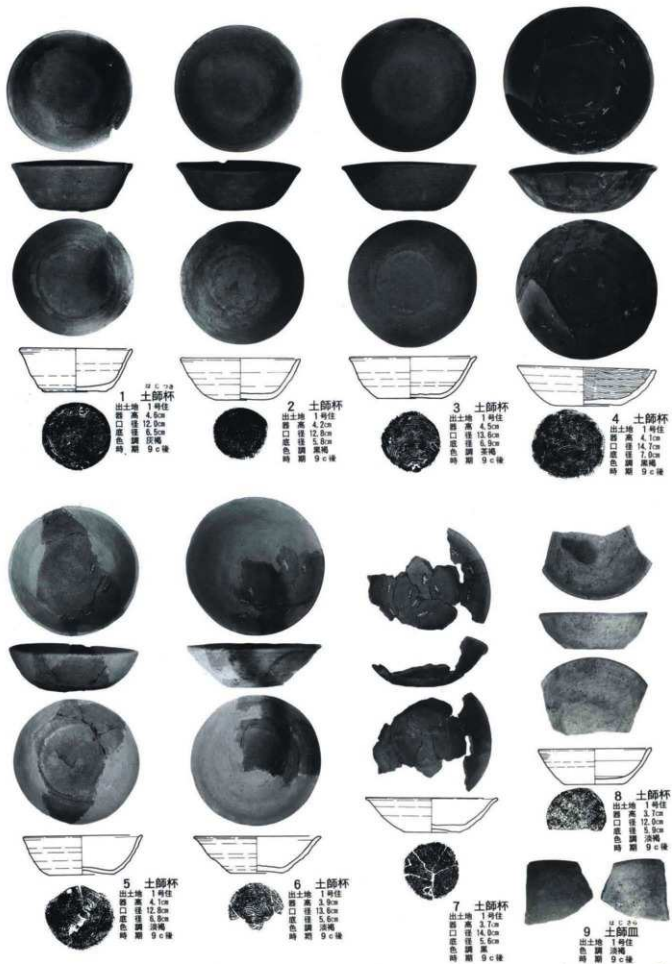


図88 奈良・平安時代遺物①1号住居跡出土遺物

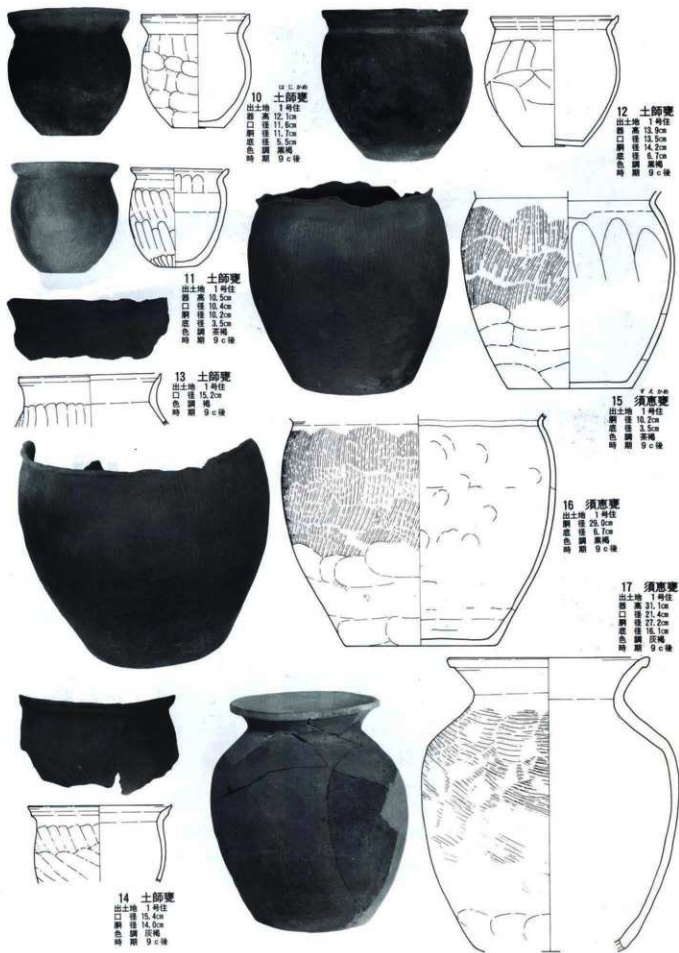


図89 奈良・平安時代遺物②1号住居跡出土遺物



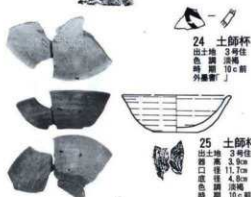
図90 奈良・平安時代遺物③1号住居跡出土遺物



22 土師杯
3号住
出土地 12.0cm
口径 8.0cm
色 時



23 土師杯
3号住
出土地 4.1cm
口径 13.3cm
口径 8.3cm
色 時
口径 10.0cm
外 時



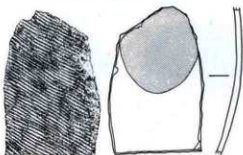
24 土師杯
3号住
出土地 3.0cm
口径 10.0cm
口径 10.0cm
外 時



25 土師杯
3号住
出土地 3.9cm
口径 11.7cm
口径 4.9cm
口径 10.0cm
外 時



26 土師杯
3号住
出土地 3.0cm
口径 13.1cm
口径 6.8cm
口径 10.0cm
外 時



27 転用碗
3号住
出土地 15.3cm
口径 10.9cm
口径 8.5cm
口径 9.0cm
外 時



28 土師杯
4号住
出土地 4.5cm
口径 11.9cm
口径 6.7cm
口径 10.0cm
外 時



29 土師杯
4号住
出土地 3.9cm
口径 12.3cm
口径 6.3cm
口径 10.0cm
外 時



30 土師杯
4号住
出土地 4.0cm
口径 11.7cm
口径 6.4cm
口径 10.0cm
外 時



31 土師杯
4号住
出土地 4.5cm
口径 14.4cm
口径 7.9cm
口径 10.0cm
外 時

図91 奈良・平安時代遺物④ 3・4号住居跡出土遺物



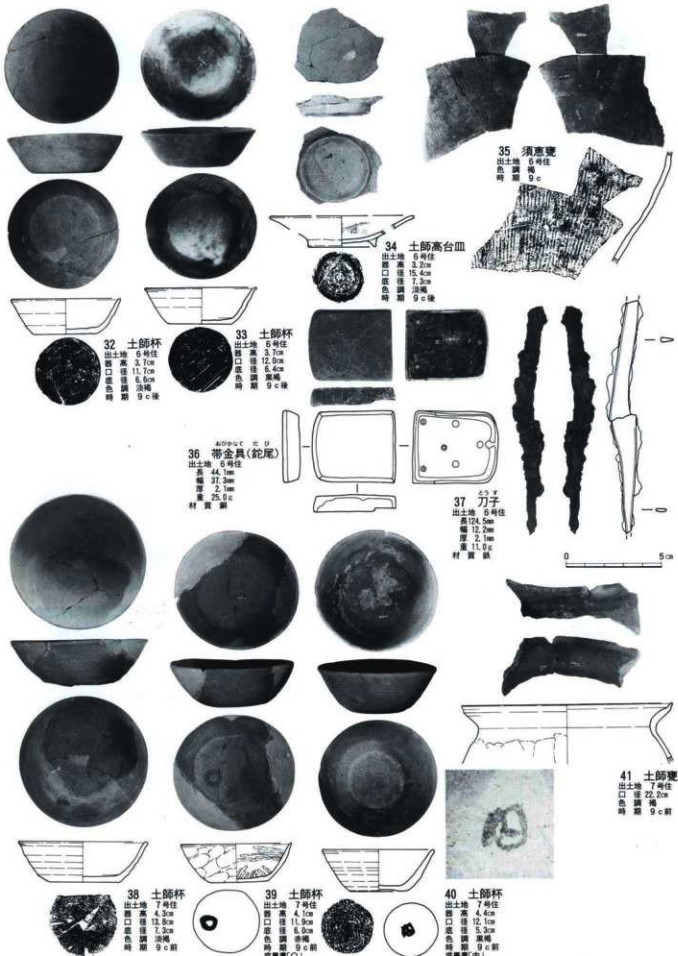
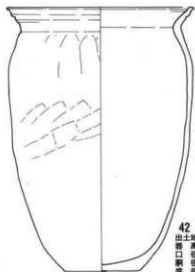
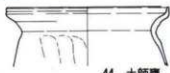


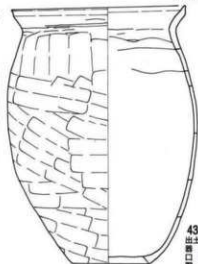
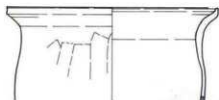
図92 奈良・平安時代遺物⑤6・7号住居跡出土遺物



42 土師甕
 出土地 12号住
 口径 27.8cm
 高 18.5cm
 口径 19.5cm
 口径 8.5cm
 底径 8cm
 底色 時

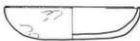


44 土師甕
 出土地 12号住
 口径 17.2cm
 高 8cm
 底径 8cm



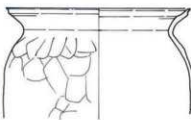
43 土師甕
 出土地 12号住
 口径 27.2cm
 高 18.5cm
 口径 20.1cm
 口径 8.2cm
 底径 8cm
 底色 時

45 土師甕
 出土地 12号住
 口径 27.2cm
 口径 16cm
 口径 8cm
 底径 8cm



46 土師甕
 出土地 13号住
 口径 19.1cm
 口径 10.3cm
 口径 9cm
 底径 9cm

48 土師杯
 出土地 24号住
 口径 3.4cm
 口径 14.4cm
 口径 8cm
 口径 8cm



47 土師甕
 出土地 13号住
 口径 21.5cm
 口径 9cm
 口径 9cm

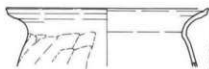


図93 奈良・平安時代遺物⑥12・16・24号住居跡出土遺物



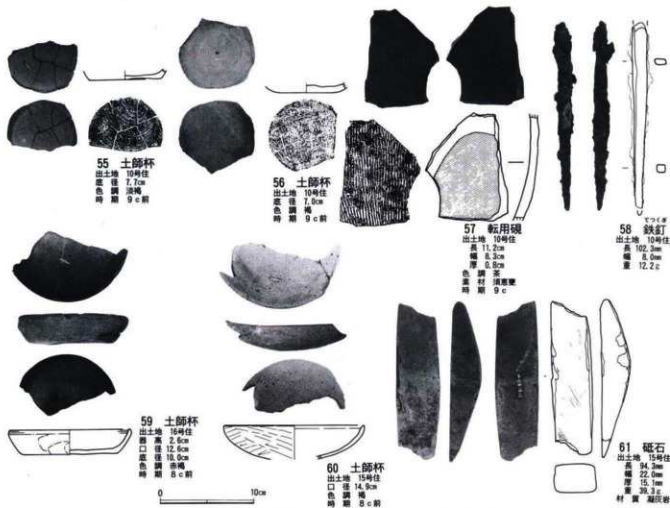
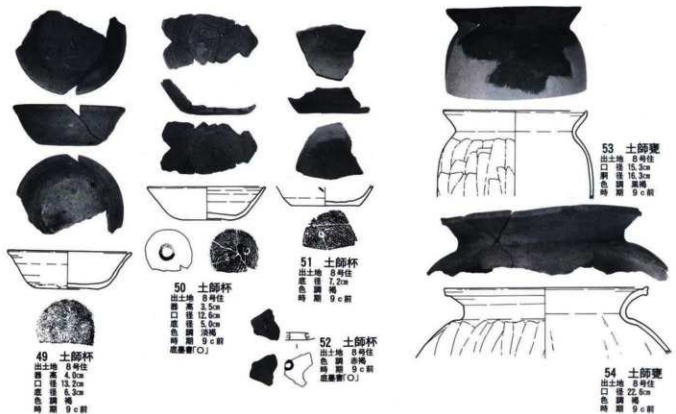
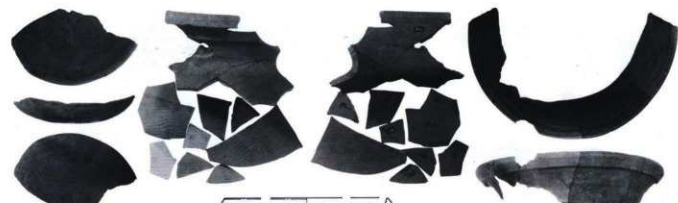
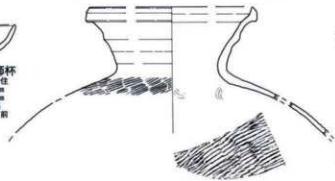


図94 奈良・平安時代遺物⑦ 8・10・14・15号住居跡出土遺物

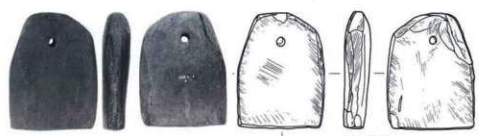


62 土師杯
 出土地 19号住
 高 3.3cm
 口径 15.5cm
 色 暗褐色
 時期 Bc前



63 須惠甕
 出土地 19号住
 口径 17.5cm
 色 暗褐色
 時期 Bc前

64 須惠甕
 出土地 19号住
 口径 24.5cm
 色 暗褐色
 時期 Bc前



65 磁石
 出土地 19号住
 高 61.3cm
 幅 40.0cm
 厚 14.8cm
 重 88.6g
 材質 粘板岩

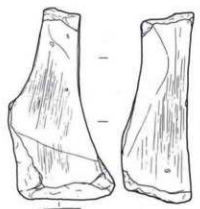


66 土師杯
 出土地 20号住
 高 4.1cm
 口径 12.4cm
 色 暗褐色
 時期 Bc前



67 土師杯
 出土地 20号住
 口径 9cm
 色 暗褐色
 時期 Bc前

68 土師杯
 出土地 20号住
 口径 9cm
 色 暗褐色
 時期 Bc前



69 磁石
 出土地 20号住
 高 100.3cm
 幅 53.0cm
 厚 37.1cm
 重 214.4g
 材質 粘板岩



図95 奈良・平安時代遺物⑧19・20号住居跡出土遺物



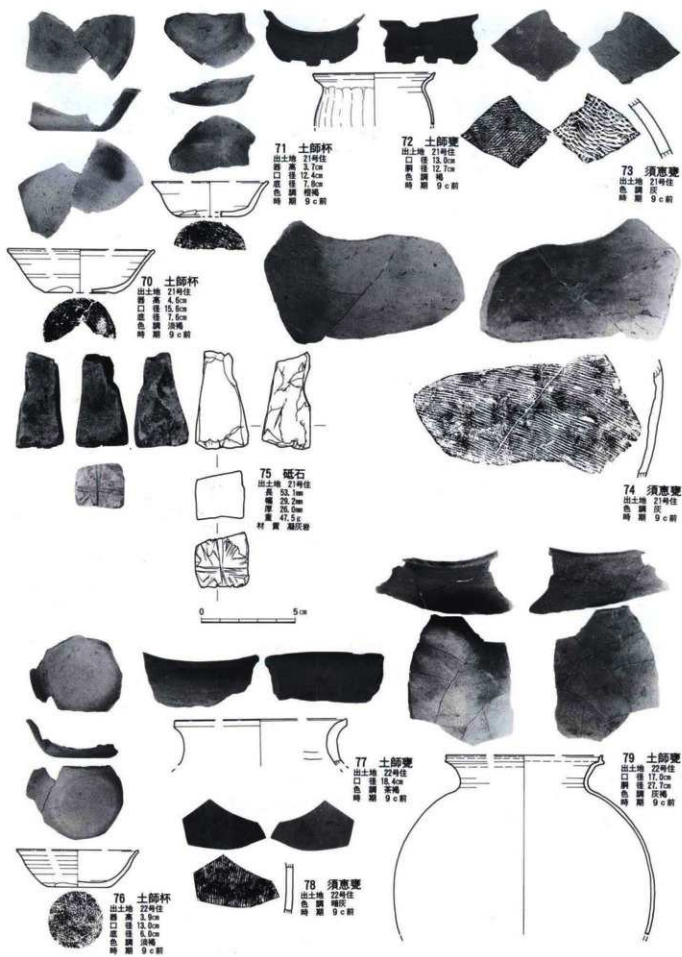


図96 奈良・平安時代遺物⑨21・22号住居跡出土遺物



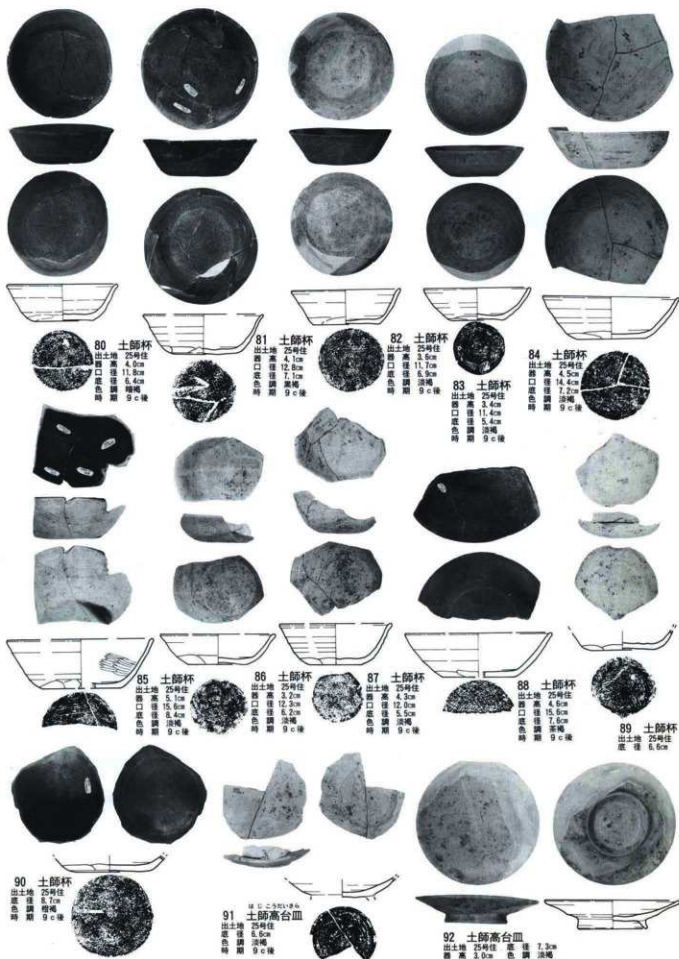


図97 奈良・平安時代遺物⑩25号住居跡出土遺物

0 10cm



図98 奈良・平安時代遺物①25号住居跡出土遺物



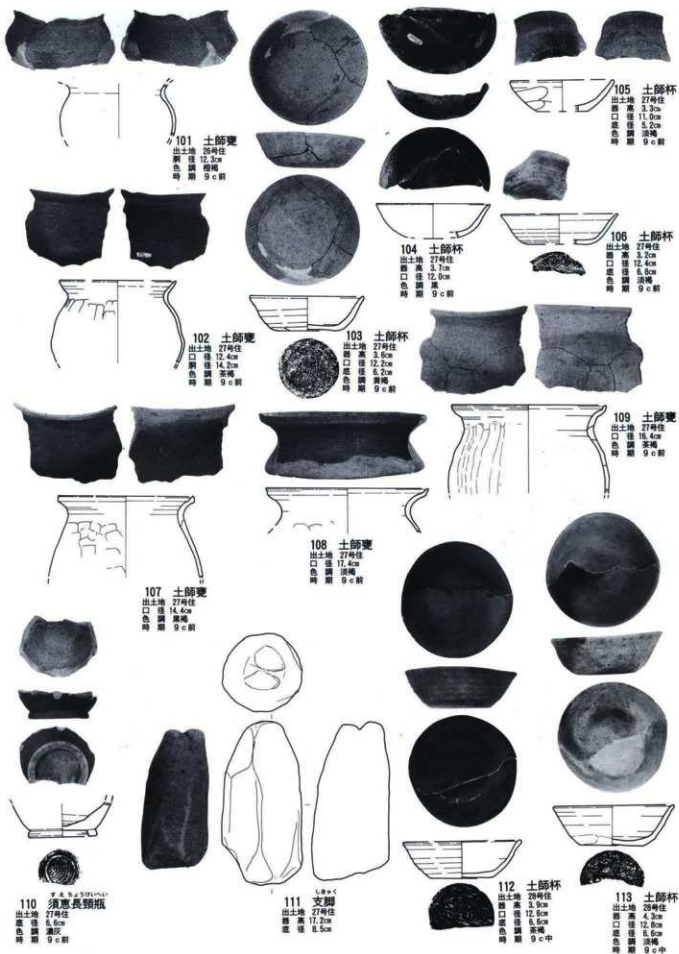


図99 奈良・平安時代遺物⑫26・27・28号住居跡出土遺物

0 10cm



图100 奈良・平安時代遺物(329・30・33号住居跡出土遺物)

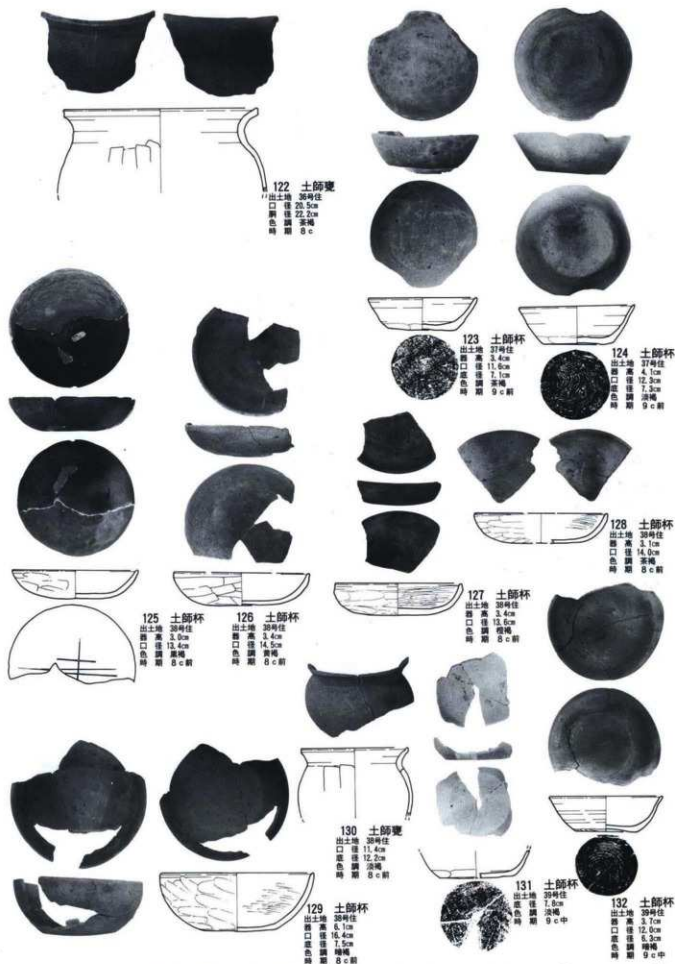


図101 奈良・平安時代遺物(436・37・38・39号住居跡出土遺物)

0 10cm

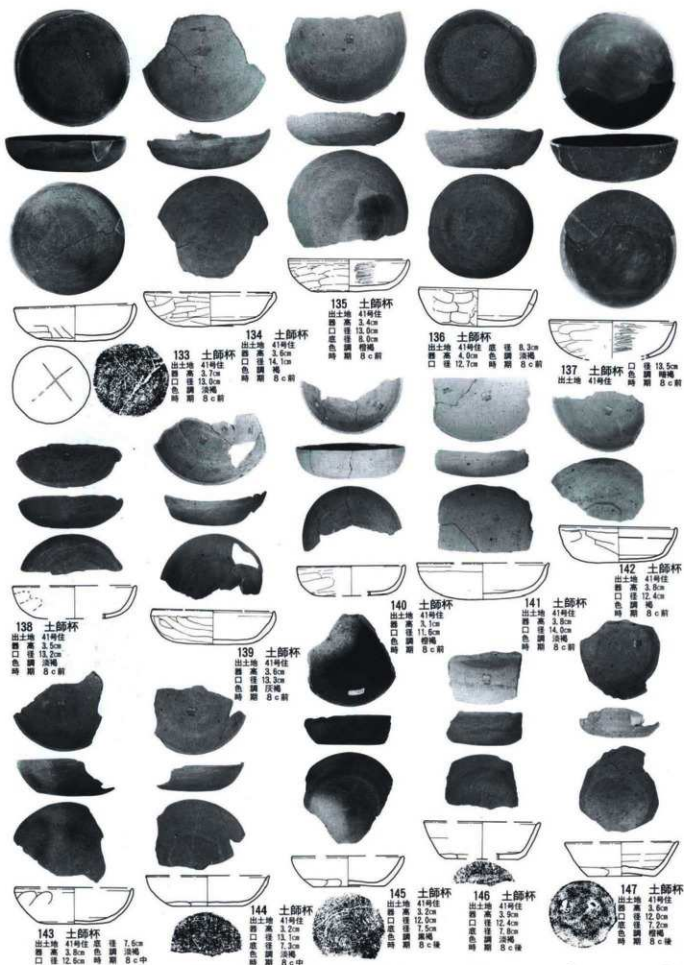


図102 奈良・平安時代遺物1541号住居跡出土遺物

0 10cm

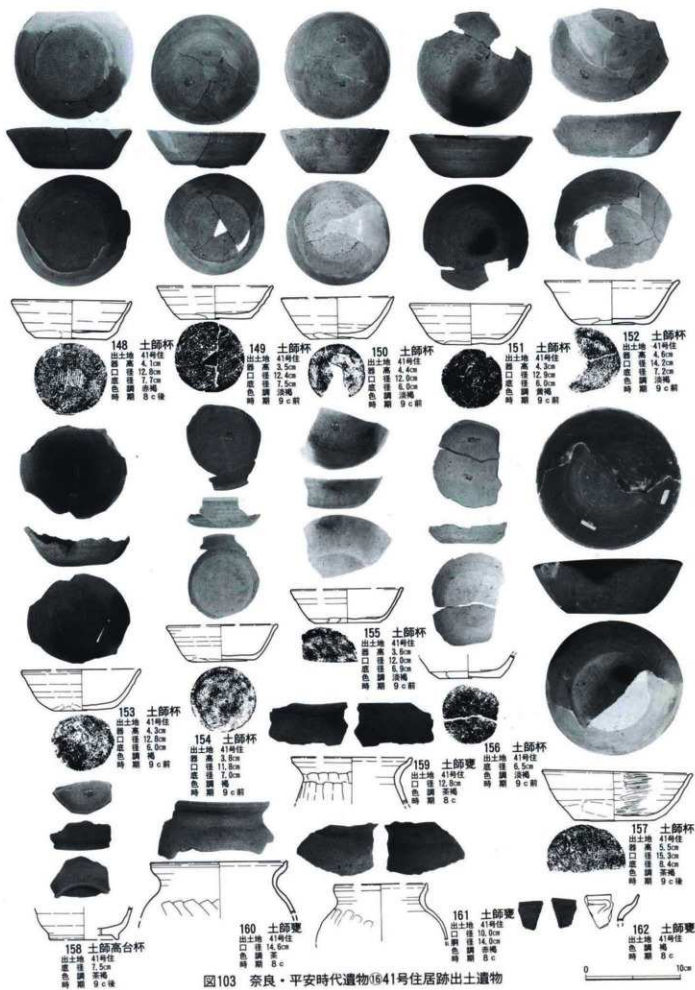


図103 奈良・平安時代遺物1641号住居跡出土遺物

0 10cm

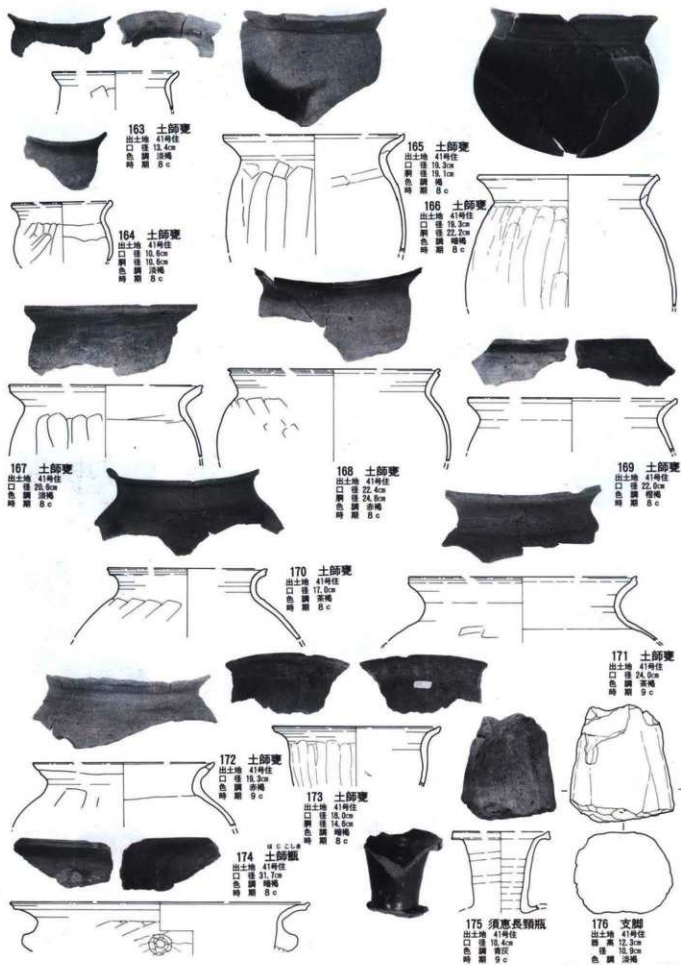


図104 奈良・平安時代遺物①41号住居跡出土遺物

0 10cm

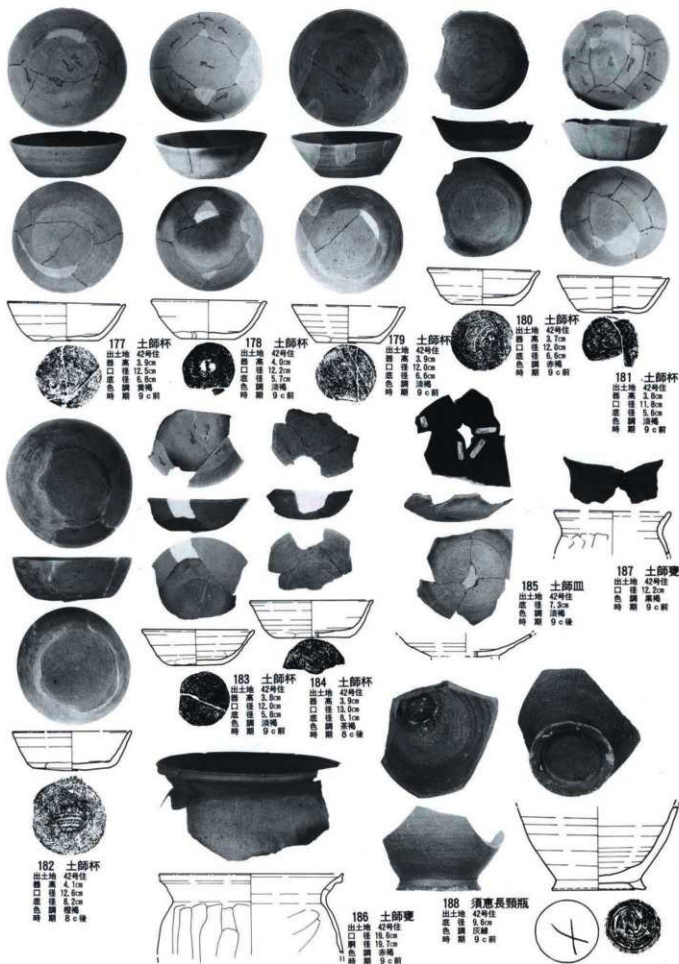


図105 奈良・平安時代遺物①42号住居跡出土遺物

0 10cm

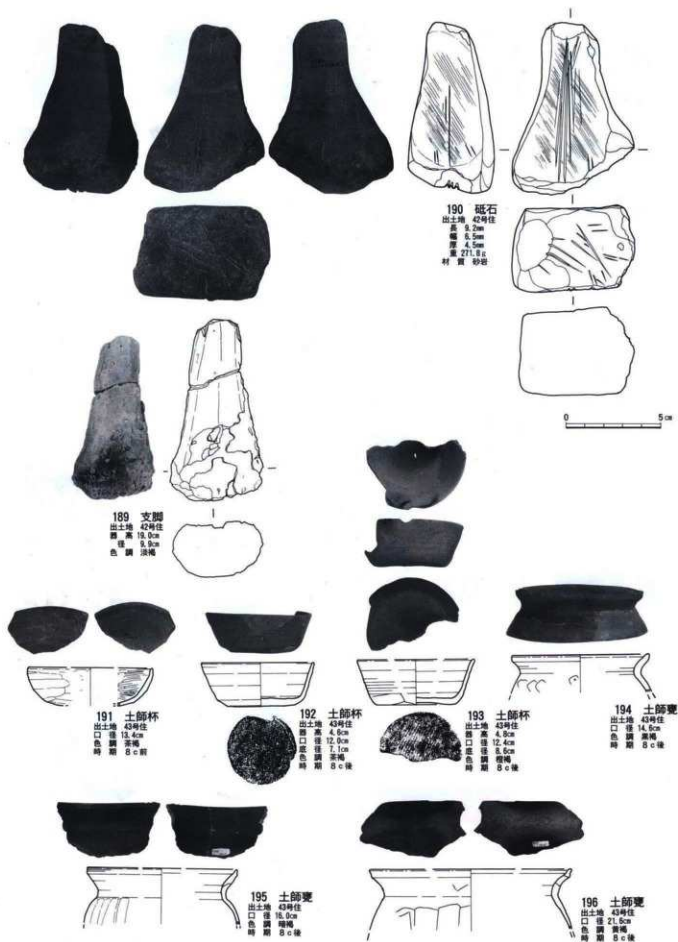


図106 奈良・平安時代遺物⑨42・43号住居跡出土遺物

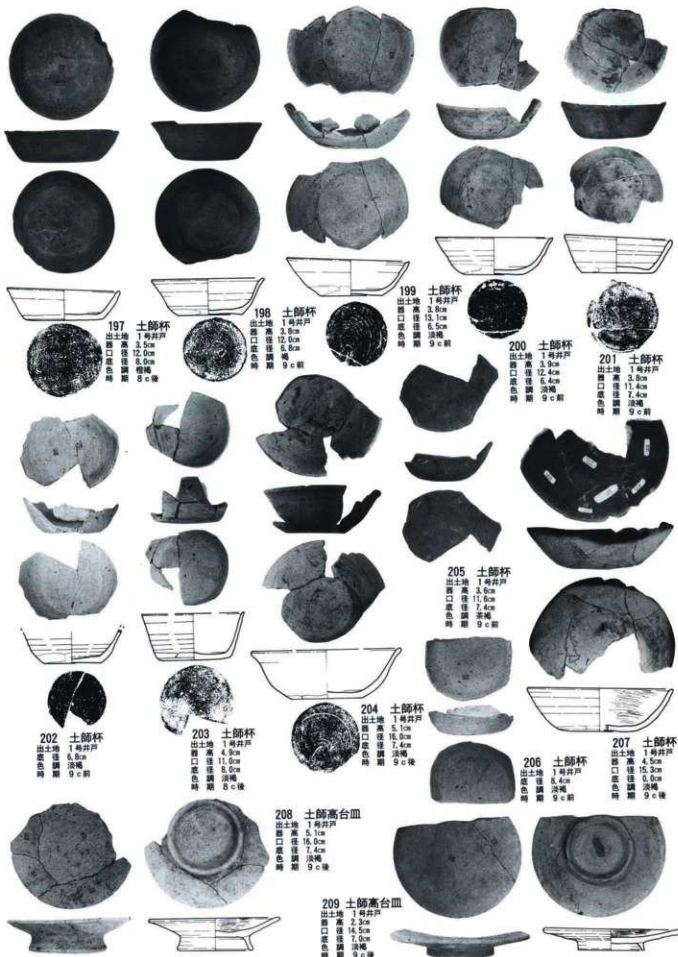


図107 奈良・平安時代遺物 201号平安并戸跡出土遺物

0 10cm

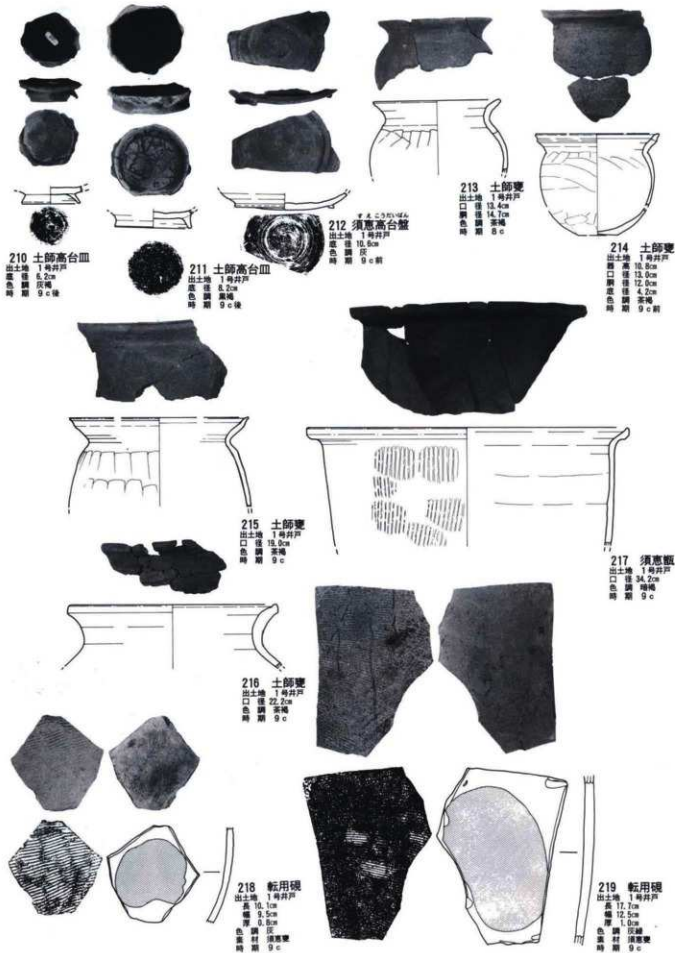
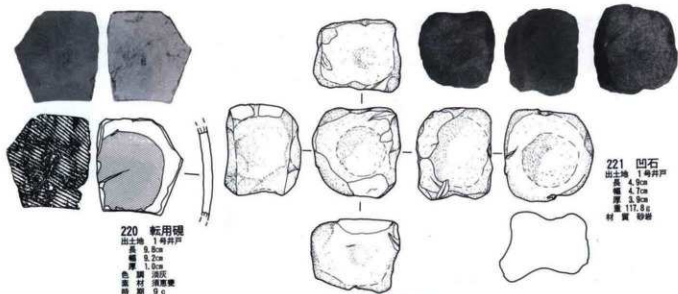


図108 奈良・平安時代遺物② 1号平安井戸跡出土遺物

0 10cm

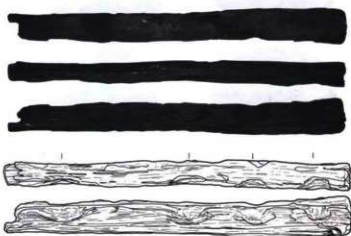
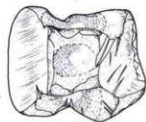
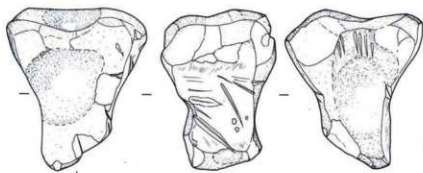


220 転用硬
 出土地 1号井戸
 高 5.8cm
 幅 5.2cm
 厚 3.0cm
 色 黒
 質 硬質
 材 珪石
 時期 9c

221 凹石
 出土地 1号井戸
 高 4.9cm
 幅 4.7cm
 厚 3.9cm
 重 117.8g
 材質 砂岩



222 凹石
 出土地 1号井戸
 高 5.9cm
 幅 7.4cm
 厚 5.8cm
 重 208.2g
 材質 砂岩



223 火鑽石
 出土地 1号井戸
 長 36.7cm
 幅 4.2cm
 厚 3.4cm



図109 奈良・平安時代遺物② 1号平安井戸跡出土遺物

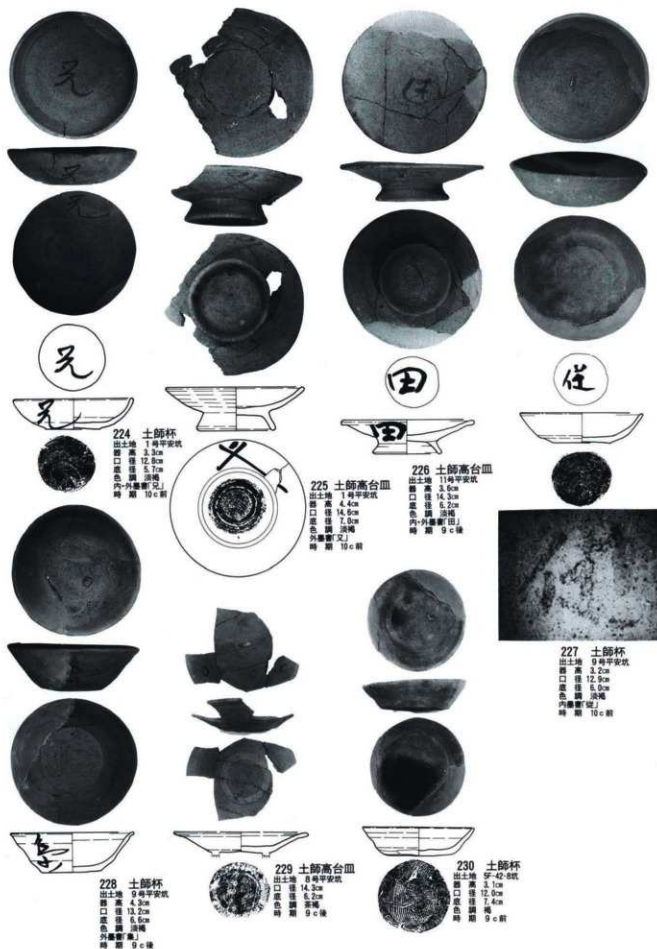


図110 奈良・平安時代遺物② 平安坑出土遺物

0 10cm

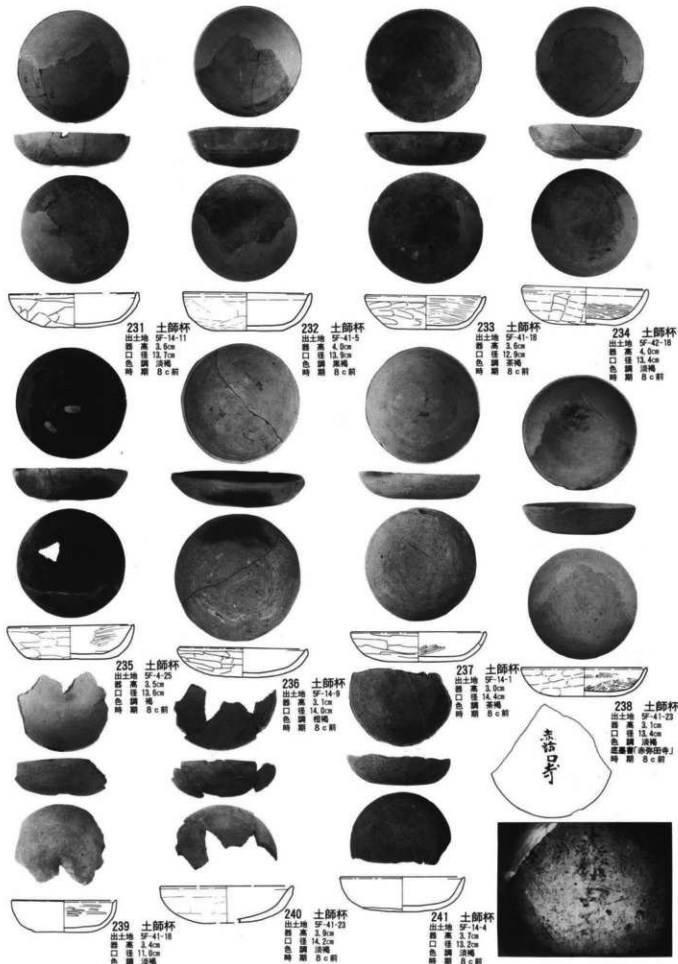


図111 奈良・平安時代遺物④ 奈良時代土師杯

0 10cm

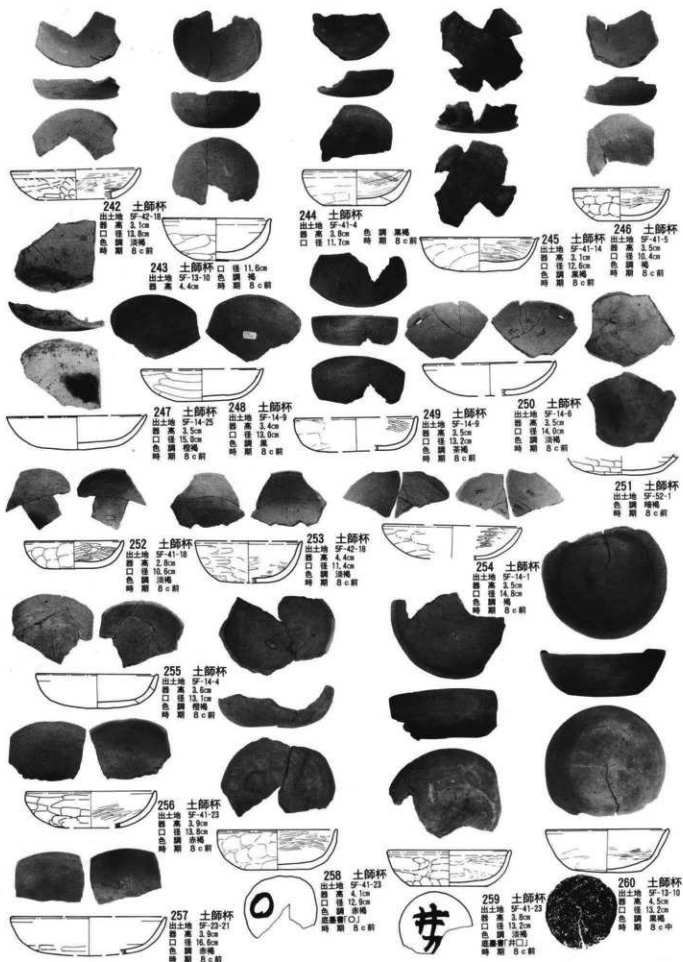


図112 奈良・平安時代遺物 ② 奈良時代土師杯

0 10cm

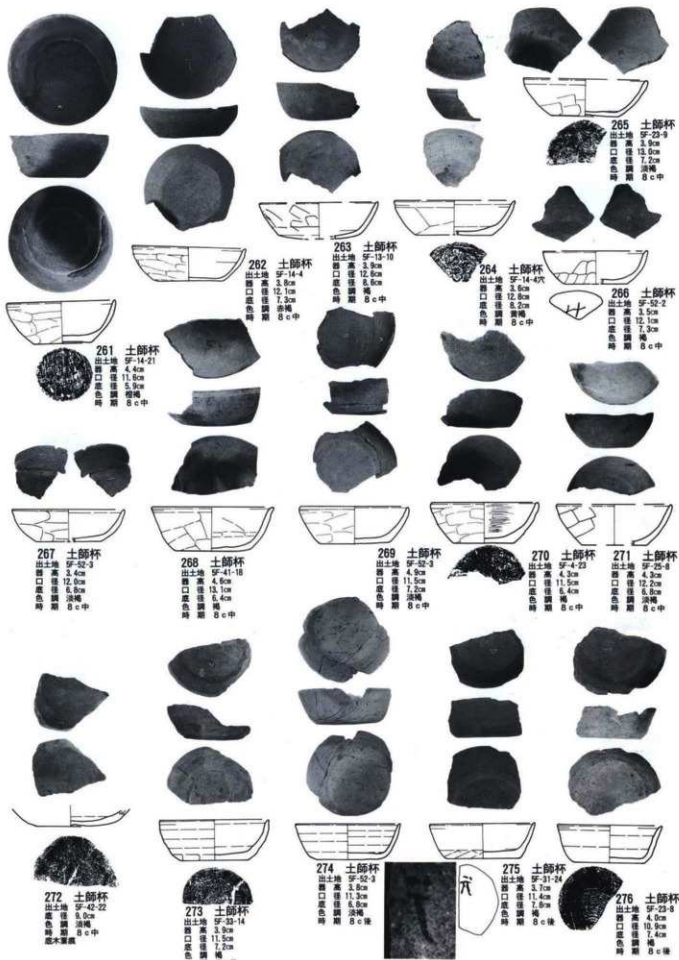


図113 奈良・平安時代遺物② 奈良時代土師杯

0 10cm

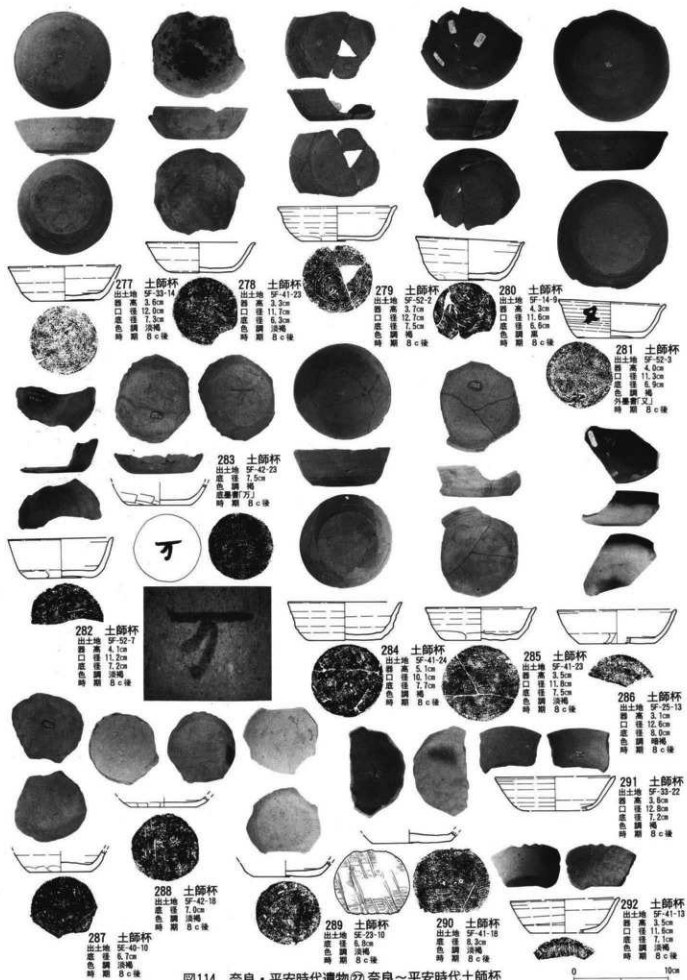


図114 奈良・平安時代遺物⑦ 奈良~平安時代土師杯

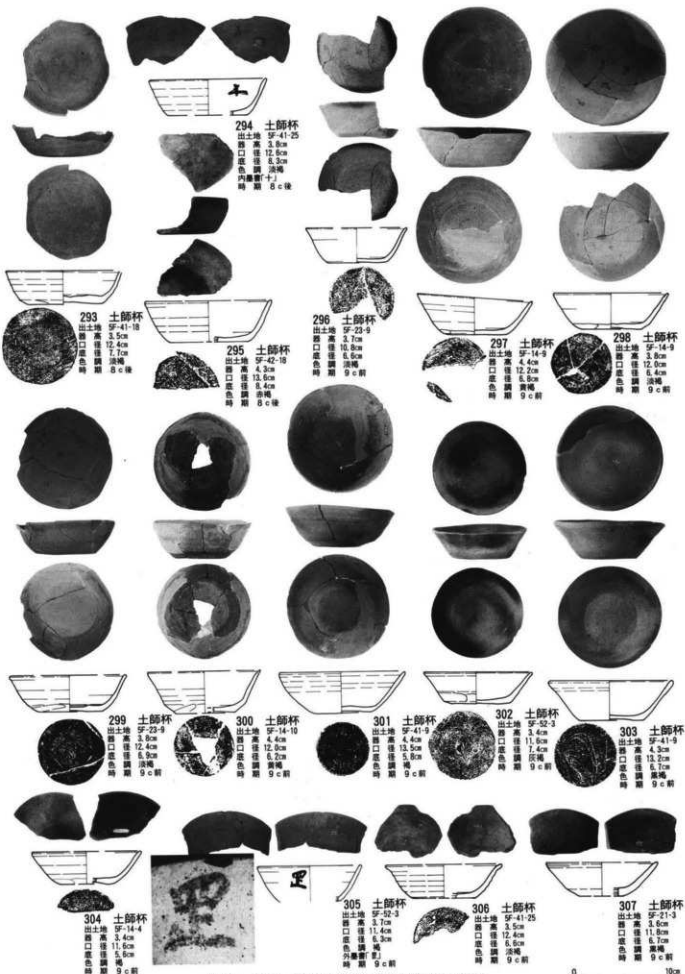


図115 奈良・平安時代遺物 ② 平安時代土師杯

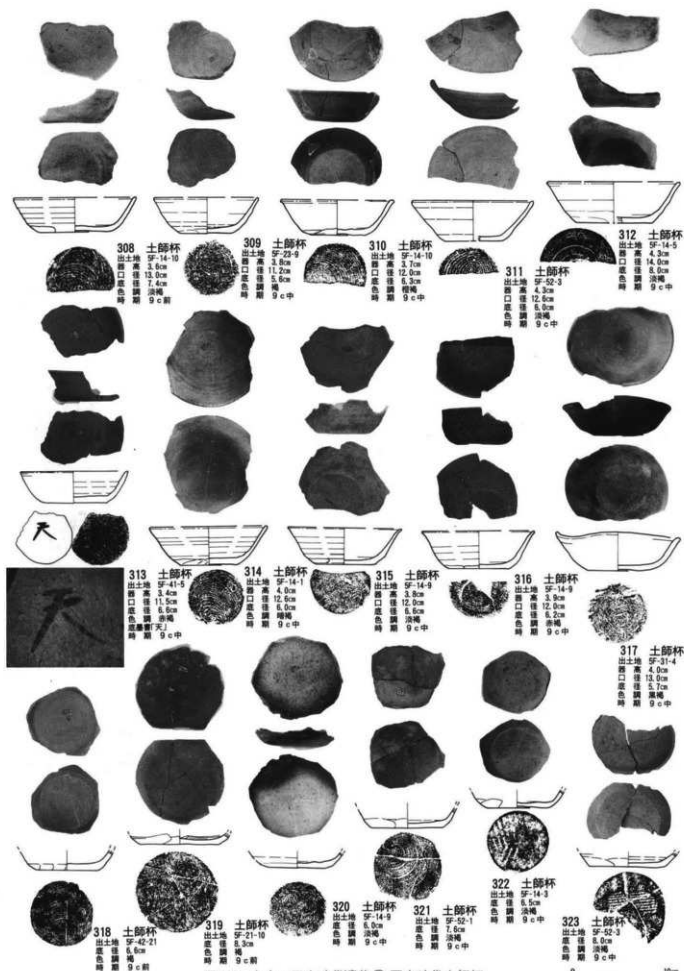


図116 奈良・平安時代遺物⑨ 平安時代土師杯

0 10cm

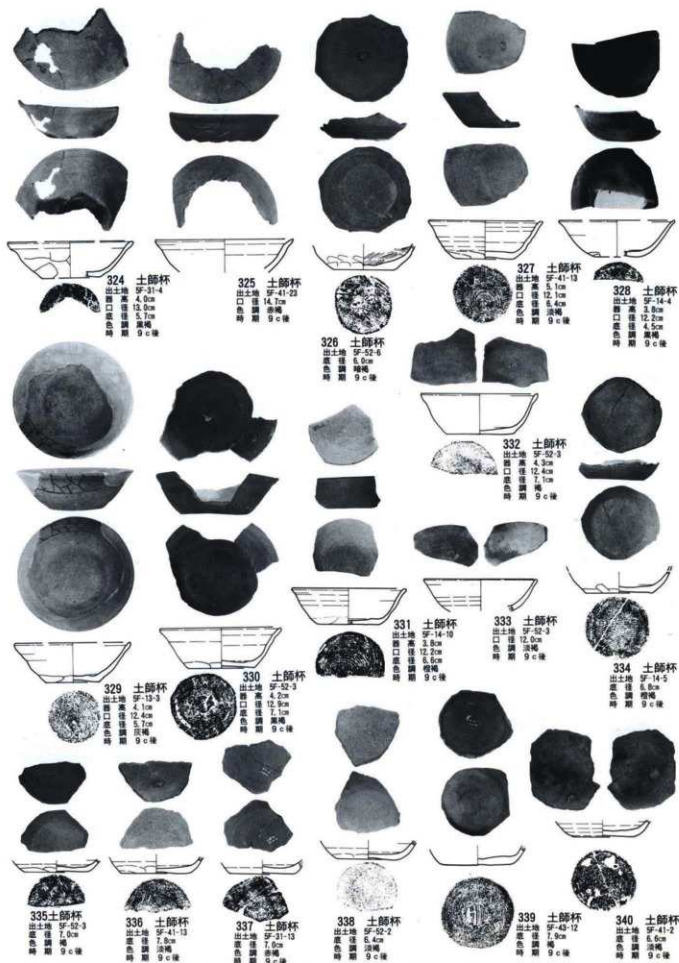


図117 奈良・平安時代遺物 ⑨平安時代土師杯

0 10cm

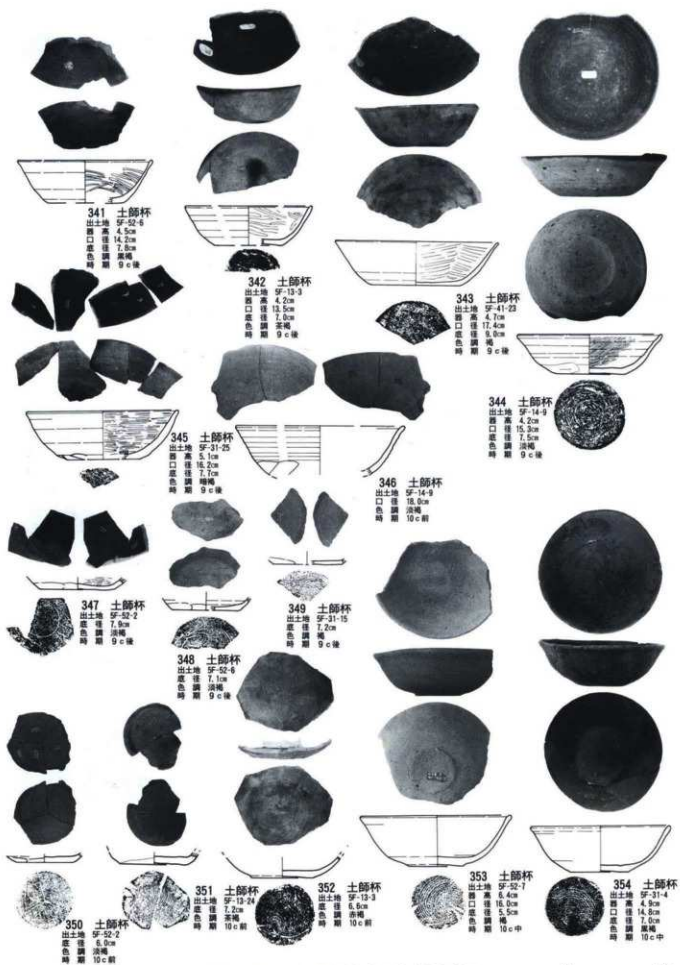


圖118 奈良・平安時代遺物④ 平安時代土師杯



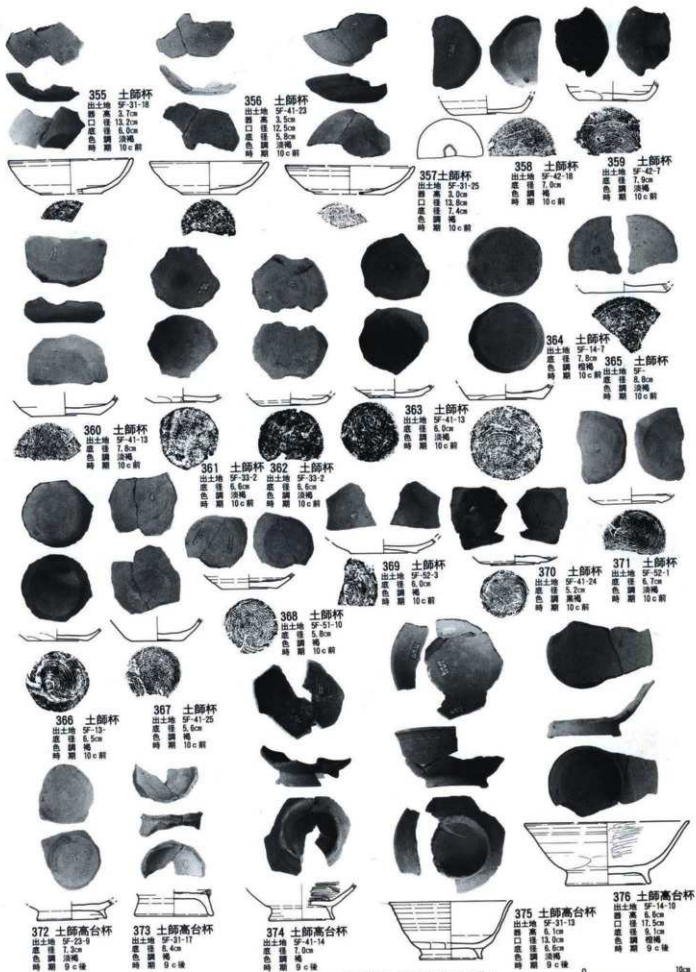


図119 奈良・平安時代遺物② 平安時代土師杯



図120 奈良・平安時代遺物③平安時代須惠蓋・杯・盤

0 10cm

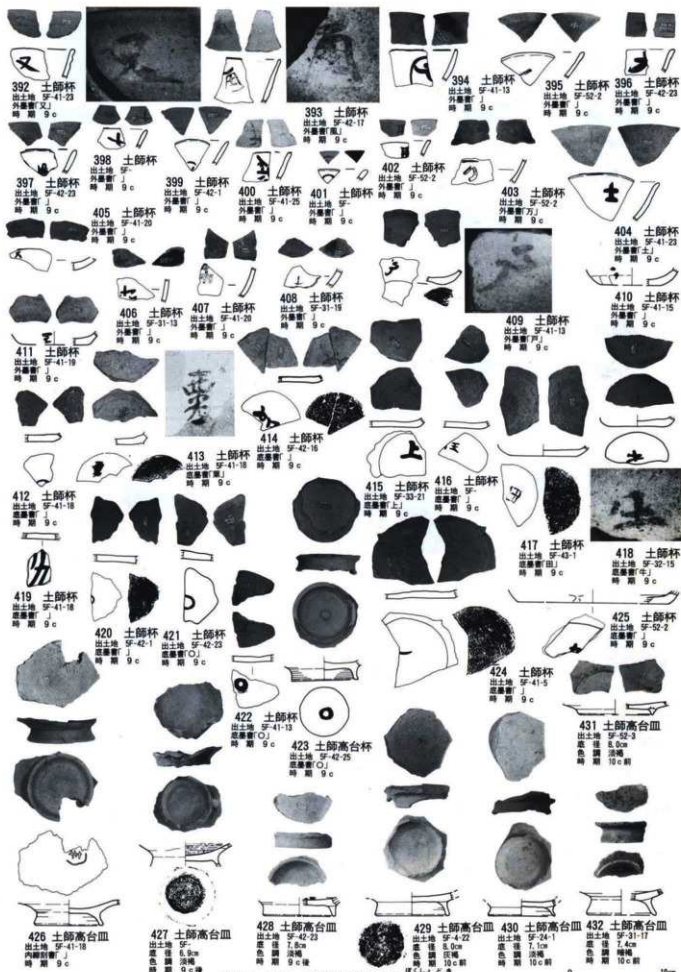


図121 奈良・平安時代遺物④ 墨書土器

0 10cm

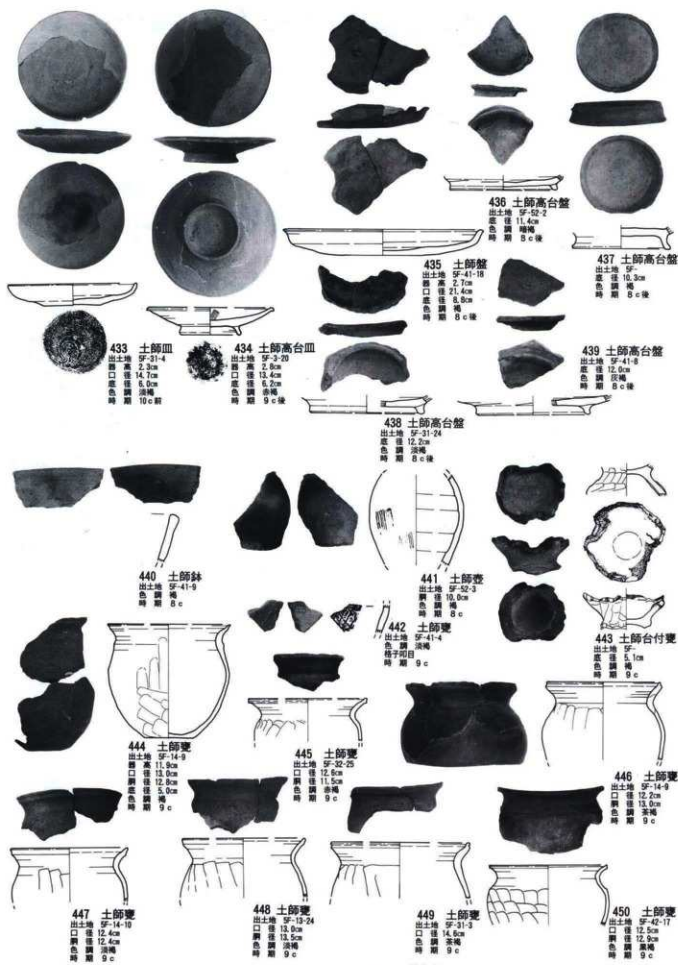


図122 奈良・平安時代遺物(8) 平安時代土師皿・盤・甕

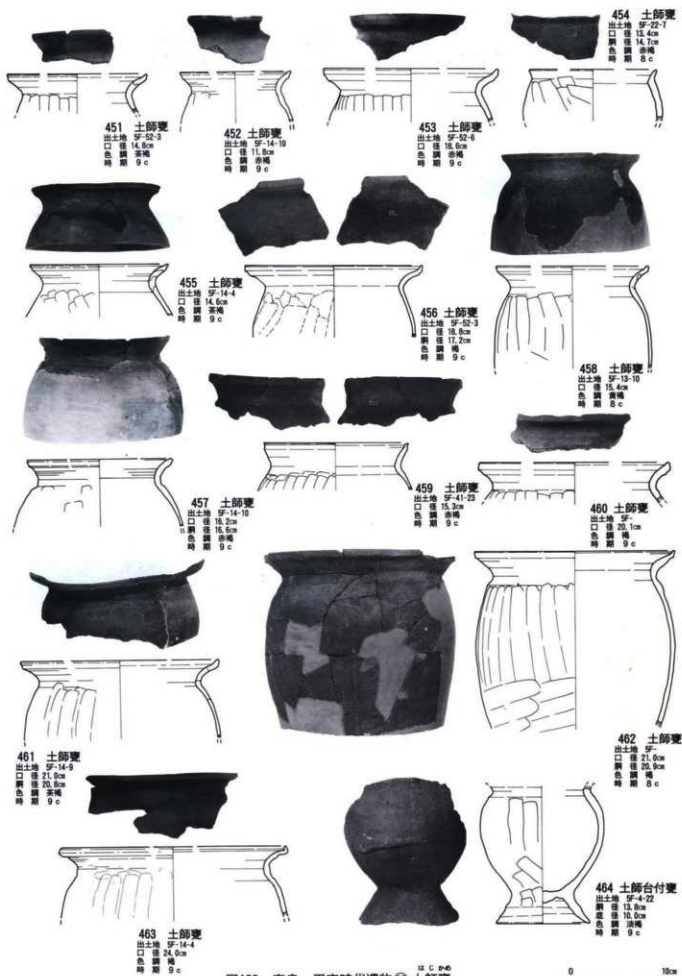
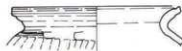
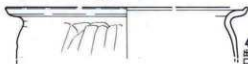


図123 奈良・平安時代遺物 土師甕

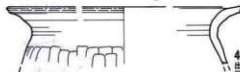
0 10cm



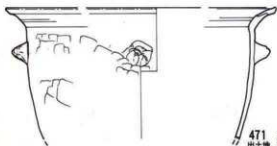
465 土師甕
 出土地 SF-42-1
 口径 15.0cm
 底径 9.0cm
 色時



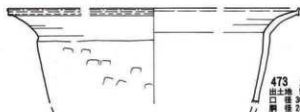
467 土師甕
 出土地 SF-13-25
 口径 25.0cm
 底径 9.0cm
 色時



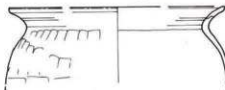
468 土師甕
 出土地 SF-42-18
 口径 24.0cm
 底径 8.0cm
 色時



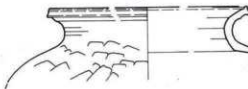
471 土師甕
 出土地 SF-52-3
 口径 28.0cm
 底径 24.0cm
 底径 8.0cm
 色時



473 土師甕
 出土地 SF-14
 口径 30.0cm
 底径 24.0cm
 底径 8.0cm
 色時



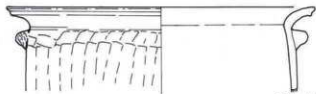
466 土師甕
 出土地 SF-41-18
 口径 22.0cm
 底径 9.0cm
 色時



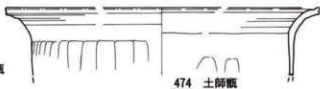
469 土師甕
 出土地 SF-14-4
 口径 21.0cm
 底径 9.0cm
 色時



470 土師甕
 出土地 SF-
 口径 21.0cm
 底径 9.0cm
 色時



472 土師甕
 出土地 SF-41-13
 口径 33.0cm
 底径 28.0cm
 底径 8.0cm
 色時



474 土師甕
 出土地 SF-42-17
 口径 33.0cm
 底径 27.0cm
 底径 8.0cm
 色時

図124 奈良・平安時代遺物⑦ 土師甕・甎

なし

0 10cm



奈良・平安時代遺物 須恵長頸瓶・甕

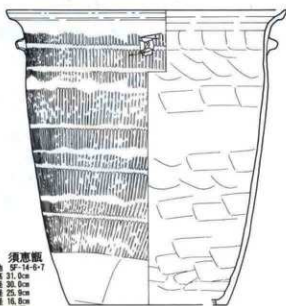




489 須惠甕
出土地 SF-52-6
色 黒灰
時期 9c



490 転用碗
出土地 SF-41-18
高 6.7cm
口径 7.0cm
口径内径 1.2cm
色 黒
時期 須惠 9c



488 須惠甕
出土地 SF-14-6-7
高 31.0cm
口径 30.0cm
口径内径 25.0cm
口径外径 18.0cm
色 黒
時期 9c



491 須惠甕
出土地 SF-14-4
高 43.2cm
口径 24.2cm
口径内径 40.3cm
口径外径 13.4cm
色 黒
時期 9c

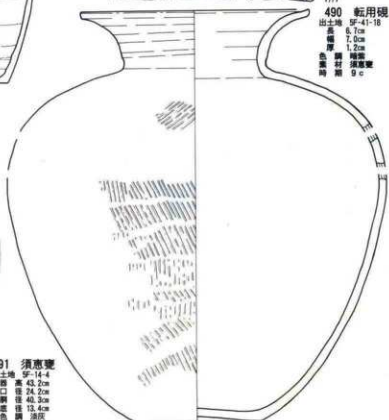


図126 奈良・平安時代遺物㊦ 須惠甕・甕



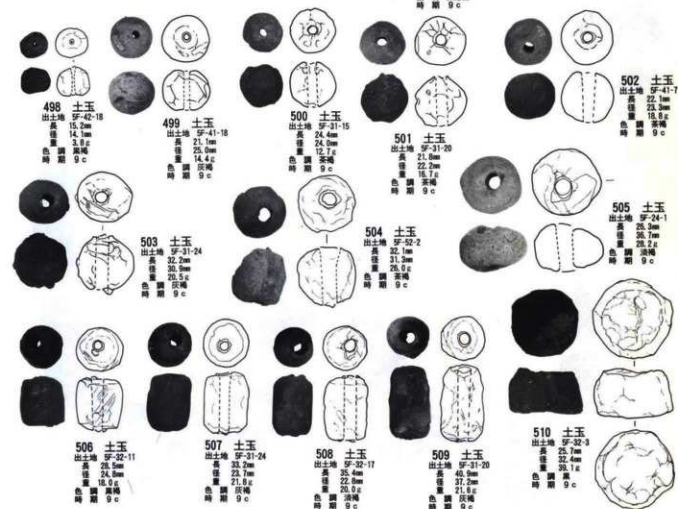
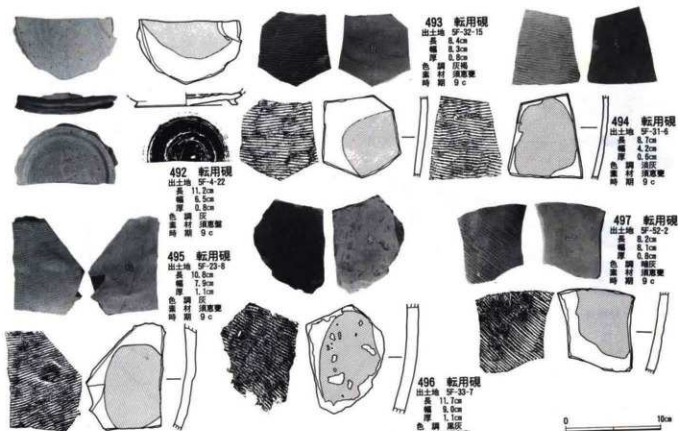


図127 奈良・平安時代遺物④ 須原器転用礪・土玉

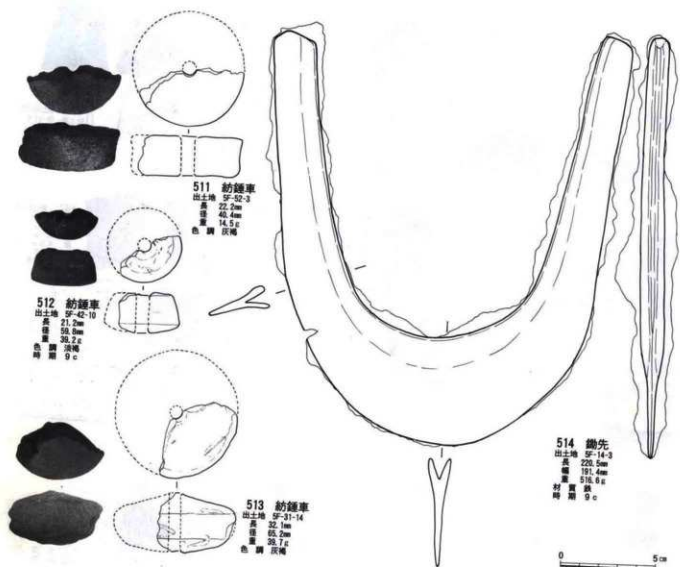
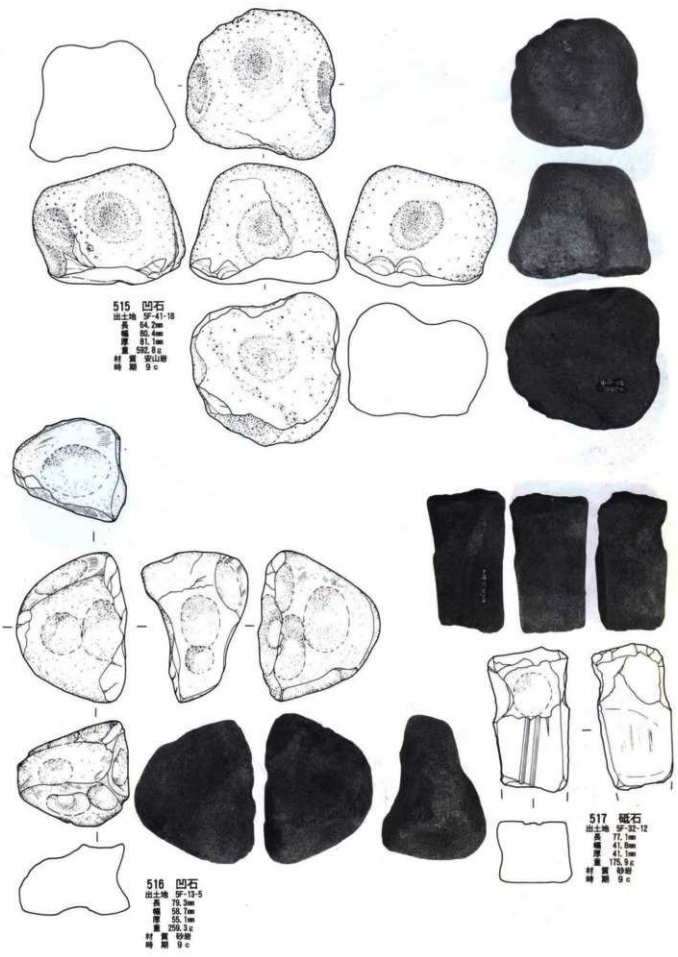


図128 奈良・平安時代遺物④ 鈎鐘車・鉄製鈎鐘先



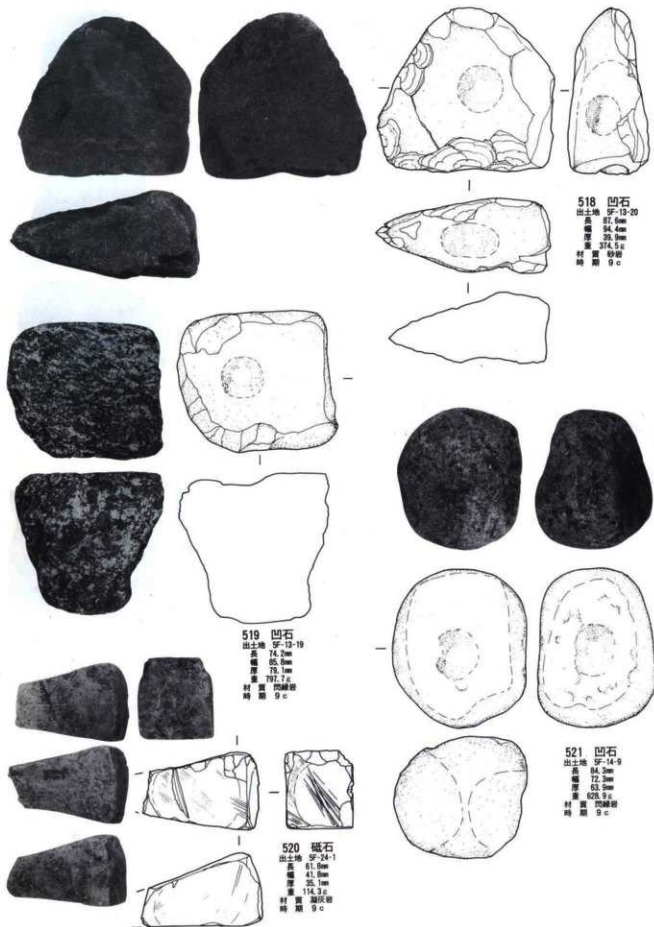
515 凹石
 出土地 SF-41-18
 高 54.2mm
 幅 80.4mm
 厚 81.1mm
 重 592.0g
 材質 玄山燧石
 時期 9c

516 凹石
 出土地 SF-13-5
 高 79.3mm
 幅 55.7mm
 厚 55.1mm
 重 256.3g
 材質 砂岩
 時期 9c

517 磁石
 出土地 SF-22-12
 高 77.1mm
 幅 47.8mm
 厚 41.1mm
 重 175.3g
 材質 砂岩
 時期 9c

図129 奈良・平安時代遺物④凹石





518 凹石
 出土地 SF-12-20
 高 37.6mm
 幅 84.4mm
 厚 25.8mm
 重 374.6g
 材質 砂岩
 時期 9c

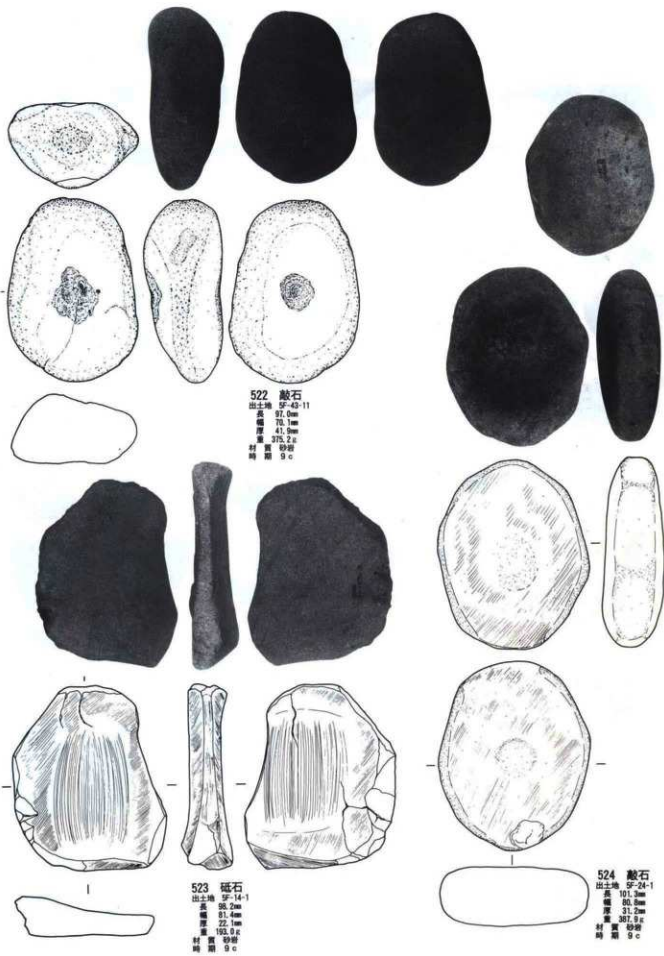
519 凹石
 出土地 SF-13-19
 高 74.2mm
 幅 85.5mm
 厚 79.1mm
 重 797.7g
 材質 砂岩
 時期 9c

521 凹石
 出土地 SF-14-9
 高 64.3mm
 幅 72.3mm
 厚 63.5mm
 重 628.9g
 材質 砂岩
 時期 9c

520 砥石
 出土地 SF-24-1
 高 81.8mm
 幅 41.8mm
 厚 35.1mm
 重 114.3g
 材質 砂岩
 時期 9c

図130 奈良・平安時代遺物④ 凹石・砥石





522 敲石
 出土地 SF-43-11
 高 97.0mm
 幅 73.1mm
 厚 41.0mm
 重 375.2g
 材質 砂岩
 時期 9c

523 砥石
 出土地 SF-14-1
 高 50.2mm
 幅 81.4mm
 厚 22.1mm
 重 163.0g
 材質 砂岩
 時期 9c

524 敲石
 出土地 SF-24-1
 高 101.3mm
 幅 80.0mm
 厚 31.2mm
 重 387.9g
 材質 砂岩
 時期 9c

図131 奈良・平安時代遺物(4) 凹石・砥石



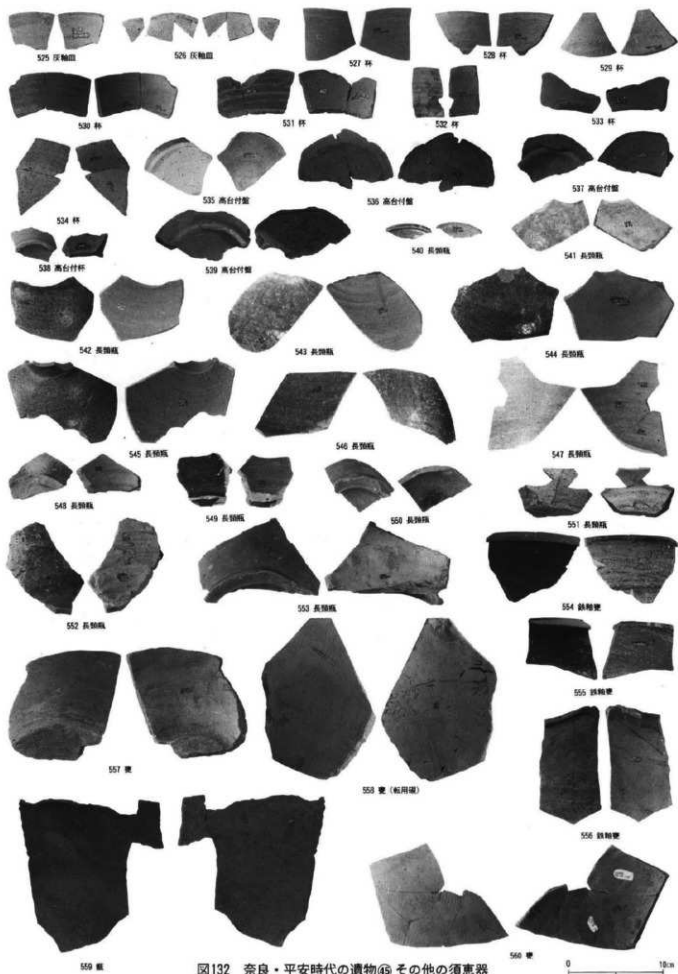


図132 奈良・平安時代の遺物⑨ その他の須恵器

0 10cm

4. 中 世

城山遺跡の中世の遺構は、堀・建物跡・地下式坑・粘土貼土坑・墓坑など、さまざまになもの多数ある。また、遺物も陶磁器・金属製品・石製品・石塔など多種多様である。それらをまとめる事は大変困難であったが、紙面の都合を考えて、この資料編に下記の凡例のように掲載した。

1. 中世の遺構は、堀や掘削整地等で区画された中世区画ごとに図示した
2. 各遺構実測図の縮尺は以下のとおりである。
中世区画・堀：200分の1
（ただし覆土断面図：50分の1）
建物跡：100分の1
地下式坑・粘土貼土坑・馬埋葬坑：50分の1
墓坑：25分の1
その他：遺構によって変える
3. 中世区画平面図の黒色線は遺構形状線、茶色線は等高線、青線は建物跡の想定線を表し、ほかに緑色部は粘土貼土坑、赤色部は焼土、囲炉裏跡などを示す。
3. 遺構実測図の断面図に記した数値は、その線上の標高である。
4. 遺構の説明は、それぞれの実測図のわきに記した。
5. 遺構の写真をそれぞれの実測図のわきに添付したが、本編に掲載したものは、資料編では省いたものもある。
6. 航空写真の中で、同じ場所のカットを2枚並べたものは、立体視できる写真である。30～40cmぐらい目を本から離して、右目で右側を、左目で左側を見るようにすると、写真が立体的に見える。見にくいときは、写真の境に紙を立てると良い。
7. すべての中世区画及び堀平面図に対応して、それ

ぞれ最もよく形状が見える方向からの、200分の1で鳥瞰図を作成した。

8. 鳥瞰図の黒色線は遺構の形状線を示し、茶色線は等高線、緑色線は断面線、青色線は建物跡の想定線をあらわす。
9. 鳥瞰図は、このほかにも特別な遺構の拡大図もある。
10. 粘土貼土坑の緑色トーン部分は、粘土を貼りつけた部分を示す。
11. 遺構の深さは、ローム層直上の遺構確認面からの数値である。
12. 平面実測図中の赤色部は、焼土があった所である。
13. 遺構実測図に添付した遺物実測図は、その遺構から出土したものである。
14. 遺物実測図の縮尺は以下のとおりである。
銭貨・飾り金具：1分の1
碗・杯・小皿・香炉・カワラケ等の小形陶磁器、金属製品、燈石・砥石・硯等の小形石製品：2分の1
瓶子・茶壺・花瓶・大皿・鉢類・甕・内耳土鍋等、茶臼・石鉢等大形石製品：4分の1
石塔：6分の1
15. 遺物の説明は、実測図のわきに記した。
16. 遺物実測図のわきに、それぞれの写真を添付し、特に皿類・鉢類・カワラケ・内耳土鍋は側面・内面・底部を載せた。
17. 陶磁器の釉薬は、種類・色がさまざまであるところから、特にその種別を図示しなかった。しかし、釉薬の境目は線で示した。
18. 銭貨は写真、その下に拓影と銭名を記し、後ろに計測値等の表を載せた。

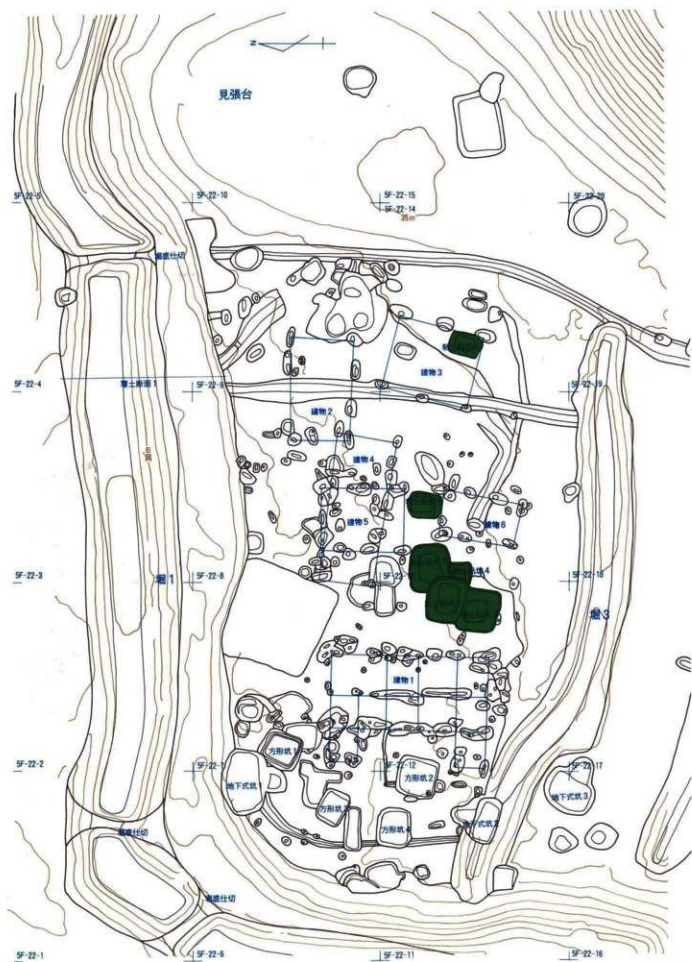


图133 1号中世区画平面図



1号中世区画(東側から)

1号中世区画
 位置 号22-2-10
 方位 東西4.5m 南北31.0m
 面積 1,500㎡
 標高 22.1~24.4m
 境界 1・(3)・4号堀、東崖

区画内施設	建物跡	5棟
	地下式	3基
	粘土粘土坑	6基
	刀土土	3基
	足摺台	標高 25.0m
	規模	20×8m

出土遺物 瀬戸小皿・漆器・磁器、青銅器、家畜形土器

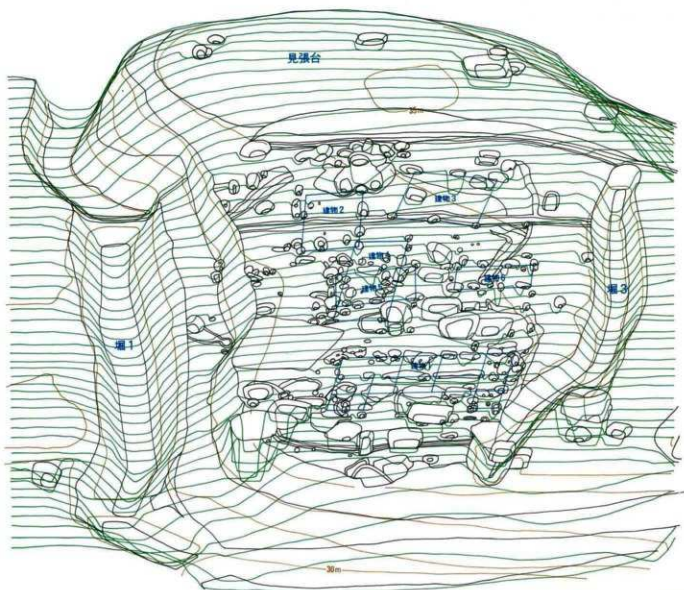


図134 1号中世区画鳥瞰図

0 5m



1号建物跡（上空から）

1号建物跡
位置 57-22-12
主軸 N-4-E
南行 4層
東行 1層
規模 4.4×4.0m
柱穴総数 52
柱穴深さ 0.2-0.6m
出土遺物 瀬戸波瀧
1-2段遺つて居る
溝口出し遺物

2号建物跡
位置 57-22-8-9
主軸 N-105°-W
南行 3層
東行 1層
規模 4.1×3.2m
柱穴総数 7
柱穴深さ 0.4-0.5m

3号建物跡
位置 57-22-14
主軸 N-1-E
南行 2層
東行 1層
規模 4.8×3.8m
柱穴総数 12
柱穴深さ 0.6-0.7m

4号建物跡
位置 57-22-4
主軸 N-11°-W
南行 1層
東行 1層
規模 4.7×3.2m
柱穴総数 14
柱穴深さ 0.2-0.5m

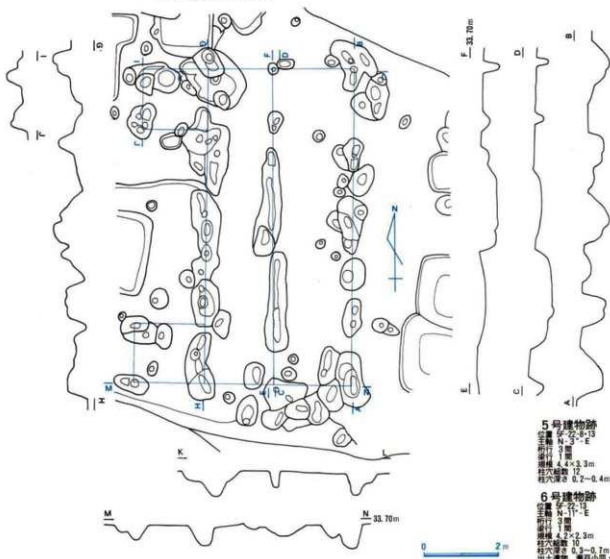


図135 1号建物跡拡大図

5号建物跡
位置 57-22-8-13
主軸 N-3°-E
南行 1層
東行 1層
規模 4.4×3.3m
柱穴総数 12
柱穴深さ 0.2-0.4m

6号建物跡
位置 57-22-15
主軸 N-1-E
南行 1層
東行 1層
規模 4.4×2.3m
柱穴総数 10
柱穴深さ 0.2-0.7m
出土遺物 瀬戸小皿・深皿

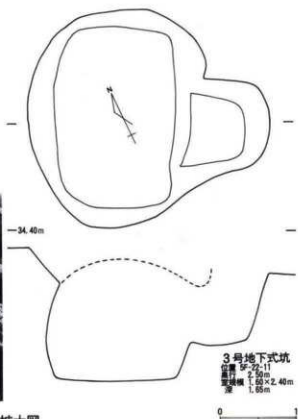
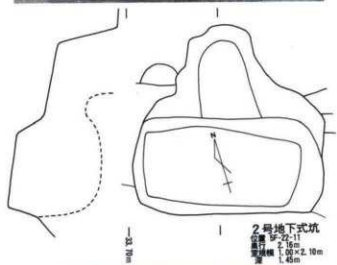
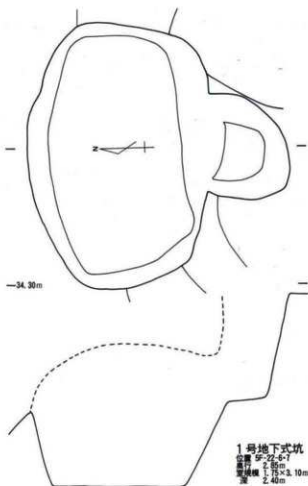


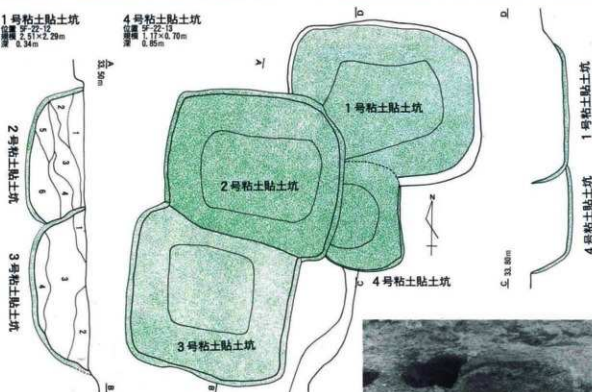
图136 地下式坑放大图

0 1m



1号粘土貼土坑
位置 号22-12
面積 2.51×2.29m
深 0.34m

4号粘土貼土坑
位置 号22-13
面積 1.17×0.70m
深 0.05m



2号粘土貼土坑

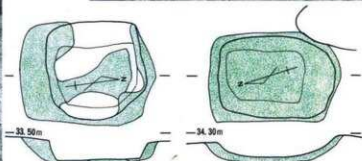
位置 号22-12
面積 2.49×1.97m
深 0.72m

- 層序
- 1 明褐色土(ロームが多く、締まる)
 - 2 暗褐色土(ロームが少し減じる)
 - 3 暗褐色土(ロームが多く、粘土が混じる)
 - 4 暗褐色土(ロームが混じる)
 - 5 (ローム・粘土・焼土が混じる)
 - 6 (粘土が多く、焼土・木炭混じる)

3号粘土貼土坑

位置 号22-12
面積 2.21×1.30m
深 0.03m

- 層序
- 1 明褐色土(ロームが多く、混じる)
 - 2 暗褐色土(ロームが多く、混じる)
 - 3 (ロームが多く、粘土が混じる)
 - 4 (粘土が混じる)



5号粘土貼土坑

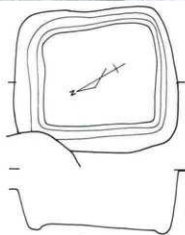
位置 号22-13
面積 1.82×1.39m
深 0.27m

6号粘土貼土坑

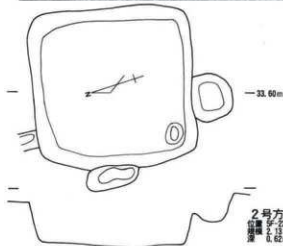
位置 号22-14
面積 1.74×1.17m
深 0.25m

図137 粘土貼土坑拡大図

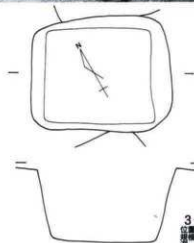
0 1m



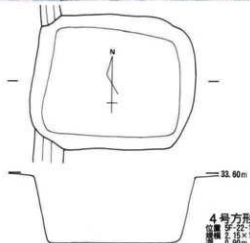
1号方形土坑
位置 5F-22-7
规模 2.18×1.89m
深 0.75m



2号方形土坑
位置 5F-22-11
规模 2.13×2.13m
深 0.62m



3号方形土坑
位置 5F-22-6
规模 1.85×1.48m
深 0.97m



4号方形土坑
位置 5F-22-11
规模 2.13×1.77m
深 0.90m

图138 方形土坑放大图

0 1m

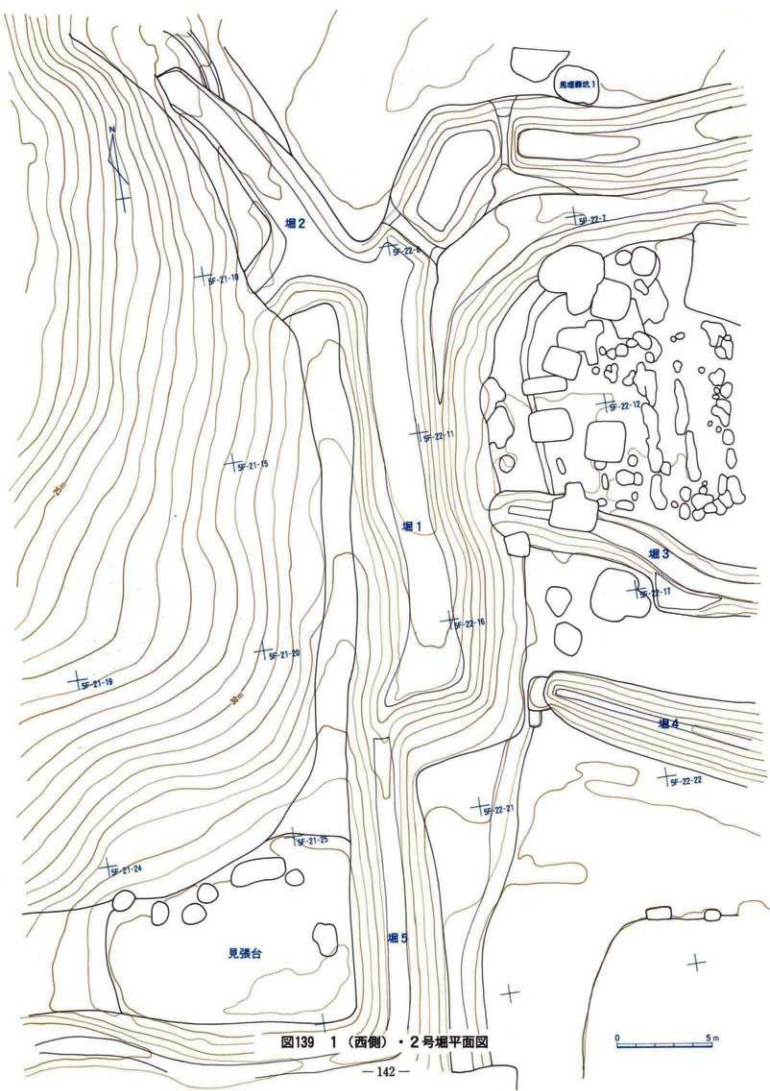


图139 1 (西侧) · 2号壩平面图



1号堀
位置 9-21-20
 -22-3
延長 82m
幅 5.5-10.0m
深 2.5-3.8m
土層 粘板砂層
掘削方法 3
遺物 瓦片等
崖切あり

2号堀
位置 9-11-24
 -21-10
延長 17m
幅 2.5-5.0m
深 0.3-1.8m
土層 粘板砂層
掘削方法 3
遺物 瓦片等
崖切あり

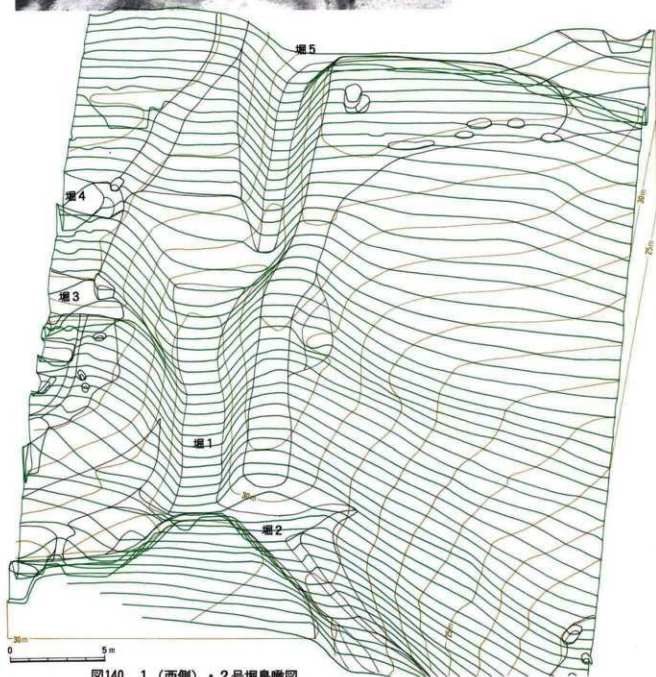


图140 1 (西侧)・2号堀鳥瞰图

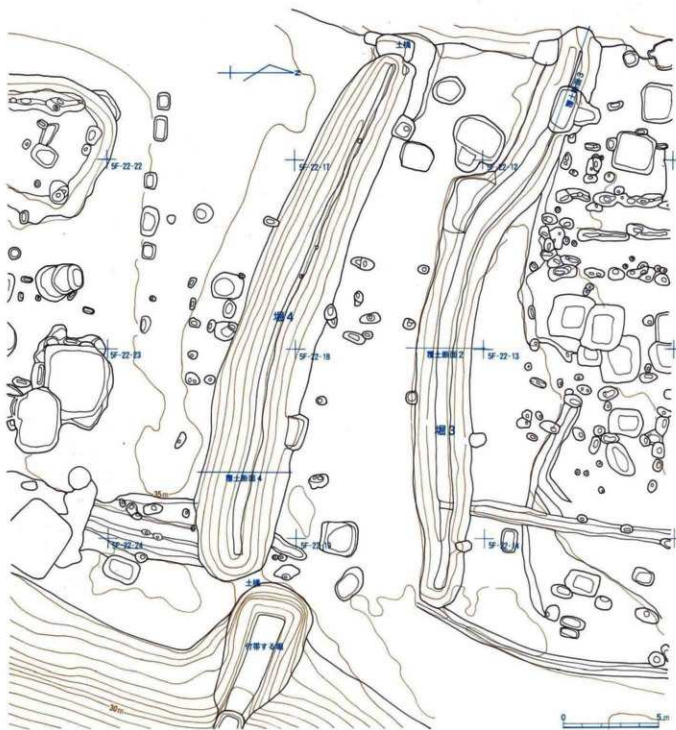


图141 3·4号墟平面图





3号堀
位置 9F-22-11
-22-19
延長 22m
幅 2.7-3.8m
深さ 1.7-1.5m
内堀 堀内側
遺物 内瓦土層
埋め戻し有り

4号堀
位置 9F-22-16
-22-24
延長 29m
幅 3.3-4.7m
深さ 1.7-3.6m
内堀 堀内側
遺物 土層を越えて8.5mの
行幸する遺有り

3・4号堀と1号中世区画（北西側から）

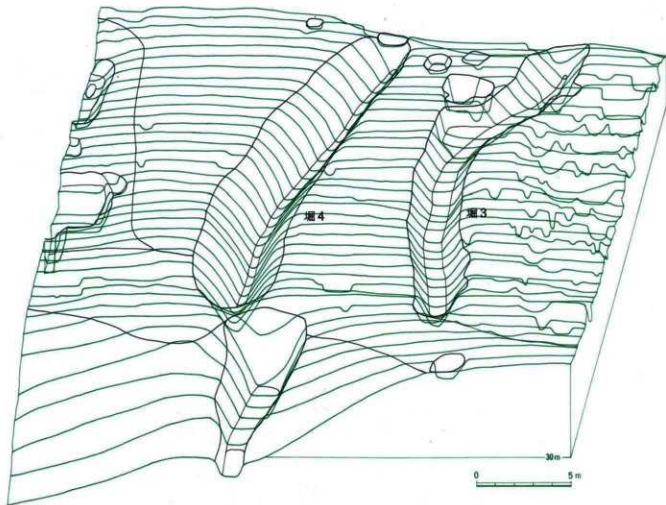


図142 3・4号堀鳥瞰図



3号堀（東側から）

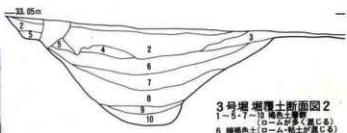
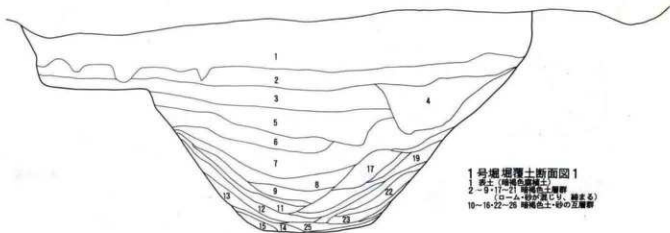


4号堀（東側から）



1～2号区画周辺立体写真

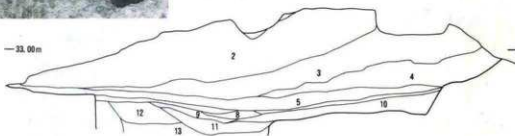
—32.50m



3号堀埋覆土断面図 3

- 1 腐赤土
- 2-3 灰褐色砂層群
- 4-6・7・10-11 埋褐色土層群 (ローム・粘土・砂が混じる)
- 5・9・12 褐色土層群 (ロームが多量に混じる)
- 8・13 埋褐色土層群 (ロームが少し混じる)

—33.00m



35.05m

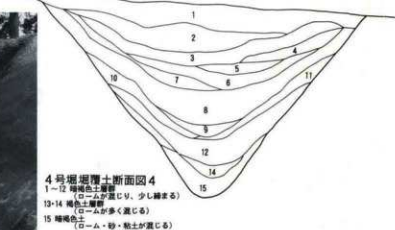


図143 1・3・4号堀埋覆土断面図

0 1m

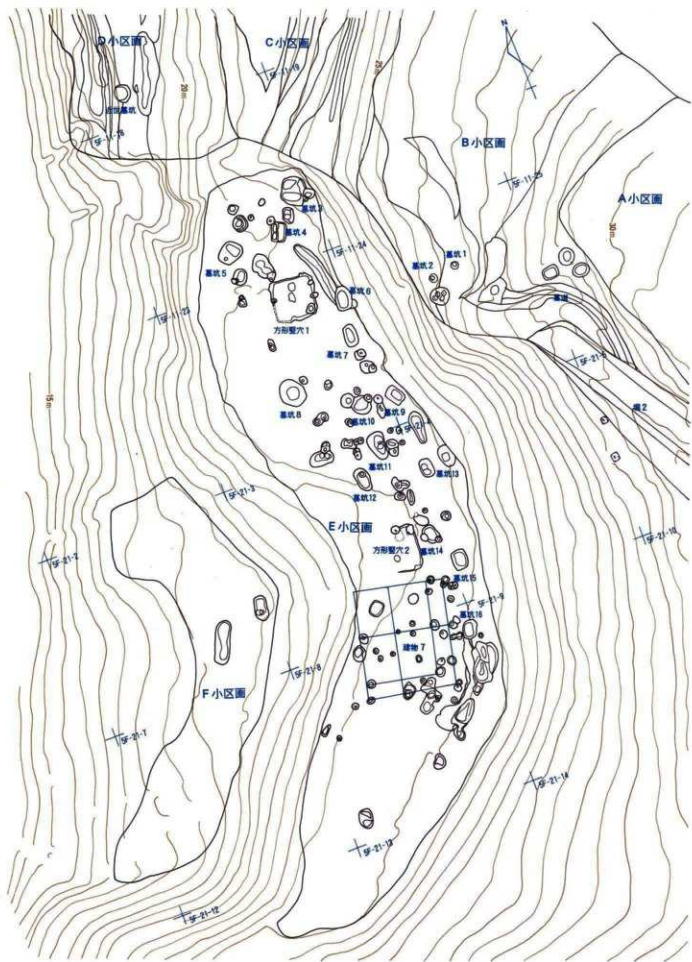


图144 2号中世区平面图

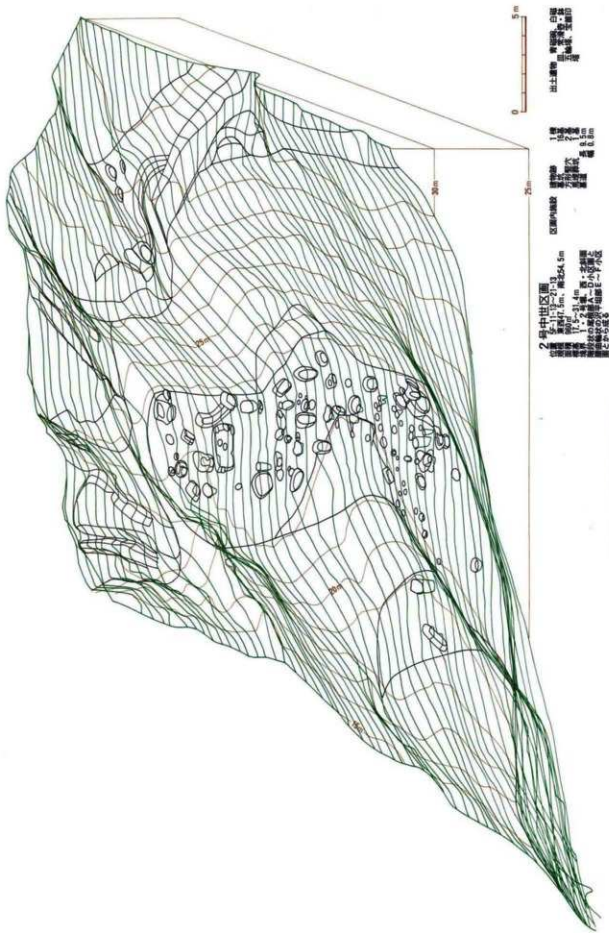


图145 2号中世区平面图



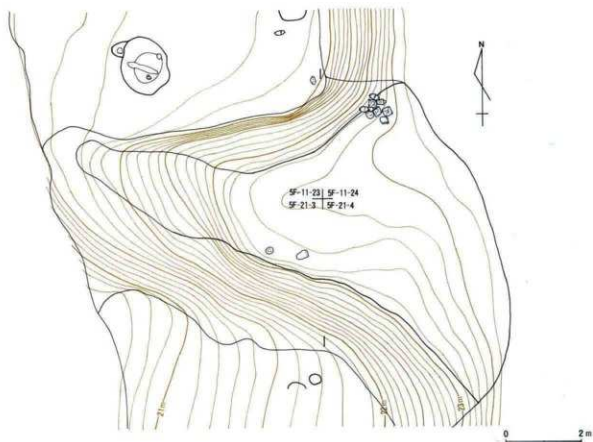
2号区画空中写真



2号区画E小区画
(北側から)



2号区画E小区画北部
(南側から)



盛土発掘前（東側から）



盛土断面

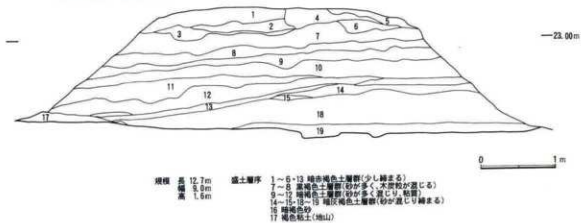


図146 E 小区画中央盛土拡大図



西側から



南側から

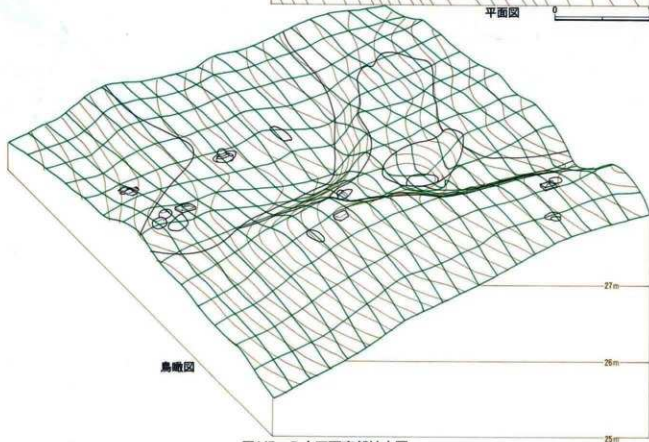
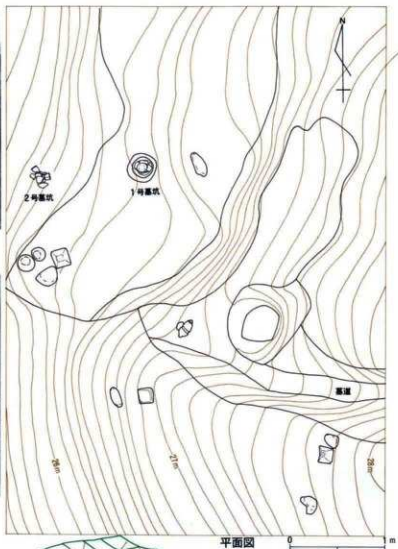


図147 B小区画南部拡大図

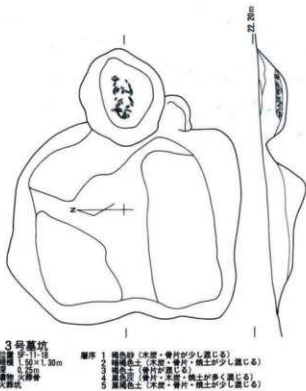
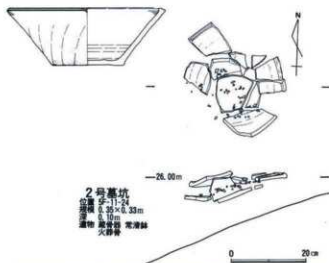
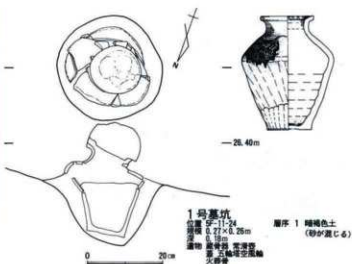
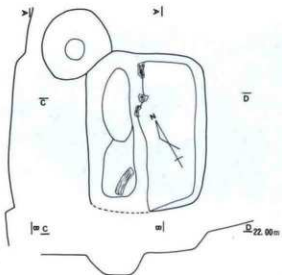
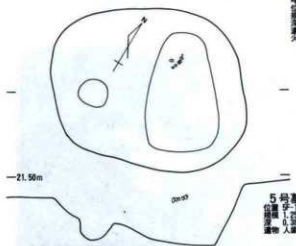


図148 墓坑拡大図



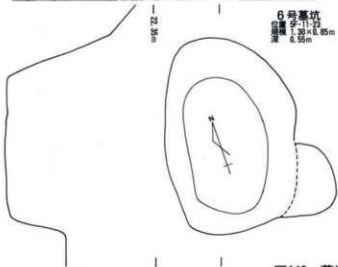
4号墓坑
位置 9-11-16
规格 0.81×0.59m
深度 0.5m
葬物 木炭
火葬坑



5号墓坑
位置 9-11-17
规格 1.21×1.08m
深度 0.5m
葬物 人骨



6号墓坑
位置 9-11-21
规格 1.21×0.85m
深度 0.55m



7号墓坑
位置 9-11-23
规格 0.86×0.67m
深度 0.55m
葬物 黄泥球

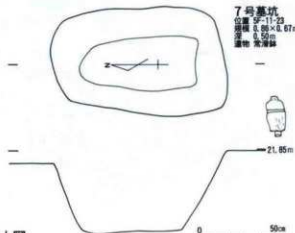
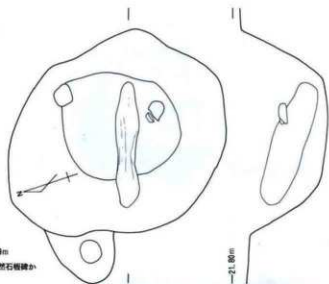
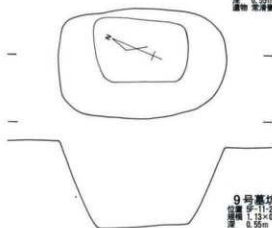


图149 墓坑放大图

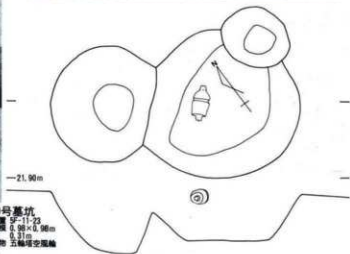


8号墓坑

位置 9-11-3
 面积 1.50 × 1.29m
 深度 0.55m
 遗物 无漆器, 自然石棺槨等

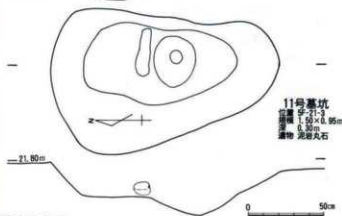


9号墓坑
 位置 9-11-4
 面积 1.13 × 0.63m
 深度 0.55m



10号墓坑

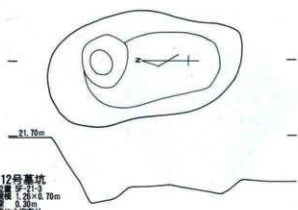
位置 9-11-5
 面积 1.08 × 0.96m
 深度 0.31m
 遗物 五轴埴土陶器



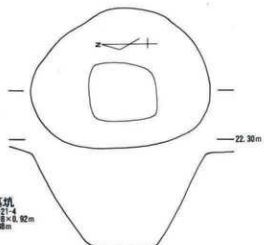
11号墓坑

位置 9-11-6
 面积 1.50 × 0.95m
 深度 0.30m
 遗物 泥质灰石

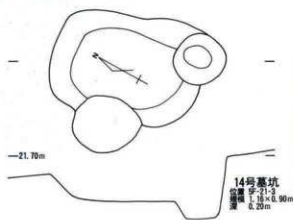
图150 墓坑扩大图



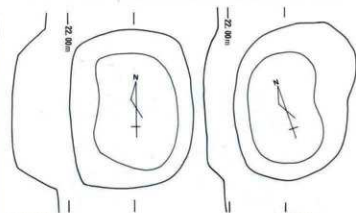
12号墓坑
 位置 号-21-3
 规格 长 2.4 × 宽 0.70m
 深度 0.30m
 墓内小穴有 4



13号墓坑
 位置 号-21-4
 规格 长 1.18 × 宽 0.92m
 深度 0.30m



14号墓坑
 位置 号-21-3
 规格 长 1.31 × 宽 0.90m
 深度 0.25m



15号墓坑
 位置 号-21-4
 规格 长 1.54 × 宽 0.83m
 深度 0.20m

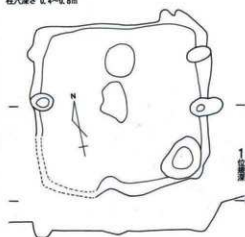
16号墓坑
 位置 号-21-4
 规格 长 1.08 × 宽 0.75m
 深度 0.20m

图151 墓坑放大图



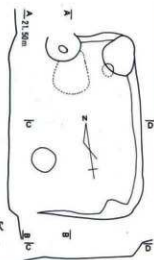
7号建物跡

位置 G-21-3-3
 面積 3.17㎡
 形状 3間
 規模 5.7×4.8m
 柱穴総数 11
 柱穴径 0.4-0.8m



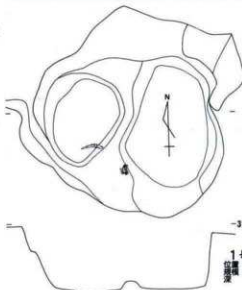
1号方形竪穴

位置 G-22-1
 面積 2.8×1.69㎡
 深 0.75m



2号方形竪穴

位置 G-22-11
 面積 2.13×2.13㎡
 深 0.62m



1号馬埋葬坑

位置 G-22-1
 面積 1.65×1.48㎡
 深 0.97m

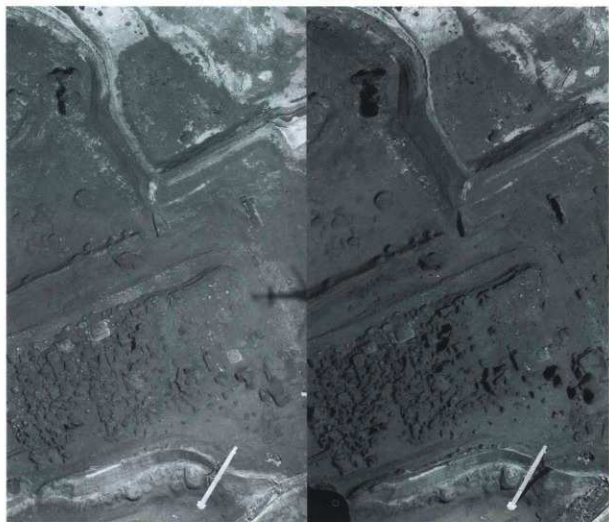


图152 方形竪穴・馬埋葬坑拡大図

0 1m



3号中世区画（南側から）



3号中世区画周辺立体写真

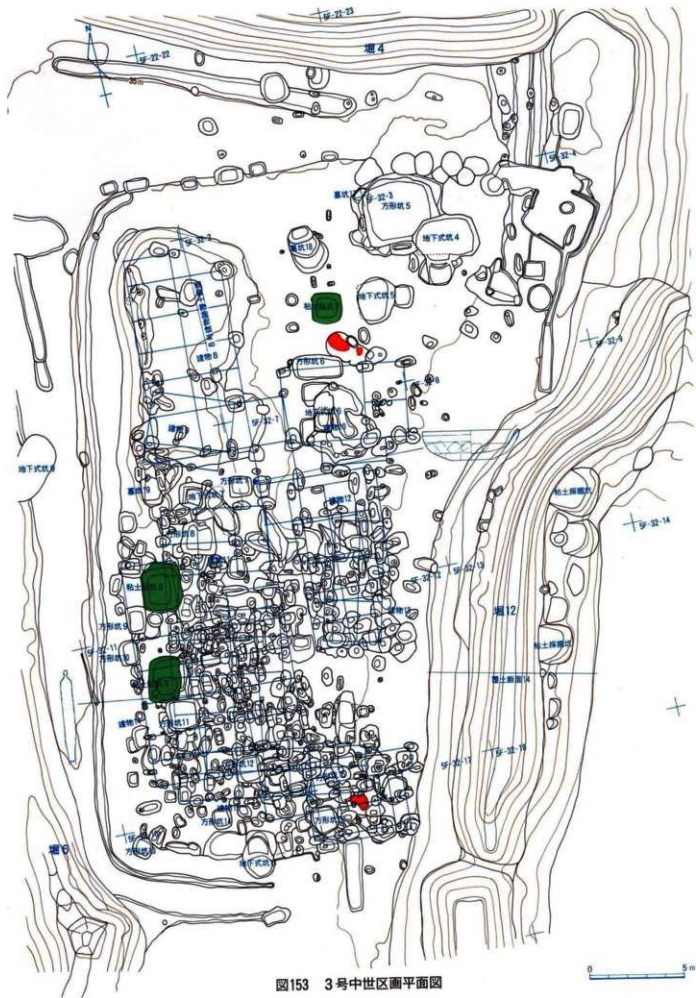
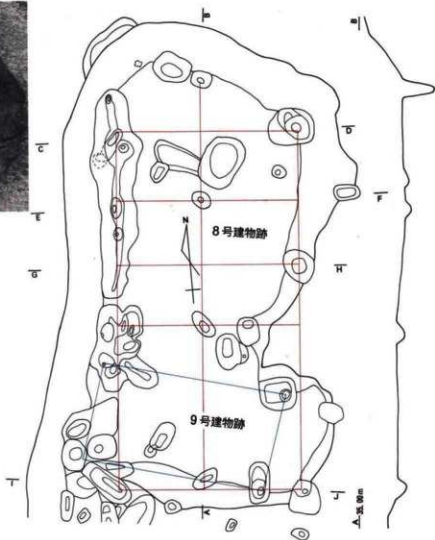


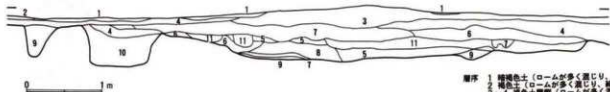
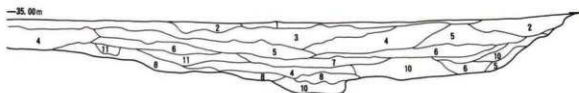
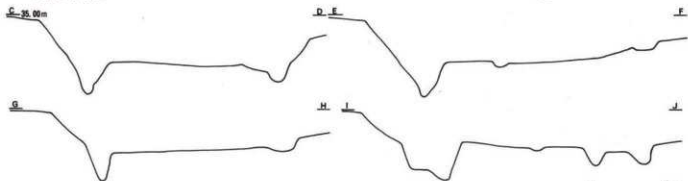
图153 3号中世区平面图



8号建物跡
位置 5F-25-17-6-7
主軸 N-4-E
南北長 2.50m
柱穴数 14
柱穴径 0.4-0.9m
柱間を隔りより掘り下けている

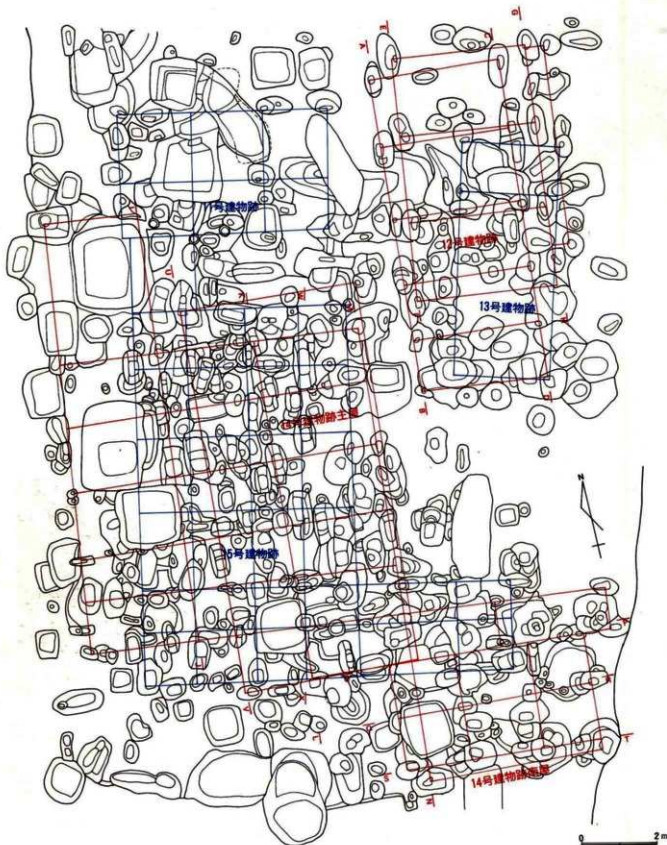
9号建物跡
位置 5F-25-17-6-7
主軸 N-17-W
南北長 2.25m
柱穴数 9
柱穴径 0.4-0.9m
柱間を隔りより掘り下けている

10号建物跡
位置 5F-25-2-7
主軸 N-11-W
南北長 2.25m
柱穴数 13
柱穴径 0.4-0.7m



- 層序 1 褐色土 (ロームが多く混じり、硬さる)
2 褐色土 (ロームが多く混じり、硬さる)
3 ~4 褐色土層群 (ロームが多く混じる)
5 褐色土層群 (ロームが少なく混じる)
6 褐色土層群 (ロームが少なく混じる)
7 褐色土層群 (ロームが少なく混じる)
8 褐色土層群 (ロームが少なく混じる)
9 褐色土層群 (ロームが少なく混じる)
10-11 褐色土層群 (ロームが少なく混じる)

図155 8・9号建物跡拡大図及びその覆土断面図



11号建物跡
 位置 9F-22-11-7
 空室 9F-22-11-7W
 主層 3層
 面積 2,031.17㎡
 柱間幅 2.03×1.75m
 柱穴間数 17
 柱穴径 0.5-0.7m
 17号建物跡に接続すると
 考える

12号建物跡
 位置 9F-22-11-12
 空室 9F-11-E
 主層 3層
 面積 4,271.17㎡
 柱間幅 2.03×2.10m
 柱穴間数 11
 柱穴径 0.5-0.7m
 17号建物跡に接続する
 場合、柱穴の位置に一致する
 と考える

13号建物跡
 位置 9F-22-11-12
 空室 9F-11-E
 主層 3層
 面積 2,200.00㎡
 柱間幅 2.03×1.30m
 柱穴間数 17
 柱穴径 0.4-0.8m
 17号建物跡に先行し、
 層で覆えが認められる

14号建物跡主層
 位置 9F-22-11-12
 空室 9F-11-E
 主層 3層
 面積 4,150.00㎡
 柱間幅 4.00×4.15m
 柱穴間数 20
 柱穴径 0.3-0.7m
 主層と副層とから成り、
 層で覆えの可能性有り

14号建物跡副層
 位置 9F-22-11-12
 空室 9F-11-E
 主層 3層
 面積 4,150.00㎡
 柱穴間数 21
 柱穴径 0.3-0.8m
 ほぼ中央部の地盤が落ちて
 いて、副層の可能性有り

15号建物跡
 位置 9F-22-11-12
 空室 9F-11-E
 主層 4層
 面積 4,800.00㎡
 柱間幅 4.00×2.92m
 柱穴間数 20
 柱穴径 0.4-0.7m
 14号建物跡に先行し、
 層で覆えの可能性有り
 層に盛り出し部あり

図156 11~15号建物跡平面拡大図



12号建物跡断面



14号建物跡断面

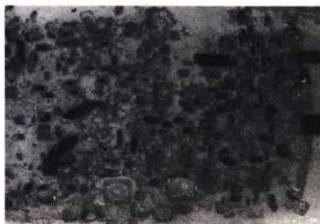
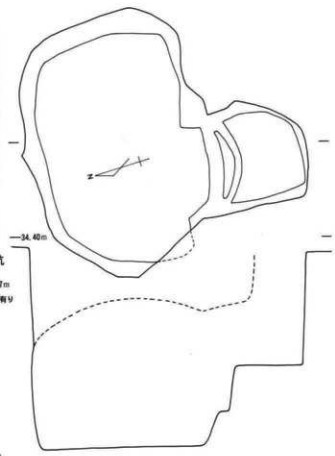
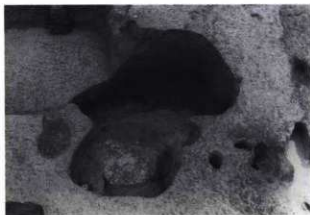
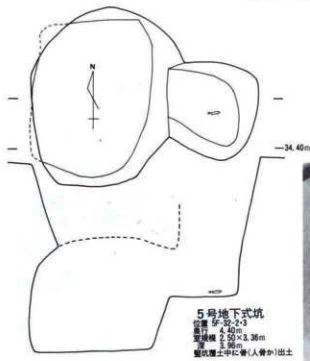


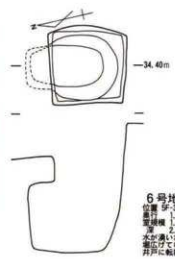
圖157 11~15号建物跡断面図



4号地下式坑
 位置 5F-32-3
 形状 3.50m
 深 1.50×3.07m
 深 2.50m
 壁坑から壁へ階段有



5号地下式坑
 位置 5F-32-3
 形状 4.50m
 深 2.50×3.36m
 深 3.36m
 壁坑壁土中に骨(人骨か)出土



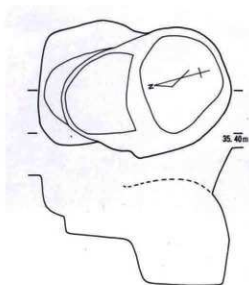
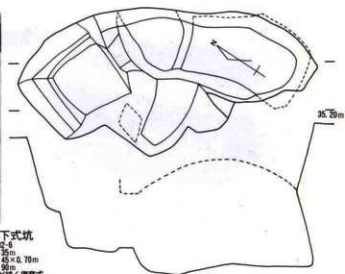
6号地下式坑
 位置 5F-32-3
 形状 1.20m
 深 1.00×0.55m
 深 2.15m
 水が湧いたためか、壁を
 崩らけていない
 扉戸に転倒したか

図158 4～6号地下式坑拡大図

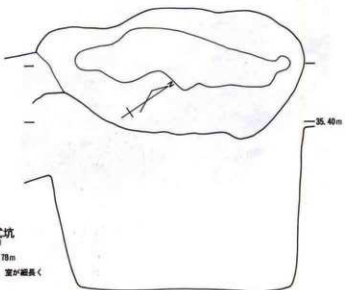




7号地下式坑
位置 5F-32-6
通径 3.36m
室幅横 2.45×0.70m
深 1.90m
室口に室が狭く複室式



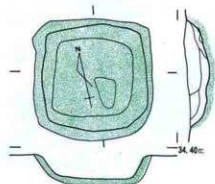
8号地下式坑
位置 5F-32-16
通径 7.19m
室幅横 1.05×1.25m
深 1.80m



9号地下式坑
位置 5F-31-5-10
通径 3.70m
室幅横 2.85×0.70m
深 2.30m
室口を入口にL、室が縦長く
蔵方が粗い

图159 7~9号地下式坑拡大図

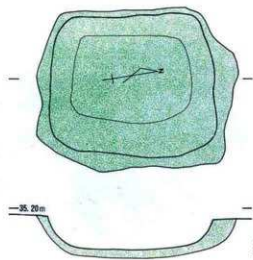
0 1m



7号粘土貼土坑

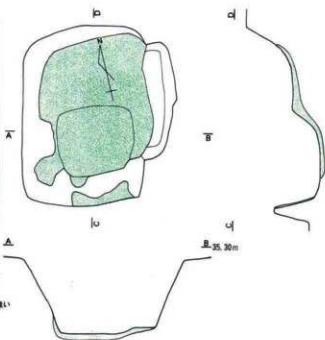
位置 9F-22-2
規模 1.85×1.87m
深 6.20m
底に貝殻が埋埋

- 層序
- 1 褐色土(ロームが多く混じる)
 - 2 褐色土(ローム・粘土が混じる)
 - 3 暗褐色土(ローム・粘土が混じる)
 - 4 暗褐色土(ロームが混じる)
 - 5 ロームブロック



8号粘土貼土坑

位置 9F-22-6
規模 2.88×2.89m
深 6.44m



9号粘土貼土坑

位置 9F-22-11
規模 2.38×1.94m
深 6.91m
側壁には粘土がほとんど無い

図160 7～9号粘土貼土坑拡大図

0 1m



5号方形土坑

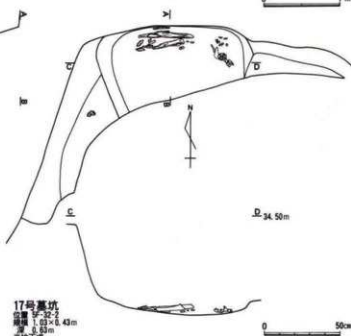
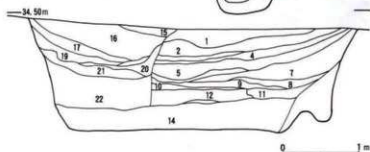
図番 5-2、5-3

面積 1.78×1.43m

深 42cm

西側と南側に付属穴がある

- 層序 1 埴縄土 (砂・ローム・焼土・木炭が混じり、締まる)
 2 5-7 埴色土層群 (ロームが多く、木炭混じる)
 3 14 埴色土層群 (ロームが多く混じる)
 4-7 埴色土層群 (ローム・砂が混じる)
 17-19 埴色土層群 (砂・ロームが混じり、軟質)
 15-16 埴色土層群 (砂・ロームが混じる)
 20-22 埴色土層群 (砂・ロームが混じる)



17号墓坑

図番 5-2、5-3

面積 1.21×0.43m

深 63cm

平地下

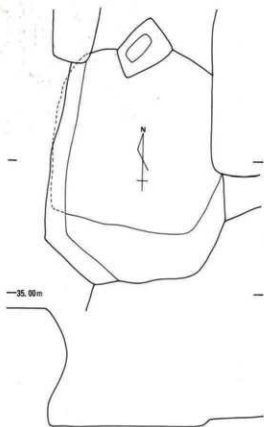
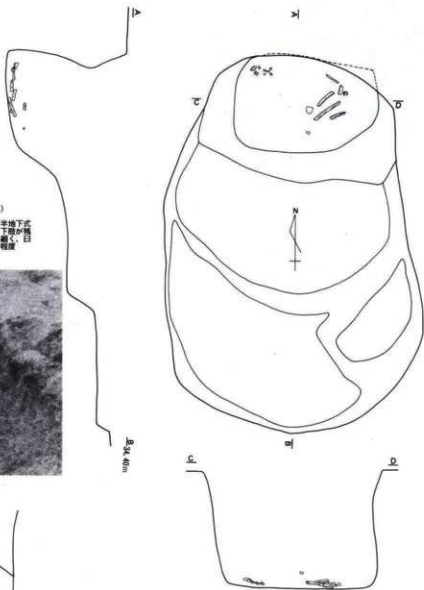
入骨 骨身一部と下顎、下顎どだが

残存。口蓋は既報告しく、大

層位

図161 5号方形土坑・17号墓坑拡大図

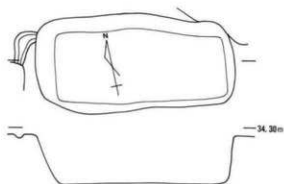
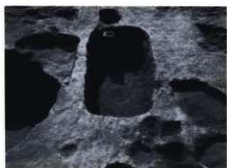
18号墓坑
 位置 S-32-3
 規模 2.50×0.90m
 深 0.50m
 形状 長方形に横ひ込んだ平地式
 人骨 頭骨の一部と下肢が残る。手骨等は破片。目蓋の形骸は不明
 西向き



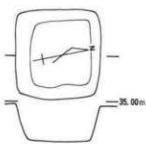
19号墓坑
 位置 S-32-4
 規模 1.72×1.68m
 深 0.44m
 平地式

0 50cm

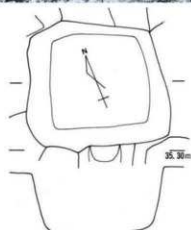
図162 18・19号墓坑拡大図



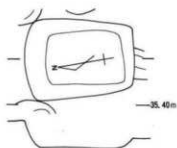
6号方形坑
位置 号-32-2
规格 1.47×1.28m
深 0.65m



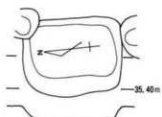
7号方形坑
位置 号-32-1
规格 1.10×0.98m
深 0.47m



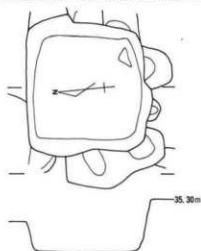
8号方形坑
位置 号-32-3
规格 2.58×1.78m
深 0.83m



9号方形坑
位置 号-32-2
规格 1.43×1.03m
深 0.46m



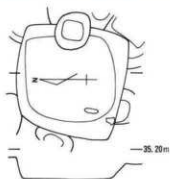
10号方形坑
位置 号-32-11
规格 1.32×1.04m
深 0.30m



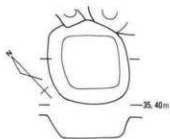
11号方形坑
位置 号-32-11
规格 2.08×1.76m
深 0.96m

0 1m

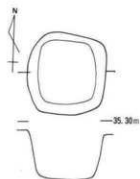
图163 6~11号方形坑放大图



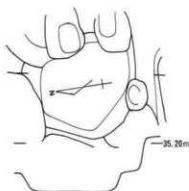
12号方形坑
位置 9F-32-11
规格 1.33×1.45m
深 0.30m



13号方形坑
位置 9F-32-16
规格 1.12×1.06m
深 0.33m



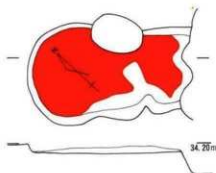
14号方形坑
位置 9F-32-11
规格 1.16×1.05m
深 0.63m



15号方形坑
位置 9F-32-12
规格 1.33×0.95m
深 0.65m



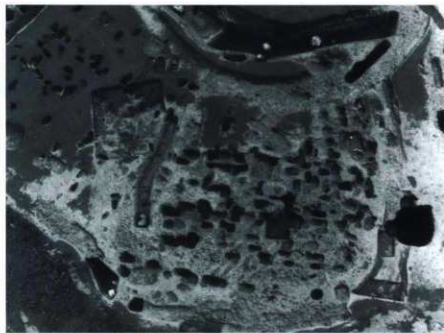
16号方形坑
位置 9F-32-16
规格 1.41×1.41m
深 0.63m



1号废弃坑
位置 9F-32-2
规格 2.17×1.34m
深 0.33m
坑壁物 灰+黄土
坑底物堆积层 0.08m

图164 12~16号方形坑·1号废弃坑放大图

0 1m



4号中世区画（上空から）



4号中世区画（東側から）



18～21号建物跡（上空から）

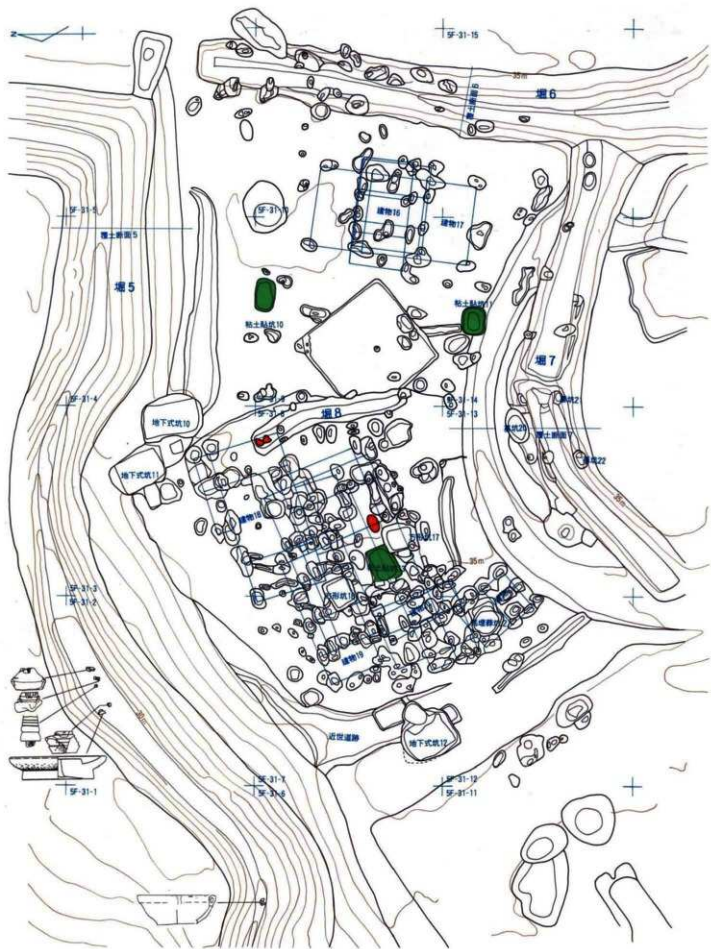


图165 4号中世区画平面图

0 5m



4号中世区画

位置 SF-31-2-15
 位置 東西33.5m 南北21.3m
 面積 713.5㎡
 構造 瓦葺
 柱高 3.6-35.4m
 柱間 5-7号棟 西側は段状部あり、区画を2分する

区画内遺構 建物跡
 地下式
 方石土坑
 土坑
 土坑
 土坑
 土坑
 土坑

出土遺物 白磁器、瀬戸小皿・平碗・香炉・土師器、土師器、瓦葺土器、瓦、内瓦土器、銅貨

16号建物跡

位置 SF-31-5-10
 方向 N-11°-W
 面積 4.79×3.90m
 柱間 2間
 柱高 17
 柱穴深さ 0.2-0.3m
 柱間幅 6
 柱間幅 6

17号建物跡

位置 SF-31-5-10-14-15
 方向 N-7°-E
 面積 5.48×4.20m
 柱間 2間
 柱高 8
 柱穴深さ 0.4-0.5m

5号堀

位置 SF-21-20-50-40-19
 位置 長さ 64m
 幅 2-3m
 深さ 2-3m
 遺物 土師器、瀬戸小皿・平碗、土師器、土師器、瓦葺土器、瓦、内瓦土器、銅貨

1号堀をV字状にし、谷物貯蔵を圖る

6号堀

位置 SF-31-5-SF-51-4
 位置 長さ 103.5m
 幅 1-4.0m
 深さ 1-2.5m

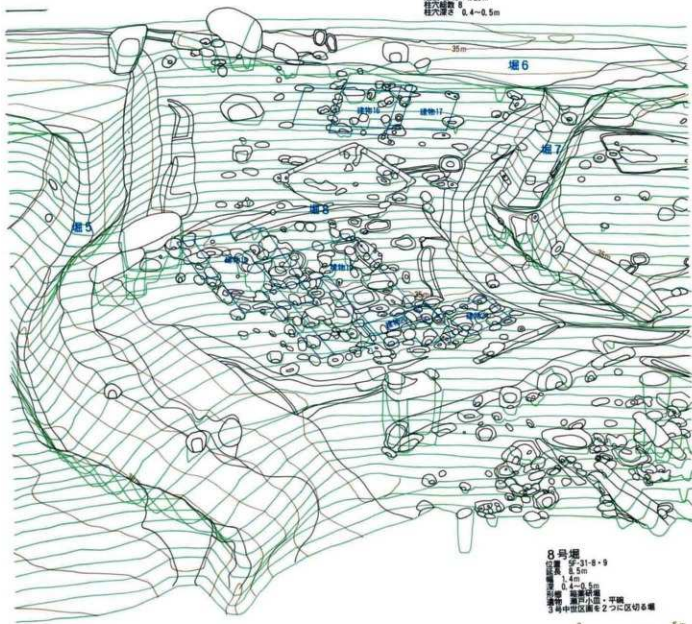
遺物 白磁器、瀬戸小皿・平碗・香炉・土師器、土師器、瓦葺土器、瓦、内瓦土器、銅貨
 漆中世の銅貨類には五角形の銀ひ込みが、また、くびれ部には切りがある

7号堀

位置 SF-31-15-SF-31-18
 位置 長さ 6.8m
 幅 4.8m
 深さ 1.7-1.8m

遺物 土師器、瀬戸小皿・平碗・磁子
 瓦葺土器、瓦、内瓦土器、五輪埴

8号堀より分岐し、中流部に仕切りがある。また堀の壁面に溝状がある。



8号堀

位置 SF-31-8-9
 位置 長さ 5.5m
 幅 1.4m
 深さ 0.4-0.5m
 遺物 土師器、瀬戸小皿・平碗

3号中世区画を2つに区切6堀

0 5m

図166 4号中世区画鳥瞰図

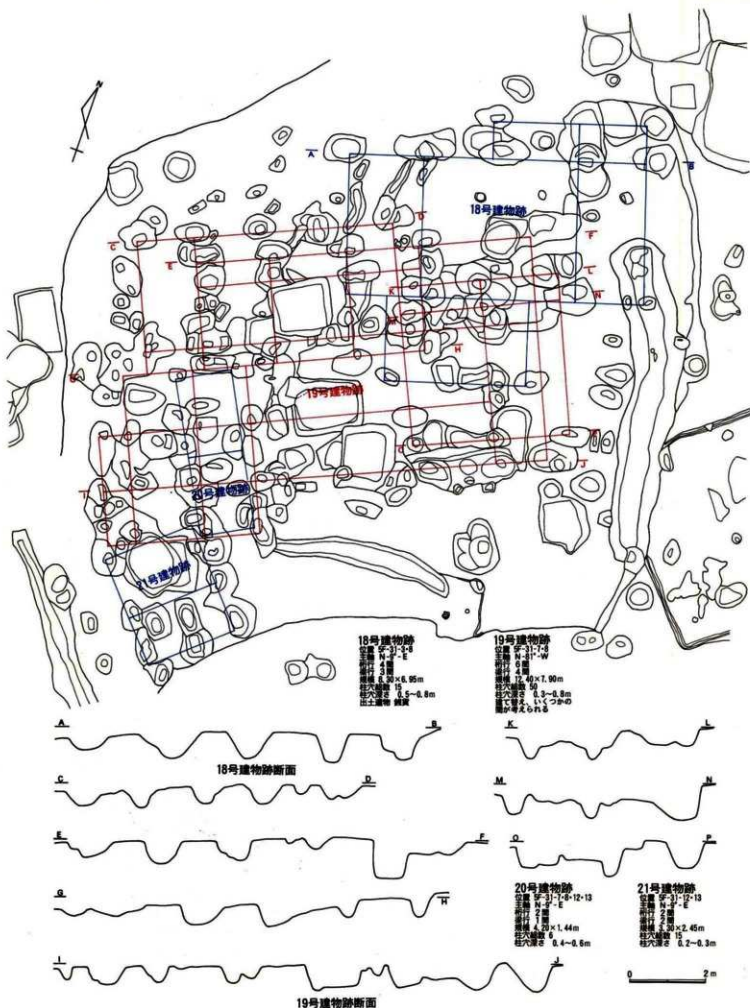


图167 18~21号建物跡拡大図

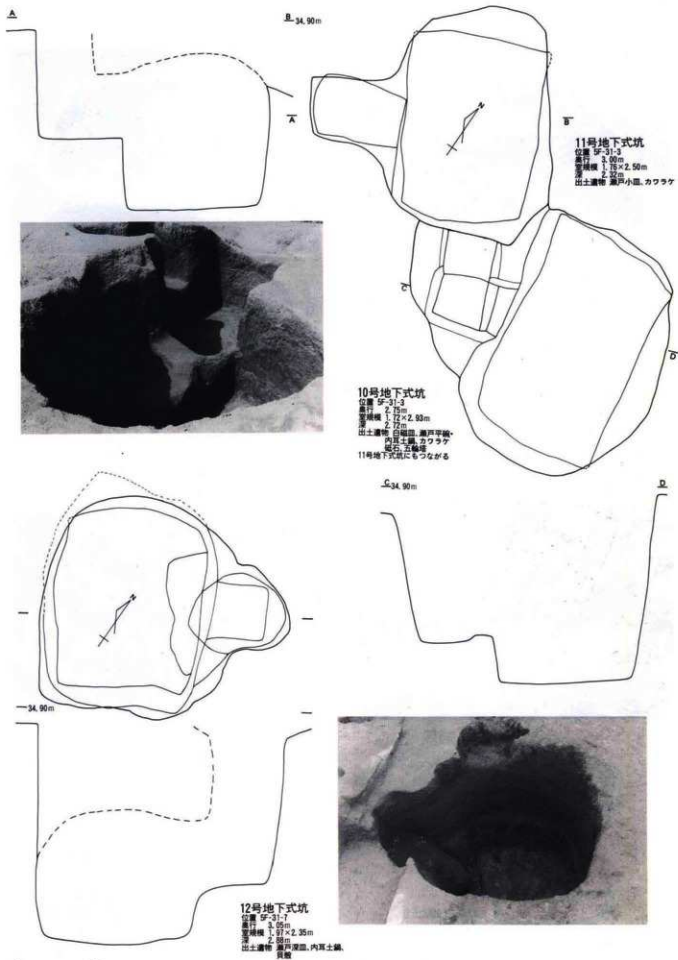
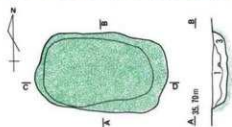
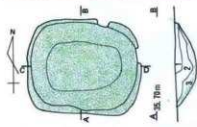


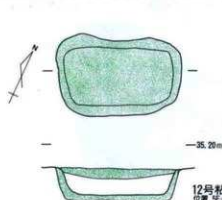
図168 10～12地下式坑拡大図



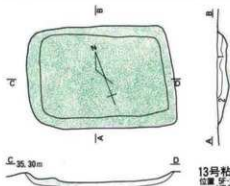
10号粘土貼土坑
 位置 宇-31-4
 規模 1.58×1.05m
 深 0.20m
 層序 1 暗褐色土 (ローム、木炭が混じる)
 2 粘土
 3 暗褐色土 (ロームが混じる)



11号粘土貼土坑
 位置 宇-31-14
 規模 1.52×1.24m
 深 0.24m
 層序 1 暗褐色土 (ローム、木炭が混じる)
 2 暗褐色土 (ロームが多く、粘土が少し混じる)
 3 暗褐色土 (ロームが混じる)



12号粘土貼土坑
 位置 宇-31-8
 規模 1.05×0.99m
 深 0.42m



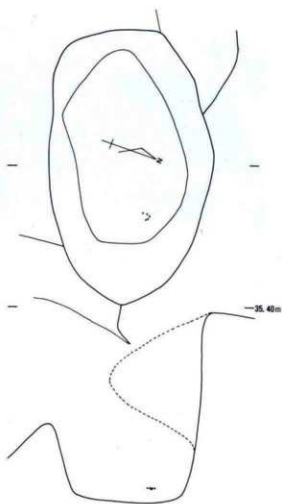
13号粘土貼土坑
 位置 宇-31-13
 堀りの方向に位置する)
 規模 1.54×1.24m
 深 0.14m
 層序 1 暗褐色土 (ロームが混じる)
 2 暗褐色土 (ローム、灰土が混じる)

図169 10~13号粘土貼土坑拡大図





20号墓坑
 位置 5-31-13
 規模 1.28×0.90m
 深 1.20m
 人骨 1具、木簡位
 7号墓より掘り込んだ
 半地下式



21号墓坑
 位置 5-31-14
 規模 0.41×0.30m
 深 1.15m
 7号墓より掘り込んだ
 半地下式



22号墓坑
 位置 5-31-12
 規模 0.68×0.46m
 深 0.81m
 今井 銅小刀、銅位不明
 今井 墓より掘り込んだ
 半地下式

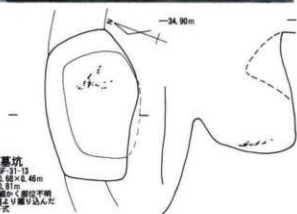
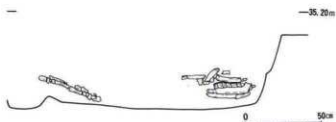
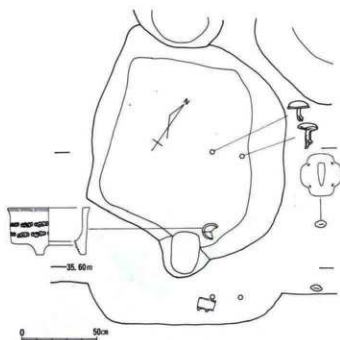
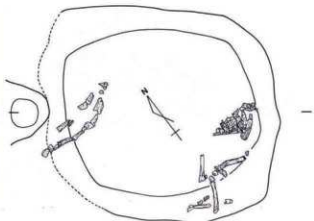


図170 20-22号墓坑

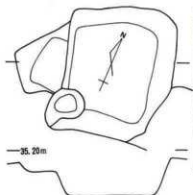
0 50m



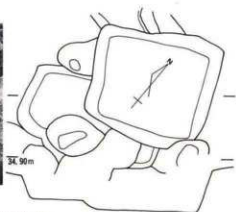
2号馬埋葬坑
位置 9F-31-12
規模 1.94×1.56m
深 0.56m
葬具 漆棺下葬、上下蓋
四脚骨



1号埋納坑
位置 9F-31-8
規模 1.94×1.27m
深 0.17m
出土遺物 瓦甗、土、銀金具
外圍に大切刃



17号方形土坑
位置 9F-31-8
規模 2.20×1.73m
深 0.48m



18号方形土坑
位置 9F-31-14
規模 1.78×1.57m
深 0.72m



图171 2号馬埋葬坑、1号埋納坑、17-18号方形土坑拡大図



5号堀全景（北側上空から）



5号堀（5F-31-2付近東側から）



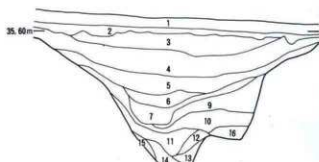
8号堀全景（北側から）

35.40m



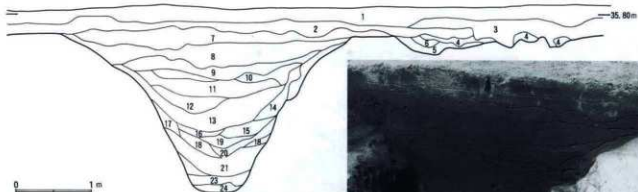
5号堀、覆土断面図5

- 1-2 暗褐色土層群 (ロームが少し混じる)
 3-11 赤色土
 4 褐色土 (土のふか～水乾が多く混じる)
 5 暗褐色土層群 (ローム、砂が混じり、少し締まる)
 12 暗褐色土 (粘土が混じり、締まる)



6号堀、覆土断面図6

- 1-2 赤土 (新田耕作土)
 3-6 暗褐色土層群 (ローム、砂、粘土が混じる)
 7-8 明褐色土 (ロームが主となる)
 9-11・13-15-16 暗褐色土層群 (ロームが多く混じる)



7号堀、覆土断面図7

- 1 赤土 (耕作土)
 2-3 暗褐色土層群 (ローム、粘土が混じる)
 4 明褐色土 5 暗褐色土
 4-8 暗褐色土層群
 9-13-15-17-20-24 明褐色土層群 (ロームが多く混じる)
 8-10-11-16-18-19-22-23 暗褐色土層群 (ローム、砂、木炭が混じる)



図172 5～7号堀、覆土断面図5～7



西先端部と5号中世区画
(上空から)



5号中世区画(東側から)



22~23号建物跡(上空から)

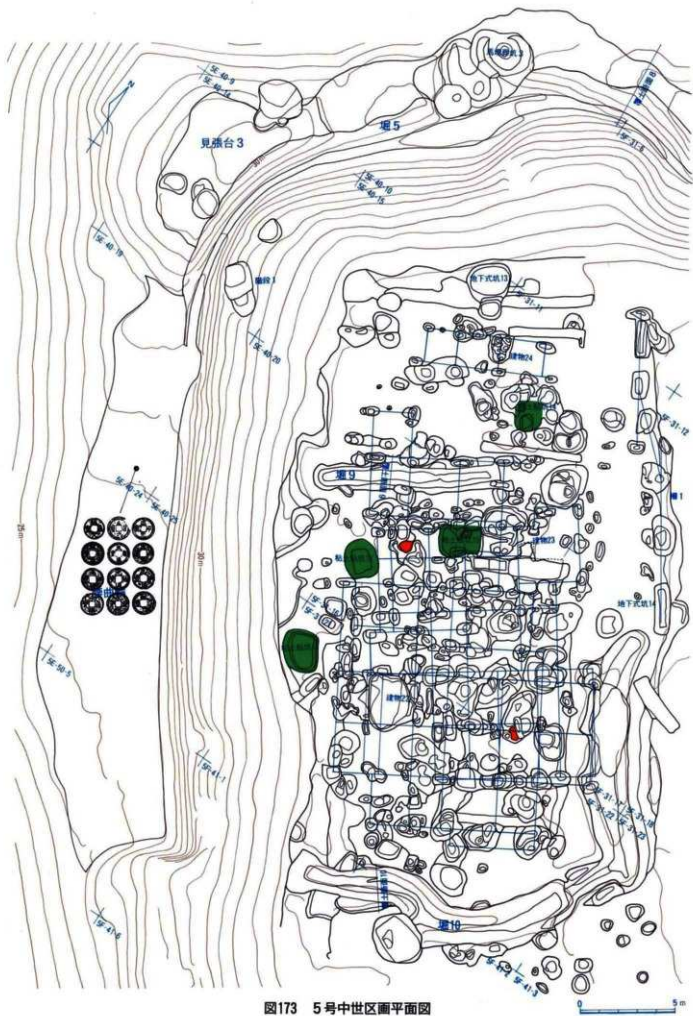


图173 5号中世区平面图

5号中世区画外郭

5号中世区画外郭 鳥瞰図表 1

見張台

位置 55-40-14
 面積 東西3.5m 南北2.2m
 高さ 27.1m
 遺構 55-7-20, 1m
 5号区画1号階段から物置を築いて
 入ったと考えらる。穴が2基ある

腰曲輪

位置 55-40-19-50-5
 面積 東西30.5m 南北6.8m
 高さ 34m
 遺構 55-5-27, 3m
 出土遺物 鉄剣

5号中世区画

位置 55-40-10-25
 55-31-6-22
 面積 東西23.5m 南北21.2m
 高さ 57.5m
 遺構 22.5-34.3m
 5-10号遺 北側は段状部
 南側は赤土層部
 本区画に小段状の5号堀があり、
 区画を2分する

区画内遺構 建物跡 3号
 地下式土
 柱土柱式
 竪溝
 出土遺物 香炉脚、瀬戸小皿
 ・磁器・洋磁、常滑
 器、内瓦土器、カワ
 ラツ、鉄鏡

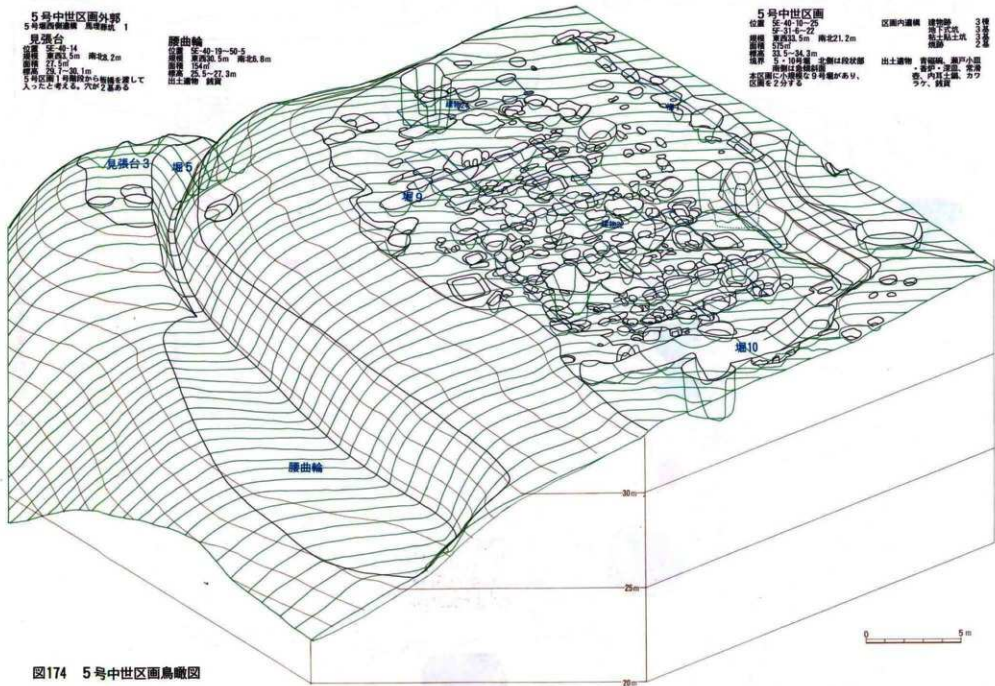


図174 5号中世区画鳥瞰図

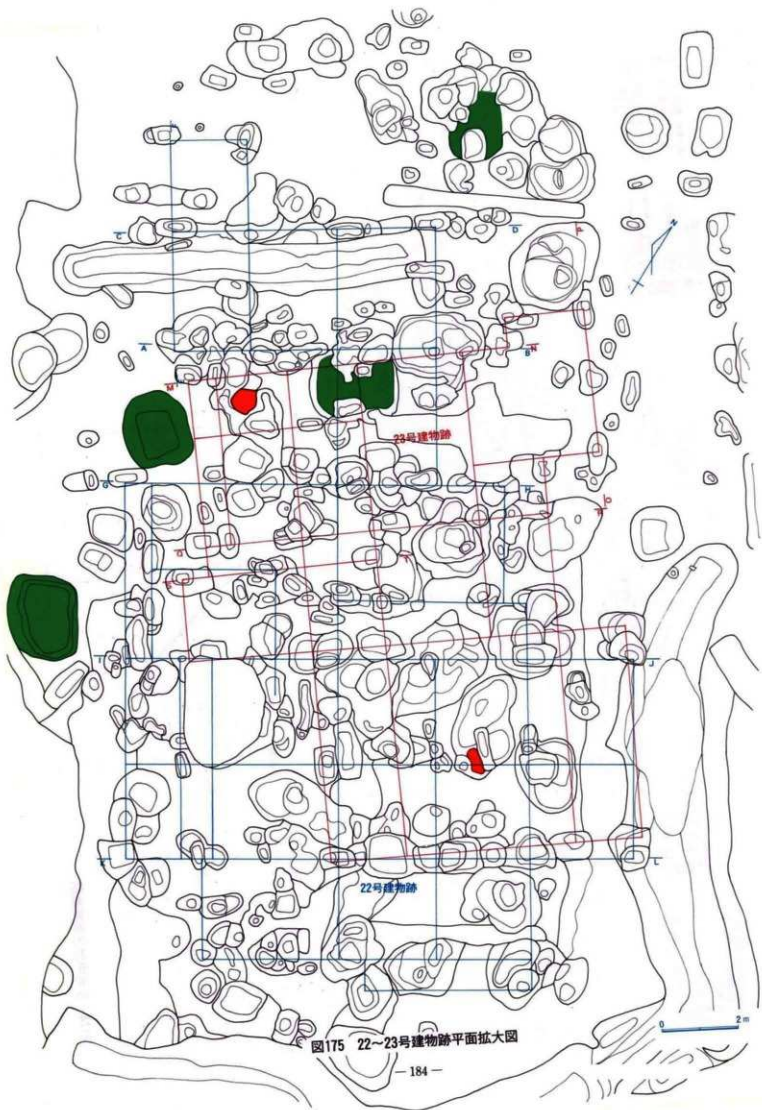
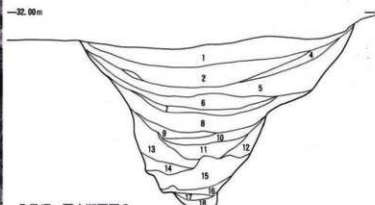
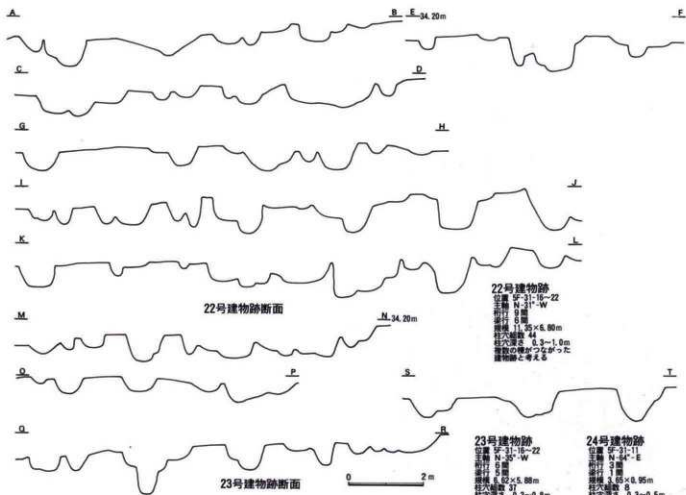
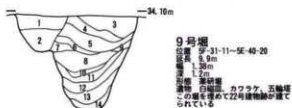


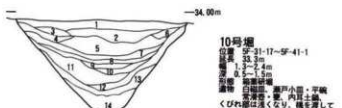
图175 22~23号建物跡平面扩大图



5号堀、覆土断面図8
1~7 暗褐色土層群 (砂・ローム・粘土が混じる)
8~9 暗褐色土層群
10-12 暗褐色土層群 (砂・木炭が混じり、締まる)
11-14-15-17 暗褐色土層群 (砂・木炭が混じり、締まる)



9号堀、覆土断面図9
1~5-7 暗褐色土層群 (ロームが少し混じる)
4~8-9-11~13 暗褐色土層群 (ロームが多く混じる)
6-10-14 褐色土層群 (ロームが主となる)



10号堀、覆土断面図10
1~10-12 暗褐色土層群 (ローム・砂・風土が混じる)
11-13-14 褐色土層群 (ロームが主となる)

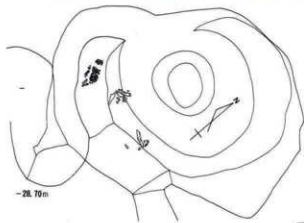
10号堀
位置 SF-31-17~SF-41-1
平面 N-31-E
柱間 3間
柱幅 1.2~1.4m
柱高 11.25×5.80m
柱穴幅 44
柱穴深さ 0.3~1.0m
可成り締まる
遺物 白磁器、瀬戸小皿・平碗、灰滑石・壺、内瓦土器、くびねが少なく、礎を遺していたと考える

0 1m

図176 22~23号建物跡断面図、5・9・10号堀断面図

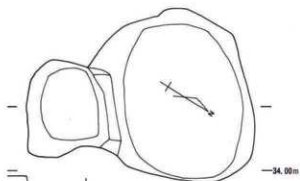


13号地下式坑
 位置 54-31-17
 幅員 2.15m
 室規模 2.10×3.20m
 深 2.50m
 出土遺物 陶片、瓦

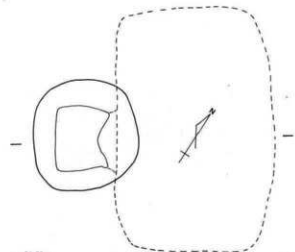
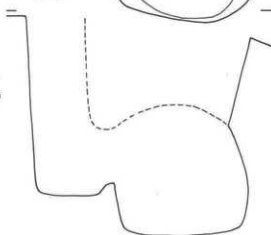


-28.70m

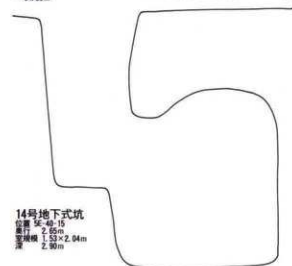
3号馬埋葬坑
 位置 54-40-19
 幅員 5.85×3.90m
 深 1.75m
 馬骨 鬣、前肢一部



-34.00m



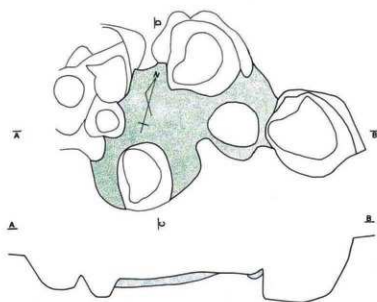
-34.50m



14号地下式坑
 位置 54-40-15
 幅員 2.55m
 室規模 1.53×2.04m
 深 2.30m

図177 10~12地下式坑、3号馬埋葬坑拡大図

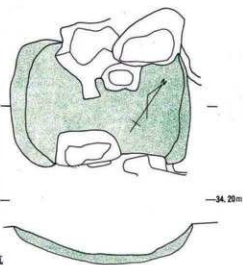
0 1m



14号粘土貼土坑

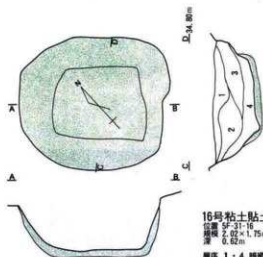
位置 SF-37-11
規模 2.60×1.80m
深 0.40m

層序 1 暗褐色土 (ロ-ムが多く混じる)
2 (ロ-ム、粘土が混じる)
3 (ロ-ム中一土粒が多く混じる)



15号粘土貼土坑

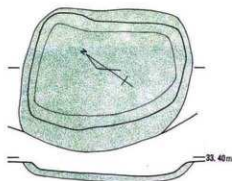
位置 SF-31-16
規模 2.69×2.37m
深 0.40m



16号粘土貼土坑

位置 SF-31-16
規模 2.62×1.75m
深 0.62m

層序 1-4 暗褐色土 (ロ-ム小一土粒が混じる)
2 (ロ-ム小一土粒が多く混じる)
3 褐色土 (ロ-ム小粒が混じる)

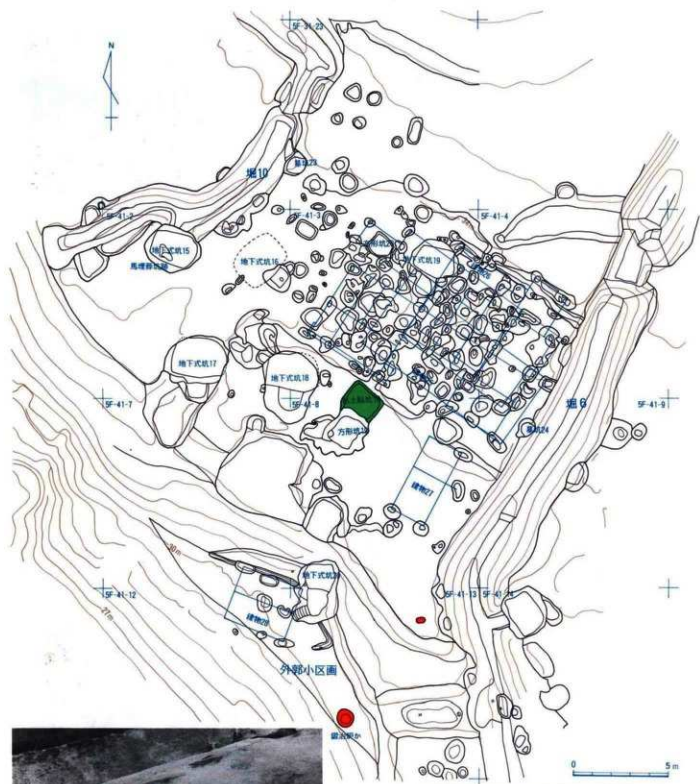


13号粘土貼土坑

位置 SF-31-21
規模 2.41×1.87m
深 0.18m

図178 14~17号粘土貼土坑拡大図



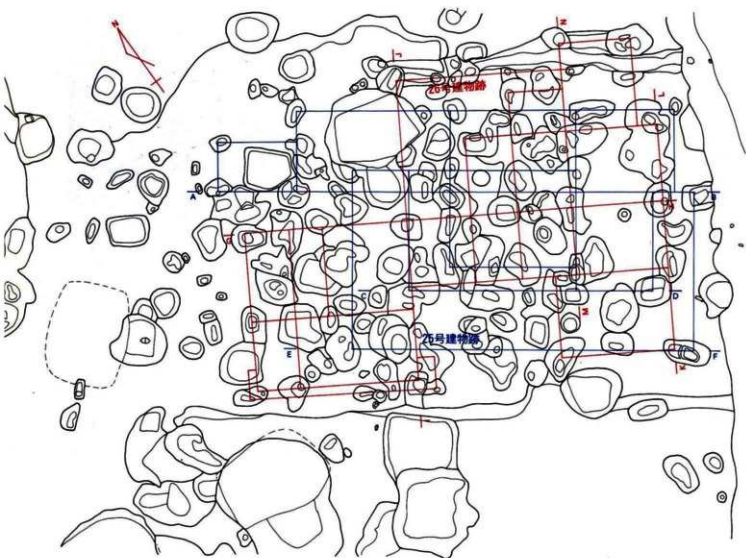


外郭小区画



出土した炭化米

图179 6号中世区画平面图



A B 34.00m

C D

E F

G H

I J

K L

M N

25号建物跡断面

26号建物跡断面

25号建物跡
 位置 S-41-3-4
 主軸 N-S²-W
 形状 7 間
 棟材 土
 規模 11.83×7.55m
 柱穴間隔 31
 柱穴深さ 0.40-0.70m
 柱穴の横つらぎのつた
 建物跡と考える

26号建物跡
 位置 S-41-3-4
 主軸 N-S²-W
 形状 7 間
 棟材 土
 規模 11.83×5.00m
 柱穴間隔 31
 柱穴深さ 0.40-1.1m
 25号建物跡と異なる

27号建物跡
 位置 S-41-3
 主軸 W-E²-E
 形状 3 間
 棟材 土
 規模 4.40×2.90m
 柱穴間隔 4
 柱穴深さ 0.3-0.4m

28号建物跡
 位置 S-41-7-12
 主軸 W-E²-W
 形状 3 間
 棟材 土
 規模 4.40×2.90m
 柱穴間隔 6
 柱穴深さ 0.40-0.70m

図181 25~26号建物跡拡大図

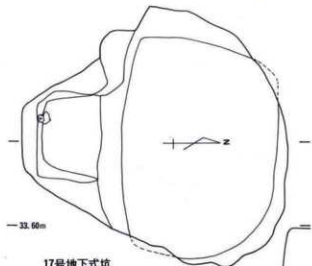
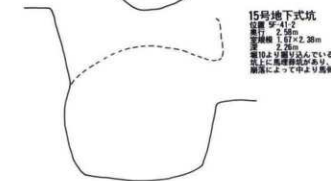
0 2m



-34.00m

15号地下式坑

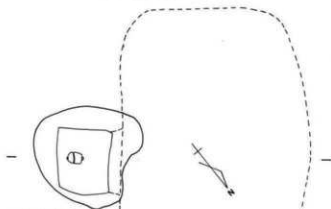
位置 5F-41-2
 深行 2.50m
 直径横 1.07×2.20m
 深 2.20m
 坑中より盛り込んでいる
 坑上に黒煙跡があり、
 崩落によって中より高出出土



-33.60m

17号地下式坑

位置 5F-41-2
 深行 3.17m
 直径横 2.55×2.80m
 深 3.25m
 出土遺物 カワラケ



-33.90m

16号地下式坑

位置 5F-41-2
 深行 3.27m
 直径横 2.50×3.05m
 深 3.10m
 出土遺物 瓦片類
 破片類に足跡孔をつけている

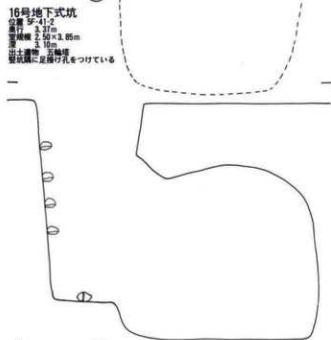
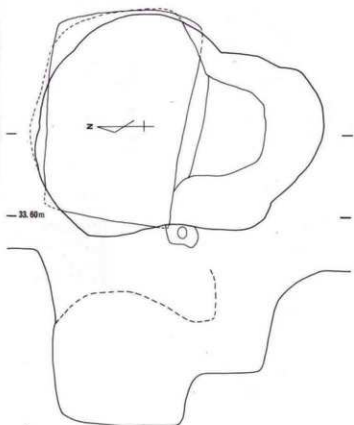


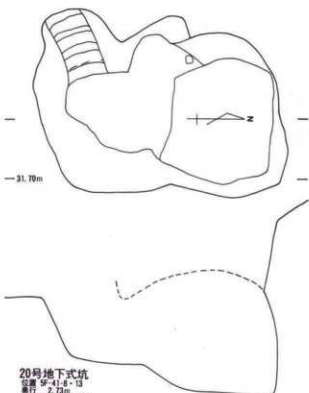
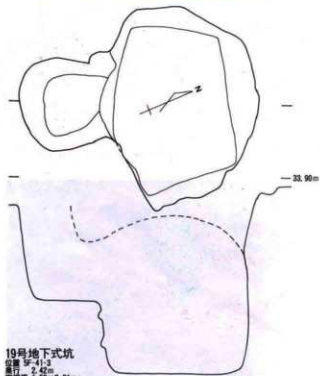
図162 15~17地下式坑拡大図



18号地下式坑
位置 5F-41-2-3
深 2.60m
直径 1.80×2.81m
土 2.25m
出土遺物 内耳土鍋、カワ
ラク



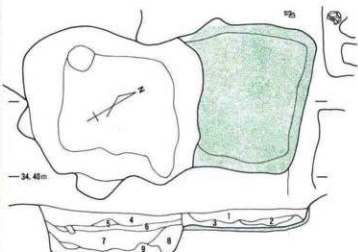
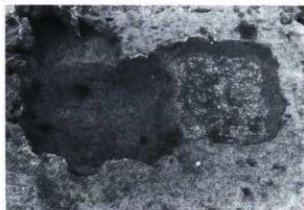
19号地下式坑
位置 5F-41-3
深 2.42m
直径 1.52×2.21m
土 2.25m
出入口に土樋け孔がある
壁状上部に鏡面出土



20号地下式坑
位置 5F-41-8-13
深 2.73m
直径 1.35×1.65m
土 2.25m
出土遺物 土輪蓋
断面中の2区画から掘り込み、
壁状へは階段になっている

0 1m

図183 18~20地下式坑拡大図



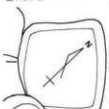
19号方形坑

位置 9F-41-8
 位置 2.25×2.00m
 深 0.25m
 18号粘土貼土坑を切つて、開けている

18号粘土貼土坑

位置 9F-41-3-8
 位置 1.55×1.95m
 深 0.30m

層序 1 暗褐色土 (ロームが少し混じる)
 2 (ロームが多く混じる)
 3 (ローム、粘土が混じる)
 4・7・9 暗褐色土 (ロームがやや多量に混じる)
 5 褐色土 (ローム大粒が混じる)
 6 褐色土 (ローム、粘土が混じる)
 8 (ロームが多く混じる)

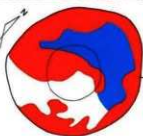


20号方形土坑

位置 9F-41-3
 位置 1.16×1.23m
 深 0.53m

層序 1 褐色土 (ロームが多く混じる)
 2 褐色土 (ロームが混じる)
 3 暗褐色土 (ロームが多く混じる)
 4 (ロームが混じる)

23号墓坑
 位置 9F-31-2
 位置 1.18×0.96m
 深 0.67m
 層序の順にある
 人骨 脚骨、下脛、下脛骨
 下脛骨は骨太、蓋は残っていない、骨間に
 上に五輪塔出土



24号墓坑

位置 9F-41-6
 位置 0.87×0.90m
 深 0.52m
 人骨 物状になり顔位不明

鍛冶炉

位置 9F-41-13
 位置 0.85×0.90m
 深 0.13m

砂層地山に浅い碗状に掘り、周縁部は赤く焼け、中央部は青く赤土状になっている。鉄滓、鍛造屑が出土したため、必ずしも鍛冶炉かどうか不明

層序 1 暗褐色土 (砂・木炭が混じる)
 2 褐色土 (ローム・灰・粘土が混じる)



図184 18号粘土貼土坑、19~20号方形土坑、23~24号墓坑、鍛冶炉拡大図

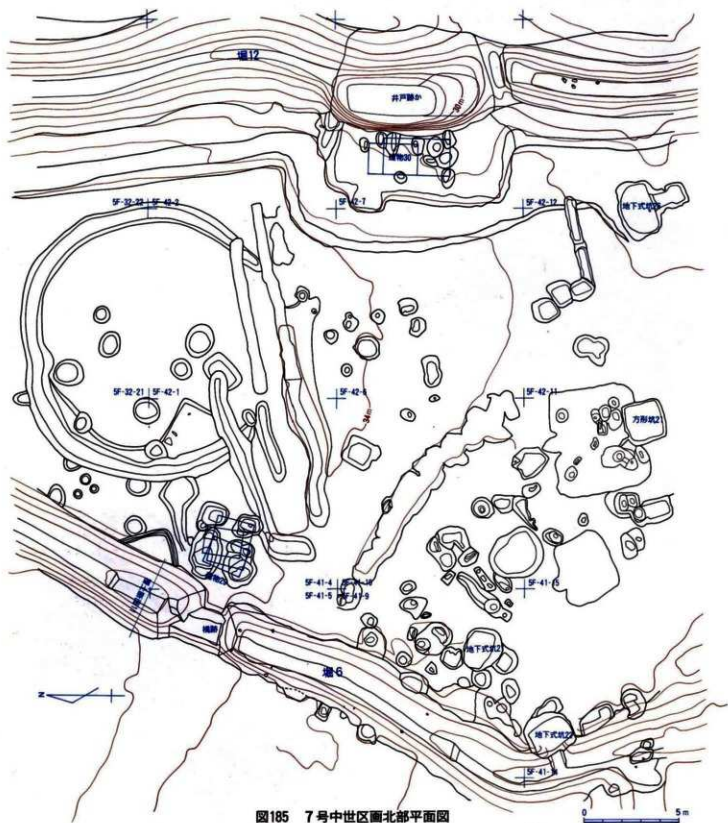


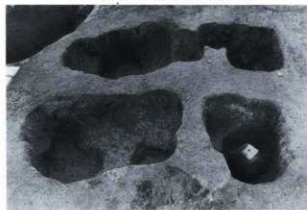
图185 7号中世区画北部平面图



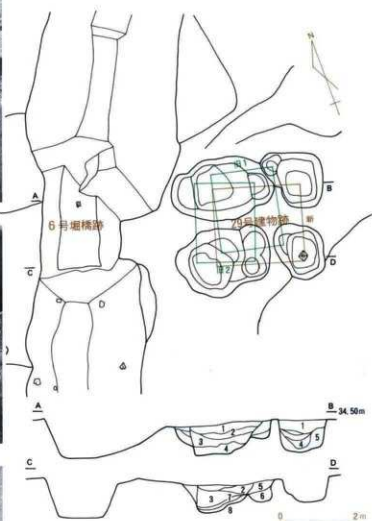
29号建物跡と6号堀橋跡(北側から)



29号建物跡と6号堀橋跡(東側から)



29号建物跡(南側から)



29号建物跡

位置 5F-41-4-5

新 主軸 N-74°-W

総丈 1層

総横 2.30×2.05m

柱穴径 4

柱穴深さ 0.70-0.85m

2層の遺構が確認でき、柱穴の大きさと高さのある建物と推定する。堀橋跡との関係から権門が考えられる。

旧1 主軸 N-79°-W

総丈 1層

総横 1.63×2.10m

柱穴径 4

柱穴深さ 0.45-0.60m

旧2 主軸 N-72°-W

総丈 1層

総横 1.53×2.10m

柱穴径 4

柱穴深さ 0.50-0.70m

6号堀橋跡

横溝 2.12m

幅 1.0-2.5m

層下 1.0m

横溝跡の穴はない

層序 1-4 暗褐色土層群 (ローム・砂・粘土が混じり、軟弱)

5-6 褐色土層群 (ロームが多く混じり、締まる)

7-8 暗褐色土層群 (ロームが多く混じり、少し軟弱)

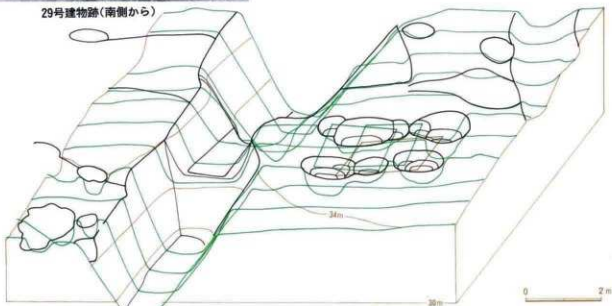


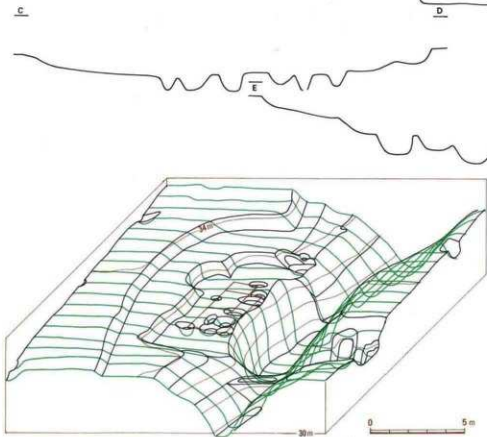
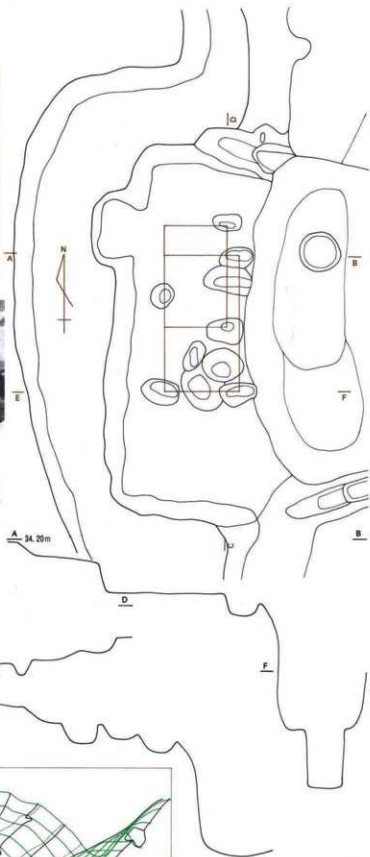
図186 29号建物跡、6号堀橋跡拡大図



30号建物跡(北側から)



30号建物跡(南東側から)



30号建物跡
 位置 42-7
 平面 4.00×4.00m
 前庭 2.00m
 柱間 1.00×3.500m
 柱穴総数 10
 柱穴深さ 0.30-0.50m
 0.1-1.0m掘り込んで整地している。
 礎との関係が考えられる

1号水場
 位置 42-7
 面積 1.10×1.05m
 深さ 0.50m
 (掘削より1.50m)
 砂地で水は全く湧かず

図187 30号建物跡拡大図



7号中世区画
(南側上空から)



7号中世区画
(北側から)



7号中世区画外郭
見張台 (北側から)

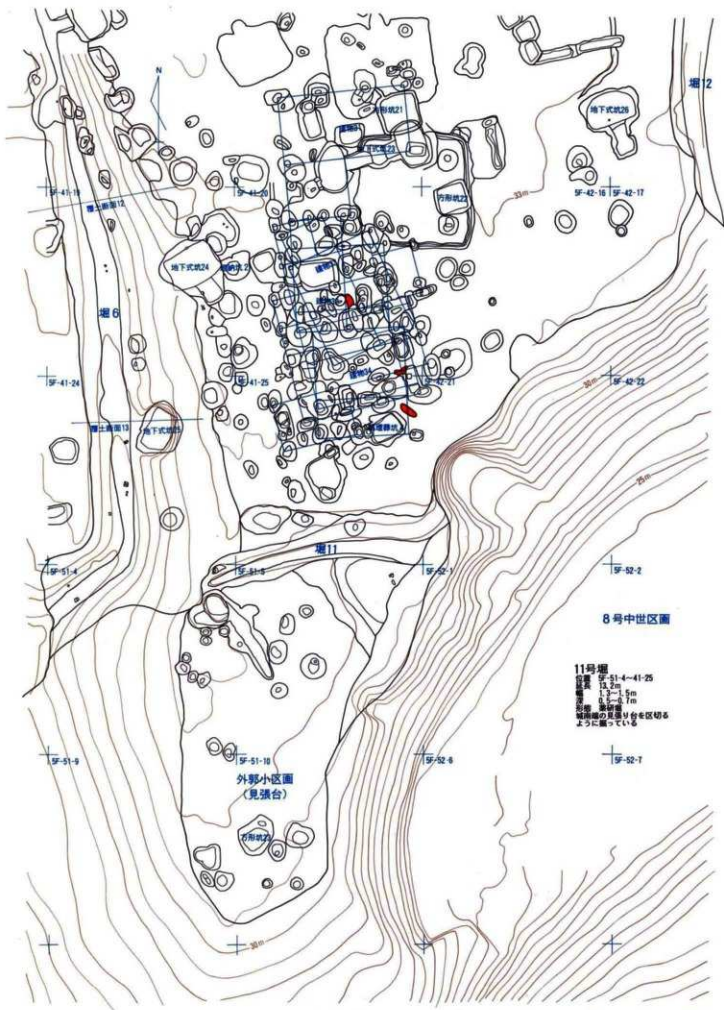
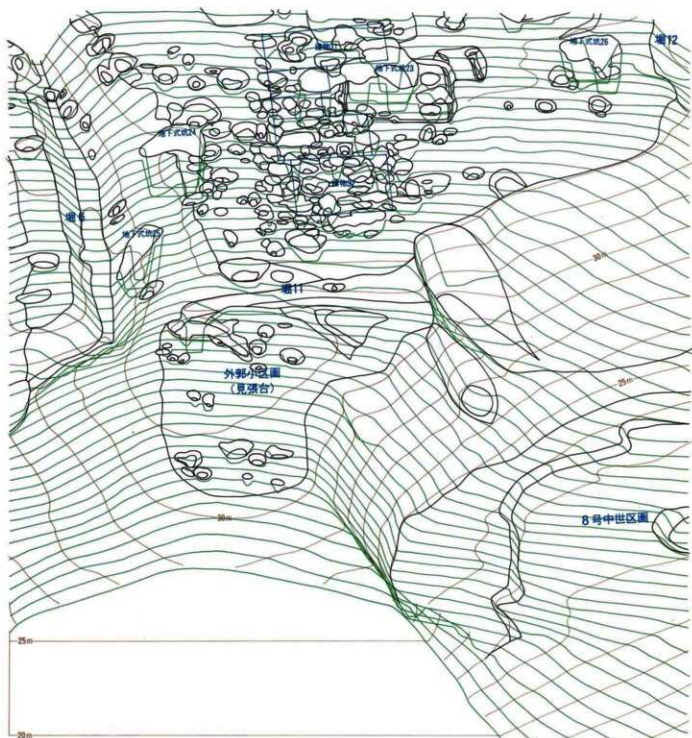


図188 7号中世区画南部平面図



7号中世区画

位置 ㊦-41-7-21, ㊦-41-10
 面積 22.5m 南北29.3m
 規模 1, 12m
 構造 22-34, 5m
 用途 8-12・11号棟 土間は2号棟
 本区画は南側の少い北壁のみ、南側が
 崩壊する程度とかなり、そのすぐ西側
 は11号棟に面した外郭の存在に示し
 出して、見張台となっていたと推定する。

区画内遺構

緑植物
 地下式穴
 方和式
 土器
 瓦葺屋根
 溝

0m
 10m
 20m
 30m

出土遺物

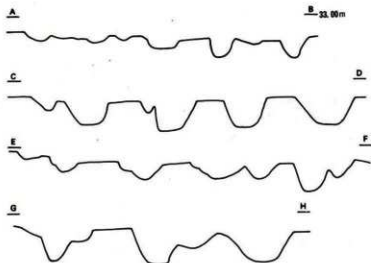
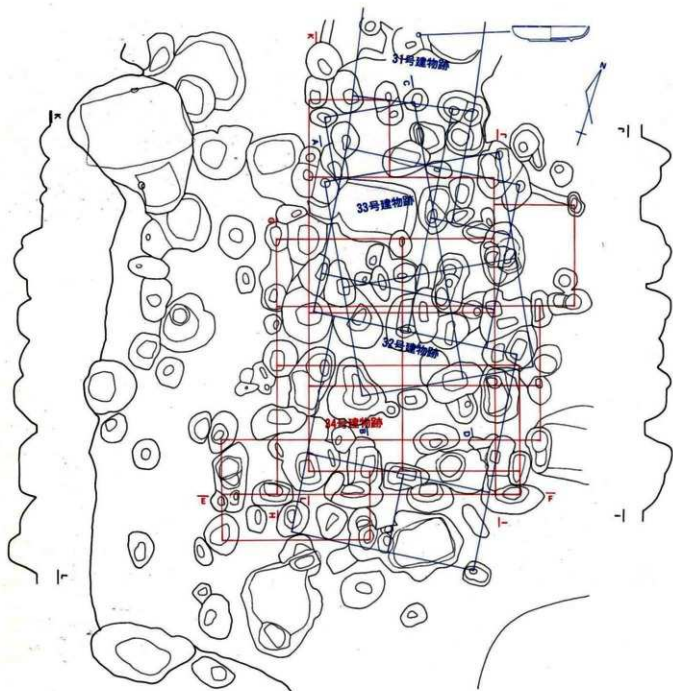
青磁碗、茶碗、小皿
 ・豆皿、鉢、土器
 ・土師器、土師器
 ・カワラ、瓦、火
 打石、小銅

0 5m

7号中世区画外郭見張台

位置 ㊦-4-10
 面積 12.9m 南北20.0m
 規模 10m
 構造 33-31, 7m
 用途 土間に竹方瓦葺があり、小銅の出土。
 北東部の土層構造によって変化する。

図189 7号中世区画南部鳥瞰図



31号建物跡

位置 宇-41-15
 主軸 宇-41-E
 副軸 宇-41-E
 形状 長方形
 面積 7.03×6.56m
 柱穴数 11
 柱穴径さ 0.40-0.60m

32号建物跡

位置 宇-41-20-25
 主軸 N-3-W
 副軸 宇-41-E
 形状 長方形
 面積 13.51×4.92m
 柱穴数 18
 柱穴径さ 0.25-0.85m
 1号建物跡の敷居していた可能性あり

33号建物跡

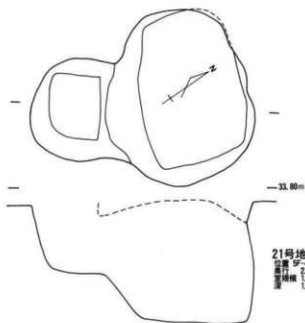
位置 宇-41-25
 主軸 W-11-20-25
 副軸 宇-41-E
 形状 長方形
 面積 7.42×4.72m
 柱穴数 11
 柱穴径さ 0.20-0.80m

34号建物跡

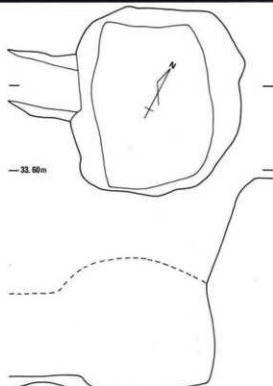
位置 宇-41-20-25
 主軸 W-11-20-25
 副軸 宇-41-E
 形状 長方形
 面積 11.68×6.56m
 柱穴数 11
 柱穴径さ 0.25-0.85m
 副2号跡とは別に、34号建物跡の中心、奥で敷居があった可能性が考えられる

0 2m

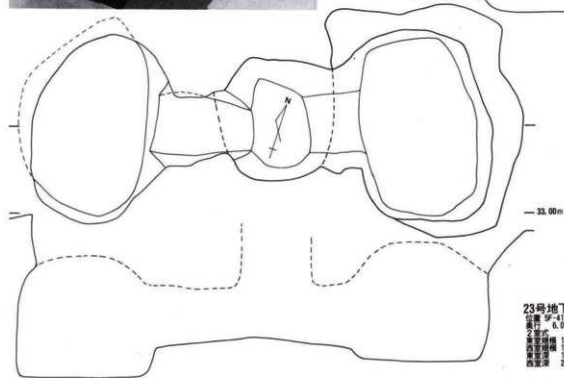
図190 32~34号建物跡拡大図



21号地下式坑
 位置 SF-41-9
 奥行 2.00m
 幅横 1.30×2.00m
 深 2.00m



22号地下式坑
 位置 SF-41-14
 奥行 2.18m
 幅横 1.55×2.18m
 深 2.18m
 南より掘り込んでいる



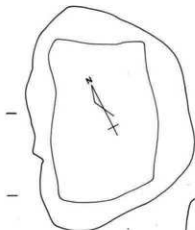
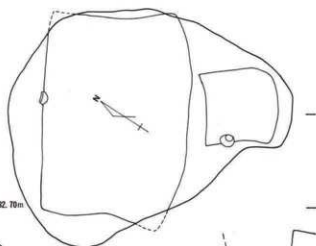
23号地下式坑
 位置 SF-41-15
 奥行 2.15m
 幅横 1.54×2.32m
 深 2.15m
 東側壁 1.72m
 西側壁 2.15m

図191 21～23地下式坑拡大図

0 1m



— 32.70m



25号地下式坑
 位置 SF-41-24
 面积 1.41m²
 长 1.41m
 宽 1.00m
 出土物 瓦片、土器、木炭

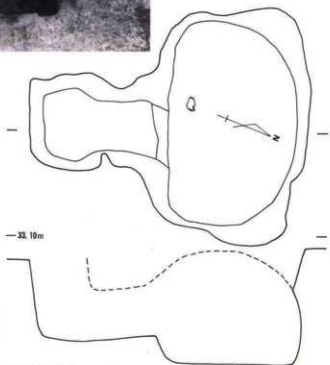
— 31.70m



24号地下式坑
 位置 SF-41-18
 面积 3.10m²
 长 3.10m
 宽 2.00m
 出土物 瓦片、土器、木炭



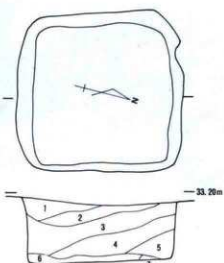
26号地下式坑
 位置 SF-42-11-12
 面积 2.66m²
 长 2.66m
 宽 1.00m
 出土物 瓦片、土器



— 33.10m

0 1m

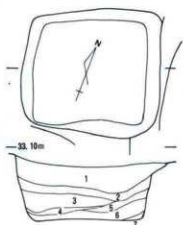
图192 24~26地下式坑扩大图



21号方形土坑

位置 SF-41-15
規模 2.20×2.10m
深 1.96m
出土遺物 鉄鏡

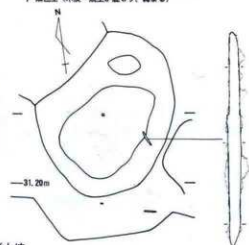
- 層序
- 1 暗褐色土 (ローム小粒が多く混じり、締まる)
 - 2 " (ローム小～中粒が多く混じり、締まる)
 - 3 " (ローム小～大粒が多く混じり、軟弱)
 - 4 褐色土 (ローム小～大粒が多く混じり、締まる)
 - 5 暗褐色土 (ローム小粒が多く混じり、軟弱)
 - 6 " (ローム小～中粒が多く混じり、締まる)
 - 7 " (ロームが少し混じり、締まる)



22号方形土坑

位置 SF-42-18
規模 1.84×1.70m
深 3.85m
出土遺物 鉄鏡

- 層序
- 1 暗褐色土 (ローム小～大粒が多く混じり、軟弱)
 - 2 " (ローム小粒が多く混じり、軟弱)
 - 3 " (ローム小～中粒が多く混じり、軟弱)
 - 4 " (ローム小～中粒、木炭・石・焼土が混じり、軟弱)
 - 5 " (砂が多く混じり、少し軟弱)
 - 6 " (ローム小～中粒が多く混じり、締まる)
 - 7 黒色土 (木炭・焼土が混じり、締まる)

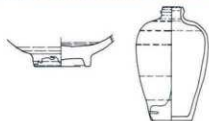
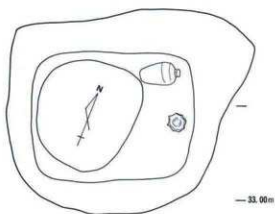


23号方形土坑

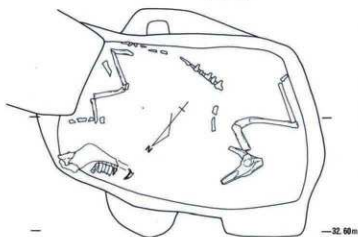
位置 SF-51-10
規模 2.16×1.82m
深 3.55m
出土遺物 小鉄、鉄鏡



図193 21～23号方形土坑拡大図



2号埋納坑
位置 5F-41-19-20
面積 1.42×1.26m
深 0.34m
出土遺物 青磁碗、瀬戸瓶子



3号馬埋葬坑
位置 5F-41-25
面積 1.82×1.09m
深 0.75m
馬骨 前後肢、背椎の一部
墓蓋 土

0 50cm

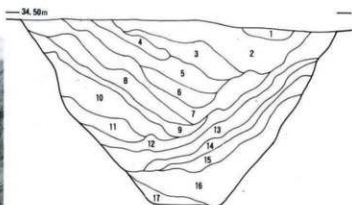


銅皿出土状態(31号建物跡内)



6号堀内石塔出土状態(5F-41-24)

图194 2号埋納坑、3号馬埋葬坑拡大図



覆土断面図11

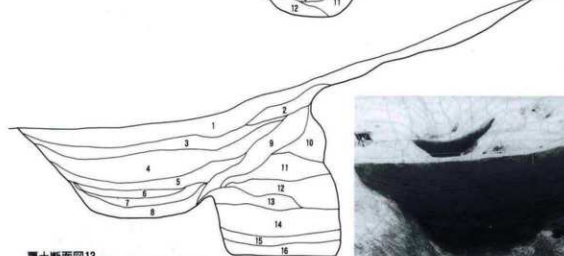
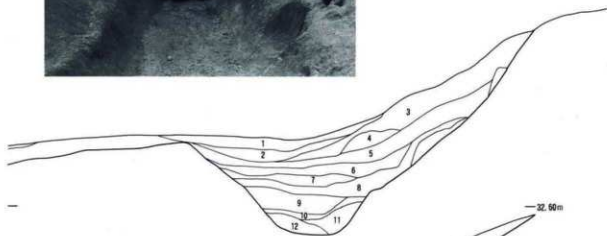
- 1-5 暗褐色土層群 (ローム・粘土が多く混じり、締まる)
- 6-11 暗褐色土層群 (ローム・粘土・砂が混じり、少し締まる)
- 12-16 暗褐色土層群 (ロームが少し混じり、締まる)
- 17 暗褐色土層群 (ローム大粒が多く混じり、締まる)



覆土断面図12

- 1-6 暗褐色土層群 (ロームが少し混じり、砂質で軟弱)
- 7-8 " (ローム混じり、締まる)
- 9-11 " (ロームが多く混じり、軟弱)
- 12 " (" 締まる)

— 33.50m



覆土断面図13

- 1-3 暗褐色土層群 (ローム・砂が混じり、軟弱)
- 4 " (ロームが多く混じり、軟弱)
- 5-11 暗褐色土層群 (ロームが多く混じり、軟弱)
- 12 暗褐色土 (ロームが少し混じり、軟弱)
- 13 暗褐色土 (ロームが少し混じり、軟弱)
- 14-15 暗褐色土層群 (ロームが多く混じり、締まる)
- 16 暗褐色土 (ローム大粒が混じり、締まる)
- 10-16は25号地下式坑覆土

25号地下式坑

0 1m



図195 6号堀覆土断面図



12号堀全景（北側上空から）



12号堀内部（5F-32-8付近北側から）



12号堀内部（5F-32-13付近南側から）



12号堀仕切（5F-32-17北側から）



12号堀仕切（5F-42-7北側から）



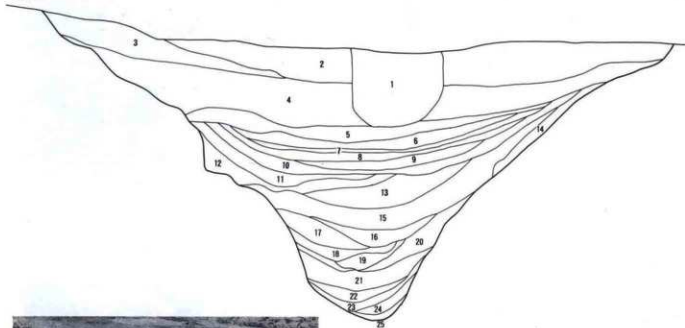
12号堀内部（5F-42-7南側から）



12号堀仕切拡大（5F-42-7東側から）



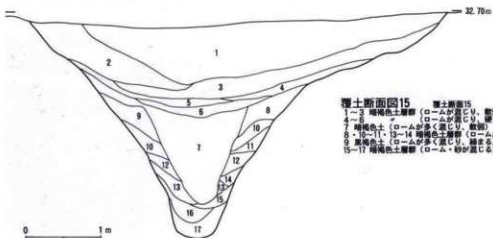
12号堀遺物出土状態（5F-42-12南側から）



覆土断面図14 覆土断面14
 1-4 暗褐色土層群 (ロームが少し混じり、軟弱)
 5-18 " (ロームが少し混じり、締まる。ここまでが近世以降の堆積)
 19-20 " (ローム・砂・粘土が混じり、締まる)
 20-25 褐色土層群 (ローム・砂・粘土が混じり、硬く締まる)



覆土断面図15 覆土断面15
 1-3 暗褐色土層群 (ロームが混じり、軟弱)
 4-6 " (ロームが混じり、硬く締まる。近世以降の遺跡堆積面)
 7 暗褐色土 (ロームが多く混じり、軟弱)
 8、10-11、13-14 暗褐色土層群 (ロームが多く混じり、少し締まる)
 9 暗褐色土 (ロームが多く混じり、締まる)
 15-17 暗褐色土層群 (ローム・砂が混じり)



0 1m

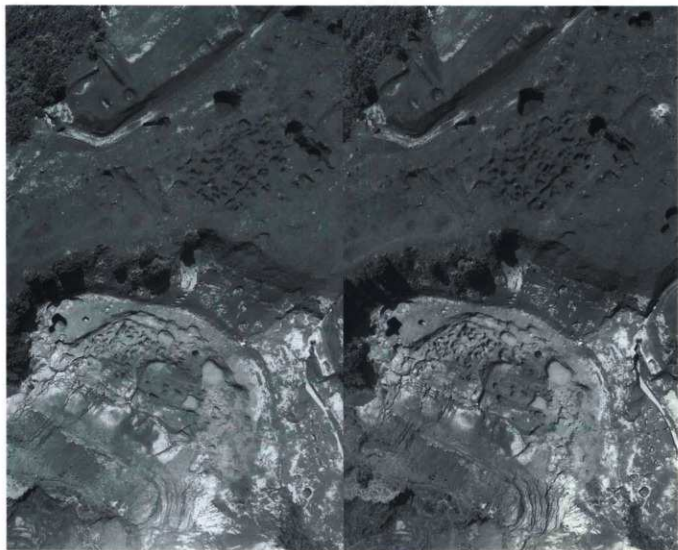
図197 12号堀覆土断面図



8号中世区面上层面



8号中世区画下层面



8号中世区画周边立体视写真

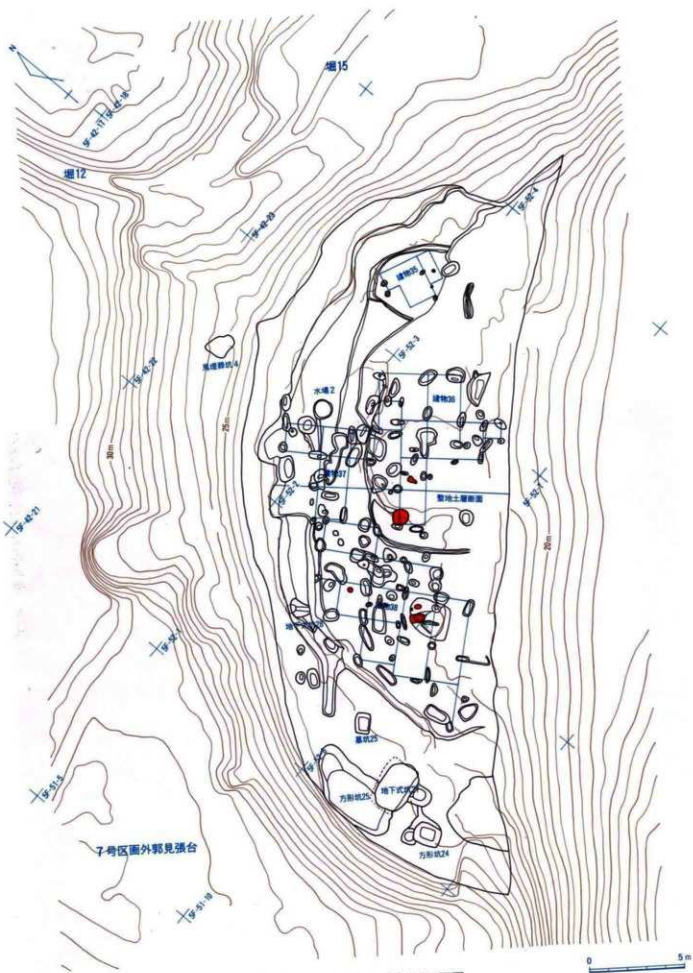


图198 8号中世区画上层面平面图

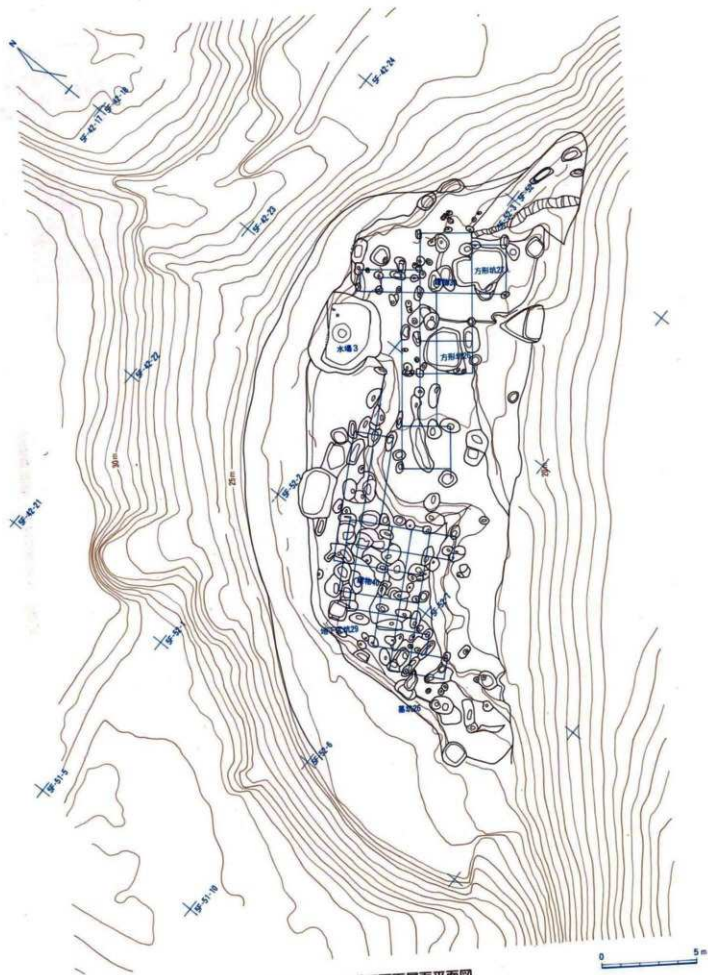


图200 8号中世区图下层面平面图

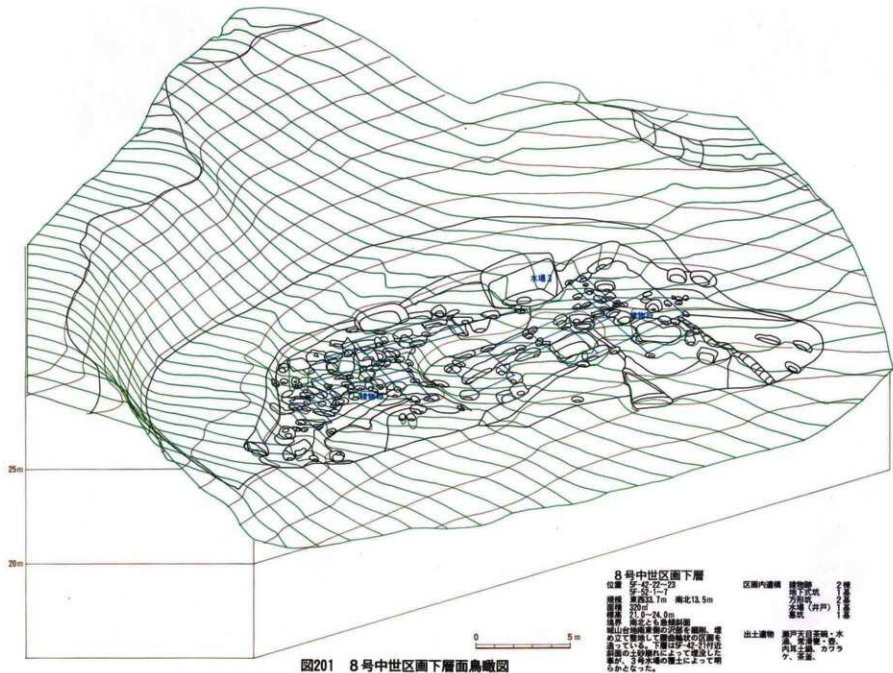


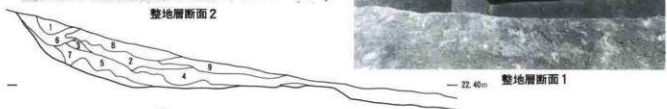
図201 8号中世区画下層面鳥瞰図



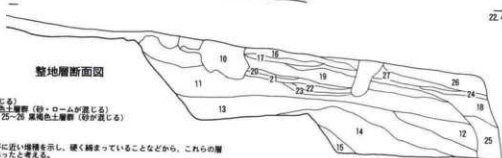
整地层断面 2



— 22.40m 整地层断面 1



— 22.40m

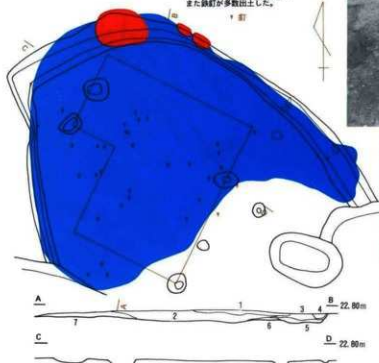


整地层断面图

- 層序 1・3 暗褐色砂層群
 2・4 暗褐色土層群 (砂が混じる)
 5-11・13・21・23・27 暗褐色土層群 (砂・ロームが混じる)
 8-11・13-14・18・23・22・25-26 黄褐色土層群 (砂が混じる)
 17 灰黄色土 (砂が混じる)
 6・24 灰色砂
 7 (地山)
 24・28・31は比較的薄く、水平に近い傾斜を示し、硬く締まっていることから、これらの層の直上がある時期の生活面であったと考える。

35号建物跡

位置 5F-42-23
 主軸 N-33°-W
 軒長 2.5m
 軒幅 2.30m
 柱穴深さ 0.15-0.20m
 遺りを概同様に調査済み。
 直上には木炭、焼土が分布し、
 また鉄釘が多数出土した。



- 層序 1 暗褐色砂 (暗褐色砂・木炭・木炭粉が混じる)
 2 (暗褐色砂・木炭・木炭粉が多く、焼土粒が少し混じる)
 3 暗褐色砂 (白色砂・木炭が少し混じる)
 4 暗褐色砂 (木炭・木炭粉が混じり、下面で砂が積っている)
 5 暗褐色砂 (白色砂・木炭が少し混じり、硬く締まる)
 6 (木炭粉が少し混じり、締まる)
 7 暗褐色土 (木炭が少し混じり、締まる)

図202 8号中世区画整地层断面図及び35号建物跡拡大図



上層建物跡(西側から)



上層建物跡(北側から)



石鉢出土状態



2号階段跡

E
F
22.00m

2号階段跡

位置 SF-52-3-4

主軸 N-52°-W

長さ 6.00m

幅 0.3-0.55m

(上部5-4.5m)

台階の石塊は、重りるように

設置。地山の硬い岩層を掘削

したため、少し進行する。

39号建物跡

位置 SF-42-23-52-1-2

主軸 N-25°-E

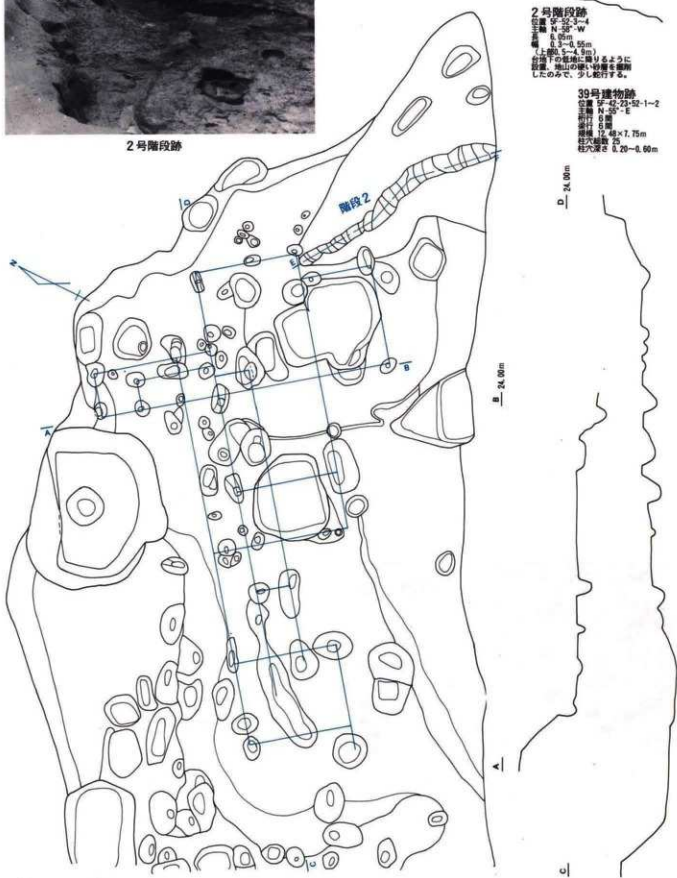
軒行 6間

梁行 6間

柱穴幅 17.48×7.75m

柱穴幅 25

柱穴深さ 0.20-0.60m



0 2m

図204 39号建物跡、2号階段跡拡大図

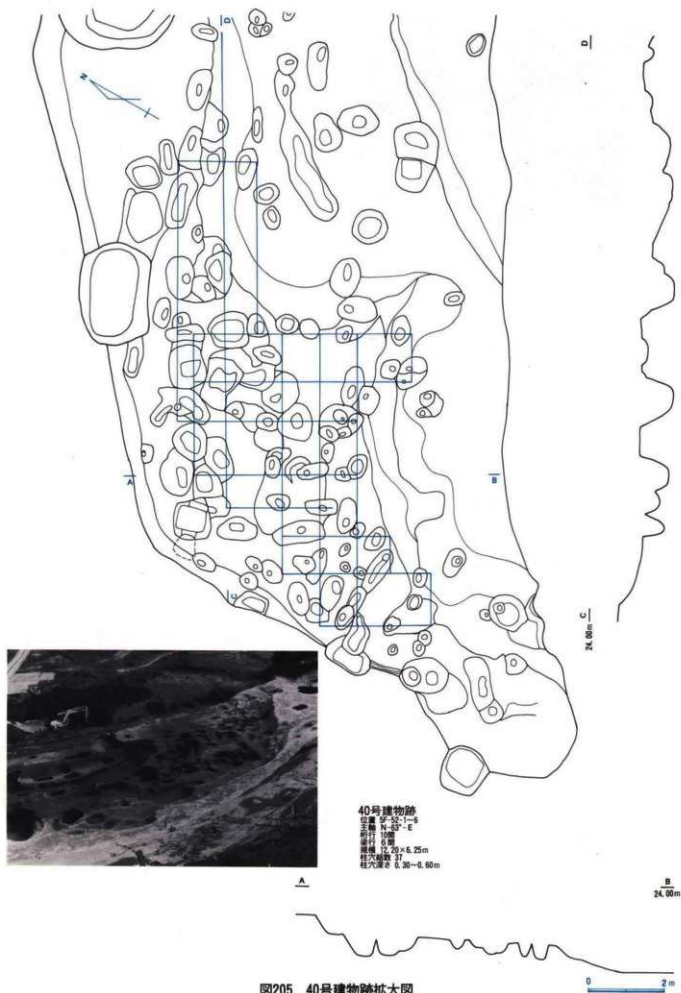
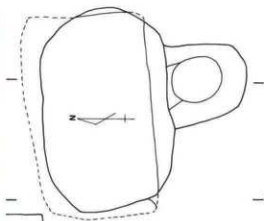
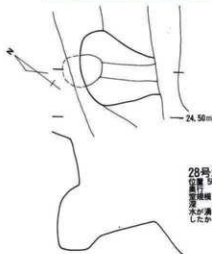


图205 40号建物跡拡大図



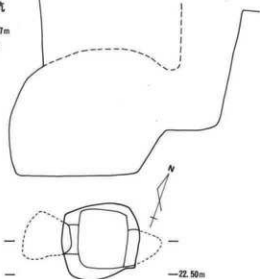
—24.40m

27号地下式坑
位置 SF-52-4
直径 2.37m
深 1.63m
底径 2.67m
出土遺物 常滑壺



28号地下式坑
位置 SF-52-1
直径 1.22m
深 0.52m
底径 0.42m
深 1.47m
水が湧くため、途中で放棄したか

—24.50m



—22.50m

29号地下式坑
位置 SF-52-1
直径 1.88m
深 0.52m
底径 0.65m
深 1.25m
水が湧くため、途中で放棄したか。2重式にしようとした



—24.40m

24号方形坑
位置 SF-52-6
直径 1.42m
底径 1.10m
深 0.60m
出土遺物 瀬戸平碗・深皿・常滑壺、内耳土器

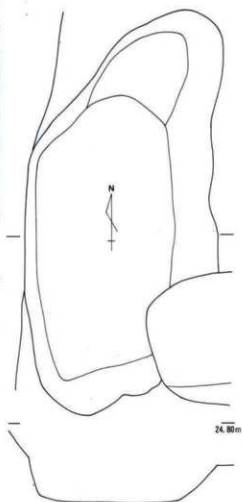


0 1m

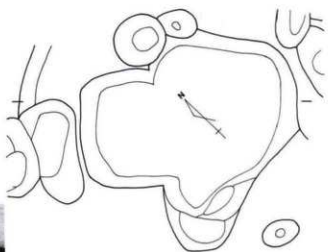
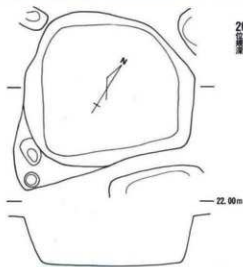
図206 27～29号地下式坑、24号方形土坑拡大図



25号方形土坑
 位置 字-32-3
 規模 長50×幅54m
 深 0.54m
 出土遺物 常滑焼、磁石



26号方形土坑
 位置 字-32-3
 規模 長25×幅22m
 深 0.65m



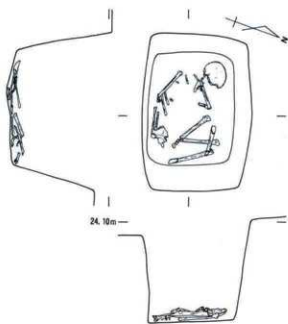
27号方形土坑
 位置 字-32-3
 規模 長28.5×幅24.4m
 深 0.40m
 出土遺物 内耳土器

層序 1 緑灰色砂 (緑褐色土、灰色砂が混じる)
 2 緑褐色土 (ローム、砂が少し混じる)
 3-7 緑褐色砂層群 (緑褐色土、ロームが混じる)

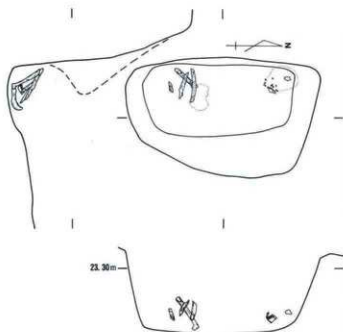


图207 25~27号方形土坑拡大図

0 1m



25号墓坑
 位置 字-52-4
 総長 1.10×0.72m
 深 0.65m
 人骨 肋骨、下腿、股骨、
 肋骨、股骨、歯は咬
 死か生しい
 西向き



26号墓坑
 位置 字-52-6
 総長 1.30×0.78m
 深 0.17m
 人骨 下腿、下腿、肋骨は
 離れてくっついている
 北向き
 墓下に平床下式に墓っている



0 50cm

図208 25～26号墓坑拡大図

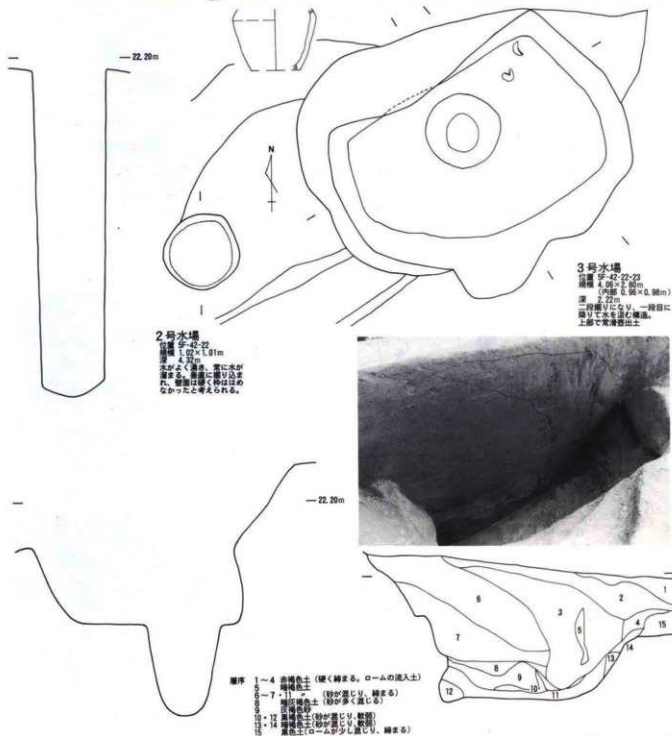
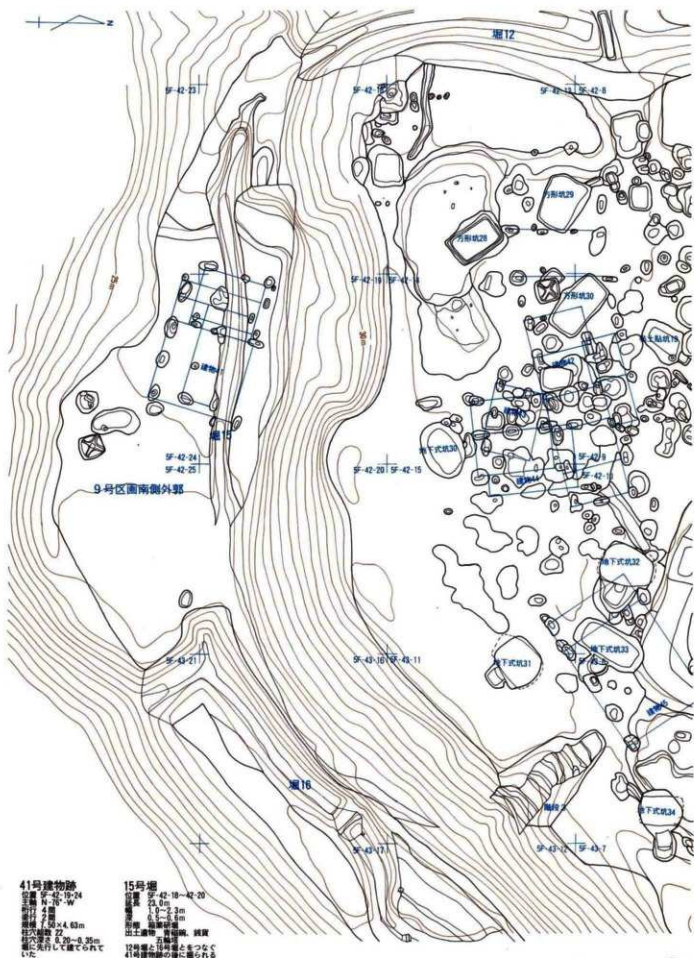


図209 2~3号水場拡大図

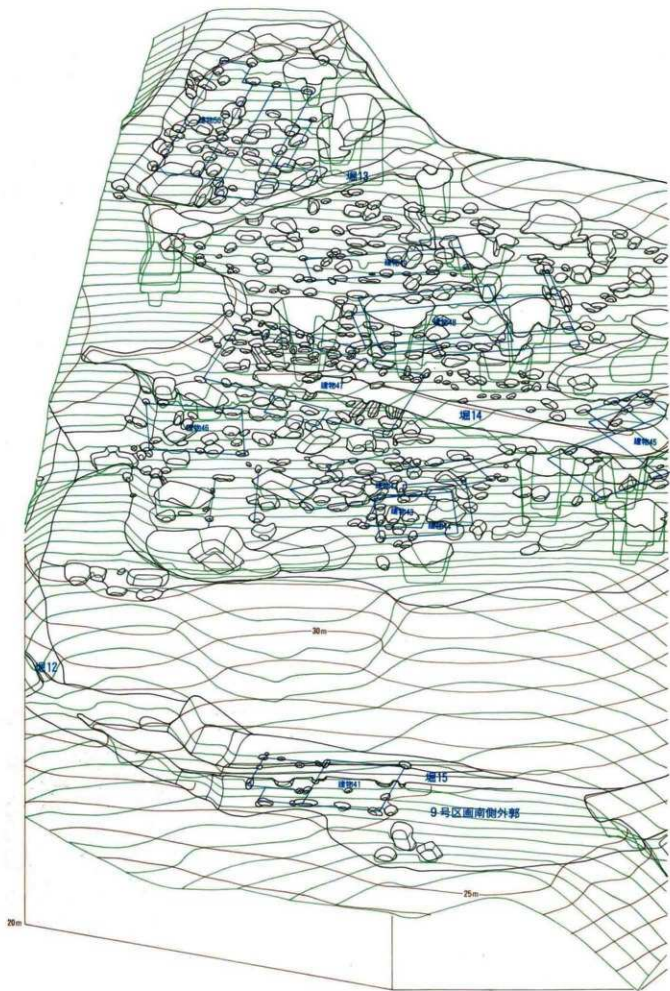
0 1m

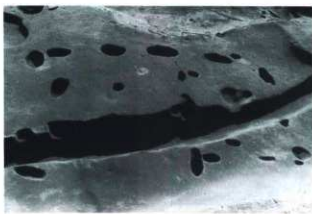


41号建物跡
 位置 SF-42-19-24
 方位 N-70°-W
 形状 大畷
 面積 7.50×4.63m
 柱穴間隔 2.2
 柱穴深さ 0.20-0.35m
 堀に先行して建てられていた

15号堀
 位置 SF-42-18-42-20
 延長 23.0m
 幅 1.9-2.2m
 形状 直線部、緩急部あり
 築造時期 前期鎌倉、鎌倉
 土質 五輪
 11号堀の北端とこの北端が
 41号建物跡の南に接する

図210 9号中世区画南部平面図





41号建物跡（北側から）



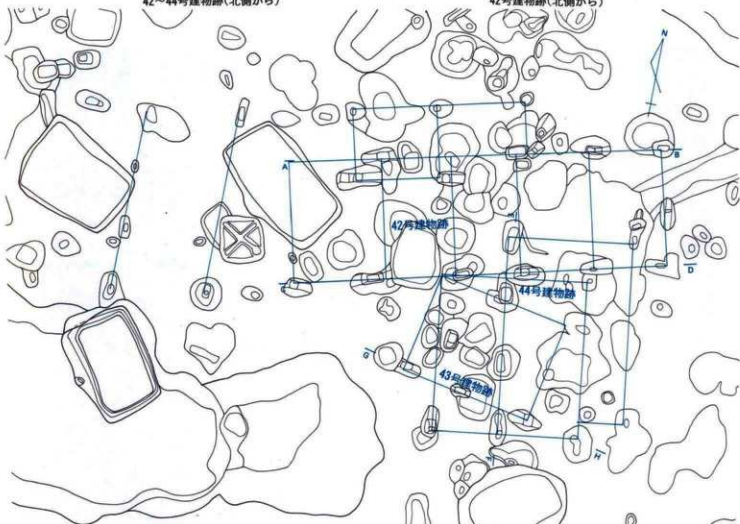
9号中世区画北部立体視写真



42~44号建物跡(北側から)



42号建物跡(北側から)



42号建物跡

位置 SF-42-9-15
主軸 N-71°-E
形状 方形
面積 30㎡
掘削 1回、10×4.25m
柱穴数 18
柱穴深さ 0.40~0.60m

43号建物跡

位置 SF-42-14
主軸 N-76°-W
形状 方形
面積 2.5㎡
掘削 2回、5.50×2.65m
柱穴数 2
柱穴深さ 0.45~0.55m

44号建物跡

位置 SF-42-14-15
主軸 N-5°-W
形状 3段
面積 3.5㎡
掘削 3回、5.20×5.05m
柱穴数 12
柱穴深さ 0.30~0.50m

A

B

E

F

C

D

G

H

33.00m

33.00m

図213 42~44号建物跡拡大図

0 2m



45号建物跡(西側から)



3号階段跡

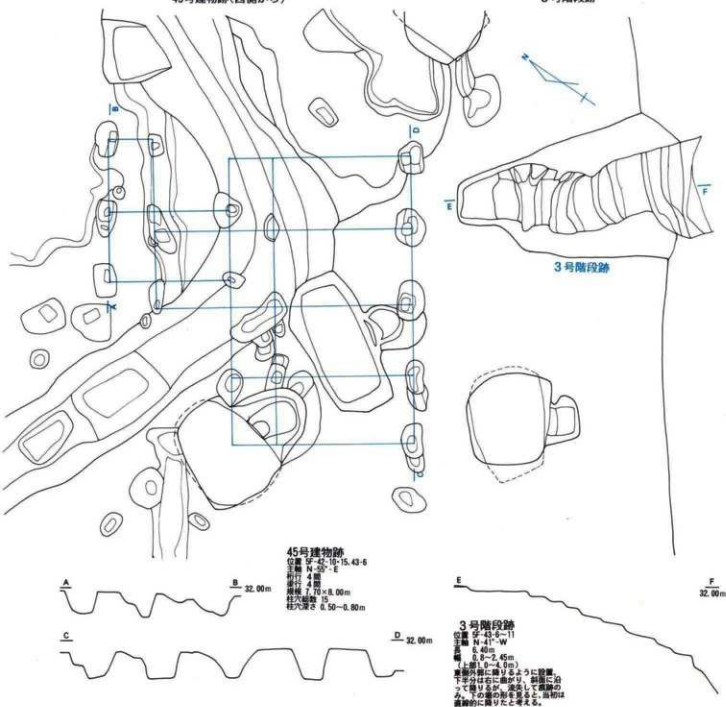


図214 45号建物跡、3号階段跡拡大図



46号建物跡 (北側から)



47号建物跡

46号建物跡
 位置 42°-5
 方位 11°-W
 形状 不規則
 面積 34×4.90m
 柱穴数 15
 柱穴深さ 0.30-1.15m

47号建物跡
 位置 42°-5
 方位 64°-W
 形状 不規則
 面積 11.95×8.10m
 柱穴数 36
 柱穴深さ 0.30-0.70m
 14号窟を埋めた跡に建てら
 れた

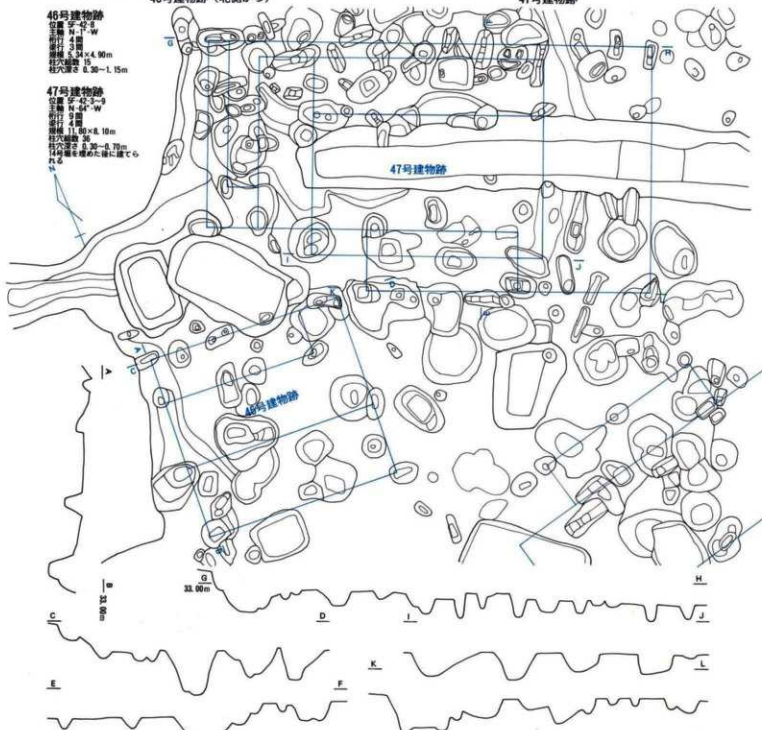


図215 46~47号建物跡拡大図

0 2m



48号建物跡



49号建物跡

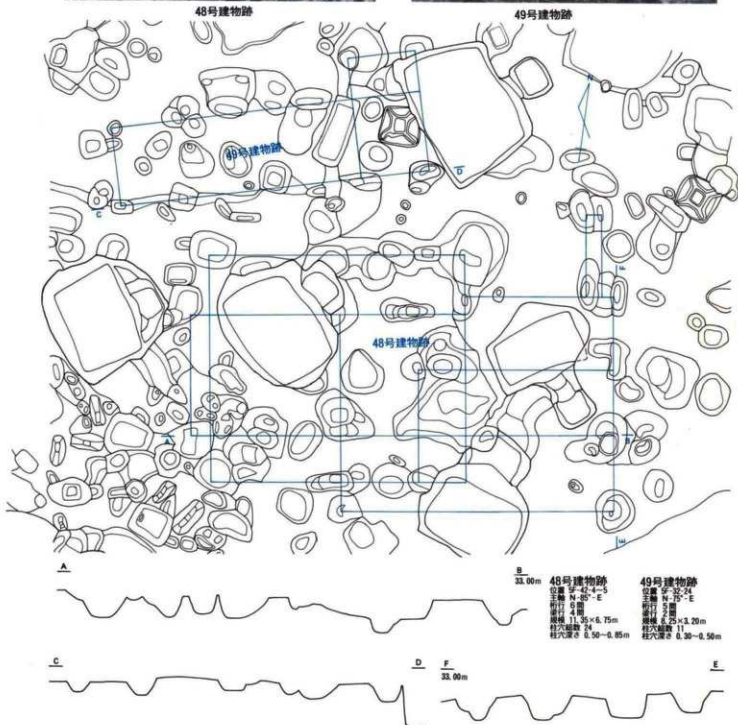
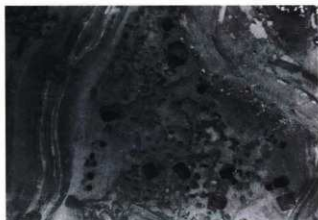
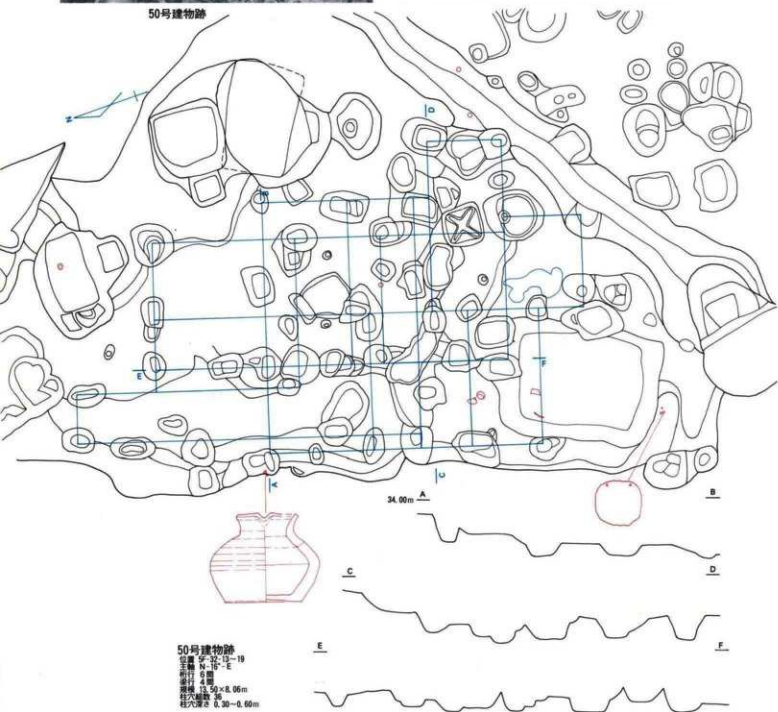


図216 48~49号建物跡拡大図

0 2m



50号建物跡



50号建物跡
 位置 SF-32-13-19
 主軸 N-16°-E
 形状 長方形
 面積 400㎡
 周長 53.50×32.96m
 柱穴組数 35
 柱穴深さ 0.30-0.60m

図217 50号建物跡拡大図

0 2m



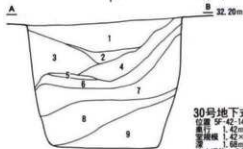
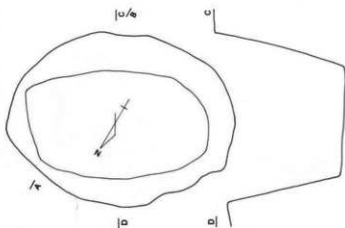
カワラケ出土状態
(5F-42-3)



常滑蔵口壺出土状態
(5F-32-18)



瀬戸小皿出土状態
(5F-32-19)



30号地下式坑

位置 3F-42-14-15

直径 1.42m

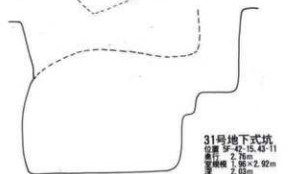
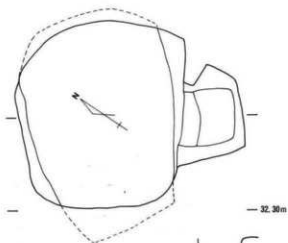
深 1.42×2.42m

出土遺物 白磁器、灰漆器

内瓦土器、瓦土

壁は中央部破上にあつたと考ふる

- 層序 1-9 褐色土層群 (ロームが多く混じる)
 3-7 灰土層 (灰土層)
 2-4-6 暗褐色土層群 (ローム・砂が混じる)



31号地下式坑

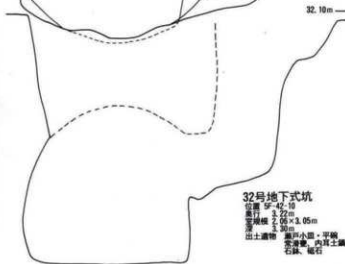
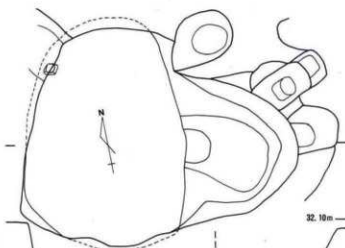
位置 3F-42-15-43-11

直径 2.76m

深 1.96×2.92m

深 2.03m

出土遺物 銅貨



32号地下式坑

位置 3F-42-10

直径 3.22m

深 2.06×3.05m

深 2.90m

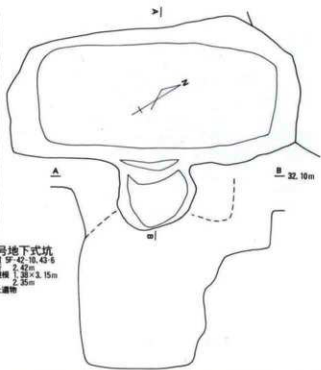
出土遺物 瀬川小皿・平鏡

平漆器、内瓦土器

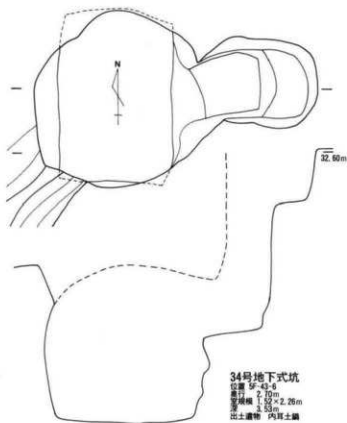
石鉢、磁石



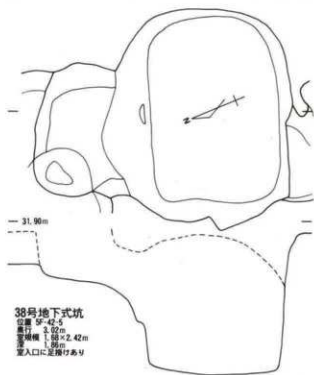
図218 30~32号地下式坑拡大図



33号地下式坑
位置 SF-42-10.43-6
奥行 2.42m
室規模 1.20×3.15m
深 1.25m
出土遺物



34号地下式坑
位置 SF-43-6
奥行 2.70m
室規模 1.52×2.26m
深 1.53m
出土遺物 内耳土器



38号地下式坑
位置 SF-42-5
奥行 2.52m
室規模 1.66×2.42m
深 1.66m
室入口に足踏りあり

図219 33~34・38号地下式坑拡大図

0 1m



36号地下式坑

位置 59-43-1
 奥行 1.02m
 幅 1.05×1.00m
 深 2.50m
 出入口に土階が3段階あり
 込んで設置している

35号地下式坑

位置 59-43-1
 奥行 2.35m
 幅 2.10×2.43m
 深 1.25m
 天井部は明瓦葺であった
 と推定する。出入口の土
 階は3階あり、土階より遠
 方がある。壁は36号坑
 と共有する。

37号地下式坑

位置 59-43-1
 奥行 3.72m
 幅 2.80×3.36m
 深 2.50m
 天井部が残存

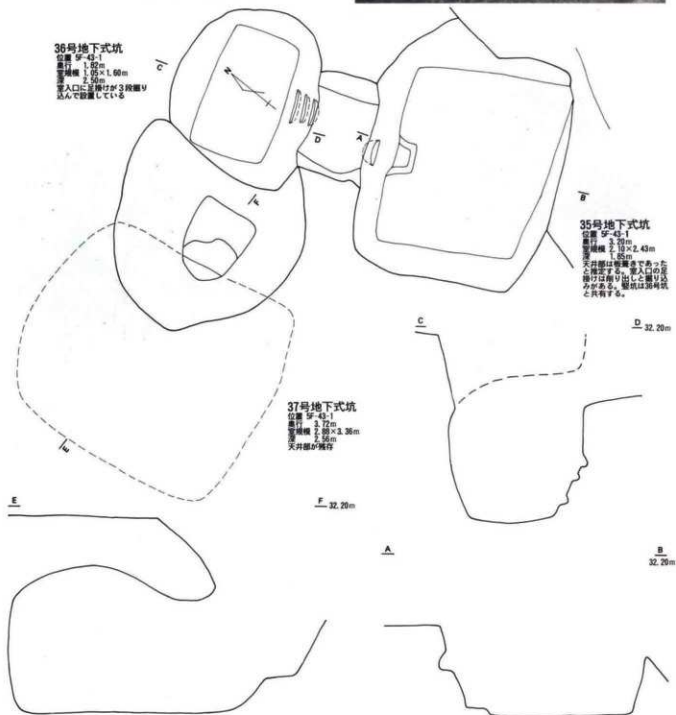


図220 35～37号地下式坑拡大図

0 1m

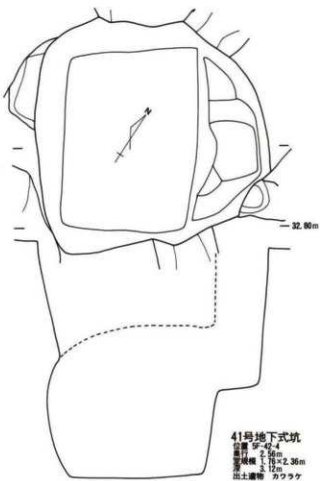
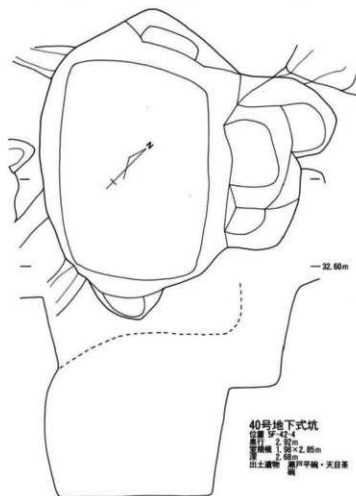
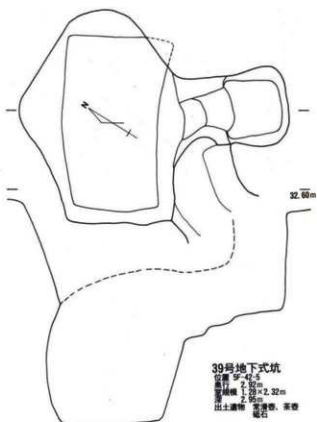
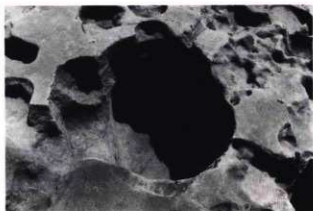
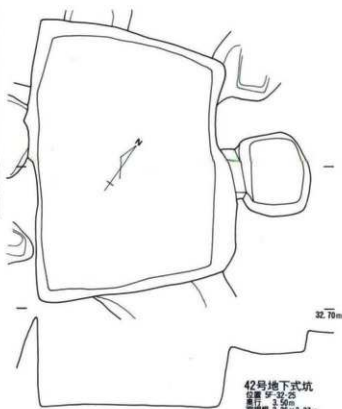


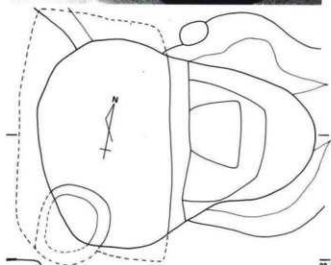
図221 39~41号地下式坑拡大図

0 1m



42号地下式坑
位置 芽-32-25
室内 2.50m
室幅 2.20×3.37m
深 1.10m
天井が板葺きの地下式であったと考える

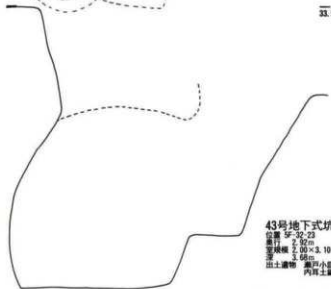
32.70m



33.50m



33.00m

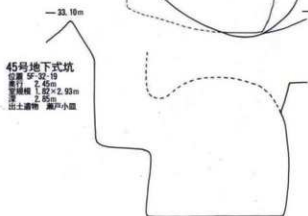
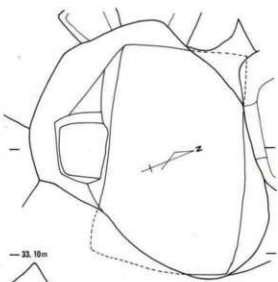


43号地下式坑
位置 芽-33-23
室内 2.10m
室幅 2.00×3.10m
深 2.60m
出土遺物 黒川小皿、雲雀書
内瓦土器、五輪瓦

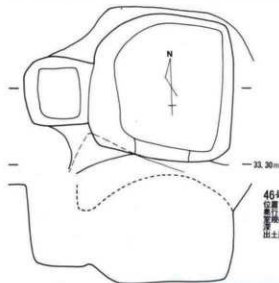
44号地下式坑
位置 芽-33-19-20
室内 1.36m
室幅 1.20×1.56m
深 2.52m
壁坑は中位階面上にあることが調査時に確認した

図222 42~44号地下式坑拡大図

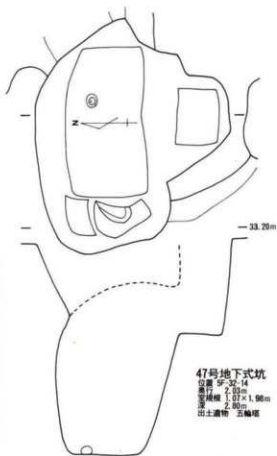
0 1m



45号地下式坑
位置 5F-32-19
总长 2.45m
总幅幅 1.57 × 2.93m
深 2.65m
出土遺物 灰戸小皿



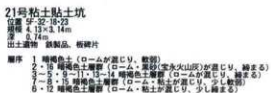
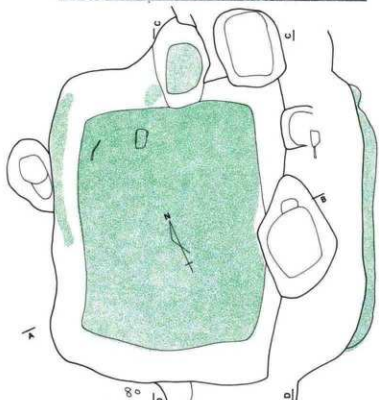
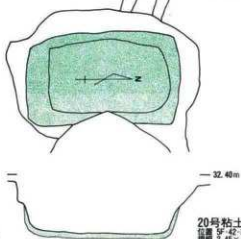
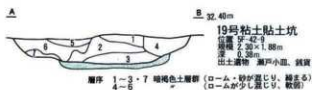
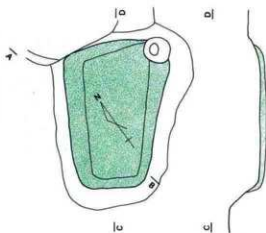
46号地下式坑
位置 5F-32-19
总长 2.41m
总幅幅 1.45 × 1.65m
深 1.35m
出土遺物



47号地下式坑
位置 5F-32-14
总长 2.93m
总幅幅 1.57 × 1.98m
深 2.50m
出土遺物 五輪塔

图223 45~47号地下式坑拡大図

0 1m



0 1m

図224 19~21号粘土貼土坑拡大図

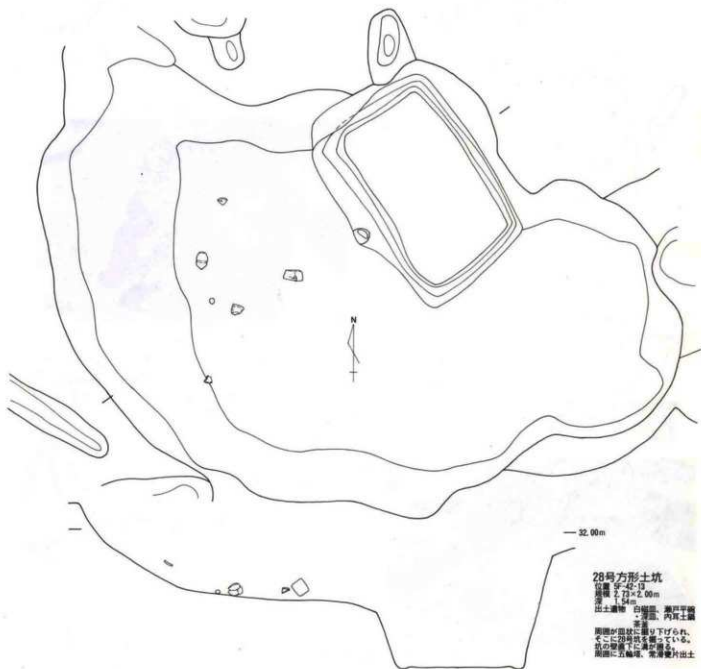


図225 28号方形土坑拡大図

0 1m



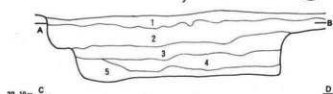
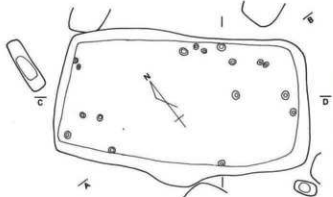
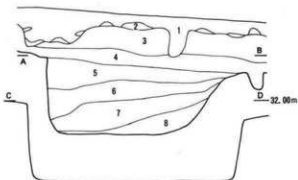
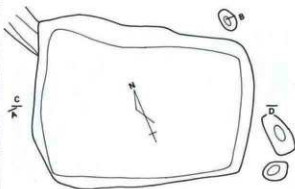
29号方形土坑

位置 宇-42-3-13

面積 2.90×2.30m

深さ 1.50m

- 層序
- 1 暗褐色土 (ローム・砂が混じり、軟弱)
 - 2 黒色砂 (空堀火山灰)
 - 3-5-6 暗褐色土層群 (ロームが混じり、締まる)
 - 6 灰褐色土 (ロームが多く混じり、締まる)
 - 7 褐色土 (ロームが多く混じり、締まる)



30号方形土坑

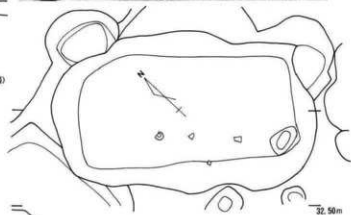
位置 宇-42-3-14

面積 3.40×1.80m

深さ 0.52m

出土遺物

- 層序
- 1 暗褐色土 (ローム・黒色砂 (空堀火山灰) が混じり、軟弱)
 - 2-4 暗褐色土層群 (ロームが混じり、締まる)
 - 5 褐色土 (ロームが混じり、硬く締まる)



31号方形土坑

位置 宇-42-3-8

面積 3.45×2.00m

深さ 0.30m

出土遺物 土師杯、磁石



図226 29~31号方形土坑拡大図

0 1m

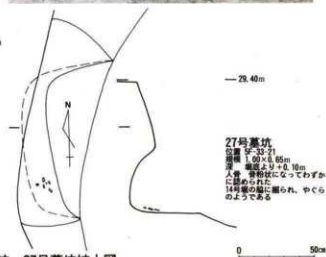
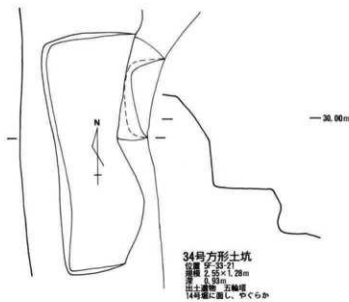
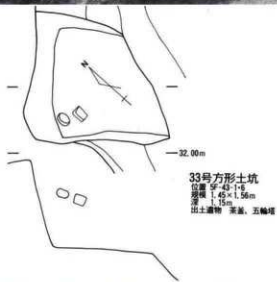


図27 32~34号方形土坑、27号墓坑拡大図

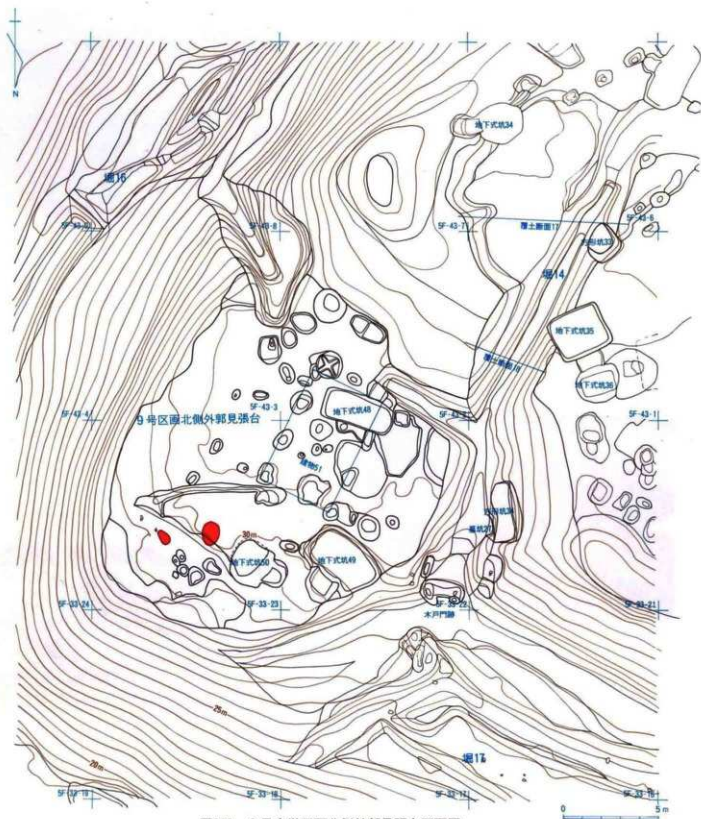


図228 9号中世区画北側外郭見張台平面図

51号建物跡
位置 SF-33-22-23, 43-2
方位 N 75°-E
面積 3 ㎡
階数 2 階
規模 6.45×4.05m
柱穴数 8
柱穴径 2 8.50-8.80m

14号堀
位置 SF-42-4-33-21
延長 47.5m
幅 1.7-3.8m
深 0.7-2.3m
科層 磁器片・漆器層
出土遺物 瀬戸小皿・磁子・
唐鉢、磁土
9号中世区画内には途中で
埋められ、最南部から北は堀
遺構として残された。



9号中世区画北側外郭見張台

位置 9-33-21-23・43-2-3
 形状 東西18.5m 南北21.2m
 750m
 標高 28.6-31.0m
 2>東は赤松山、西は14号区画、南は9号区画との間に段差がある。台地突出部を掘削して平坦面を作り、建物、地下式坑などを設けている。先端部には溝、段差を設け、機軸があるところから、ここにも生活のための建物があったと考ええる。

区画内遺構	建物跡	1棟
	地下式坑	2基
	機軸	1基

出土遺物 土師小皿・平碗・豆皿、常滑器、内耳土器
 瓦葺、磁石、五輪瓦

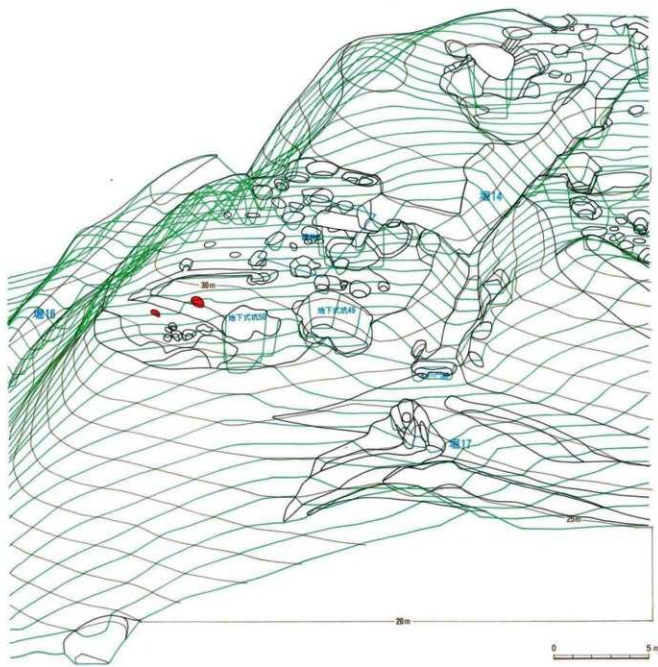


図229 9号中世区画北側外郭見張台鳥瞰図



51号建物跡
(南側から)



9号中世区画北側外郭
見張台先端部 (南側から)



14号堀木戸門跡
(西側から)

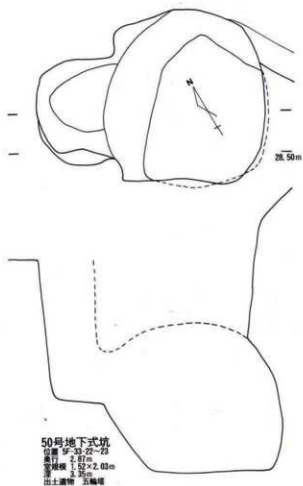
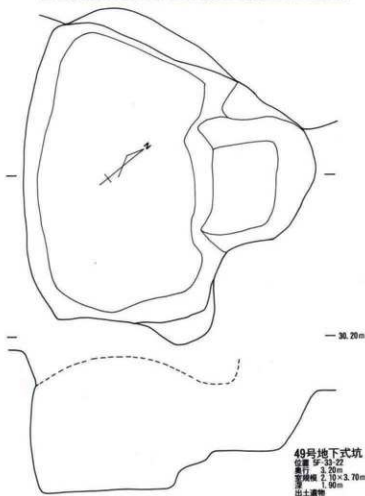
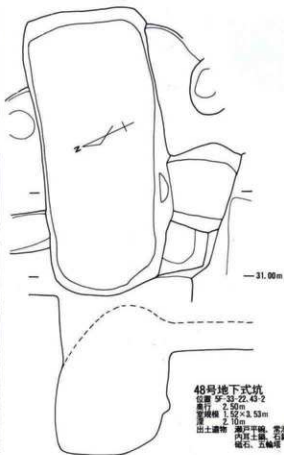


图230 48~50号地下式坑扩大图

0 1m

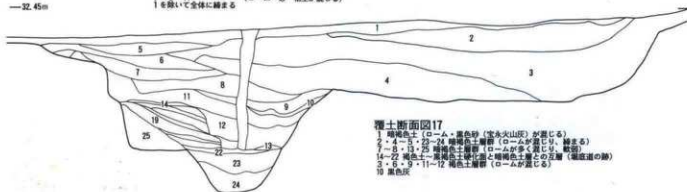


覆土断面図16

- 1 暗褐色土 (ロームが少し混じる)
- 2 " (ローム・砂が混じる)
- 3 " (ローム・粘土・灰が混じる)
- 4-5・8 暗褐色土層群 (ロームが混じる)
- 7・9-11 " (ローム・砂が混じる)
- 10 灰いて全体に締まる

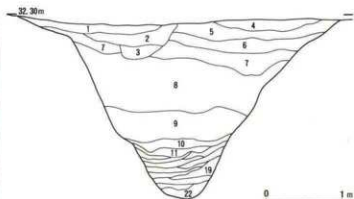


—32.45m



覆土断面図17

- 1 暗褐色土 (ローム・黒色砂(宝永火山灰)が混じる)
- 2・4-5・23-24 暗褐色土層群 (ロームが混じり、締まる)
- 7-8・13・25 暗褐色土層群 (ロームが多く混じり、締まる)
- 14-22 褐色土・暗褐色土・灰土と暗褐色土層との互層(堀底道の跡)
- 3・6・9・11-12 褐色土層群 (ロームが混じる)
- 10 黒色灰

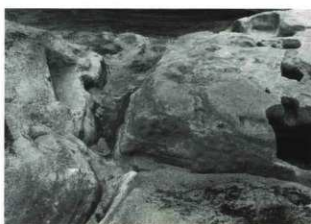


覆土断面図18

- 1-7 暗褐色土層群 (ローム・砂が混じり、軟弱)
- 8-9 褐色土層群 (ロームが多く混じる)
- 10-22 褐色土・硬化面と軟弱との互層 (ローム・砂・粘土が混じる。堀底道の跡)

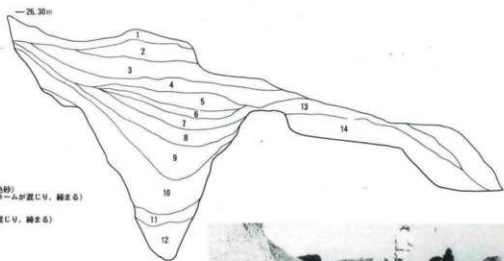


14号堀北出口(北側から)



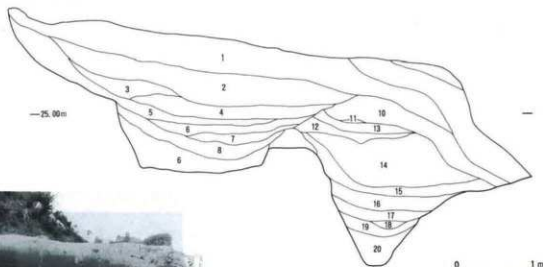
14号堀北出口(南側上から)

図231 14号堀覆土断面図



覆土断面図19

- 1-2 黄土 (腐葉土、暗褐色砂)
- 3-5 暗褐色土層砂 (ロームが混じり、締まる)
- 6 灰色砂
- 7 9-10-12 暗褐色砂
- 11 黒褐色土 (砂・ロームが混じり、締まる)
- 13-14 堆山 (褐色・灰色)



覆土断面図20

- 1-8 暗褐色土 (砂・ロームが混じり)
- 9 暗褐色砂 (ロームが少し混じり、締まる)
- 10-17 暗褐色土 (ローム・砂が混じり、締まる)
- 18 暗褐色砂 (ロームが少し混じり、締まる)
- 19-20 暗褐色砂 (ローム・暗褐色土が混じり、締まる)



図232 16号堀覆土断面図

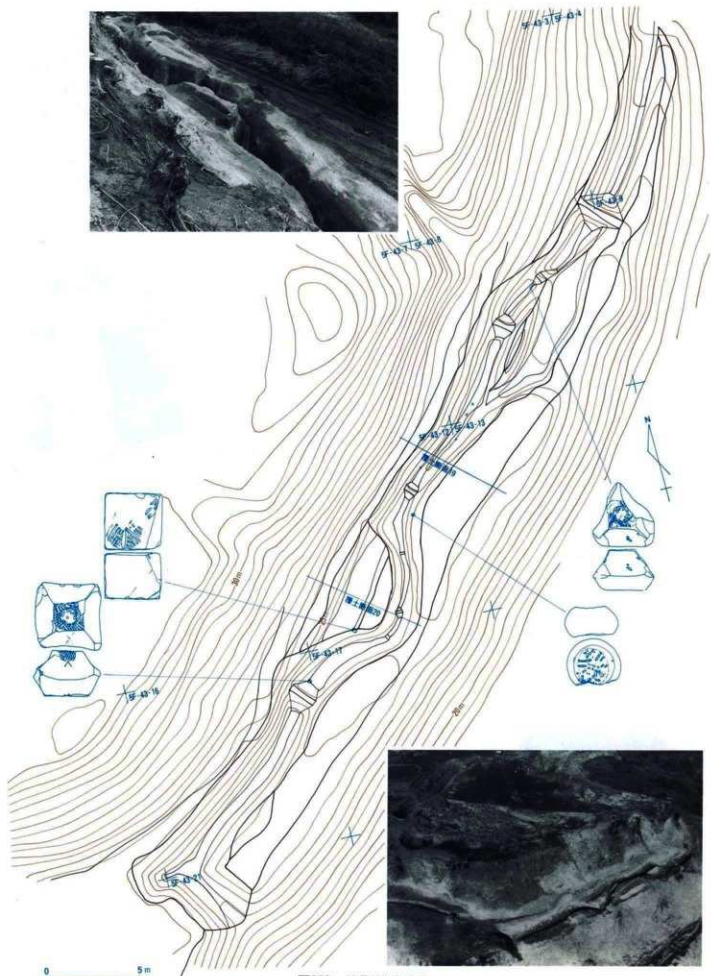


图233 16号墓平面图